

男女共同参画に関する市民意識調査

－ 報告書 －

平成 29 年 11 月

鹿屋市

目次

I 調査の概要	1
1 調査目的	1
2 調査対象等	1
3 本報告書の見方	1
II 回答者の属性	2
III 調査結果	7
1 男女平等意識について	7
(1) 各分野における男女の地位の平等感	7
(2) 社会全体における男女の地位の平等感	12
(3) 今後女性が増える方がよいと思う職業や役職	15
(4) 男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために、重要だと思うこと	18
2 家庭生活・地域活動について	21
(1) 家庭における役割分担	21
(2) 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について	28
(3) 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に賛成の理由	31
(4) 地域における活動等への参加状況	34
(5) 生活の中での仕事、家庭生活、地域・個人生活の優先度	37
(6) 男女が家事、子育て、介護等に、より積極的に参加していくために必要なこと	42
(7) 家庭における高齢者介護を主に女性が担っていることについて	45
(8) 高齢者介護について今後必要な対策	47
3 就労について	49
(1) 女性が職業をもつことについての意識	49
(2) 職場における性別による処遇等のちがい	52
(3) 「ワーク・ライフ・バランス」の実現度	55
(4) 女性が離職せず仕事を続けるために必要なこと	57
4 男女の人権について	59
(1) 配偶者等から暴力や嫌がらせを受けた経験	59
(2) 10歳代、20歳代に交際相手から暴力等を受けた経験	63
(3) 暴力や嫌がらせ等についての相談状況	68
(4) 配偶者等からの暴力等（DV）を相談しなかった理由	72
(5) 男女間における暴力をなくすために必要なこと	75
(6) メディアにおける性・暴力表現についての意識	78
5 女性の政策参画について	80
(1) 各分野における方針・施策を決める際の女性の意見の反映度	80
(2) 政策・方針決定の場に女性が少ない理由	83
(3) 女性が地域活動のリーダーになるために必要なこと	85
6 男女共同参画に関する施策について	87
(1) 「男女共同参画社会」を実現するために行政が力を入れていくべきこと	87
(2) 男女共同参画に関連の深い用語等の認知度	91
(3) 自由意見	96
(4) 各設問における「その他」意見の主なもの	100
資料（調査票等）	103

I 調査の概要

1 調査目的

男女共同参画社会の実現に向けた取組を進める中で、市民の男女平等や人権、就労等に関する意識や実態が前回（平成 24 年度）の調査以降、どのように変化してきているかを把握し、今後の男女共同参画に関する施策の検討及び次期男女共同参画計画等策定の基礎資料とするため、調査を実施した。

2 調査対象等

- ① 調査対象 20 歳以上の鹿屋市民 2,000 人（住民基本台帳から無作為で抽出）
- ② 回収状況 有効回収数：953 通（回収率：47.7%）
- ③ 調査期間 平成 29 年 6 月 21 日（水）～ 7 月 10 日（月）
- ④ 調査方法 調査票による本人記入方式（郵送による配布・回収）

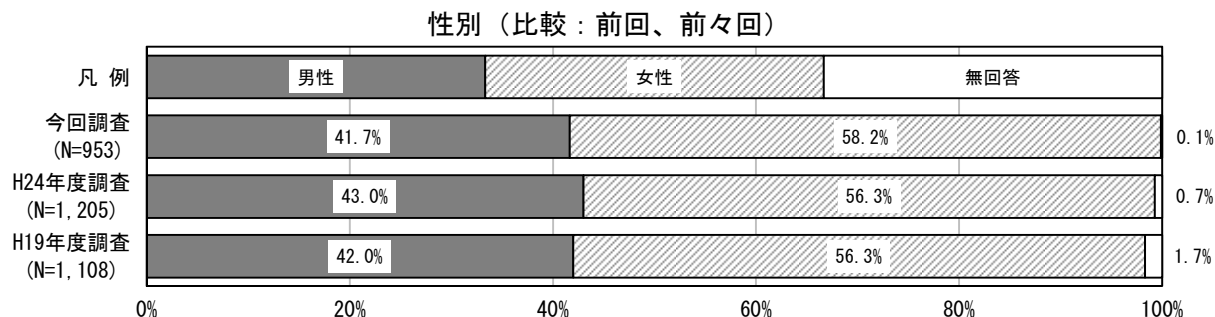
3 本報告書の見方

- ① 図表中「N」とは、回答総数（あるいは、分類別の回答者数）を表している。
- ② 集計結果は百分率で算出し、小数点第 2 位を四捨五入しているため、百分率の合計が 100%にならない場合がある。
- ③ 回答にあたって、2 つ以上の回答（複数回答）を認めている場合は、合計は 100%を超える場合がある。
- ④ 本調査の結果分析にあたり、次の調査結果と比較を行っている。
 - 平成 24 年度 男女共同参画に関する市民意識調査（鹿屋市）
（20 歳以上の鹿屋市民 2,500 人、有効回収数 1,205 人）
※本文中では、「前回調査」または「H24 年度調査」と表記している。
 - 平成 19 年度 男女共同参画に関する住民意識調査（鹿屋市）
（20 歳以上の鹿屋市民 2,500 人、有効回収数 1,108 人）
※本文中では、「前々回調査」または「H19 年度調査」と表記している。
 - 平成 28 年度 男女共同参画に関する県民意識調査（鹿児島県）
（20 歳以上の鹿児島県民 5,000 人、有効回収数 2,227 人）
※本文中では、「県調査」または「H28 年度県調査」と表記している。
 - 平成 28 年度 男女共同参画社会に関する世論調査（内閣府）
（18 歳以上の男女 5,000 人、有効回収数 3,059 人）
※本文中では、「内閣府調査」または「H28 年度内閣府調査」と表記している。

Ⅱ 回答者の属性

① 性別

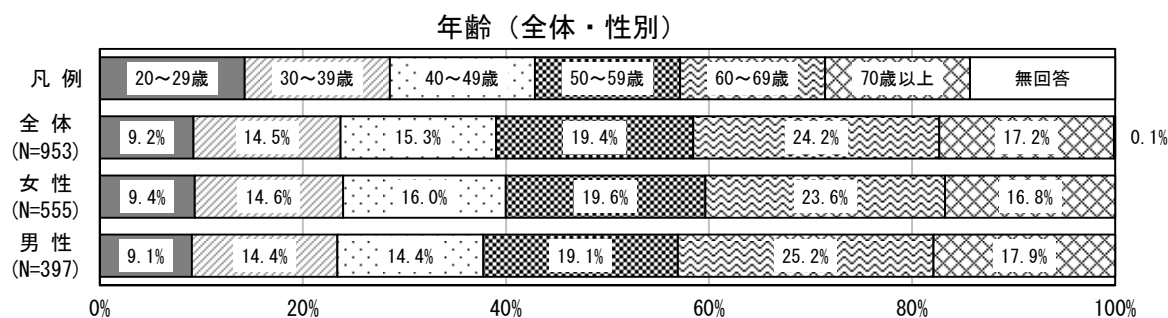
回答者の性別割合は、「女性」が 58.2%、「男性」が 41.7%となっており、前回に比べ、女性の比率が若干高くなっている。



② 年齢

回答者の年齢は、「60～69 歳」(24.2%)が最も多く、次いで「50～59 歳」(19.4%)、「70 歳以上」(17.2%)、「40～49 歳」(15.3%)、「30～39 歳」(14.5%)、「20～29 歳」(9.2%) の順となっている。

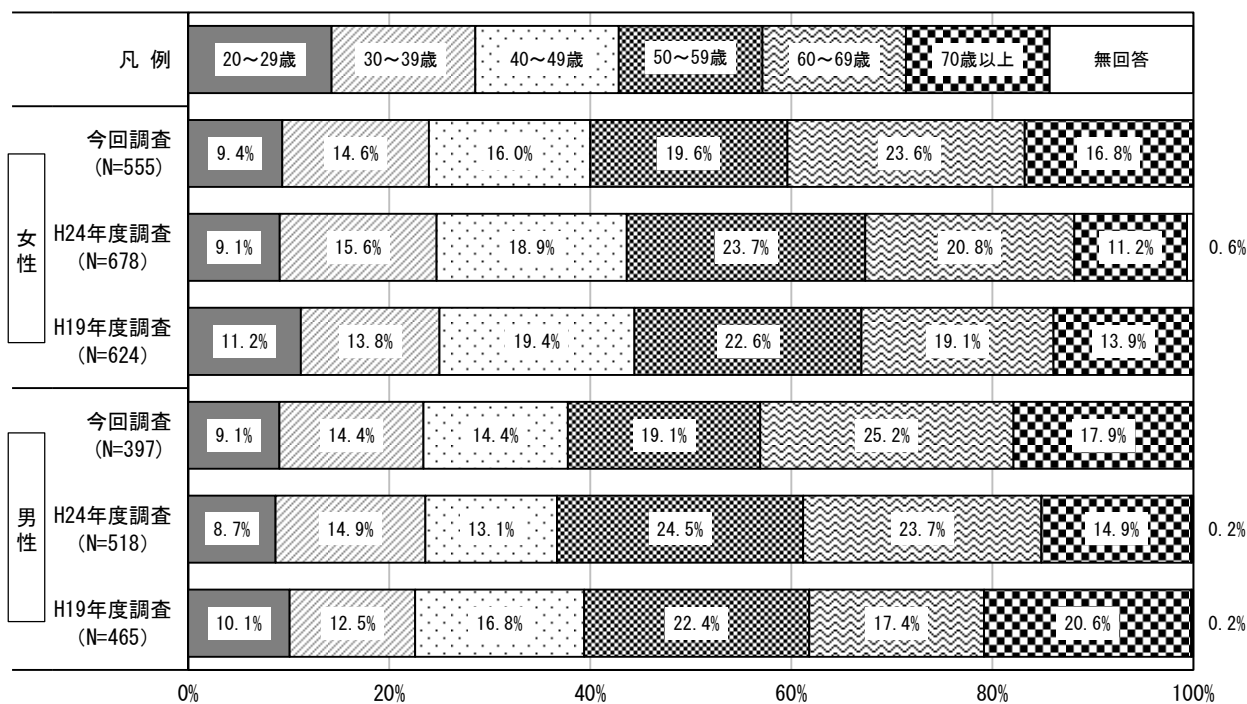
前は 50 歳代が最も多かったが、今回は 60 歳代が最も多くなっている。



年齢（全体・性別）

		サンプル数	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答
全体		100.0%	9.2%	14.5%	15.3%	19.4%	24.2%	17.2%	0.1%
		953	88	138	146	185	231	164	1
性別	女性	100.0%	9.4%	14.6%	16.0%	19.6%	23.6%	16.8%	0.0%
		555	52	81	89	109	131	93	0
	男性	100.1%	9.1%	14.4%	14.4%	19.1%	25.2%	17.9%	0.0%
		397	36	57	57	76	100	71	0

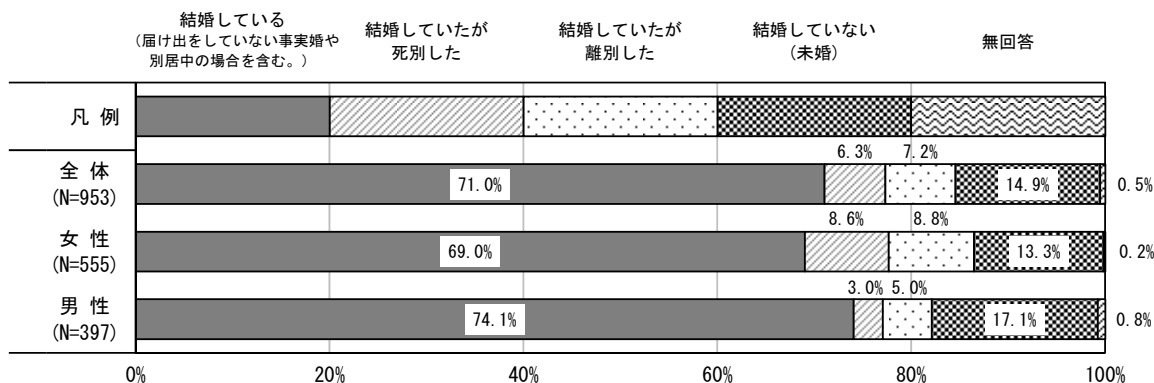
年齢（比較：前回、前々回）



③ 婚姻状況

回答者の婚姻状況については、「結婚している」が71.0%、「結婚していたが離婚（又は死別）した」が13.5%、「未婚」が14.9%となっている。

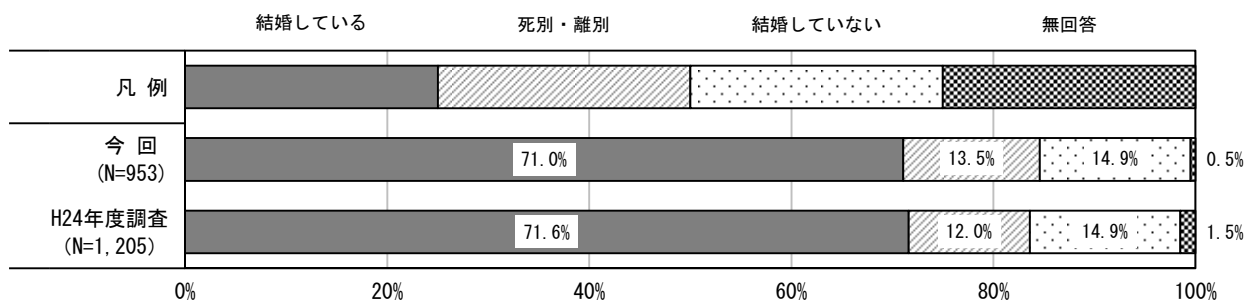
婚姻状況（全体・性別）



婚姻状況（全体・性別）

		サンプル数	結婚している	結婚していたが死別した	結婚していたが離婚した	（未婚）結婚していない	無回答
	全体	100.0%	71.0%	6.3%	7.2%	14.9%	0.5%
		953	677	60	69	142	5
性別	女性	100.0%	69.0%	8.6%	8.8%	13.3%	0.2%
		555	383	48	49	74	1
	男性	100.0%	74.1%	3.0%	5.0%	17.1%	0.8%
		397	294	12	20	68	3

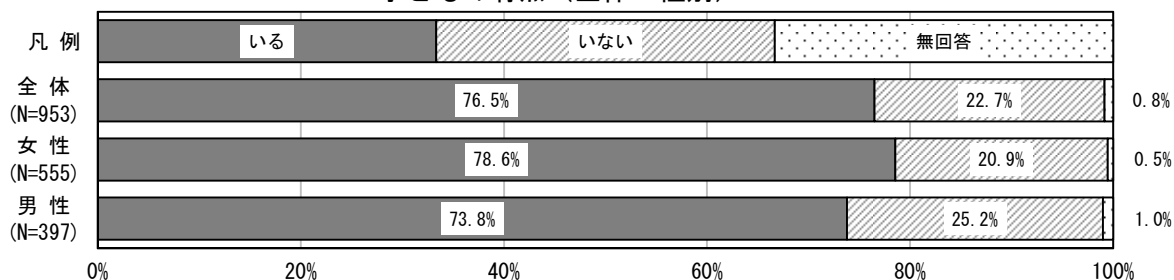
婚姻状況（全体・性別）（比較：前回）



④ 子どもの有無

回答者の子どもの有無については、「いる」が76.5%、「いない」が22.7%となっている。

子どもの有無（全体・性別）



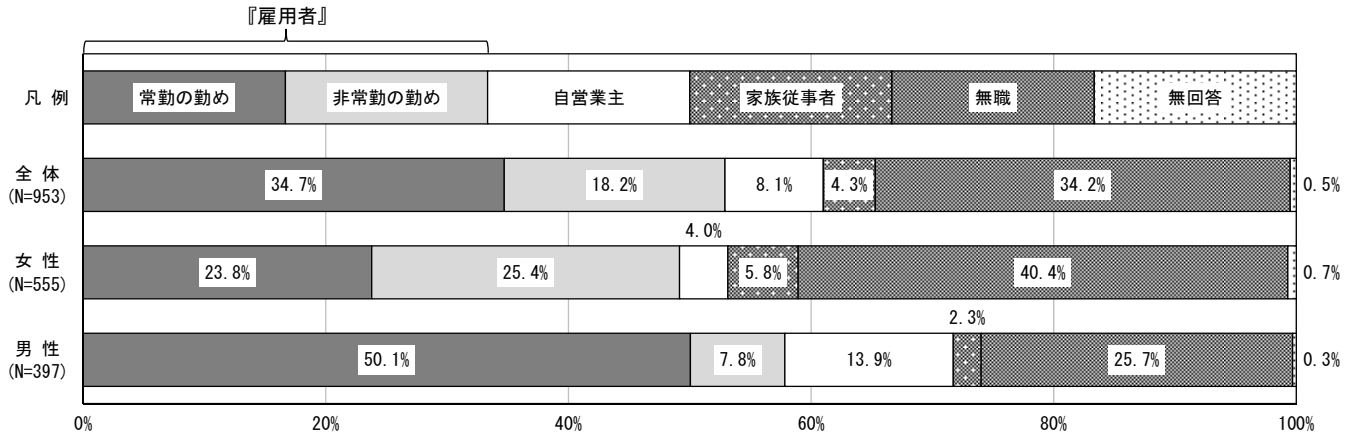
子どもの有無（全体・性別）

		サンプル数	いる	いない	無回答
	全体	100.0%	76.5%	22.7%	0.8%
		953	729	216	8
性別	女性	100.0%	78.6%	20.9%	0.5%
		555	436	116	3
	男性	100.0%	73.8%	25.2%	1.0%
		397	293	100	4

⑤ 職業区分（雇用者、自営業等）

回答者の職業区分については、『雇用者』（「常勤の勤め」と「非常勤の勤め」の合計）が52.9%、『無職』が34.2%、『自営業従事者』（「自営業主」と「家族従事者」の合計）が12.4%となっており、前回に比べ、『雇用者』の割合が増えている。

職業区分（全体・性別）

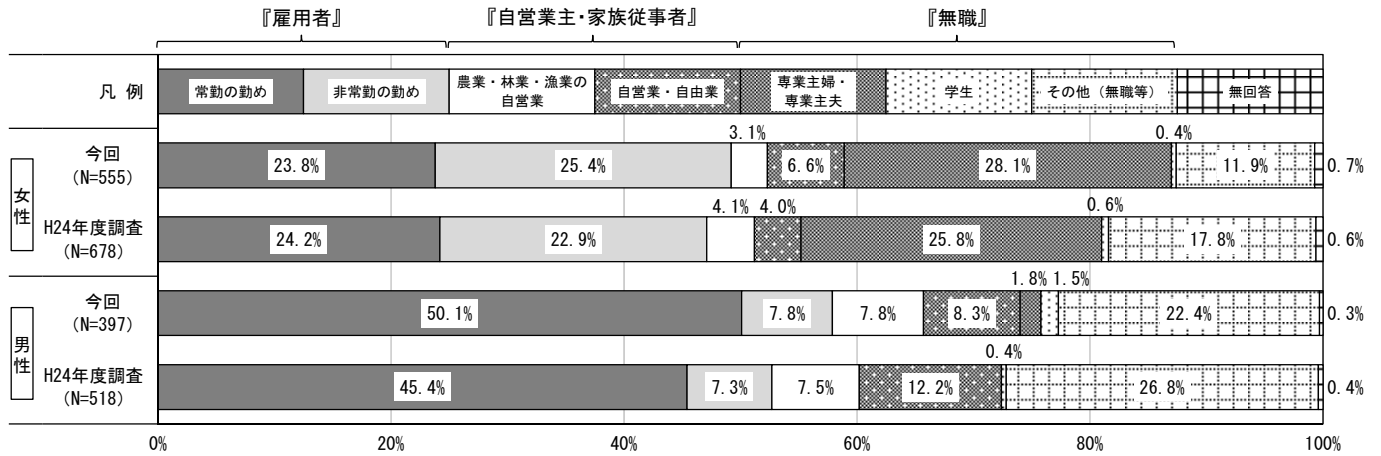


職業区分（全体・性別）

上段：度数 下段：構成比(%)	サンプル数	雇用者	雇用者			自営業主	（自営業主） 農林漁業	（自営業主） 商工サービス業	（自営業主） その他の自営業	家族従事者	（家族従事者） 農林漁業	（家族従事者） 商工サービス業	（家族従事者） その他の家族従事者	無職	主婦・主夫	学生	その他（無職等）	無回答
			（雇用者） 正規の職員・従業員、会社役員など	（雇用者） 非正規の職員・従業員（臨時職員・契約社員・パート・アルバイトなど）														
全 体	953	504	331	173	77	26	9	42	41	22	3	16	326	163	8	155	5	
	100.0%	52.9%	34.7%	18.2%	8.1%	2.7%	0.9%	4.4%	4.3%	2.3%	0.3%	1.7%	34.2%	17.1%	0.8%	16.3%	0.5%	
女性	555	273	132	141	22	2	3	17	32	15	3	14	224	156	2	66	4	
	100.0%	49.2%	23.8%	25.4%	4.0%	0.4%	0.5%	3.1%	5.8%	2.7%	0.5%	2.5%	40.4%	28.1%	0.4%	11.9%	0.7%	
20～29歳	52	38	23	15	0	0	0	0	1	0	1	0	13	7	2	4	0	
	100.0%	73.1%	44.2%	28.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.9%	0.0%	1.9%	0.0%	25.0%	13.5%	3.8%	7.7%	0.0%	
30～39歳	81	59	31	28	3	0	1	2	1	0	0	1	18	15	0	3	0	
	100.0%	72.8%	38.3%	34.6%	3.7%	0.0%	1.2%	2.5%	1.2%	0.0%	0.0%	1.2%	22.2%	18.5%	0.0%	3.7%	0.0%	
40～49歳	89	68	35	33	0	0	0	0	2	1	0	1	18	14	0	4	1	
	100.0%	76.4%	39.3%	37.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.2%	1.1%	0.0%	1.1%	20.2%	15.7%	0.0%	4.5%	1.1%	
50～59歳	109	64	32	32	7	0	0	7	6	2	0	4	31	25	0	6	1	
	100.0%	58.7%	29.4%	29.4%	6.4%	0.0%	0.0%	6.4%	5.5%	1.8%	0.0%	3.7%	28.4%	22.9%	0.0%	5.5%	0.9%	
60～69歳	131	41	10	31	9	0	1	8	15	8	2	5	65	51	0	14	1	
	100.0%	31.3%	7.6%	23.7%	6.9%	0.0%	0.8%	6.1%	11.5%	6.1%	1.5%	3.8%	49.6%	38.9%	0.0%	10.7%	0.8%	
70歳以上	93	3	1	2	3	2	1	0	7	4	0	3	79	44	0	35	1	
	100.0%	3.2%	1.1%	2.2%	3.2%	2.2%	1.1%	0.0%	7.5%	4.3%	0.0%	3.2%	84.9%	47.3%	0.0%	37.6%	1.1%	
男性	397	230	199	31	55	24	6	25	9	7	0	2	102	7	6	89	1	
	100.0%	57.9%	50.1%	7.8%	13.9%	6.0%	1.5%	6.3%	2.3%	1.8%	0.0%	0.5%	25.7%	1.8%	1.5%	22.4%	0.3%	
20～29歳	36	26	25	1	1	0	0	1	0	0	0	0	9	0	6	3	0	
	100.0%	72.2%	69.4%	2.8%	2.8%	0.0%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	16.7%	8.3%	0.0%	
30～39歳	57	51	49	2	5	1	0	4	1	1	0	0	0	0	0	0	0	
	100.0%	89.5%	86.0%	3.5%	8.8%	1.8%	0.0%	7.0%	1.8%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
40～49歳	57	50	47	3	4	2	0	2	1	1	0	0	2	0	0	2	0	
	100.0%	87.7%	82.5%	5.3%	7.0%	3.5%	0.0%	3.5%	1.8%	1.8%	0.0%	0.0%	3.5%	0.0%	0.0%	3.5%	0.0%	
50～59歳	76	57	49	8	12	4	2	6	1	1	0	0	6	1	0	5	0	
	100.0%	75.0%	64.5%	10.5%	15.8%	5.3%	2.6%	7.9%	1.3%	1.3%	0.0%	0.0%	7.9%	1.3%	0.0%	6.6%	0.0%	
60～69歳	100	38	25	13	22	10	4	8	4	3	0	1	36	2	0	34	0	
	100.0%	38.0%	25.0%	13.0%	22.0%	10.0%	4.0%	8.0%	4.0%	3.0%	0.0%	1.0%	36.0%	2.0%	0.0%	34.0%	0.0%	
70歳以上	71	8	4	4	11	7	0	4	2	1	0	1	49	4	0	45	1	
	100.0%	11.3%	5.6%	5.6%	15.5%	9.9%	0.0%	5.6%	2.8%	1.4%	0.0%	1.4%	69.0%	5.6%	0.0%	63.4%	1.4%	

. % : 各属性で最も高い割合

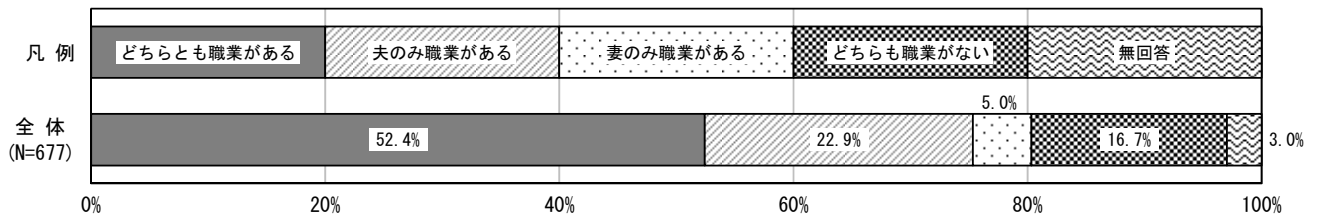
職業区分（性別）（比較：前回）



⑥ 夫婦の就労状況

結婚している人の、夫婦の職業の有無については、「どちらとも職業がある」が 52.4%、「夫のみ職業がある」が 22.9%、「妻のみ職業がある」が 5.0%、「どちらとも職業がない」が 16.7%となっている。（すなわち、共働きが 52.4%、片働きが 27.9%）

夫婦の就労状況（全体）



Ⅲ 調査結果

1 男女平等意識について

(1) 各分野における男女の地位の平等感

問1 あなたは、次のような分野で男女の地位が平等になっていると思いますか。
(各項目（分野）ごとに1つずつ選択)

◆社会通念、慣習・しきたりなどで男性が優遇されていると

感じている割合が高い◆

各分野における男女の地位の平等感については、「平等である」と回答した人の割合は「家庭の中で」（46.1%）が最も高く、次いで「学校（学校教育）の中で」（44.4%）、「職場の中で」（34.1%）、「法律や制度上で」（32.2%）の順となっている。

一方、「男性の方が優遇されている」と回答した人の割合は、「社会通念、慣習・しきたりなどで」（55.9%）が最も高く、次いで「地域社会の中で」（36.9%）の順となっており、すべての分野で「男性の方が優遇されている」という回答割合が、「女性の方が優遇されている」という回答割合を上回っている。（図表 1-1）

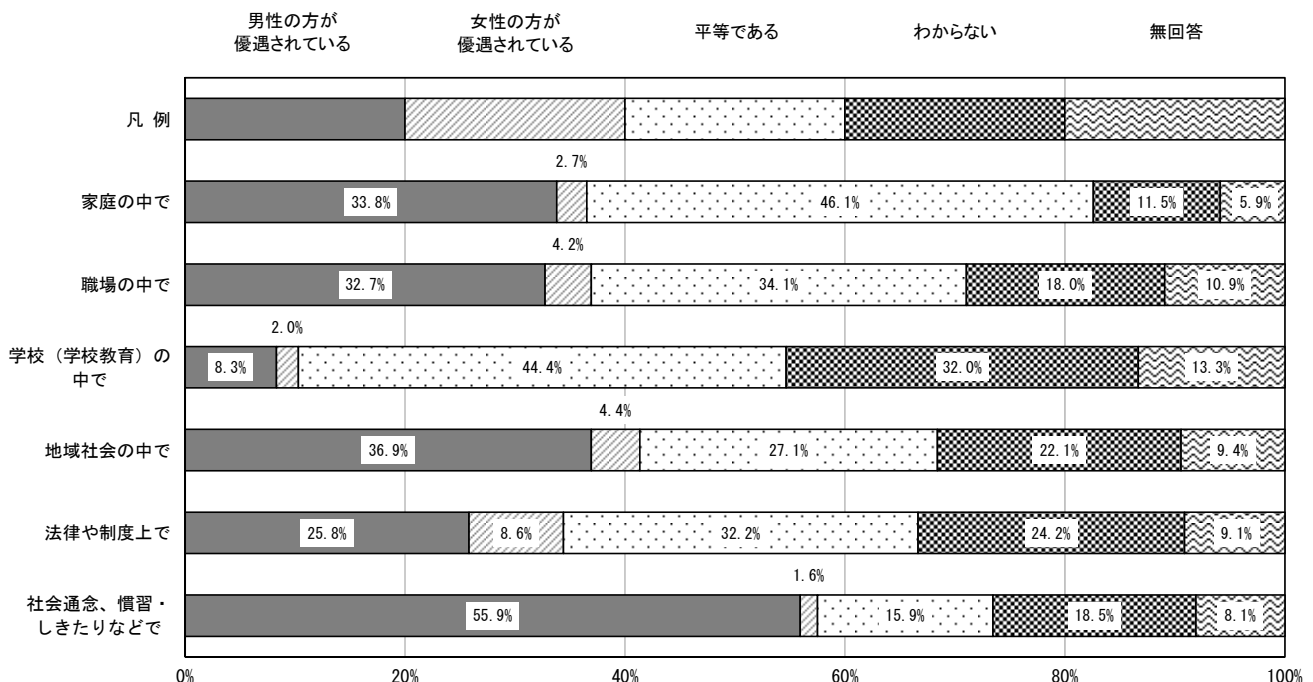
男女間で平等感の隔たりが最も大きいのは「家庭の中で」で、女性は『男性優遇』（42.7%）＞『平等』（38.6%）と男性の方が優遇されていると感じている人が多いのに対し、男性は『男性優遇』（21.4%）＜『平等』（56.7%）と半数以上が平等であると感じている。また、「職場の中で」、「地域社会の中で」、「法律や制度上で」もこれと似通った傾向となっている。（図表 1-2）

前回の調査結果と比較すると、「家庭の中で」、「職場の中で」は『男性優遇』の割合が減少し、『平等』の割合が高くなっており、その他の4分野では『男性優遇』も若干ではあるが高くなっている。

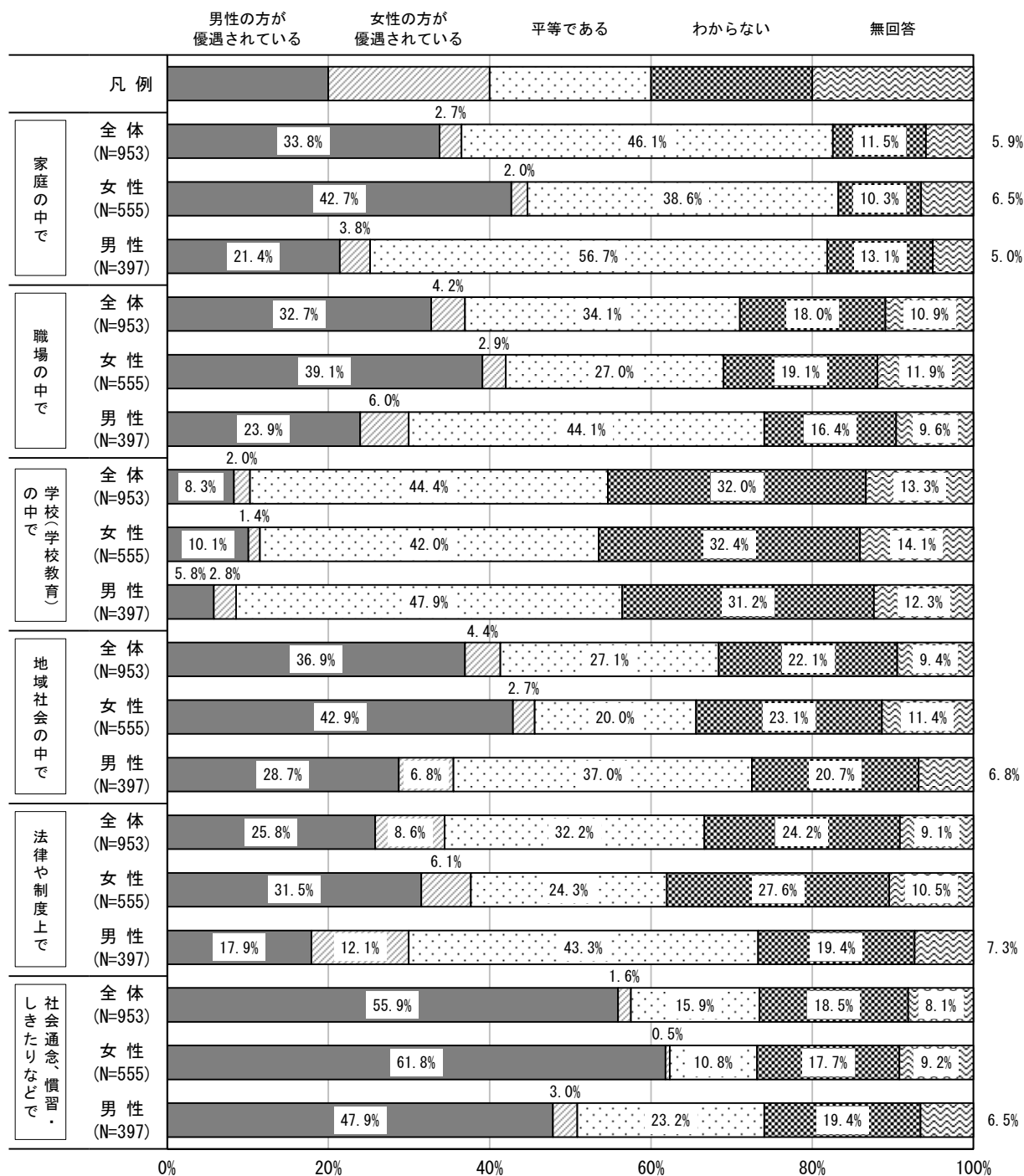
（図表 1-3～1-8）

県や内閣府（全国）の調査結果と比較すると、「家庭の中で」（県調査）、「職場の中で」（県・内閣府の調査）、「法律や制度上で」（内閣府調査）の調査結果は、本市と異なり、『平等』の割合よりも『男性優遇』の割合が高くなっており、「地域社会の中で」（内閣府調査）の調査結果は、『平等』の割合が『男性優遇』の割合より高くなっている。（図表 1-3～1-8）

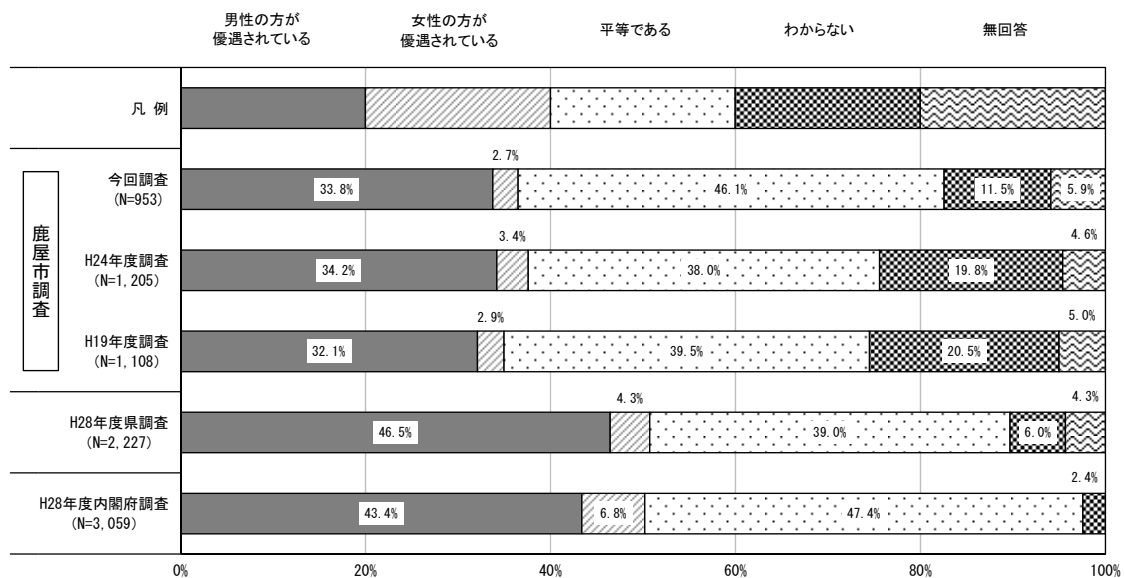
図表 1-1 各分野における男女の地位の平等感（全体）（N=953）



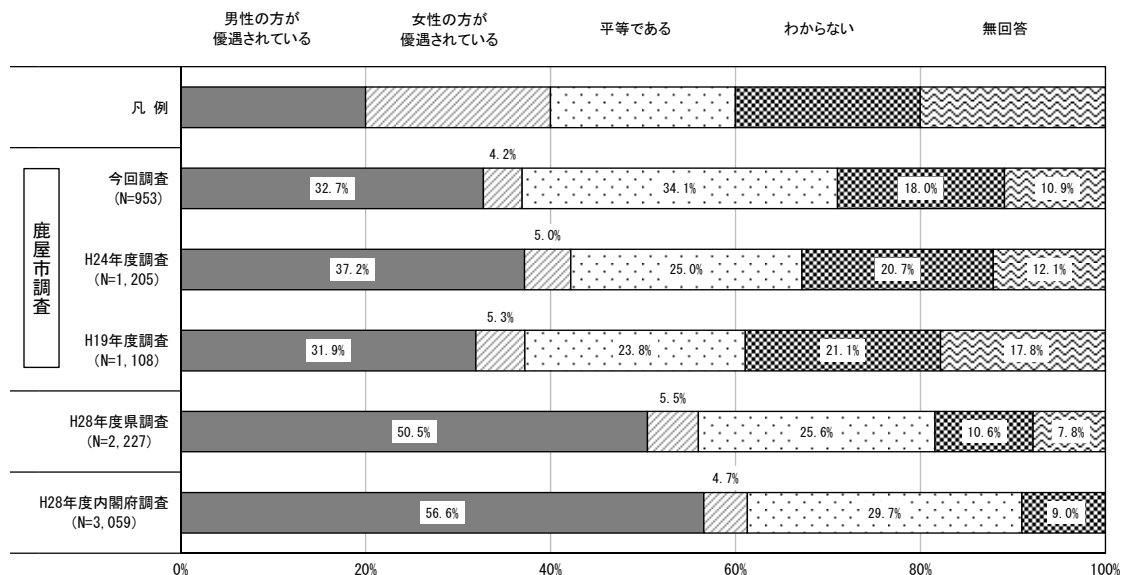
図表 1-2 各分野における男女の地位の平等感（全体・性別）



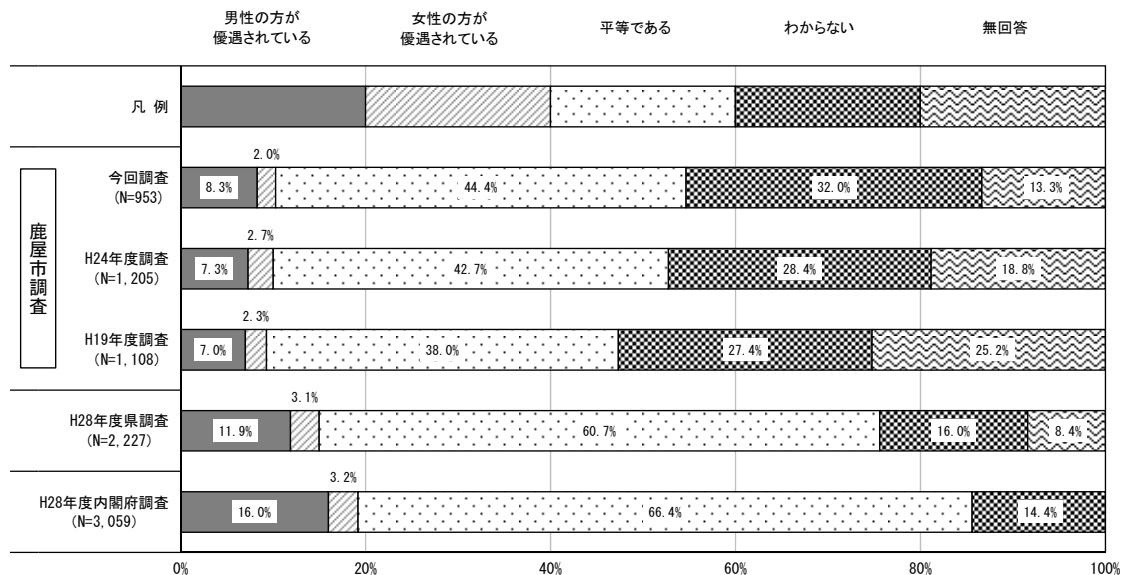
図表 1-3 各分野における男女の地位の平等感【家庭の中で】（比較：前回、県、国）



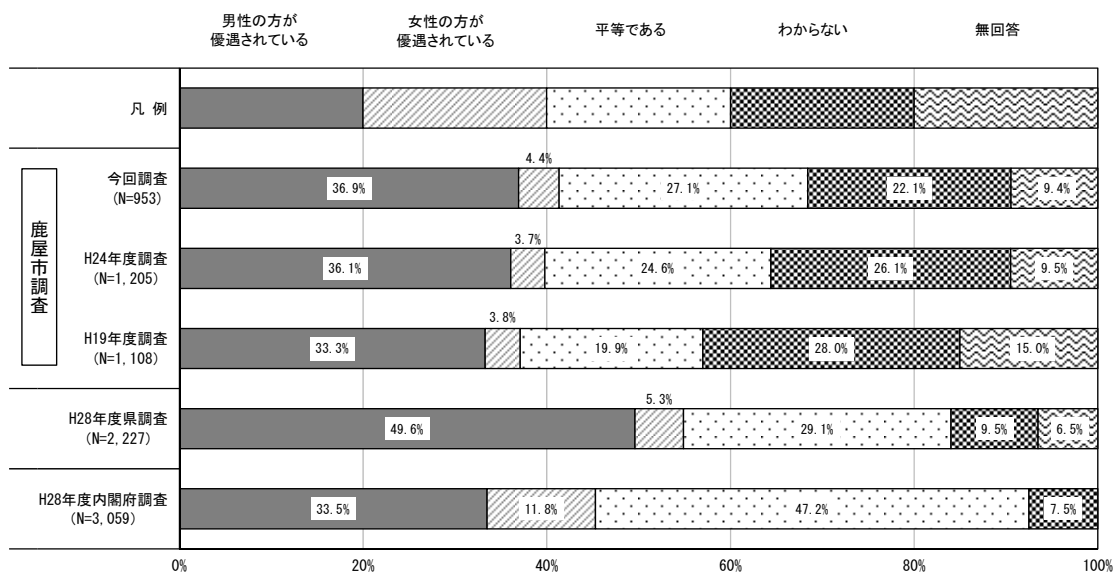
図表 1-4 各分野における男女の地位の平等感【職場の中で】（比較：前回、県、国）



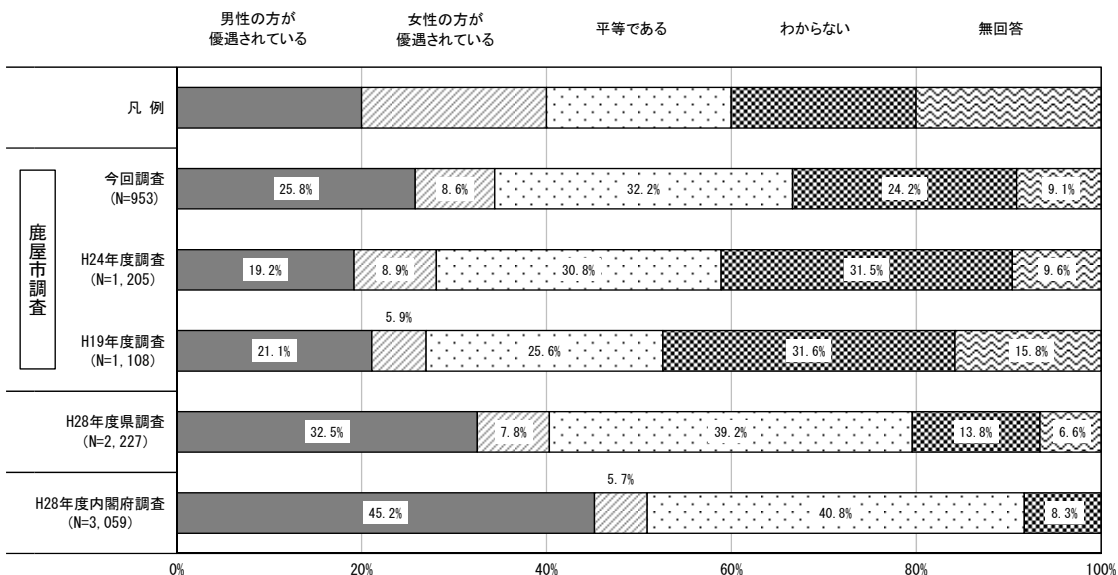
図表 1-5 各分野における男女の地位の平等感【学校（学校教育）の中で】（比較：前回、県、国）



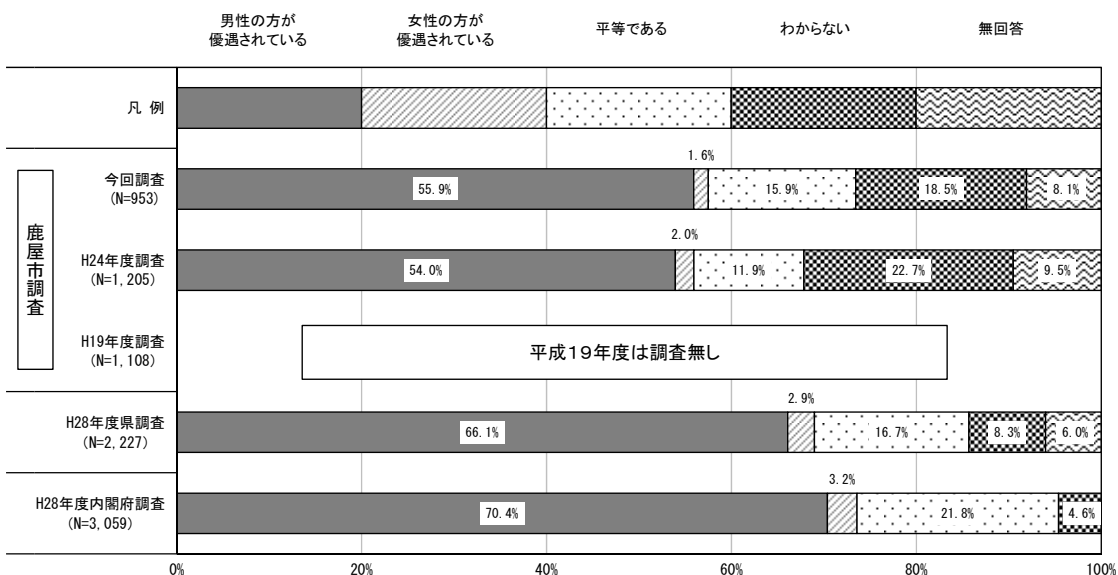
図表 1-6 各分野における男女の地位の平等感【地域社会の中で】（比較：前回、県、国）



図表 1-7 各分野における男女の地位の平等感【法律や制度上で】（比較：前回、県、国）



図表 1-8 各分野における男女の地位の平等感【社会通念、慣習・しきたりなどで】（比較：前回、県、国）



図表 1-9 各分野における男女の地位の平等感（全体・性別）

上段：度数 下段：構成比(%)	サンプル数	家庭の中で					職場の中で					学校（学校教育）の中で				
		男性の方が優遇 されている	女性の方が優遇 されている	平等である	わからない	無回答	男性の方が優遇 されている	女性の方が優遇 されている	平等である	わからない	無回答	男性の方が優遇 されている	女性の方が優遇 されている	平等である	わからない	無回答
全 体	953 100.0%	322 33.8%	26 2.7%	439 46.1%	110 11.5%	56 5.9%	312 32.7%	40 4.2%	325 34.1%	172 18.0%	104 10.9%	79 8.3%	19 2.0%	423 44.4%	305 32.0%	127 13.3%
女性	555 100.0%	237 42.7%	11 2.0%	214 38.6%	57 10.3%	36 6.5%	217 39.1%	16 2.9%	150 27.0%	106 19.1%	66 11.9%	56 10.1%	8 1.4%	233 42.0%	180 32.4%	78 14.1%
20～29歳	52 100.0%	18 34.6%	1 1.9%	24 46.2%	5 9.6%	4 7.7%	23 44.2%	1 1.9%	11 21.2%	14 26.9%	3 5.8%	4 7.7%	1 1.9%	27 51.9%	17 32.7%	3 5.8%
30～39歳	81 100.0%	33 40.7%	1 1.2%	32 39.5%	12 14.8%	3 3.7%	29 35.8%	6 7.4%	27 33.3%	16 19.8%	3 3.7%	5 6.2%	0 0.0%	39 48.1%	34 42.0%	3 3.7%
40～49歳	89 100.0%	43 48.3%	2 2.2%	36 40.4%	7 7.9%	1 1.1%	38 42.7%	2 2.2%	32 36.0%	14 15.7%	3 3.4%	9 10.1%	3 3.4%	44 49.4%	30 33.7%	3 3.4%
50～59歳	109 100.0%	58 53.2%	3 2.8%	33 30.3%	11 10.1%	4 3.7%	41 37.6%	5 4.6%	36 33.0%	22 20.2%	5 4.6%	10 9.2%	3 2.8%	51 46.8%	34 31.2%	11 10.1%
60～69歳	131 100.0%	55 42.0%	3 2.3%	49 37.4%	14 10.7%	10 7.6%	59 45.0%	0 0.0%	33 25.2%	20 15.3%	19 14.5%	17 13.0%	1 0.8%	49 37.4%	40 30.5%	24 18.3%
70歳以上	93 100.0%	30 32.3%	1 1.1%	40 43.0%	8 8.6%	14 15.1%	27 29.0%	2 2.2%	11 11.8%	20 21.5%	33 35.5%	11 11.8%	0 0.0%	23 24.7%	25 26.9%	34 36.6%
男性	397 100.0%	85 21.4%	15 3.8%	225 56.7%	52 13.1%	20 5.0%	95 23.9%	24 6.0%	175 44.1%	65 16.4%	38 9.6%	23 5.8%	11 2.8%	190 47.9%	124 31.2%	49 12.3%
20～29歳	36 100.0%	4 11.1%	4 11.1%	17 47.2%	9 25.0%	2 5.6%	11 30.6%	3 8.3%	15 41.7%	5 13.9%	2 5.6%	1 2.8%	4 11.1%	20 55.6%	8 22.2%	3 8.3%
30～39歳	57 100.0%	11 19.3%	3 5.3%	33 57.9%	8 14.0%	2 3.5%	11 19.3%	7 12.3%	31 54.4%	6 10.5%	2 3.5%	0 0.0%	2 3.5%	30 52.6%	22 38.6%	3 5.3%
40～49歳	57 100.0%	13 22.8%	1 1.8%	34 59.6%	9 15.8%	0 0.0%	12 21.1%	9 15.8%	24 42.1%	11 19.3%	1 1.8%	6 10.5%	1 1.8%	35 61.4%	14 24.6%	1 1.8%
50～59歳	76 100.0%	17 22.4%	3 3.9%	39 51.3%	12 15.8%	5 6.6%	21 27.6%	5 6.6%	35 46.1%	13 17.1%	2 2.6%	4 5.3%	3 3.9%	35 46.1%	28 36.8%	6 7.9%
60～69歳	100 100.0%	26 26.0%	1 1.0%	63 63.0%	5 5.0%	5 5.0%	30 30.0%	0 0.0%	46 46.0%	12 12.0%	12 12.0%	10 10.0%	1 1.0%	42 42.0%	31 31.0%	16 16.0%
70歳以上	71 100.0%	14 19.7%	3 4.2%	39 54.9%	9 12.7%	6 8.5%	10 14.1%	0 0.0%	24 33.8%	18 25.4%	19 26.8%	2 2.8%	0 0.0%	28 39.4%	21 29.6%	20 28.2%

. % : 各属性で最も高い割合

上段：度数 下段：構成比(%)	サンプル数	地域社会の中で					法律や制度上で					社会通念、慣習・しきたりなどで				
		男性の方が優遇 されている	女性の方が優遇 されている	平等である	わからない	無回答	男性の方が優遇 されている	女性の方が優遇 されている	平等である	わからない	無回答	男性の方が優遇 されている	女性の方が優遇 されている	平等である	わからない	無回答
全 体	953 100.0%	352 36.9%	42 4.4%	258 27.1%	211 22.1%	90 9.4%	246 25.8%	82 8.6%	307 32.2%	231 24.2%	87 9.1%	533 55.9%	15 1.6%	152 15.9%	176 18.5%	77 8.1%
女性	555 100.0%	238 42.9%	15 2.7%	111 20.0%	128 23.1%	63 11.4%	175 31.5%	34 6.1%	135 24.3%	153 27.6%	58 10.5%	343 61.8%	3 0.5%	60 10.8%	98 17.7%	51 9.2%
20～29歳	52 100.0%	19 36.5%	4 7.7%	11 21.2%	15 28.8%	3 5.8%	17 32.7%	9 17.3%	9 17.3%	14 26.9%	3 5.8%	29 55.8%	1 1.9%	5 9.6%	14 26.9%	3 5.8%
30～39歳	81 100.0%	24 29.6%	2 2.5%	20 24.7%	31 38.3%	4 4.9%	23 28.4%	10 12.3%	15 18.5%	29 35.8%	4 4.9%	51 63.0%	0 0.0%	6 7.4%	21 25.9%	3 3.7%
40～49歳	89 100.0%	46 51.7%	3 3.4%	18 20.2%	20 22.5%	2 2.2%	35 39.3%	6 6.7%	24 27.0%	22 24.7%	2 2.2%	65 73.0%	0 0.0%	10 11.2%	12 13.5%	2 2.2%
50～59歳	109 100.0%	55 50.5%	4 3.7%	22 20.2%	22 20.2%	6 5.5%	42 38.5%	3 2.8%	29 26.6%	29 26.6%	6 5.5%	77 70.6%	1 0.9%	12 11.0%	13 11.9%	6 5.5%
60～69歳	131 100.0%	63 48.1%	2 1.5%	23 17.6%	25 19.1%	18 13.7%	42 32.1%	6 4.6%	32 24.4%	36 27.5%	15 11.5%	81 61.8%	0 0.0%	15 11.5%	23 17.6%	12 9.2%
70歳以上	93 100.0%	31 33.3%	0 0.0%	17 18.3%	15 16.1%	30 32.3%	16 17.2%	0 0.0%	26 28.0%	23 24.7%	28 30.1%	40 43.0%	1 1.1%	12 12.9%	15 16.1%	26 26.9%
男性	397 100.0%	114 28.7%	27 6.8%	147 37.0%	82 20.7%	27 6.8%	71 17.9%	48 12.1%	172 43.3%	77 19.4%	29 7.3%	190 47.9%	12 3.0%	92 23.2%	77 19.4%	26 6.5%
20～29歳	36 100.0%	9 25.0%	3 8.3%	11 30.6%	10 27.8%	3 8.3%	5 13.9%	6 16.7%	15 41.7%	8 22.2%	2 5.6%	10 27.8%	0 0.0%	13 36.1%	12 33.3%	1 2.8%
30～39歳	57 100.0%	14 24.6%	9 15.8%	20 35.1%	12 21.1%	2 3.5%	9 15.8%	14 24.6%	21 36.8%	11 19.3%	2 3.5%	24 42.1%	5 8.8%	13 22.8%	13 22.8%	2 3.5%
40～49歳	57 100.0%	18 31.6%	4 7.0%	23 40.4%	12 21.1%	0 0.0%	8 14.0%	8 14.0%	31 54.4%	9 15.8%	1 1.8%	34 59.6%	2 3.5%	14 24.6%	7 12.3%	0 0.0%
50～59歳	76 100.0%	25 32.9%	5 6.6%	25 32.9%	19 25.0%	2 2.6%	17 22.4%	14 18.4%	26 34.2%	17 22.4%	2 2.6%	43 56.6%	2 2.6%	12 15.8%	16 21.1%	3 3.9%
60～69歳	100 100.0%	37 37.0%	3 3.0%	42 42.0%	12 12.0%	6 6.0%	26 26.0%	6 6.0%	47 47.0%	14 14.0%	7 7.0%	56 56.0%	1 1.0%	25 25.0%	13 13.0%	5 5.0%
70歳以上	71 100.0%	11 15.5%	3 4.2%	26 36.6%	17 23.9%	14 19.7%	6 8.5%	0 0.0%	32 45.1%	18 25.4%	15 21.1%	23 32.4%	2 2.8%	15 21.1%	16 22.5%	15 21.1%

. % : 各属性で最も高い割合

(2) 社会全体における男女の地位の平等感

問2 あなたは社会全体で見た場合には、男女の地位は平等になっていると思いますか。
(1つ選択)

◆「男性優遇」が男女ともに「女性優遇」を大きく上回る◆

社会全体でみた場合の男女の地位の平等感については、『男性優遇』(66.4%、「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の合計)が、『女性優遇』(6.3%、「女性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の合計)を60ポイント上回っている。

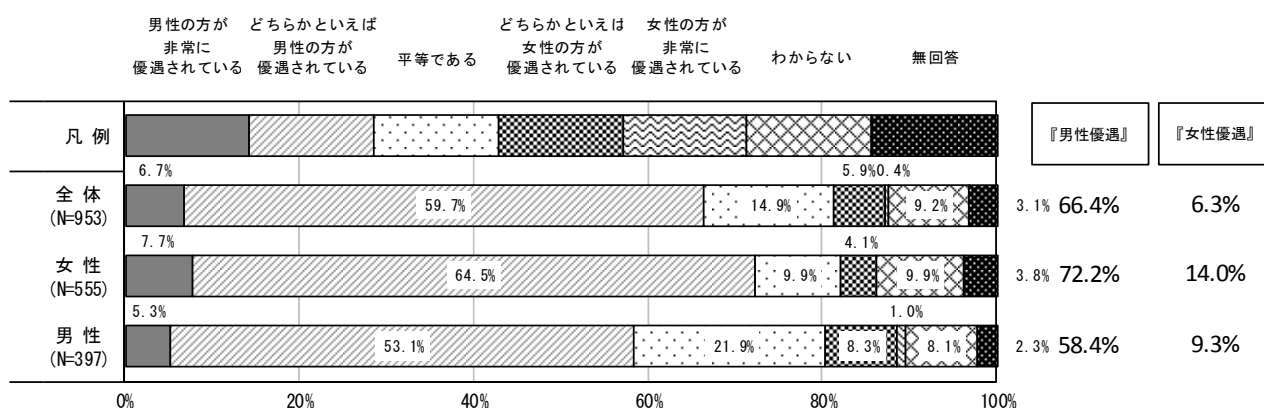
性別でみると、男性優遇と感じている人の割合は女性が男性に比べて13.8%高く、「平等である」と感じている人の割合は男性が女性に比べて12.0%高くなっている。(図表1-10)

年代別にみると、すべての年代において、男女ともに「どちらかといえば男性の方が優遇されている」という割合が最も高く、特に40代女性は70.8%、50代女性は70.6%となっている。(図表1-12)

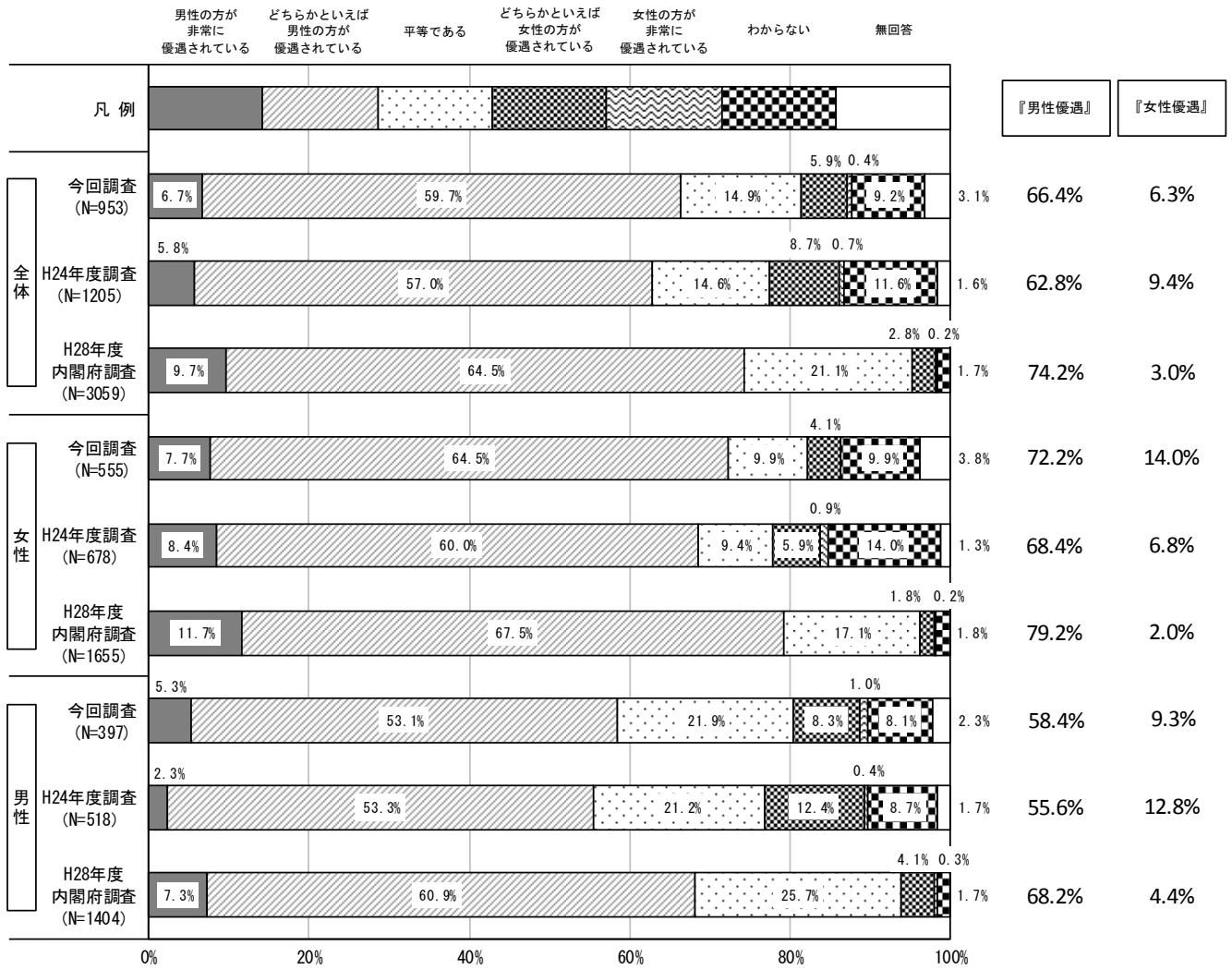
前回の調査結果と比較すると、今回、『男性優遇』の割合がやや高くなっている。(図表1-11)

内閣府(全国)の調査結果では、『男性優遇』(74.2%)が『女性優遇』(3.0%)を約70ポイント上回っており、本市以上に男性優遇と感じている人の割合は高くなっている。(図表1-11)

図表 1-10 社会全体における男女の地位の平等感(全体・性別)



図表 1-11 社会全体における男女の地位の平等感（比較：前回、国）



図表 1-12 社会全体における男女の地位の平等感（全体、性・年代別）

	サンプル数	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
上段：度数 下段：構成比(%)								
全 体	953 100.0%	64 6.7%	569 59.7%	142 14.9%	56 5.9%	4 0.4%	88 9.2%	30 3.1%
女性	555 100.0%	43 7.7%	358 64.5%	55 9.9%	23 4.1%	0 0.0%	55 9.9%	21 3.8%
20～29歳	52 100.0%	2 3.8%	30 57.7%	6 11.5%	4 7.7%	0 0.0%	7 13.5%	3 5.8%
30～39歳	81 100.0%	7 8.6%	49 60.5%	12 14.8%	4 4.9%	0 0.0%	6 7.4%	3 3.7%
40～49歳	89 100.0%	10 11.2%	63 70.8%	6 6.7%	4 4.5%	0 0.0%	5 5.6%	1 1.1%
50～59歳	109 100.0%	7 6.4%	77 70.6%	9 8.3%	4 3.7%	0 0.0%	9 8.3%	3 2.8%
60～69歳	131 100.0%	11 8.4%	87 66.4%	11 8.4%	5 3.8%	0 0.0%	11 8.4%	6 4.6%
70歳以上	93 100.0%	6 6.5%	52 55.9%	11 11.8%	2 2.2%	0 0.0%	17 18.3%	5 5.4%
男性	397 100.0%	21 5.3%	211 53.1%	87 21.9%	33 8.3%	4 1.0%	32 8.1%	9 2.3%
20～29歳	36 100.0%	1 2.8%	19 52.8%	6 16.7%	4 11.1%	2 5.6%	3 8.3%	1 2.8%
30～39歳	57 100.0%	0 0.0%	25 43.9%	11 19.3%	10 17.5%	0 0.0%	9 15.8%	2 3.5%
40～49歳	57 100.0%	3 5.3%	31 54.4%	13 22.8%	2 3.5%	1 1.8%	6 10.5%	1 1.8%
50～59歳	76 100.0%	9 11.8%	37 48.7%	14 18.4%	11 14.5%	1 1.3%	4 5.3%	0 0.0%
60～69歳	100 100.0%	7 7.0%	62 62.0%	21 21.0%	4 4.0%	0 0.0%	3 3.0%	3 3.0%
70歳以上	71 100.0%	1 1.4%	37 52.1%	22 31.0%	2 2.8%	0 0.0%	7 9.9%	2 2.8%

. % : 各属性で最も高い割合

(3) 今後女性が増える方がよいと思う職業や役職

問3 次にあげる職業や役職において、今後女性が増える方がよいと思うのはどれですか。
(複数回答)

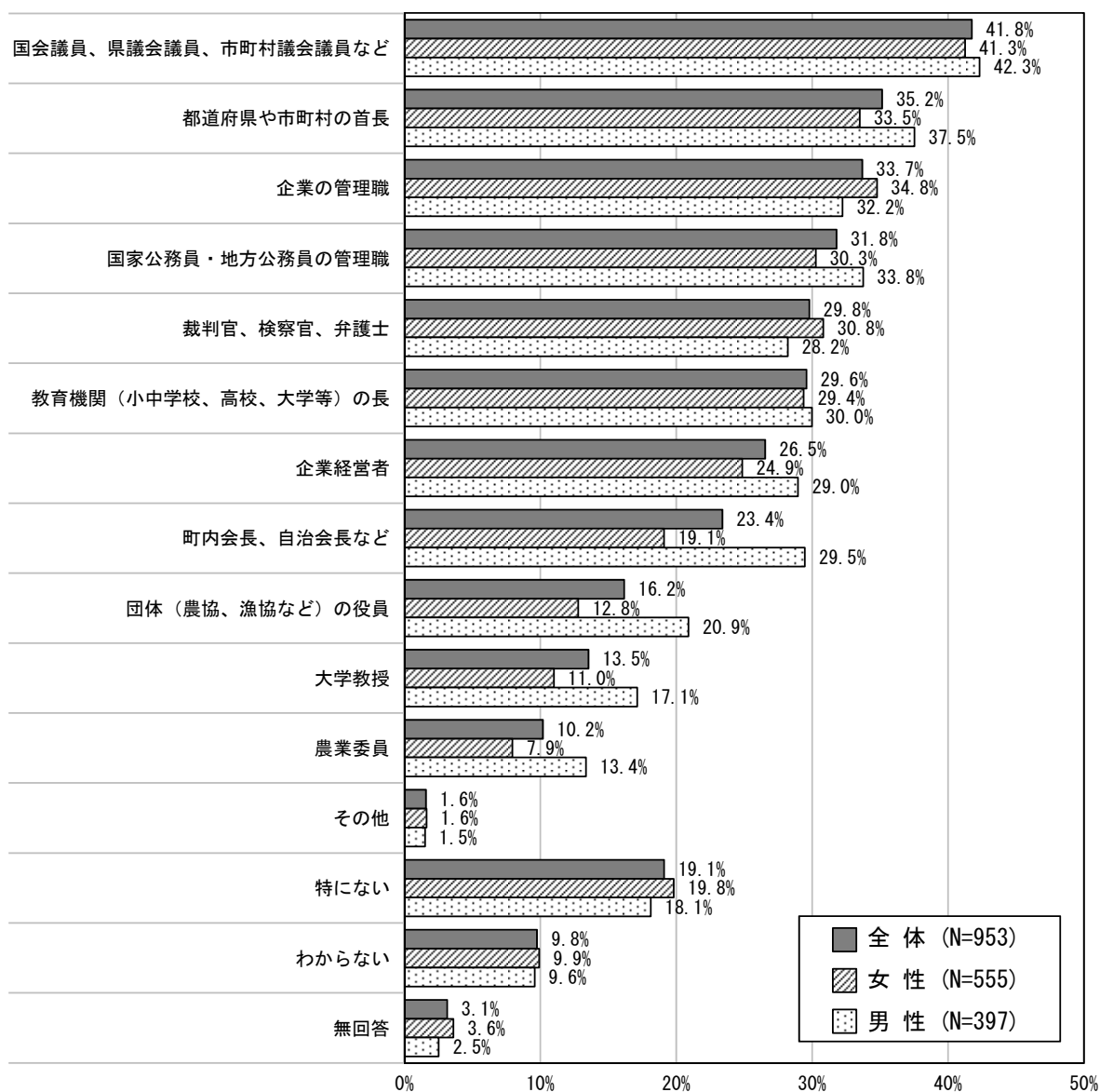
◆行政や雇用分野の指導的地位に女性が増えることを望む割合が高い◆

今後女性が増える方がよいと思う職業や役職については、「国会議員、県議会議員、市町村議会議員など」(41.8%)と回答した人の割合が最も高く、次いで「都道府県や市町村の首長」(35.2%)、「企業の管理職」(33.7%)、「国家公務員・地方公務員の管理職」(31.8%)の順となっており、特に政治や行政、雇用分野の指導的地位に女性が増えることを望む割合が高くなっている。

性別でみると、町内会長や団体（農協、漁協等）役員、農業委員などに女性が増えることを望む割合については、男性の方が女性に比べてかなり高くなっている。（図表 1-13）

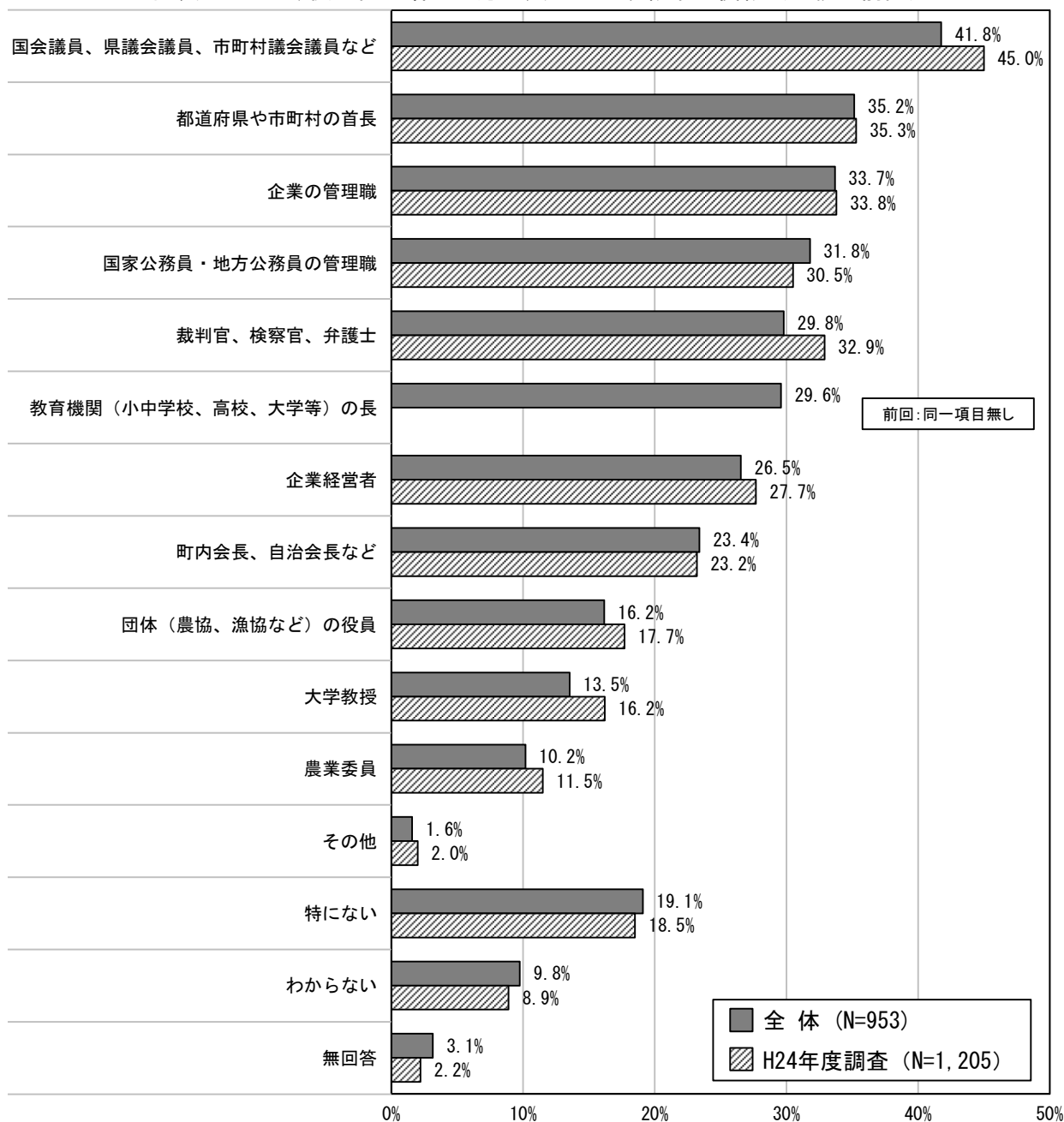
前回の調査結果と比較すると、今回も前回とほぼ同様の傾向となっている。（図表 1-14）

図表 1-13 今後女性が増える方がよいと思う職業や役職（全体・性別）



※「その他」意見については、100 ページに記載

図表 1-14 今後女性が増える方が良いと思う職業や役職（比較：前回）



図表 1-15 今後女性が増える方が良いと思う職業や役職（全体、性・年代別）

上段：度数 下段：構成比(%)	サンプル数	都道府県や市町村の首長	国会議員、 国会議員、 県議会議員、 市町村議	国家公務員、 地方公務員の 管理職	裁判官、 検察官、 弁護士	大学教授	等）の長 （小中学校、 高校、大学	企業の管理職	企業経営者
全 体	953 -	335 35.2%	398 41.8%	303 31.8%	284 29.8%	129 13.5%	282 29.6%	321 33.7%	253 26.5%
女性	555 -	186 33.5%	229 41.3%	168 30.3%	171 30.8%	61 11.0%	163 29.4%	193 34.8%	138 24.9%
20～29歳	52 -	20 38.5%	24 46.2%	14 26.9%	24 46.2%	9 17.3%	20 38.5%	22 42.3%	17 32.7%
30～39歳	81 -	32 39.5%	36 44.4%	30 37.0%	33 40.7%	11 13.6%	21 25.9%	31 38.3%	24 29.6%
40～49歳	89 -	29 32.6%	41 46.1%	30 33.7%	28 31.5%	11 12.4%	30 33.7%	38 42.7%	26 29.2%
50～59歳	109 -	39 35.8%	45 41.3%	35 32.1%	30 27.5%	15 13.8%	33 30.3%	37 33.9%	30 27.5%
60～69歳	131 -	45 34.4%	54 41.2%	36 27.5%	35 26.7%	10 7.6%	35 26.7%	44 33.6%	26 19.8%
70歳以上	93 -	21 22.6%	29 31.2%	23 24.7%	21 22.6%	5 5.4%	24 25.8%	21 22.6%	15 16.1%
男性	397 -	149 37.5%	168 42.3%	134 33.8%	112 28.2%	68 17.1%	119 30.0%	128 32.2%	115 29.0%
20～29歳	36 -	6 16.7%	10 27.8%	4 11.1%	10 27.8%	4 11.1%	7 19.4%	11 30.6%	11 30.6%
30～39歳	57 -	19 33.3%	23 40.4%	13 22.8%	13 22.8%	6 10.5%	13 22.8%	16 28.1%	18 31.6%
40～49歳	57 -	25 43.9%	22 38.6%	25 43.9%	23 40.4%	15 26.3%	21 36.8%	23 40.4%	20 35.1%
50～59歳	76 -	34 44.7%	35 46.1%	27 35.5%	22 28.9%	14 18.4%	25 32.9%	25 32.9%	24 31.6%
60～69歳	100 -	39 39.0%	44 44.0%	39 39.0%	26 26.0%	19 19.0%	34 34.0%	30 30.0%	29 29.0%
70歳以上	71 -	26 36.6%	34 47.9%	26 36.6%	18 25.4%	10 14.1%	19 26.8%	23 32.4%	13 18.3%

上段：度数 下段：構成比(%)	サンプル数	団体（農協、 漁協など） の役員	農業委員	町内会長、 自治会長など	その他	特にない	わからない	無回答
全 体	953 -	154 16.2%	97 10.2%	223 23.4%	15 1.6%	182 19.1%	93 9.8%	30 3.1%
女性	555 -	71 12.8%	44 7.9%	106 19.1%	9 1.6%	110 19.8%	55 9.9%	20 3.6%
20～29歳	52 -	9 17.3%	4 7.7%	11 21.2%	2 3.8%	7 13.5%	3 5.8%	3 5.8%
30～39歳	81 -	10 12.3%	7 8.6%	13 16.0%	2 2.5%	12 14.8%	8 9.9%	3 3.7%
40～49歳	89 -	16 18.0%	8 9.0%	9 10.1%	3 3.4%	17 19.1%	6 6.7%	1 1.1%
50～59歳	109 -	11 10.1%	8 7.3%	18 16.5%	2 1.8%	23 21.1%	11 10.1%	3 2.8%
60～69歳	131 -	17 13.0%	8 6.1%	26 19.8%	0 0.0%	30 22.9%	15 11.5%	5 3.8%
70歳以上	93 -	8 8.6%	9 9.7%	29 31.2%	0 0.0%	21 22.6%	12 12.9%	5 5.4%
男性	397 -	83 20.9%	53 13.4%	117 29.5%	6 1.5%	72 18.1%	38 9.6%	10 2.5%
20～29歳	36 -	2 5.6%	2 5.6%	4 11.1%	0 0.0%	9 25.0%	6 16.7%	0 0.0%
30～39歳	57 -	8 14.0%	7 12.3%	11 19.3%	1 1.8%	14 24.6%	5 8.8%	2 3.5%
40～49歳	57 -	18 31.6%	10 17.5%	17 29.8%	2 3.5%	12 21.1%	5 8.8%	0 0.0%
50～59歳	76 -	17 22.4%	11 14.5%	28 36.8%	2 2.6%	9 11.8%	5 6.6%	2 2.6%
60～69歳	100 -	23 23.0%	10 10.0%	35 35.0%	1 1.0%	18 18.0%	8 8.0%	3 3.0%
70歳以上	71 -	15 21.1%	13 18.3%	22 31.0%	0 0.0%	10 14.1%	9 12.7%	3 4.2%

. % : 各属性で最も高い割合

(4) 男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために、重要だと思うこと

問4 あなたは、今後、男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために、何が最も重要だと思いますか。（1つ選択）

◆「女性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念、慣習・しきたりを改めること」で男女の割合が高い◆

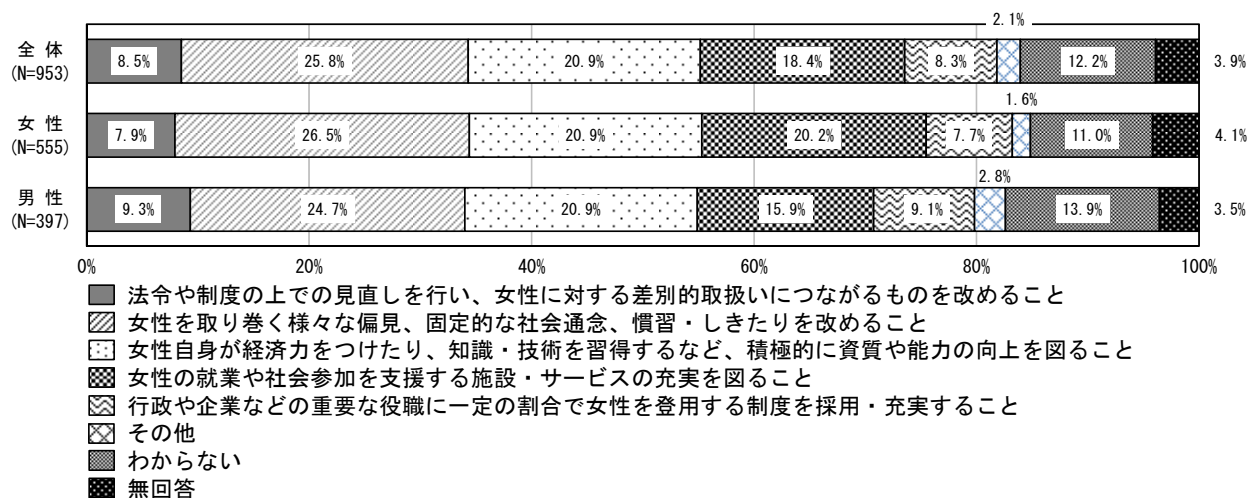
男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために、重要だと思うことについては、「女性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念、慣習・しきたりを改めること」（25.8%）と回答した人の割合が最も高く、次いで「女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど、積極的に資質や能力の向上を図ること」（20.9%）、「女性の就業や社会参加を支援する施設・サービスの充実を図ること」（18.4%）の順となっている。

性別でみると、女性は「女性の就業や社会参加を支援する施設・サービスの充実を図ること」と回答した割合が男性より高く、男性は「法令や制度の上での見直しを行い、女性に対する差別的取扱いにつながるものを改めること」、「行政や企業などの重要な役職に一定の割合で女性を登用する制度を採用・充実すること」が女性よりやや高くなっている。（図表 1-16）

県の調査結果と比較すると、本市は県とほぼ同様の傾向となっている。（図表 1-17）

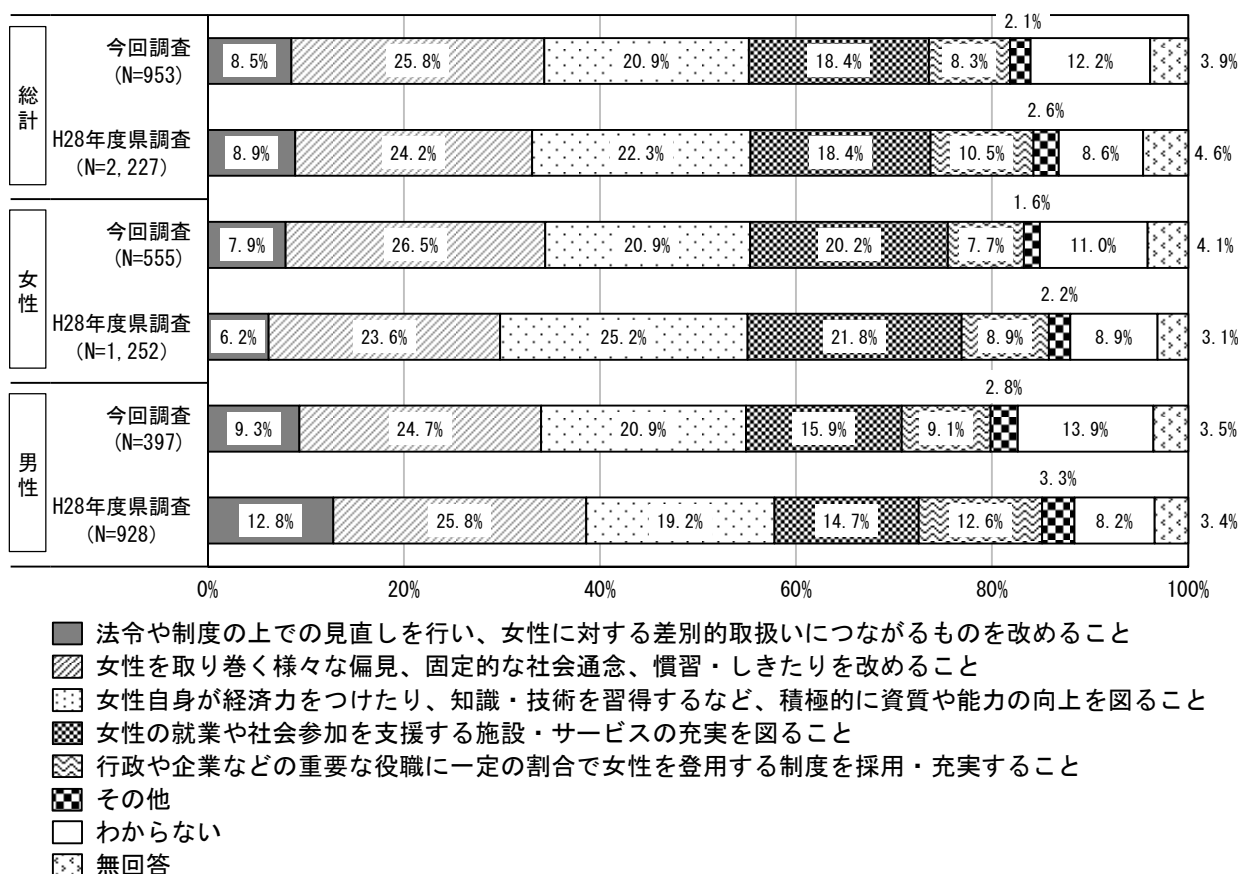
社会全体における男女の地位の平等感（問2）で「女性の方が優遇されている」と回答した男性は、男女が社会のあらゆる分野で平等になるために重要だと思うことについて、「女性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念、慣習・しきたりを改めること」という回答割合が低くなっている。（図表 1-18）

図表 1-16 男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために、重要だと思うこと（全体・性別）



※「その他」意見については、100 ページに記載

図表 1-17 男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために、重要だと思うこと（比較：県）



図表 1-18 「男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために、重要だと思うこと」
×「社会全体における男女の地位の平等感」（クロス集計）

		サンプル数	法令や制度の上での見直しを行い、女性に対する差別的取扱いにつながるものを改めること	女性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念、慣習・しきたりを改めること	女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど、積極的に資質や能力の向上を図ること	女性の就業や社会参加を支援する施設・サービスの充実を図ること	行政や企業などの重要な役職に一定の割合で女性を登用する制度を採用・充実すること	その他	わからない	無回答
上段：度数 下段：構成比(%)										
男女の地位平等感	男性の方が優遇されている	633	62	196	128	130	59	12	39	7
		100.0%	9.8%	31.0%	20.2%	20.5%	9.3%	1.9%	6.2%	1.1%
	うち男性の回答	232	27	72	42	40	23	5	19	4
		100.0%	11.6%	31.0%	18.1%	17.2%	9.9%	2.2%	8.2%	1.7%
	うち女性の回答	401	35	124	86	90	36	7	20	3
		100.0%	8.7%	30.9%	21.4%	22.4%	9.0%	1.7%	5.0%	0.7%
	女性の方が優遇されている	60	1	10	19	11	4	3	12	0
		100.0%	1.7%	16.7%	31.7%	18.3%	6.7%	5.0%	20.0%	0.0%
	うち男性の回答	37	1	4	14	5	2	3	8	0
		100.0%	2.7%	10.8%	37.8%	13.5%	5.4%	8.1%	21.6%	0.0%
	うち女性の回答	23	0	6	5	6	2	0	4	0
		100.0%	0.0%	26.1%	21.7%	26.1%	8.7%	0.0%	17.4%	0.0%

■ . % : 各属性で最も高い割合

※上記クロス集計表については、問2の回答者が、男女が平等になるために何が重要と考えているかを集計している。

図表 1-19 男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために、重要だと思うこと（全体、性・年代別）

		サンプル数	女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど、積極的に資質や能力の向上を図ること					女性自身の就業や社会参加を支援する施設・サービスの充実を図ること	行政や企業などの重要な役職に一定の割合で女性を登用する制度を採用・充実すること	その他	わからない	無回答
上段：度数 下段：構成比(%)												
性・年代別	全 体	953 100.0%	81 8.5%	246 25.8%	199 20.9%	175 18.4%	79 8.3%	20 2.1%	116 12.2%	37 3.9%		
	女性	555 100.0%	44 7.9%	147 26.5%	116 20.9%	112 20.2%	43 7.7%	9 1.6%	61 11.0%	23 4.1%		
	20～29歳	52 100.0%	3 5.8%	19 36.5%	5 9.6%	12 23.1%	5 9.6%	0 0.0%	5 9.6%	3 5.8%		
	30～39歳	81 100.0%	5 6.2%	23 28.4%	14 17.3%	22 27.2%	5 6.2%	3 3.7%	5 6.2%	4 4.9%		
	40～49歳	89 100.0%	6 6.7%	30 33.7%	15 16.9%	25 28.1%	6 6.7%	2 2.2%	3 3.4%	2 2.2%		
	50～59歳	109 100.0%	14 12.8%	25 22.9%	22 20.2%	19 17.4%	10 9.2%	1 0.9%	14 12.8%	4 3.7%		
	60～69歳	131 100.0%	9 6.9%	36 27.5%	34 26.0%	21 16.0%	15 11.5%	2 1.5%	11 8.4%	3 2.3%		
	70歳以上	93 100.0%	7 7.5%	14 15.1%	26 28.0%	13 14.0%	2 2.2%	1 1.1%	23 24.7%	7 7.5%		
	男性	397 100.0%	37 9.3%	98 24.7%	83 20.9%	63 15.9%	36 9.1%	11 2.8%	55 13.9%	14 3.5%		
	20～29歳	36 100.0%	4 11.1%	8 22.2%	5 13.9%	8 22.2%	2 5.6%	0 0.0%	7 19.4%	2 5.6%		
	30～39歳	57 100.0%	3 5.3%	15 26.3%	9 15.8%	10 17.5%	2 3.5%	4 7.0%	12 21.1%	2 3.5%		
	40～49歳	57 100.0%	5 8.8%	22 38.6%	11 19.3%	10 17.5%	4 7.0%	1 1.8%	4 7.0%	0 0.0%		
	50～59歳	76 100.0%	11 14.5%	17 22.4%	15 19.7%	11 14.5%	10 13.2%	5 6.6%	6 7.9%	1 1.3%		
	60～69歳	100 100.0%	7 7.0%	25 25.0%	25 25.0%	18 18.0%	8 8.0%	1 1.0%	12 12.0%	4 4.0%		
	70歳以上	71 100.0%	7 9.9%	11 15.5%	18 25.4%	6 8.5%	10 14.1%	0 0.0%	14 19.7%	5 7.0%		

. % : 各属性で最も高い割合

2 家庭生活・地域活動について

(1) 家庭における役割分担

問5 【現在結婚している方、結婚してはいないがパートナーと暮らしている方におたずねします。】
あなたのご家庭では、次のようなことを主に誰が行っていますか。（育児、家族の介護、学校行事やPTA等への参加については、現在該当しなくても、過去に経験があれば、それをもとにお答えください。該当しない場合は、「該当しない」をお選びください。）（1つ選択）

◆家庭における役割分担については、
「主に妻」という割合がほとんどの項目で依然として高い◆

家庭における役割分担について、「主に妻」の割合が高い項目は、「食事の準備」（84.8%）、「洗濯」（74.4%）、「食事の片付け」（73.6%）、「掃除」（70.6%）などの家事や、「育児」（46.4%）、「学校行事やPTA等への参加」（43.0%）、「家族の介護」（27.3%）となっている。一方、「主に夫」の割合が高い項目は「世帯の収入を得る」（53.0%）のみで、依然として、家庭における妻の負担が大きいことが伺える。

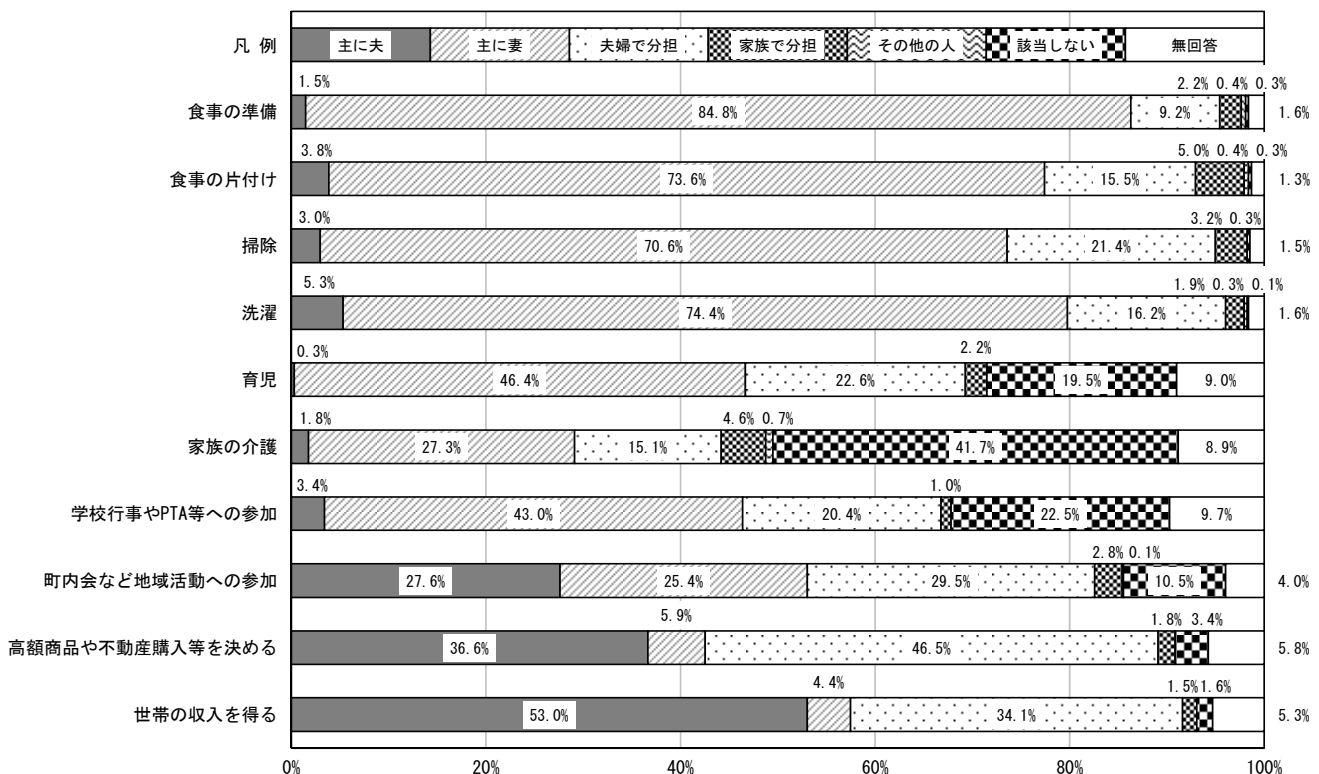
「夫婦で分担」の割合が高い項目は、「高額商品や不動産購入等を決める」（46.5%）、「町内会など地域活動への参加」（29.5%）となっている。また、家事についての「夫婦で分担」の割合を見ると、掃除：21.4%、洗濯：16.2%、食事の片付け：15.5%、食事の準備：9.2%となっている。（図表2-1）

県の調査結果と比較すると、家事以外はやや似通った傾向であるが、家事については県よりも「主に妻」の割合は高くなっている（市：75.9%（平均）＞県：69.3%）。（図表2-1、2-3）

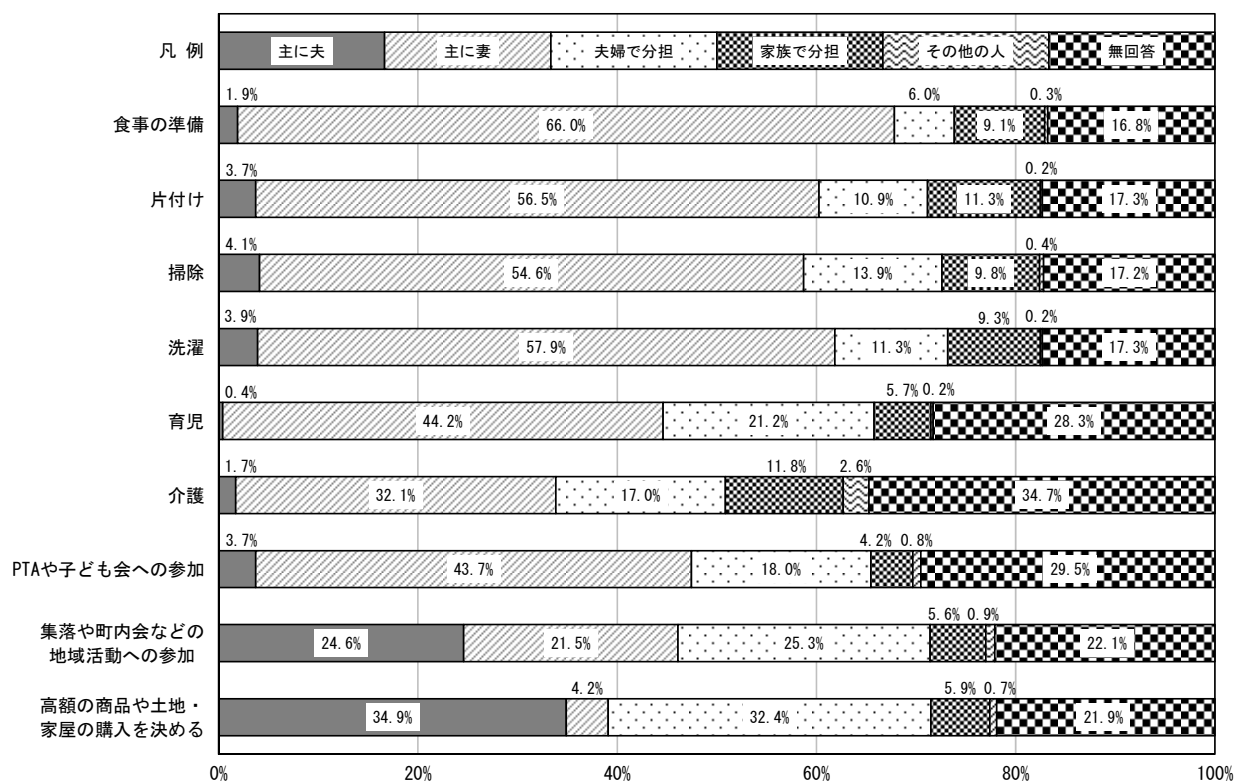
夫婦の就労状況との関連をみると、「夫婦で分担」の割合について共働きか片働きかにより差があり、「世帯の収入を得る」は共働き49.3%：片働き10.6%、「育児」は共働き30.4%：片働き15.9%、「洗濯」は共働き20.3%：片働き7.9%などとなっている。（図表2-4～2-8）

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」（問6）という考え方に賛成する人の場合、家事・育児等については「主に妻」の割合が高くなっているが、学校行事や町内会活動等への参加については、特段その考え方との関連性は見られない。（図表2-4～2-8）

図表 2-1 家庭における役割分担（全体）（N=677）

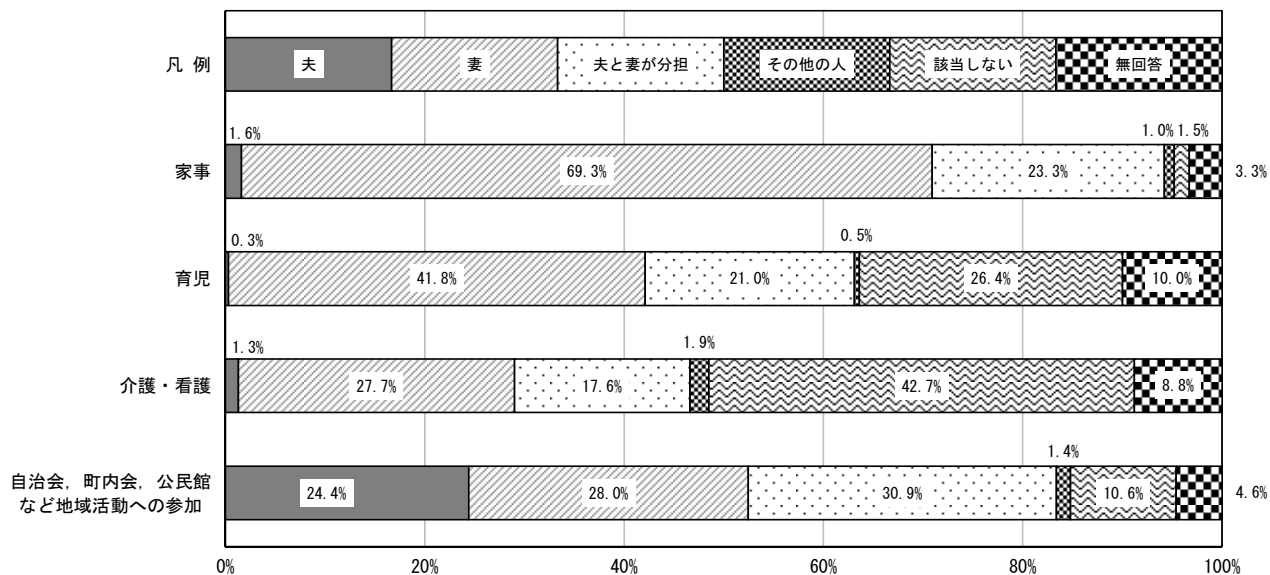


図表 2-2 家庭における役割分担（前回：平成 24 年度調査）（N=1, 205）



※上記の前回調査結果については、母数に結婚していない人が含まれていることから、「無回答」が多くなっている。このため、今回の調査結果との比較は行っていない。

図表 2-3 家庭における役割分担（調査結果：平成 28 年度県調査）（N=1, 493）



図表 2-4 家庭における役割分担①

上段：度数 下段：構成比(%)		サンプル数	食事の準備							食事の片付け						
			主に夫	主に妻	夫婦で分担	家族で分担	その他の人	該当しない	無回答	主に夫	主に妻	夫婦で分担	家族で分担	その他の人	該当しない	無回答
全 体		677	10	574	62	15	3	2	11	26	498	105	34	3	2	9
		100.0%	1.5%	84.8%	9.2%	2.2%	0.4%	0.3%	1.6%	3.8%	73.6%	15.5%	5.0%	0.4%	0.3%	1.3%
性・年代別	女性	383	4	337	26	10	1	1	4	9	309	42	17	1	1	4
		100.0%	1.0%	88.0%	6.8%	2.6%	0.3%	0.3%	1.0%	2.3%	80.7%	11.0%	4.4%	0.3%	0.3%	1.0%
	20～29歳	23	0	19	4	0	0	0	0	0	20	3	0	0	0	0
		100.0%	0.0%	82.6%	17.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	87.0%	13.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30～39歳	59	0	55	1	3	0	0	0	3	48	5	3	0	0	0
		100.0%	0.0%	93.2%	1.7%	5.1%	0.0%	0.0%	0.0%	5.1%	81.4%	8.5%	5.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	40～49歳	66	1	54	7	2	1	0	1	4	48	7	5	1	0	1
		100.0%	1.5%	81.8%	10.6%	3.0%	1.5%	0.0%	1.5%	6.1%	72.7%	10.6%	7.6%	1.5%	0.0%	1.5%
	50～59歳	89	1	78	7	3	0	0	0	2	71	10	6	0	0	0
		100.0%	1.1%	87.6%	7.9%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%	2.2%	79.8%	11.2%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	60～69歳	89	0	82	4	2	0	0	1	0	77	10	2	0	0	0
		100.0%	0.0%	92.1%	4.5%	2.2%	0.0%	0.0%	1.1%	0.0%	86.5%	11.2%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%
	70歳以上	57	2	49	3	0	0	1	2	0	45	7	1	0	1	3
		100.0%	3.5%	86.0%	5.3%	0.0%	0.0%	1.8%	3.5%	0.0%	78.9%	12.3%	1.8%	0.0%	1.8%	5.3%
	男性	294	6	237	36	5	2	1	7	17	189	63	17	2	1	5
		100.0%	2.0%	80.6%	12.2%	1.7%	0.7%	0.3%	2.4%	5.8%	64.3%	21.4%	5.8%	0.7%	0.3%	1.7%
	20～29歳	10	0	7	3	0	0	0	0	0	4	6	0	0	0	0
		100.0%	0.0%	70.0%	30.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30～39歳	42	1	35	5	1	0	0	0	2	26	12	2	0	0	0
		100.0%	2.4%	83.3%	11.9%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%	61.9%	28.6%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%
	40～49歳	48	1	38	7	1	1	0	0	1	30	10	6	1	0	0
		100.0%	2.1%	79.2%	14.6%	2.1%	2.1%	0.0%	0.0%	2.1%	62.5%	20.8%	12.5%	2.1%	0.0%	0.0%
	50～59歳	58	1	45	8	1	0	1	2	4	45	8	0	0	1	0
		100.0%	1.7%	77.6%	13.8%	1.7%	0.0%	1.7%	3.4%	6.9%	77.6%	13.8%	0.0%	0.0%	1.7%	0.0%
	60～69歳	79	1	65	9	2	1	0	1	5	49	17	6	1	0	1
		100.0%	1.3%	82.3%	11.4%	2.5%	1.3%	0.0%	1.3%	6.3%	62.0%	21.5%	7.6%	1.3%	0.0%	1.3%
	70歳以上	57	2	47	4	0	0	0	4	5	35	10	3	0	0	4
		100.0%	3.5%	82.5%	7.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.0%	8.8%	61.4%	17.5%	5.3%	0.0%	0.0%	7.0%
夫婦の就労状況・性別	夫婦の職業の有無 (共働き世帯)	355	2	294	41	10	3	1	4	15	256	59	19	3	1	2
		100.0%	0.6%	82.8%	11.5%	2.8%	0.8%	0.3%	1.1%	4.2%	72.1%	16.6%	5.4%	0.8%	0.3%	0.6%
	うち男性の回答	149	1	114	25	4	2	1	2	8	91	36	10	2	1	1
		100.0%	0.7%	76.5%	16.8%	2.7%	1.3%	0.7%	1.3%	5.4%	61.1%	24.2%	6.7%	1.3%	0.7%	0.7%
	うち女性の回答	206	1	180	16	6	1	0	2	7	165	23	9	1	0	1
		100.0%	0.5%	87.4%	7.8%	2.9%	0.5%	0.0%	1.0%	3.4%	80.1%	11.2%	4.4%	0.5%	0.0%	0.5%
夫は仕事、妻は家庭の 考え方・性別	夫婦の職業の有無 (片働き世帯)	189	4	169	11	2	0	0	3	6	152	21	8	0	0	2
		100.0%	2.1%	89.4%	5.8%	1.1%	0.0%	0.0%	1.6%	3.2%	80.4%	11.1%	4.2%	0.0%	0.0%	1.1%
	うち男性の回答	84	3	74	4	0	0	0	3	4	64	11	3	0	0	2
		100.0%	3.6%	88.1%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%	4.8%	76.2%	13.1%	3.6%	0.0%	0.0%	2.4%
	うち女性の回答	105	1	95	7	2	0	0	0	2	88	10	5	0	0	0
		100.0%	1.0%	90.5%	6.7%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	1.9%	83.8%	9.5%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%
夫は仕事、妻は家庭の 考え方・性別	考え方に賛成	260	3	237	14	4	0	0	2	9	210	25	13	0	0	3
		100.0%	1.2%	91.2%	5.4%	1.5%	0.0%	0.0%	0.8%	3.5%	80.8%	9.6%	5.0%	0.0%	0.0%	1.2%
	うち男性の回答	126	1	114	10	0	0	0	1	8	93	16	7	0	0	2
		100.0%	0.8%	90.5%	7.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	6.3%	73.8%	12.7%	5.6%	0.0%	0.0%	1.6%
	うち女性の回答	134	2	123	4	4	0	0	1	1	117	9	6	0	0	1
		100.0%	1.5%	91.8%	3.0%	3.0%	0.0%	0.0%	0.7%	0.7%	87.3%	6.7%	4.5%	0.0%	0.0%	0.7%
夫は仕事、妻は家庭の 考え方・性別	考え方に反対	317	5	256	36	10	3	1	6	15	213	61	19	3	1	5
		100.0%	1.6%	80.8%	11.4%	3.2%	0.9%	0.3%	1.9%	4.7%	67.2%	19.2%	6.0%	0.9%	0.3%	1.6%
	うち男性の回答	123	3	89	20	5	2	1	3	8	62	38	10	2	1	2
		100.0%	2.4%	72.4%	16.3%	4.1%	1.6%	0.8%	2.4%	6.5%	50.4%	30.9%	8.1%	1.6%	0.8%	1.6%
	うち女性の回答	194	2	167	16	5	1	0	3	7	151	23	9	1	0	3
		100.0%	1.0%	86.1%	8.2%	2.6%	0.5%	0.0%	1.5%	3.6%	77.8%	11.9%	4.6%	0.5%	0.0%	1.5%

. % : 各属性で最も高い割合

図表 2-5 家庭における役割分担②

上段：度数 下段：構成比(%)		サンプル数	掃除							洗濯						
			主に夫	主に妻	夫婦で分担	家族で分担	その他の人	該当しない	無回答	主に夫	主に妻	夫婦で分担	家族で分担	その他の人	該当しない	無回答
全 体		677	20	478	145	22	0	2	10	36	504	110	13	2	1	11
		100.0%	3.0%	70.6%	21.4%	3.2%	0.0%	0.3%	1.5%	5.3%	74.4%	16.2%	1.9%	0.3%	0.1%	1.6%
性・年代別	女性	383	7	292	71	9	0	1	3	18	305	50	7	0	0	3
		100.0%	1.8%	76.2%	18.5%	2.3%	0.0%	0.3%	0.8%	4.7%	79.6%	13.1%	1.8%	0.0%	0.0%	0.8%
	20～29歳	23	1	17	5	0	0	0	0	1	17	5	0	0	0	0
		100.0%	4.3%	73.9%	21.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.3%	73.9%	21.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30～39歳	59	1	44	12	2	0	0	0	3	41	15	0	0	0	0
		100.0%	1.7%	74.6%	20.3%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%	5.1%	69.5%	25.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	40～49歳	66	1	50	12	2	0	0	1	3	53	8	1	0	0	1
		100.0%	1.5%	75.8%	18.2%	3.0%	0.0%	0.0%	1.5%	4.5%	80.3%	12.1%	1.5%	0.0%	0.0%	1.5%
	50～59歳	89	2	70	15	2	0	0	0	5	75	5	4	0	0	0
		100.0%	2.2%	78.7%	16.9%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%	84.3%	5.6%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	60～69歳	89	2	72	14	1	0	0	0	2	75	12	0	0	0	0
		100.0%	2.2%	80.9%	15.7%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	2.2%	84.3%	13.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	70歳以上	57	0	39	13	2	0	1	2	4	44	5	2	0	0	2
		100.0%	0.0%	68.4%	22.8%	3.5%	0.0%	1.8%	3.5%	7.0%	77.2%	8.8%	3.5%	0.0%	0.0%	3.5%
	男性	294	13	186	74	13	0	1	7	18	199	60	6	2	1	8
		100.0%	4.4%	63.3%	25.2%	4.4%	0.0%	0.3%	2.4%	6.1%	67.7%	20.4%	2.0%	0.7%	0.3%	2.7%
	20～29歳	10	0	8	2	0	0	0	0	1	6	3	0	0	0	0
		100.0%	0.0%	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	60.0%	30.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30～39歳	42	0	28	11	3	0	0	0	3	28	10	1	0	0	0
		100.0%	0.0%	66.7%	26.2%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	66.7%	23.8%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%
	40～49歳	48	0	30	13	4	0	0	1	3	34	10	1	0	0	0
		100.0%	0.0%	62.5%	27.1%	8.3%	0.0%	0.0%	2.1%	6.3%	70.8%	20.8%	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	50～59歳	58	2	36	16	2	0	1	1	3	35	12	4	1	1	2
		100.0%	3.4%	62.1%	27.6%	3.4%	0.0%	1.7%	1.7%	5.2%	60.3%	20.7%	6.9%	1.7%	1.7%	3.4%
	60～69歳	79	5	52	19	1	0	0	2	3	61	13	0	1	0	1
		100.0%	6.3%	65.8%	24.1%	1.3%	0.0%	0.0%	2.5%	3.8%	77.2%	16.5%	0.0%	1.3%	0.0%	1.3%
	70歳以上	57	6	32	13	3	0	0	3	5	35	12	0	0	0	5
		100.0%	10.5%	56.1%	22.8%	5.3%	0.0%	0.0%	5.3%	8.8%	61.4%	21.1%	0.0%	0.0%	0.0%	8.8%
夫婦の就労状況・性別	夫婦の職業の有無 (共働き世帯)	355	7	243	86	14	0	1	4	18	250	72	7	2	1	5
		100.0%	2.0%	68.5%	24.2%	3.9%	0.0%	0.3%	1.1%	5.1%	70.4%	20.3%	2.0%	0.6%	0.3%	1.4%
	うち男性の回答	149	3	91	42	9	0	1	3	9	89	39	5	2	1	4
		100.0%	2.0%	61.1%	28.2%	6.0%	0.0%	0.7%	2.0%	6.0%	59.7%	26.2%	3.4%	1.3%	0.7%	2.7%
	うち女性の回答	206	4	152	44	5	0	0	1	9	161	33	2	0	0	1
		100.0%	1.9%	73.8%	21.4%	2.4%	0.0%	0.0%	0.5%	4.4%	78.2%	16.0%	1.0%	0.0%	0.0%	0.5%
	夫婦の職業の有無 (片働き世帯)	189	6	149	28	4	0	0	2	11	157	15	4	0	0	2
		100.0%	3.2%	78.8%	14.8%	2.1%	0.0%	0.0%	1.1%	5.8%	83.1%	7.9%	2.1%	0.0%	0.0%	1.1%
	うち男性の回答	84	4	61	16	1	0	0	2	5	70	6	1	0	0	2
		100.0%	4.8%	72.6%	19.0%	1.2%	0.0%	0.0%	2.4%	6.0%	83.3%	7.1%	1.2%	0.0%	0.0%	2.4%
	うち女性の回答	105	2	88	12	3	0	0	0	6	87	9	3	0	0	0
		100.0%	1.9%	83.8%	11.4%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	5.7%	82.9%	8.6%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%
夫は仕事、妻は家庭の 考え方・性別	考え方に賛成	260	8	195	48	5	0	0	4	9	212	31	5	0	0	3
		100.0%	3.1%	75.0%	18.5%	1.9%	0.0%	0.0%	1.5%	3.5%	81.5%	11.9%	1.9%	0.0%	0.0%	1.2%
	うち男性の回答	126	7	83	30	3	0	0	3	5	99	19	1	0	0	2
		100.0%	5.6%	65.9%	23.8%	2.4%	0.0%	0.0%	2.4%	4.0%	78.6%	15.1%	0.8%	0.0%	0.0%	1.6%
	うち女性の回答	134	1	112	18	2	0	0	1	4	113	12	4	0	0	1
		100.0%	0.7%	83.6%	13.4%	1.5%	0.0%	0.0%	0.7%	3.0%	84.3%	9.0%	3.0%	0.0%	0.0%	0.7%
	考え方に反対	317	11	210	77	13	0	1	5	21	218	64	6	2	1	5
		100.0%	3.5%	66.2%	24.3%	4.1%	0.0%	0.3%	1.6%	6.6%	68.8%	20.2%	1.9%	0.6%	0.3%	1.6%
	うち男性の回答	123	6	69	36	8	0	1	3	10	67	36	4	2	1	3
		100.0%	4.9%	56.1%	29.3%	6.5%	0.0%	0.8%	2.4%	8.1%	54.5%	29.3%	3.3%	1.6%	0.8%	2.4%
	うち女性の回答	194	5	141	41	5	0	0	2	11	151	28	2	0	0	2
		100.0%	2.6%	72.7%	21.1%	2.6%	0.0%	0.0%	1.0%	5.7%	77.8%	14.4%	1.0%	0.0%	0.0%	1.0%

. % : 各属性で最も高い割合

図表 2-6 家庭における役割分担③

上段：度数 下段：構成比(%)		サンプル数	育児							家族の介護						
			主に夫	主に妻	夫婦で分担	家族で分担	その他の人	該当しない	無回答	主に夫	主に妻	夫婦で分担	家族で分担	その他の人	該当しない	無回答
全 体		677	2	314	153	15	0	132	61	12	185	102	31	5	282	60
		100.0%	0.3%	46.4%	22.6%	2.2%	0.0%	19.5%	9.0%	1.8%	27.3%	15.1%	4.6%	0.7%	41.7%	8.9%
性・年代別	女性	383	1	198	85	7	0	66	26	2	120	55	16	4	161	25
		100.0%	0.3%	51.7%	22.2%	1.8%	0.0%	17.2%	6.8%	0.5%	31.3%	14.4%	4.2%	1.0%	42.0%	6.5%
	20～29歳	23	0	7	7	1	0	8	0	0	3	1	0	1	18	0
		100.0%	0.0%	30.4%	30.4%	4.3%	0.0%	34.8%	0.0%	0.0%	13.0%	4.3%	0.0%	4.3%	78.3%	0.0%
	30～39歳	59	1	24	25	2	0	7	0	0	6	0	0	0	53	0
		100.0%	1.7%	40.7%	42.4%	3.4%	0.0%	11.9%	0.0%	0.0%	10.2%	0.0%	0.0%	0.0%	89.8%	0.0%
	40～49歳	66	0	41	17	2	0	5	1	0	17	12	4	1	30	2
		100.0%	0.0%	62.1%	25.8%	3.0%	0.0%	7.6%	1.5%	0.0%	25.8%	18.2%	6.1%	1.5%	45.5%	3.0%
	50～59歳	89	0	50	17	1	0	17	4	0	33	19	5	1	29	2
		100.0%	0.0%	56.2%	19.1%	1.1%	0.0%	19.1%	4.5%	0.0%	37.1%	21.3%	5.6%	1.1%	32.6%	2.2%
	60～69歳	89	0	48	11	1	0	19	10	0	41	15	6	0	20	7
		100.0%	0.0%	53.9%	12.4%	1.1%	0.0%	21.3%	11.2%	0.0%	46.1%	16.9%	6.7%	0.0%	22.5%	7.9%
	70歳以上	57	0	28	8	0	0	10	11	2	20	8	1	1	11	14
		100.0%	0.0%	49.1%	14.0%	0.0%	0.0%	17.5%	19.3%	3.5%	35.1%	14.0%	1.8%	1.8%	19.3%	24.6%
	男性	294	1	116	68	8	0	66	35	10	65	47	15	1	121	35
		100.0%	0.3%	39.5%	23.1%	2.7%	0.0%	22.4%	11.9%	3.4%	22.1%	16.0%	5.1%	0.3%	41.2%	11.9%
	20～29歳	10	0	3	4	0	0	3	0	0	0	2	0	0	8	0
		100.0%	0.0%	30.0%	40.0%	0.0%	0.0%	30.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	80.0%	0.0%
	30～39歳	42	0	15	14	2	0	10	1	0	4	6	3	0	26	3
		100.0%	0.0%	35.7%	33.3%	4.8%	0.0%	23.8%	2.4%	0.0%	9.5%	14.3%	7.1%	0.0%	61.9%	7.1%
	40～49歳	48	0	19	21	2	0	6	0	1	6	5	1	0	35	0
		100.0%	0.0%	39.6%	43.8%	4.2%	0.0%	12.5%	0.0%	2.1%	12.5%	10.4%	2.1%	0.0%	72.9%	0.0%
	50～59歳	58	0	24	19	1	0	12	2	4	16	15	4	0	18	1
		100.0%	0.0%	41.4%	32.8%	1.7%	0.0%	20.7%	3.4%	6.9%	27.6%	25.9%	6.9%	0.0%	31.0%	1.7%
	60～69歳	79	1	37	6	3	0	21	11	2	28	14	5	1	18	11
		100.0%	1.3%	46.8%	7.6%	3.8%	0.0%	26.6%	13.9%	2.5%	35.4%	17.7%	6.3%	1.3%	22.8%	13.9%
	70歳以上	57	0	18	4	0	0	14	21	3	11	5	2	0	16	20
		100.0%	0.0%	31.6%	7.0%	0.0%	0.0%	24.6%	36.8%	5.3%	19.3%	8.8%	3.5%	0.0%	28.1%	35.1%
夫婦の就労状況・性別	夫婦の職業の有無 (共働き世帯)	355	1	157	108	13	0	65	11	3	86	57	22	3	170	14
		100.0%	0.3%	44.2%	30.4%	3.7%	0.0%	18.3%	3.1%	0.8%	24.2%	16.1%	6.2%	0.8%	47.9%	3.9%
	うち男性の回答	149	0	57	52	7	0	26	7	3	30	27	11	1	68	9
		100.0%	0.0%	38.3%	34.9%	4.7%	0.0%	17.4%	4.7%	2.0%	20.1%	18.1%	7.4%	0.7%	45.6%	6.0%
	うち女性の回答	206	1	100	56	6	0	39	4	0	56	30	11	2	102	5
		100.0%	0.5%	48.5%	27.2%	2.9%	0.0%	18.9%	1.9%	0.0%	27.2%	14.6%	5.3%	1.0%	49.5%	2.4%
	夫婦の職業の有無 (片働き世帯)	189	1	100	30	2	0	39	17	4	61	24	6	1	81	12
		100.0%	0.5%	52.9%	15.9%	1.1%	0.0%	20.6%	9.0%	2.1%	32.3%	12.7%	3.2%	0.5%	42.9%	6.3%
夫は仕事、妻は家庭の 考え方・性別	うち男性の回答	84	1	36	12	1	0	25	9	4	23	10	3	0	36	8
		100.0%	1.2%	42.9%	14.3%	1.2%	0.0%	29.8%	10.7%	4.8%	27.4%	11.9%	3.6%	0.0%	42.9%	9.5%
	うち女性の回答	105	0	64	18	1	0	14	8	0	38	14	3	1	45	4
		100.0%	0.0%	61.0%	17.1%	1.0%	0.0%	13.3%	7.6%	0.0%	36.2%	13.3%	2.9%	1.0%	42.9%	3.8%
	考え方に賛成	260	0	145	40	3	0	40	32	4	84	40	12	2	85	33
		100.0%	0.0%	55.8%	15.4%	1.2%	0.0%	15.4%	12.3%	1.5%	32.3%	15.4%	4.6%	0.8%	32.7%	12.7%
	うち男性の回答	126	0	66	21	3	0	17	19	4	32	24	7	1	38	20
		100.0%	0.0%	52.4%	16.7%	2.4%	0.0%	13.5%	15.1%	3.2%	25.4%	19.0%	5.6%	0.8%	30.2%	15.9%
	うち女性の回答	134	0	79	19	0	0	23	13	0	52	16	5	1	47	13
		100.0%	0.0%	59.0%	14.2%	0.0%	0.0%	17.2%	9.7%	0.0%	38.8%	11.9%	3.7%	0.7%	35.1%	9.7%
夫は仕事、妻は家庭の 考え方・性別	考え方に反対	317	2	130	89	10	0	69	17	6	79	48	17	1	152	14
		100.0%	0.6%	41.0%	28.1%	3.2%	0.0%	21.8%	5.4%	1.9%	24.9%	15.1%	5.4%	0.3%	47.9%	4.4%
	うち男性の回答	123	1	38	37	4	0	36	7	4	24	19	8	0	61	7
		100.0%	0.8%	30.9%	30.1%	3.3%	0.0%	29.3%	5.7%	3.3%	19.5%	15.4%	6.5%	0.0%	49.6%	5.7%
	うち女性の回答	194	1	92	52	6	0	33	10	2	55	29	9	1	91	7
		100.0%	0.5%	47.4%	26.8%	3.1%	0.0%	17.0%	5.2%	1.0%	28.4%	14.9%	4.6%	0.5%	46.9%	3.6%

. % : 各属性で最も高い割合

図表 2-7 家庭における役割分担④

上段：度数 下段：構成比(%)		サン プル 数	学校行事やPTA等への参加							町内会など地域活動への参加						
			主に 夫	主に 妻	夫婦 で分 担	家族 で分 担	その 他の 人	該 当 し な い	無 回 答	主に 夫	主に 妻	夫婦 で分 担	家族 で分 担	その 他の 人	該 当 し な い	無 回 答
全 体		677	23	291	138	7	0	152	66	187	172	200	19	1	71	27
		100.0%	3.4%	43.0%	20.4%	1.0%	0.0%	22.5%	9.7%	27.6%	25.4%	29.5%	2.8%	0.1%	10.5%	4.0%
性・年代別	女性	383	10	190	70	3	0	82	28	88	117	112	7	1	46	12
		100.0%	2.6%	49.6%	18.3%	0.8%	0.0%	21.4%	7.3%	23.0%	30.5%	29.2%	1.8%	0.3%	12.0%	3.1%
	20～29歳	23	0	5	4	1	0	13	0	2	3	4	0	0	14	0
		100.0%	0.0%	21.7%	17.4%	4.3%	0.0%	56.5%	0.0%	8.7%	13.0%	17.4%	0.0%	0.0%	60.9%	0.0%
	30～39歳	59	0	25	15	1	0	18	0	11	10	16	3	1	18	0
		100.0%	0.0%	42.4%	25.4%	1.7%	0.0%	30.5%	0.0%	18.6%	16.9%	27.1%	5.1%	1.7%	30.5%	0.0%
	40～49歳	66	0	46	14	0	0	5	1	13	29	16	2	0	5	1
		100.0%	0.0%	69.7%	21.2%	0.0%	0.0%	7.6%	1.5%	19.7%	43.9%	24.2%	3.0%	0.0%	7.6%	1.5%
	50～59歳	89	1	50	15	1	0	17	5	21	26	33	1	0	6	2
		100.0%	1.1%	56.2%	16.9%	1.1%	0.0%	19.1%	5.6%	23.6%	29.2%	37.1%	1.1%	0.0%	6.7%	2.2%
	60～69歳	89	4	43	13	0	0	20	9	23	31	29	1	0	2	3
		100.0%	4.5%	48.3%	14.6%	0.0%	0.0%	22.5%	10.1%	25.8%	34.8%	32.6%	1.1%	0.0%	2.2%	3.4%
	70歳以上	57	5	21	9	0	0	9	13	18	18	14	0	0	1	6
		100.0%	8.8%	36.8%	15.8%	0.0%	0.0%	15.8%	22.8%	31.6%	31.6%	24.6%	0.0%	0.0%	1.8%	10.5%
	男性	294	13	101	68	4	0	70	38	99	55	88	12	0	25	15
		100.0%	4.4%	34.4%	23.1%	1.4%	0.0%	23.8%	12.9%	33.7%	18.7%	29.9%	4.1%	0.0%	8.5%	5.1%
	20～29歳	10	0	1	3	0	0	6	0	2	1	2	1	0	4	0
		100.0%	0.0%	10.0%	30.0%	0.0%	0.0%	60.0%	0.0%	20.0%	10.0%	20.0%	10.0%	0.0%	40.0%	0.0%
	30～39歳	42	3	15	10	0	0	12	2	8	8	12	2	0	10	2
		100.0%	7.1%	35.7%	23.8%	0.0%	0.0%	28.6%	4.8%	19.0%	19.0%	28.6%	4.8%	0.0%	23.8%	4.8%
	40～49歳	48	3	27	13	0	0	5	0	14	13	15	1	0	5	0
		100.0%	6.3%	56.3%	27.1%	0.0%	0.0%	10.4%	0.0%	29.2%	27.1%	31.3%	2.1%	0.0%	10.4%	0.0%
	50～59歳	58	2	21	21	1	0	11	2	16	12	24	2	0	3	1
		100.0%	3.4%	36.2%	36.2%	1.7%	0.0%	19.0%	3.4%	27.6%	20.7%	41.4%	3.4%	0.0%	5.2%	1.7%
	60～69歳	79	0	28	17	2	0	23	9	35	11	25	3	0	3	2
		100.0%	0.0%	35.4%	21.5%	2.5%	0.0%	29.1%	11.4%	44.3%	13.9%	31.6%	3.8%	0.0%	3.8%	2.5%
	70歳以上	57	5	9	4	1	0	13	25	24	10	10	3	0	0	10
		100.0%	8.8%	15.8%	7.0%	1.8%	0.0%	22.8%	43.9%	42.1%	17.5%	17.5%	5.3%	0.0%	0.0%	17.5%
夫婦の就労状況・性別	夫婦の職業の有無 (共働き世帯)	355	12	163	91	5	0	71	13	97	89	107	10	1	44	7
		100.0%	3.4%	45.9%	25.6%	1.4%	0.0%	20.0%	3.7%	27.3%	25.1%	30.1%	2.8%	0.3%	12.4%	2.0%
	うち男性の回答	149	7	57	48	2	0	27	8	49	24	49	6	0	17	4
		100.0%	4.7%	38.3%	32.2%	1.3%	0.0%	18.1%	5.4%	32.9%	16.1%	32.9%	4.0%	0.0%	11.4%	2.7%
	うち女性の回答	206	5	106	43	3	0	44	5	48	65	58	4	1	27	3
		100.0%	2.4%	51.5%	20.9%	1.5%	0.0%	21.4%	2.4%	23.3%	31.6%	28.2%	1.9%	0.5%	13.1%	1.5%
	夫婦の職業の有無 (片働き世帯)	189	3	89	26	0	0	55	16	38	54	59	7	0	25	6
		100.0%	1.6%	47.1%	13.8%	0.0%	0.0%	29.1%	8.5%	20.1%	28.6%	31.2%	3.7%	0.0%	13.2%	3.2%
	うち男性の回答	84	2	32	12	0	0	30	8	24	20	25	4	0	8	3
		100.0%	2.4%	38.1%	14.3%	0.0%	0.0%	35.7%	9.5%	28.6%	23.8%	29.8%	4.8%	0.0%	9.5%	3.6%
うち女性の回答	105	1	57	14	0	0	25	8	14	34	34	3	0	17	3	
	100.0%	1.0%	54.3%	13.3%	0.0%	0.0%	23.8%	7.6%	13.3%	32.4%	32.4%	2.9%	0.0%	16.2%	2.9%	
夫は仕事、妻は家庭の 考え方・性別	考え方に賛成	260	12	113	49	3	0	48	35	71	69	80	5	0	23	12
		100.0%	4.6%	43.5%	18.8%	1.2%	0.0%	18.5%	13.5%	27.3%	26.5%	30.8%	1.9%	0.0%	8.8%	4.6%
	うち男性の回答	126	6	49	30	2	0	18	21	38	28	39	4	0	9	8
		100.0%	4.8%	38.9%	23.8%	1.6%	0.0%	14.3%	16.7%	30.2%	22.2%	31.0%	3.2%	0.0%	7.1%	6.3%
	うち女性の回答	134	6	64	19	1	0	30	14	33	41	41	1	0	14	4
		100.0%	4.5%	47.8%	14.2%	0.7%	0.0%	22.4%	10.4%	24.6%	30.6%	30.6%	0.7%	0.0%	10.4%	3.0%
	考え方に反対	317	8	136	74	2	0	80	17	96	74	92	10	1	36	8
		100.0%	2.5%	42.9%	23.3%	0.6%	0.0%	25.2%	5.4%	30.3%	23.3%	29.0%	3.2%	0.3%	11.4%	2.5%
	うち男性の回答	123	4	37	34	2	0	39	7	50	15	38	5	0	12	3
		100.0%	3.3%	30.1%	27.6%	1.6%	0.0%	31.7%	5.7%	40.7%	12.2%	30.9%	4.1%	0.0%	9.8%	2.4%
うち女性の回答	194	4	99	40	0	0	41	10	46	59	54	5	1	24	5	
	100.0%	2.1%	51.0%	20.6%	0.0%	0.0%	21.1%	5.2%	23.7%	30.4%	27.8%	2.6%	0.5%	12.4%	2.6%	

. % : 各属性で最も高い割合

図表 2-8 家庭における役割分担⑤

上段：度数 下段：構成比(%)		サンプル数	高額商品や不動産購入等を決める							世帯の収入を得る						
			主に夫	主に妻	夫婦で分担	家族で分担	その他の人	該当しない	無回答	主に夫	主に妻	夫婦で分担	家族で分担	その他の人	該当しない	無回答
全 体		677	248	40	315	12	0	23	39	359	30	231	10	0	11	36
		100.0%	36.6%	5.9%	46.5%	1.8%	0.0%	3.4%	5.8%	53.0%	4.4%	34.1%	1.5%	0.0%	1.6%	5.3%
性・年代別	女性	383	151	19	178	5	0	12	18	203	18	134	4	0	7	17
		100.0%	39.4%	5.0%	46.5%	1.3%	0.0%	3.1%	4.7%	53.0%	4.7%	35.0%	1.0%	0.0%	1.8%	4.4%
	20～29歳	23	7	0	12	0	0	4	0	14	0	7	0	0	2	0
		100.0%	30.4%	0.0%	52.2%	0.0%	0.0%	17.4%	0.0%	60.9%	0.0%	30.4%	0.0%	0.0%	8.7%	0.0%
	30～39歳	59	18	3	34	3	0	1	0	33	3	21	1	0	0	1
		100.0%	30.5%	5.1%	57.6%	5.1%	0.0%	1.7%	0.0%	55.9%	5.1%	35.6%	1.7%	0.0%	0.0%	1.7%
	40～49歳	66	28	3	31	1	0	2	1	28	2	33	0	0	2	1
		100.0%	42.4%	4.5%	47.0%	1.5%	0.0%	3.0%	1.5%	42.4%	3.0%	50.0%	0.0%	0.0%	3.0%	1.5%
	50～59歳	89	41	3	39	0	0	2	4	52	6	27	2	0	0	2
		100.0%	46.1%	3.4%	43.8%	0.0%	0.0%	2.2%	4.5%	58.4%	6.7%	30.3%	2.2%	0.0%	0.0%	2.2%
	60～69歳	89	39	2	43	1	0	1	3	52	4	28	0	0	1	4
		100.0%	43.8%	2.2%	48.3%	1.1%	0.0%	1.1%	3.4%	58.4%	4.5%	31.5%	0.0%	0.0%	1.1%	4.5%
	70歳以上	57	18	8	19	0	0	2	10	24	3	18	1	0	2	9
		100.0%	31.6%	14.0%	33.3%	0.0%	0.0%	3.5%	17.5%	42.1%	5.3%	31.6%	1.8%	0.0%	3.5%	15.8%
	男性	294	97	21	137	7	0	11	21	156	12	97	6	0	4	19
		100.0%	33.0%	7.1%	46.6%	2.4%	0.0%	3.7%	7.1%	53.1%	4.1%	33.0%	2.0%	0.0%	1.4%	6.5%
	20～29歳	10	3	1	5	1	0	0	0	6	0	4	0	0	0	0
		100.0%	30.0%	10.0%	50.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	60.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	30～39歳	42	13	5	22	0	0	2	0	24	0	17	1	0	0	0
		100.0%	31.0%	11.9%	52.4%	0.0%	0.0%	4.8%	0.0%	57.1%	0.0%	40.5%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%
	40～49歳	48	17	2	26	1	0	2	0	25	0	22	1	0	0	0
		100.0%	35.4%	4.2%	54.2%	2.1%	0.0%	4.2%	0.0%	52.1%	0.0%	45.8%	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	50～59歳	58	18	4	33	1	0	1	1	34	5	18	0	0	0	1
		100.0%	31.0%	6.9%	56.9%	1.7%	0.0%	1.7%	1.7%	58.6%	8.6%	31.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%
	60～69歳	79	29	5	32	2	0	5	6	43	5	21	2	0	3	5
		100.0%	36.7%	6.3%	40.5%	2.5%	0.0%	6.3%	7.6%	54.4%	6.3%	26.6%	2.5%	0.0%	3.8%	6.3%
	70歳以上	57	17	4	19	2	0	1	14	24	2	15	2	0	1	13
		100.0%	29.8%	7.0%	33.3%	3.5%	0.0%	1.8%	24.6%	42.1%	3.5%	26.3%	3.5%	0.0%	1.8%	22.8%
夫婦の就労状況・性別	夫婦の職業の有無（共働き世帯）	355	124	19	185	6	0	13	8	148	14	175	6	0	5	7
		100.0%	34.9%	5.4%	52.1%	1.7%	0.0%	3.7%	2.3%	41.7%	3.9%	49.3%	1.7%	0.0%	1.4%	2.0%
	うち男性の回答	149	45	11	80	4	0	5	4	65	5	70	4	0	1	4
		100.0%	30.2%	7.4%	53.7%	2.7%	0.0%	3.4%	2.7%	43.6%	3.4%	47.0%	2.7%	0.0%	0.7%	2.7%
	うち女性の回答	206	79	8	105	2	0	8	4	83	9	105	2	0	4	3
		100.0%	38.3%	3.9%	51.0%	1.0%	0.0%	3.9%	1.9%	40.3%	4.4%	51.0%	1.0%	0.0%	1.9%	1.5%
夫は仕事、妻は家庭の考え方・性別	夫婦の職業の有無（片働き世帯）	189	78	14	79	3	0	7	8	144	14	20	2	0	0	9
		100.0%	41.3%	7.4%	41.8%	1.6%	0.0%	3.7%	4.2%	76.2%	7.4%	10.6%	1.1%	0.0%	0.0%	4.8%
	うち男性の回答	84	29	8	35	1	0	6	5	64	6	9	0	0	0	5
		100.0%	34.5%	9.5%	41.7%	1.2%	0.0%	7.1%	6.0%	76.2%	7.1%	10.7%	0.0%	0.0%	0.0%	6.0%
	うち女性の回答	105	49	6	44	2	0	1	3	80	8	11	2	0	0	4
		100.0%	46.7%	5.7%	41.9%	1.9%	0.0%	1.0%	2.9%	76.2%	7.6%	10.5%	1.9%	0.0%	0.0%	3.8%
夫は仕事、妻は家庭の考え方・性別	考え方に賛成	260	111	10	112	4	0	5	18	178	7	51	5	0	1	18
		100.0%	42.7%	3.8%	43.1%	1.5%	0.0%	1.9%	6.9%	68.5%	2.7%	19.6%	1.9%	0.0%	0.4%	6.9%
	うち男性の回答	126	49	4	58	2	0	3	10	88	3	23	3	0	0	9
		100.0%	38.9%	3.2%	46.0%	1.6%	0.0%	2.4%	7.9%	69.8%	2.4%	18.3%	2.4%	0.0%	0.0%	7.1%
	うち女性の回答	134	62	6	54	2	0	2	8	90	4	28	2	0	1	9
		100.0%	46.3%	4.5%	40.3%	1.5%	0.0%	1.5%	6.0%	67.2%	3.0%	20.9%	1.5%	0.0%	0.7%	6.7%
夫は仕事、妻は家庭の考え方・性別	考え方に反対	317	107	22	157	7	0	13	11	133	19	141	5	0	8	11
		100.0%	33.8%	6.9%	49.5%	2.2%	0.0%	4.1%	3.5%	42.0%	6.0%	44.5%	1.6%	0.0%	2.5%	3.5%
	うち男性の回答	123	37	12	60	5	0	5	4	47	7	57	3	0	4	5
		100.0%	30.1%	9.8%	48.8%	4.1%	0.0%	4.1%	3.3%	38.2%	5.7%	46.3%	2.4%	0.0%	3.3%	4.1%
	うち女性の回答	194	70	10	97	2	0	8	7	86	12	84	2	0	4	6
		100.0%	36.1%	5.2%	50.0%	1.0%	0.0%	4.1%	3.6%	44.3%	6.2%	43.3%	1.0%	0.0%	2.1%	3.1%

. % : 各属性で最も高い割合

(2) 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について

問 6 あなたは、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、どう思いますか。(1つ選択)

◆男女ともに「反対」が「賛成」を上回る◆

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方をどう思うかについては、反対（「反対」と「どちらかといえば反対」の合計）の割合（47.2%）が、賛成（「賛成」と「どちらかといえば賛成」の合計）の割合（34.7%）より 12.5 ポイント高くなっている。

これを性別にみると、男女ともに「賛成」より「反対」の割合が高くなっており、特に女性は「反対」が 17.6 ポイント高くなっている。（図表 2-9） また、年代別でみると、70 歳代以上は男女ともに「賛成」の割合が高いが、それ以外の年代では「反対」の割合が高くなっている。（図表 2-11）

前回、前々回も今回同様、「賛成」より「反対」の割合が高く、その差は前々回は 1.5 ポイント、前回は 8.3 ポイントであったが、今回は 12.5 ポイントの差に拡大しており、固定的な性別役割分担意識が少しずつ変わって（解消されて）きていることが伺える。（図表 2-10）

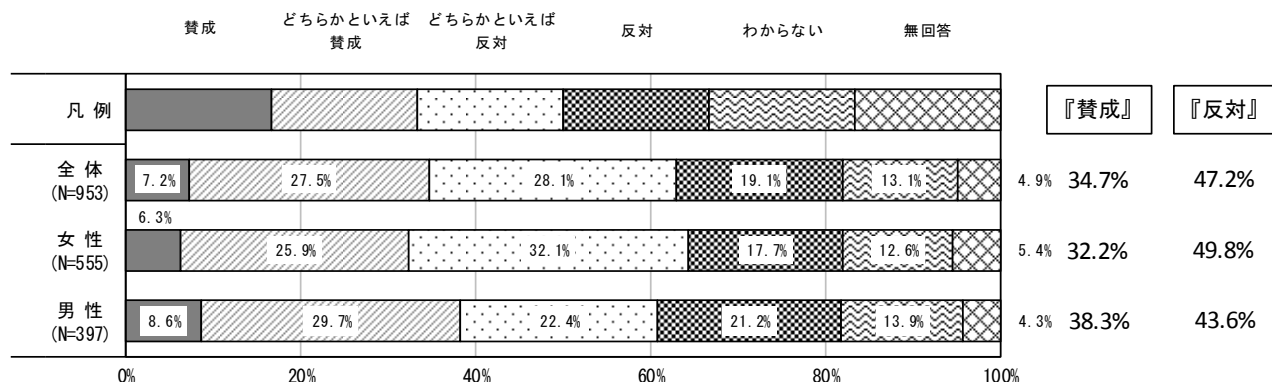
県や内閣府（全国）の調査結果も同様に、「賛成」より「反対」の割合が高くなっている。

（県の調査においては、平成 23 年度の調査までは「賛成」割合が高かったが、平成 28 年度の調査で逆転し、「反対」割合の方が 2.5 ポイント高くなっている。）（図表 2-10）

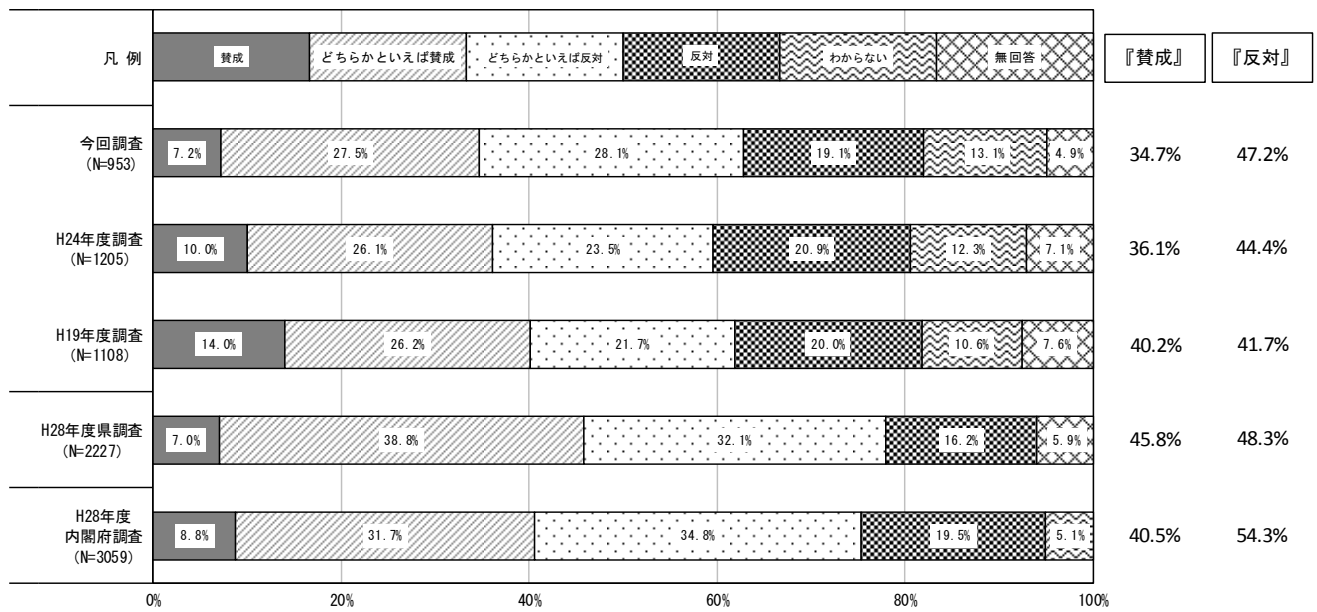
夫婦の就労状況との関連をみると、片働き世帯では「賛成」、共働き世帯では「反対」の割合が高くなっている。（図表 2-11）

子どもの有無との関連をみると、子どもがいる人はいない人に比べてやや「賛成」する傾向にあるものの、総体としては「反対」する割合の方が多くなっている。（図表 2-11）

図表 2-9 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について（全体・性別）



図表 2-10 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について
(比較：前回、前々回、県、国)



図表 2-11 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について

上段：度数 下段：構成比(%)		サ ン プ ル 数	賛 成	ど ち ら か と い え ば 賛 成	ど ち ら か と い え ば 反 対	反 対	わ か ら な い	無 回 答
全 体		953	69	262	268	182	125	47
		100.0%	7.2%	27.5%	28.1%	19.1%	13.1%	4.9%
性・年代別	女性	555	35	144	178	98	70	30
		100.0%	6.3%	25.9%	32.1%	17.7%	12.6%	5.4%
	20～29歳	52	2	14	11	13	10	2
		100.0%	3.8%	26.9%	21.2%	25.0%	19.2%	3.8%
	30～39歳	81	4	11	39	13	10	4
		100.0%	4.9%	13.6%	48.1%	16.0%	12.3%	4.9%
	40～49歳	89	2	15	28	26	15	3
		100.0%	2.2%	16.9%	31.5%	29.2%	16.9%	3.4%
	50～59歳	109	4	29	38	22	13	3
		100.0%	3.7%	26.6%	34.9%	20.2%	11.9%	2.8%
	60～69歳	131	7	44	39	17	12	12
		100.0%	5.3%	33.6%	29.8%	13.0%	9.2%	9.2%
	70歳以上	93	16	31	23	7	10	6
		100.0%	17.2%	33.3%	24.7%	7.5%	10.8%	6.5%
	男性	397	34	118	89	84	55	17
		100.0%	8.6%	29.7%	22.4%	21.2%	13.9%	4.3%
夫婦の就業状況・性別	夫婦の職業の有無（共働き世帯）	355	19	77	129	80	42	8
		100.0%	5.4%	21.7%	36.3%	22.5%	11.8%	2.3%
	うち男性の回答	149	13	40	45	33	15	3
		100.0%	8.7%	26.8%	30.2%	22.1%	10.1%	2.0%
	うち女性の回答	206	6	37	84	47	27	5
		100.0%	2.9%	18.0%	40.8%	22.8%	13.1%	2.4%
	夫婦の職業の有無（片働き世帯）	189	11	73	38	33	30	4
		100.0%	5.8%	38.6%	20.1%	17.5%	15.9%	2.1%
子どもの有無・性別	うち男性の回答	84	4	33	8	19	18	2
		100.0%	4.8%	39.3%	9.5%	22.6%	21.4%	2.4%
	うち女性の回答	105	7	40	30	14	12	2
		100.0%	6.7%	38.1%	28.6%	13.3%	11.4%	1.9%
	子どもがいる	729	60	216	198	135	87	33
		100.0%	8.2%	29.6%	27.2%	18.5%	11.9%	4.5%
	うち男性の回答	293	29	97	61	58	37	11
		100.0%	9.9%	33.1%	20.8%	19.8%	12.6%	3.8%
子どもの有無・性別	うち女性の回答	436	31	119	137	77	50	22
		100.0%	7.1%	27.3%	31.4%	17.7%	11.5%	5.0%
	子どもがいない	216	8	46	67	45	36	14
		100.0%	3.7%	21.3%	31.0%	20.8%	16.7%	6.5%
	うち男性の回答	100	4	21	27	25	17	6
		100.0%	4.0%	21.0%	27.0%	25.0%	17.0%	6.0%
子どもの有無・性別	うち女性の回答	116	4	25	40	20	19	8
		100.0%	3.4%	21.6%	34.5%	17.2%	16.4%	6.9%

. % : 各属性で最も高い割合

(3) 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に賛成の理由

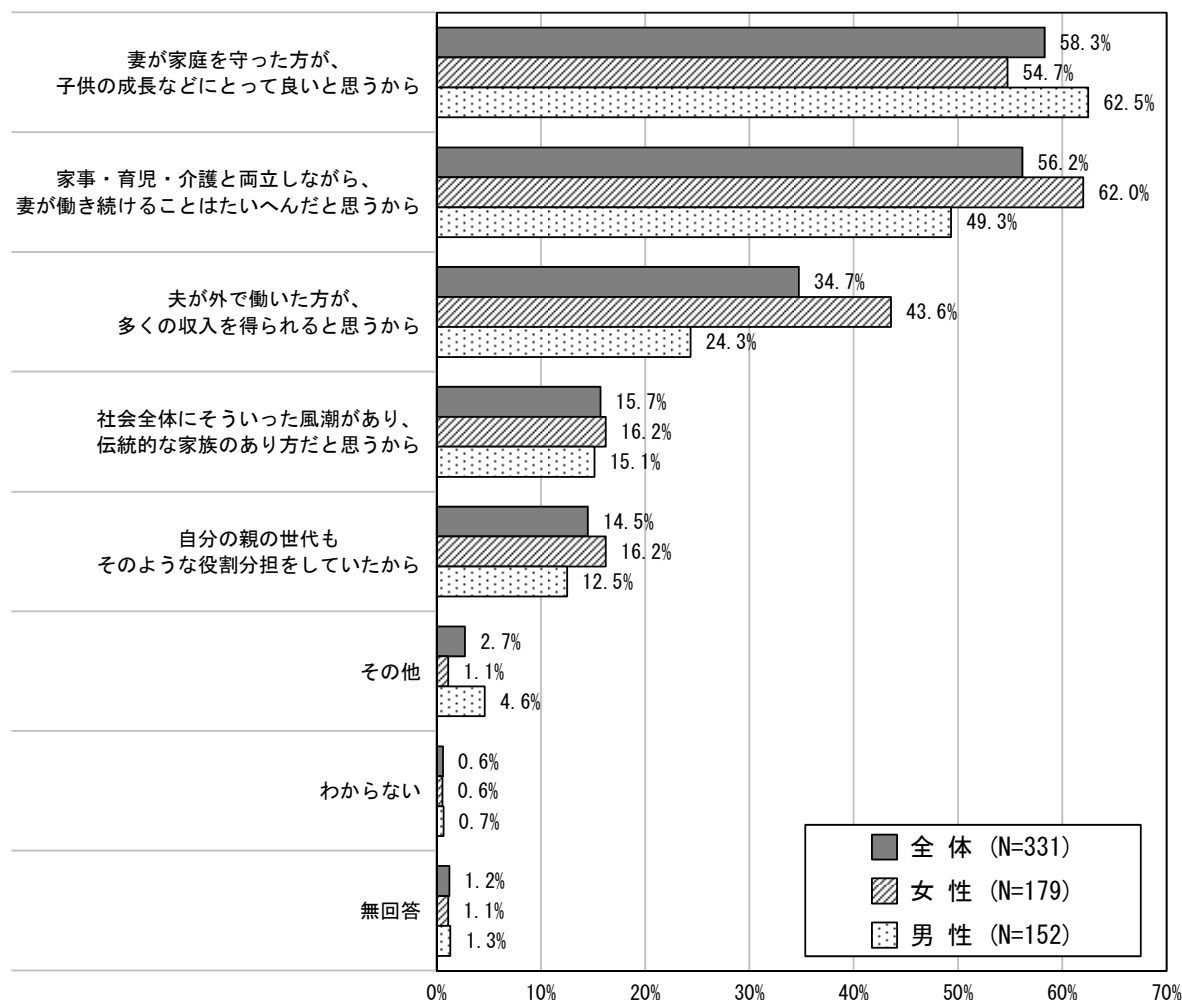
問7 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、「賛成」「どちらかといえば賛成」と答えた方におたずねします。それはなぜですか。(複数回答)

◆「妻が家庭を守った方が、子供の成長などにとって良い」という割合が高い◆

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について「賛成」又は「どちらかといえば賛成」の理由については、「妻が家庭を守った方が、子供の成長などにとって良いと思うから」(58.3%)と回答した人の割合が最も高く、次いで「家事・育児・介護と両立しながら、妻が働き続けることはたいへんだと思うから」(56.2%)、「夫が外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから」(34.7%)の順となっている。(図表 2-12)

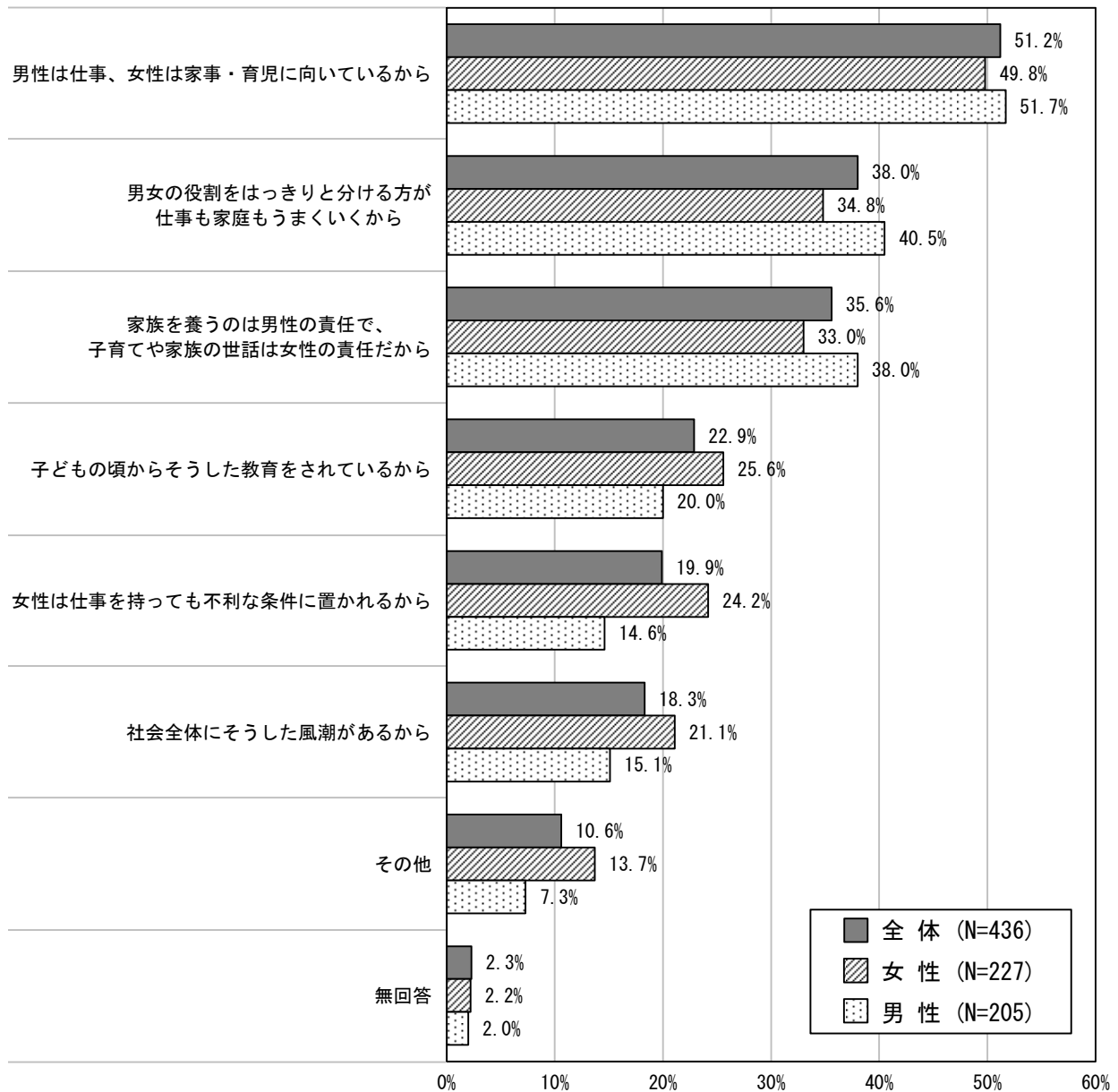
性別でみると、女性は「夫が外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから」という回答割合が男性より 19.3 ポイント高く、男性は「妻が家庭を守った方が、子供の成長などにとって良いと思うから」という回答割合が女性より 7.8 ポイント高くなっている。(図表 2-12)

図表 2-12 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に賛成の理由（全体・性別）



※「その他」意見については、100 ページに記載

図表 2-13 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に賛成の理由
(前回：平成 24 年度調査)



※前回の調査と今回の調査の回答項目は一部異なる。

図表 2-14 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に賛成の理由（全体、性・年代別）

上段：度数 下段：構成比(%)	サ ン プ ル 数	う ち か ら 社 会 全 体 に そ う い っ た 風 潮 が あ り 、 伝 統 的 な 家 族 の あ り 方 だ と 思 う	自 分 の 親 の 世 代 も そ の よ う な 役 割 分 担 を し て い た か ら	夫 が 外 で 働 い た 方 が 、 多 く の 収 入 を 得 ら れ る と 思 う か ら	妻 が 家 庭 を 守 っ た 方 が 、 子 供 の 成 長 な ど に と つ て 良 い と 思 う か ら	家 事 ・ 育 児 ・ 介 護 と 両 立 し な が ら 、 妻 が 働 き 続 け る こ と は い け ん だ と 思 う か ら	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
全 体	331	52	48	115	193	186	9	2	4
	-	15.7%	14.5%	34.7%	58.3%	56.2%	2.7%	0.6%	1.2%
女性	179	29	29	78	98	111	2	1	2
	-	16.2%	16.2%	43.6%	54.7%	62.0%	1.1%	0.6%	1.1%
20～29歳	16	2	0	6	6	12	1	0	0
	-	12.5%	0.0%	37.5%	37.5%	75.0%	6.3%	0.0%	0.0%
30～39歳	15	1	1	4	6	13	1	0	0
	-	6.7%	6.7%	26.7%	40.0%	86.7%	6.7%	0.0%	0.0%
40～49歳	17	4	3	7	9	8	0	0	0
	-	23.5%	17.6%	41.2%	52.9%	47.1%	0.0%	0.0%	0.0%
50～59歳	33	5	6	13	18	22	0	1	0
	-	15.2%	18.2%	39.4%	54.5%	66.7%	0.0%	3.0%	0.0%
60～69歳	51	7	5	23	28	32	0	0	1
	-	13.7%	9.8%	45.1%	54.9%	62.7%	0.0%	0.0%	2.0%
70歳以上	47	10	14	25	31	24	0	0	1
	-	21.3%	29.8%	53.2%	66.0%	51.1%	0.0%	0.0%	2.1%
男性	152	23	19	37	95	75	7	1	2
	-	15.1%	12.5%	24.3%	62.5%	49.3%	4.6%	0.7%	1.3%
20～29歳	8	1	1	1	6	6	0	0	0
	-	12.5%	12.5%	12.5%	75.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30～39歳	17	1	0	3	10	4	3	0	0
	-	5.9%	0.0%	17.6%	58.8%	23.5%	17.6%	0.0%	0.0%
40～49歳	15	3	1	4	12	6	1	0	0
	-	20.0%	6.7%	26.7%	80.0%	40.0%	6.7%	0.0%	0.0%
50～59歳	31	5	2	6	18	20	1	1	1
	-	16.1%	6.5%	19.4%	58.1%	64.5%	3.2%	3.2%	3.2%
60～69歳	40	6	8	11	20	20	1	0	1
	-	15.0%	20.0%	27.5%	50.0%	50.0%	2.5%	0.0%	2.5%
70歳以上	41	7	7	12	29	19	1	0	0
	-	17.1%	17.1%	29.3%	70.7%	46.3%	2.4%	0.0%	0.0%

. % : 各属性で最も高い割合

(4) 地域における活動等への参加状況

問 8 あなたは、現在、次のような地域における活動に参加していますか。(複数回答)

◆活動への参加が多いのは、町内会等の地区団体活動◆

地域における活動への参加状況については、「特に何もしていない」(38.2%)と回答した人の割合が最も高く、次いで「町内会や自治会などの地区を単位とした団体活動」(35.7%)、「子ども会、PTA、スポーツ少年団などの子どもの活動に関わる団体活動」(18.5%)、「スポーツや趣味、文化振興などに関わるサークル活動」(17.3%)の順となっている。

また、性別でみると、女性は「子ども会、PTA、スポーツ少年団などの子どもの活動に関わる団体活動」、「婦人(女性)会、高齢者クラブ、青年団などの団体活動」などで男性より割合が高く、男性は「町内会や自治会などの地区を単位とした団体活動」で女性より高くなっている。(図表 2-15)

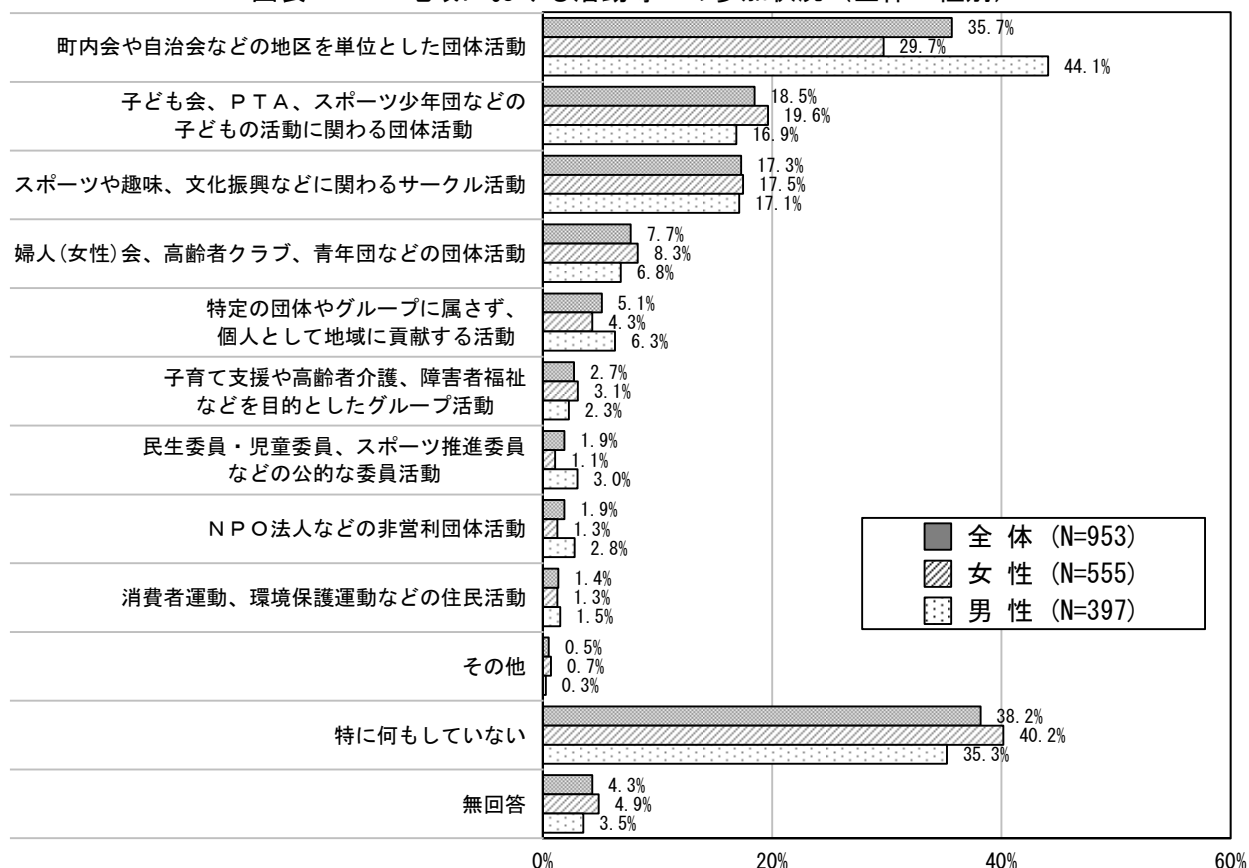
なお、「特に何もしていない」理由としては、「忙しくて、余裕がない」、「病気がちで、体調がよくない」、「活動を知らない、関心がない」などが多く挙げられている。

県の調査結果と比較すると、「町内会や自治会などの地区を単位とした団体活動」や「婦人(女性)会、高齢者クラブ、青年団などの団体活動」への参加状況は本市は低く、「子どもの活動に関わる団体活動」は高くなっている。(図表 2-16)

職業との関連をみると、正規の雇用者や無職の人については「特に何もしていない」割合が最も高く、非正規の雇用者については町内会等の地区団体活動への参加及び「特に何もしていない」割合がほぼ同程度で高く、自営業従事者(家族従事者含む。)は町内会等の地区団体活動への参加割合が5割超となっている。(図表 2-17)

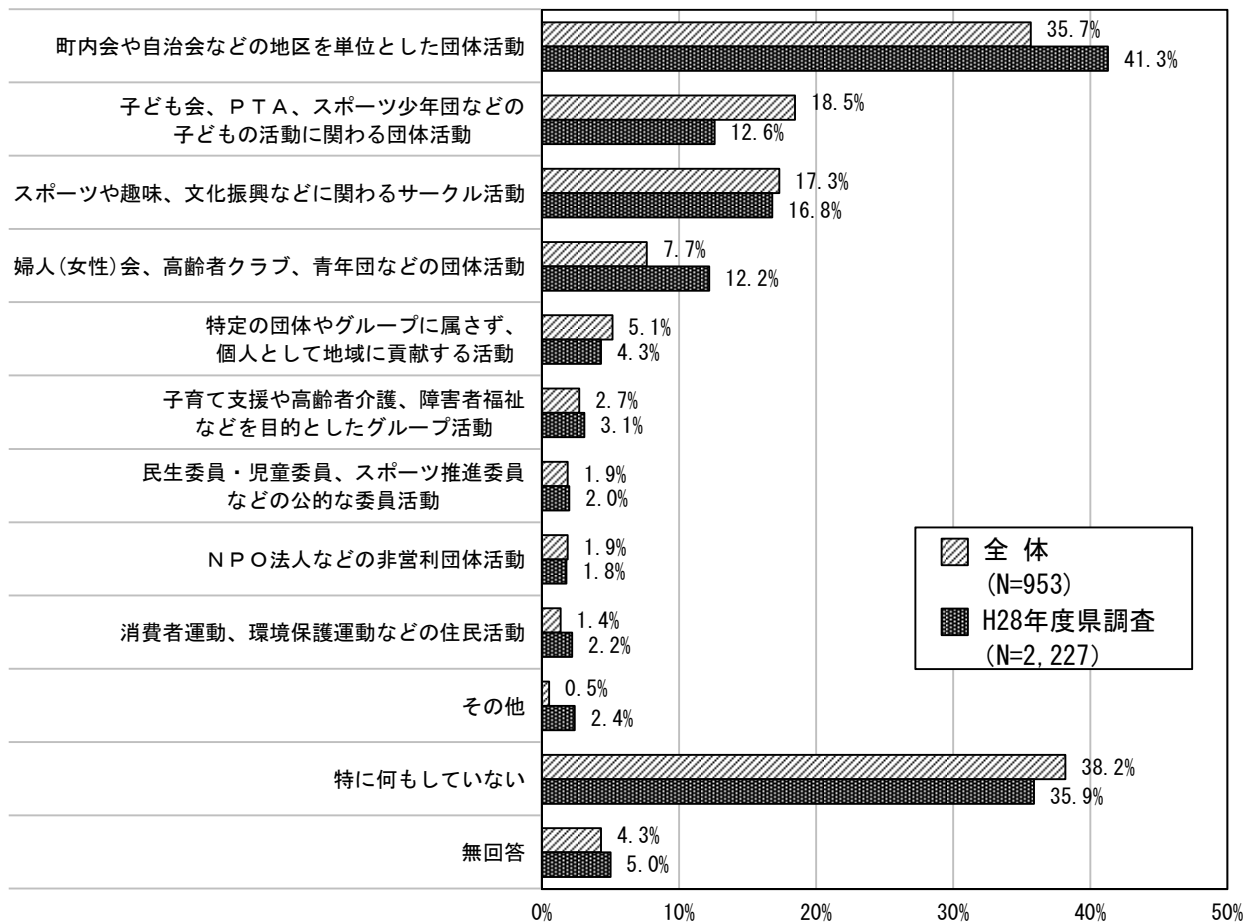
婚姻状況との関連をみると、未婚者は「特に何もしていない」人の割合が6割近く(58.5%)を占めている。(図表 2-17)

図表 2-15 地域における活動等への参加状況(全体・性別)



※「その他」活動については100ページ、「特に何もしていない」理由については100・101ページに記載

図表 2-16 地域における活動等への参加状況（比較：県）



図表 2-17 地域における活動等への参加状況

		サンプル数	町内会や自治会などの地区を単位とした団体活動	婦人(女性)会、高齢者クラブ、青年団などの団体活動	子ども会、PTA、スポーツ少年団などの子どもの活動に関わる団体活動	消費者運動、環境保護運動などの住民活動	民生委員・児童委員、スポーツ推進委員などの公的な委員活動	子育て支援や高齢者介護、障害者福祉などを目的としたグループ活動	NPO法人などの非営利団体活動	特定の団体やグループに属せず、個人として地域に貢献する活動	スポーツや趣味、文化振興などに関わるサークル活動	その他	特に何もしていない	無回答
上段：度数 下段：構成比(%)														
性・年代別	全 体	953	340	73	176	13	18	26	18	49	165	5	364	41
		-	35.7%	7.7%	18.5%	1.4%	1.9%	2.7%	1.9%	5.1%	17.3%	0.5%	38.2%	4.3%
	女性	555	165	46	109	7	6	17	7	24	97	4	223	27
		-	29.7%	8.3%	19.6%	1.3%	1.1%	3.1%	1.3%	4.3%	17.5%	0.7%	40.2%	4.9%
	20～29歳	52	7	1	4	0	0	2	0	1	7	0	35	1
		-	13.5%	1.9%	7.7%	0.0%	0.0%	3.8%	0.0%	1.9%	13.5%	0.0%	67.3%	1.9%
	30～39歳	81	17	0	33	0	0	4	0	2	8	0	30	5
		-	21.0%	0.0%	40.7%	0.0%	0.0%	4.9%	0.0%	2.5%	9.9%	0.0%	37.0%	6.2%
	40～49歳	89	30	4	58	0	1	2	2	4	17	0	16	4
		-	33.7%	4.5%	65.2%	0.0%	1.1%	2.2%	2.2%	4.5%	19.1%	0.0%	18.0%	4.5%
	50～59歳	109	31	4	7	1	0	3	2	2	18	1	54	1
		-	28.4%	3.7%	6.4%	0.9%	0.0%	2.8%	1.8%	1.8%	16.5%	0.9%	49.5%	0.9%
	60～69歳	131	46	16	3	3	4	4	2	8	28	2	51	7
		-	35.1%	12.2%	2.3%	2.3%	3.1%	3.1%	1.5%	6.1%	21.4%	1.5%	38.9%	5.3%
	70歳以上	93	34	21	4	3	1	2	1	7	19	1	37	9
		-	36.6%	22.6%	4.3%	3.2%	1.1%	2.2%	1.1%	7.5%	20.4%	1.1%	39.8%	9.7%
	男性	397	175	27	67	6	12	9	11	25	68	1	140	14
		-	44.1%	6.8%	16.9%	1.5%	3.0%	2.3%	2.8%	6.3%	17.1%	0.3%	35.3%	3.5%
	20～29歳	36	4	1	1	0	0	0	0	1	5	0	24	2
		-	11.1%	2.8%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.8%	13.9%	0.0%	66.7%	5.6%
	30～39歳	57	14	7	21	1	2	2	1	4	19	0	14	4
		-	24.6%	12.3%	36.8%	1.8%	3.5%	3.5%	1.8%	7.0%	33.3%	0.0%	24.6%	7.0%
職業・性別	40～49歳	57	30	2	25	0	0	1	2	0	9	0	17	0
		-	52.6%	3.5%	43.9%	0.0%	0.0%	1.8%	3.5%	0.0%	15.8%	0.0%	29.8%	0.0%
	50～59歳	76	38	2	10	1	1	0	2	6	11	0	27	1
		-	50.0%	2.6%	13.2%	1.3%	1.3%	0.0%	2.6%	7.9%	14.5%	0.0%	35.5%	1.3%
	60～69歳	100	52	7	9	1	6	1	5	9	15	1	31	4
		-	52.0%	7.0%	9.0%	1.0%	6.0%	1.0%	5.0%	9.0%	15.0%	1.0%	31.0%	4.0%
	70歳以上	71	37	8	1	3	3	5	1	5	9	0	27	3
		-	52.1%	11.3%	1.4%	4.2%	4.2%	7.0%	1.4%	7.0%	12.7%	0.0%	38.0%	4.2%
	雇用者 (正規職員等)	331	107	11	89	4	2	6	4	10	66	1	127	11
		-	32.3%	3.3%	26.9%	1.2%	0.6%	1.8%	1.2%	3.0%	19.9%	0.3%	38.4%	3.3%
	うち男性の回答	199	77	9	53	3	2	2	3	9	43	0	73	6
		-	38.7%	4.5%	26.6%	1.5%	1.0%	1.0%	1.5%	4.5%	21.6%	0.0%	36.7%	3.0%
	うち女性の回答	132	30	2	36	1	0	4	1	1	23	1	54	5
		-	22.7%	1.5%	27.3%	0.8%	0.0%	3.0%	0.8%	0.8%	17.4%	0.8%	40.9%	3.8%
	雇用者 (非正規職員等)	173	61	6	44	2	3	8	3	9	23	1	57	8
		-	35.3%	3.5%	25.4%	1.2%	1.7%	4.6%	1.7%	5.2%	13.3%	0.6%	32.9%	4.6%
	うち男性の回答	31	18	1	0	1	1	1	0	3	4	0	7	2
		-	58.1%	3.2%	0.0%	3.2%	3.2%	3.2%	0.0%	9.7%	12.9%	0.0%	22.6%	6.5%
	うち女性の回答	141	43	5	44	1	2	7	3	6	19	1	49	6
		-	30.5%	3.5%	31.2%	0.7%	1.4%	5.0%	2.1%	4.3%	13.5%	0.7%	34.8%	4.3%
	自営業主 家族従事者	118	60	16	18	1	4	2	3	7	20	2	26	5
		-	50.8%	13.6%	15.3%	0.8%	3.4%	1.7%	2.5%	5.9%	16.9%	1.7%	22.0%	4.2%
	うち男性の回答	64	36	6	10	1	3	2	3	6	8	1	10	3
		-	56.3%	9.4%	15.6%	1.6%	4.7%	3.1%	4.7%	9.4%	12.5%	1.6%	15.6%	4.7%
	うち女性の回答	54	24	10	8	0	1	0	0	1	12	1	16	2
		-	44.4%	18.5%	14.8%	0.0%	1.9%	0.0%	0.0%	1.9%	22.2%	1.9%	29.6%	3.7%
	無職	326	111	40	24	6	9	10	8	23	56	1	152	15
		-	34.0%	12.3%	7.4%	1.8%	2.8%	3.1%	2.5%	7.1%	17.2%	0.3%	46.6%	4.6%
	うち男性の回答	102	44	11	4	1	6	4	5	7	13	0	50	2
		-	43.1%	10.8%	3.9%	1.0%	5.9%	3.9%	4.9%	6.9%	12.7%	0.0%	49.0%	2.0%
	うち女性の回答	224	67	29	20	5	3	6	3	16	43	1	102	13
		-	29.9%	12.9%	8.9%	2.2%	1.3%	2.7%	1.3%	7.1%	19.2%	0.4%	45.5%	5.8%
婚姻状況	結婚している (したことがある)	806	317	67	171	12	16	25	17	41	141	5	279	29
		-	39.3%	8.3%	21.2%	1.5%	2.0%	3.1%	2.1%	5.1%	17.5%	0.6%	34.6%	3.6%
	結婚していない	142	22	6	5	1	2	1	1	8	23	0	83	11
		-	15.5%	4.2%	3.5%	0.7%	1.4%	0.7%	0.7%	5.6%	16.2%	0.0%	58.5%	7.7%

. % : 各属性で最も高い割合

(5) 生活の中での仕事、家庭生活、地域・個人生活の優先度

問9 生活の中での「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」（地域活動・学習・趣味・付き合い等）の優先度について、おたずねします。

(1) あなたの希望に最も近いものを、次の中からお選びください。(1つ選択)

(2) それでは、あなたの現実・現状に最も近いものを、次の中からお選びください。

(1つ選択)

◆仕事と家庭生活等をともに優先したいが、

女性は「家庭生活」、男性は「仕事」を優先◆

生活の中での「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人生活」の優先度の希望と現実については、「仕事」と「家庭生活」をともに優先（希望 32.3%、現実 24.0%）、「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先（希望 15.7%、現実 7.7%）が希望に対して現実は低くなっており、一方「仕事」を優先は希望としては 6.7%と低い、現実は 22.7%となっている。

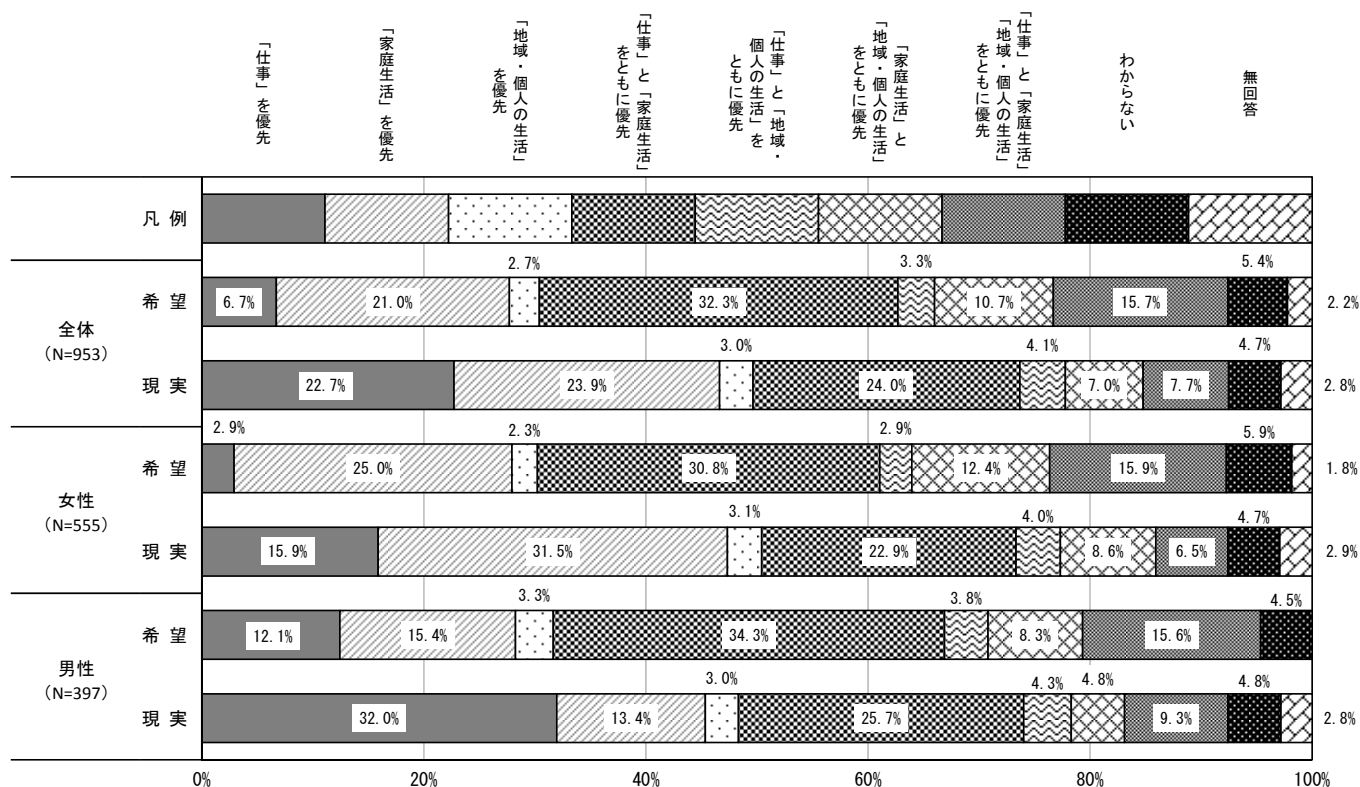
これらの結果から、「仕事」と「家庭生活」・「地域・個人の生活」を両立させたいと思っけていても、現実には「仕事」を優先せざるを得ない状況にある人が多いことが伺える。

性別でみると、女性は「家庭生活」を優先が希望 25.0%に対し現実は 31.5%で家庭生活をやや優先している状況にあり、男性は「仕事」を優先が希望 12.1%に対し現実 32.0%と仕事を優先している状況にある。（図表 2-18）

前回の調査結果と比較すると、希望としては、男女ともに「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人生活」をともに優先したいが 7.2 ポイント減り、「仕事」と「家庭生活」をともに優先したいが 8.8 ポイント増えており、「地域・個人の生活」以上に「家庭生活」を優先したいと考える人が増えてきている。

現実では、「仕事」と「家庭生活」・「地域・個人の生活」の双方を優先（両立）できている人は減り、女性は「家庭生活」の優先度が高く（前回 22.1% → 今回 31.5%）、男性は「仕事」の優先度が高くなってきている（前回 24.5% → 今回 32.0%）。（図表 2-19～2-20）

図表 2-18 生活の中での仕事、家庭生活等の優先度【希望と現実】（全体・性別）

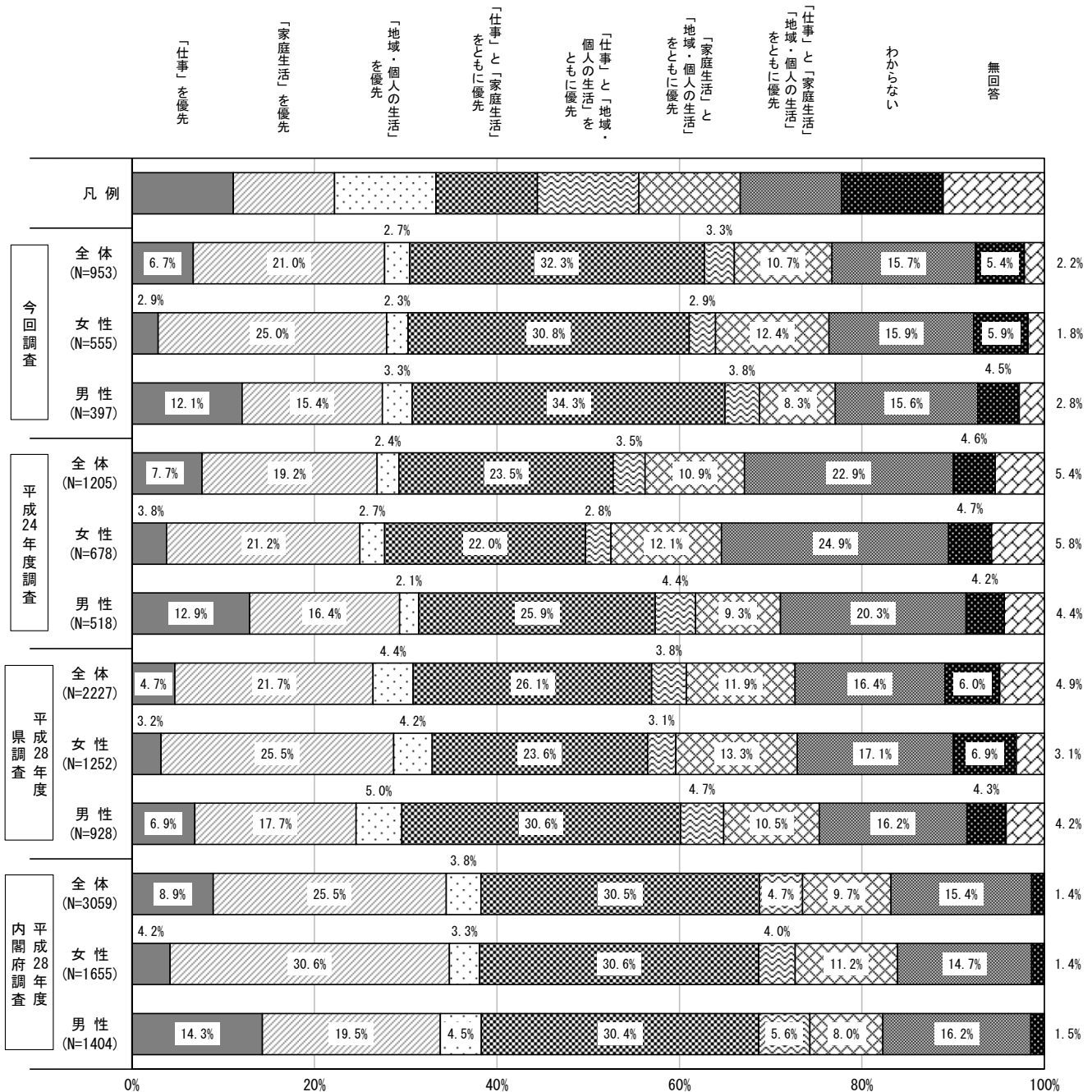


県の調査結果と比較すると、「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい」と希望する割合が本市はやや高い状況であるが、現実には「仕事」を優先している」割合がやや高くなっている。

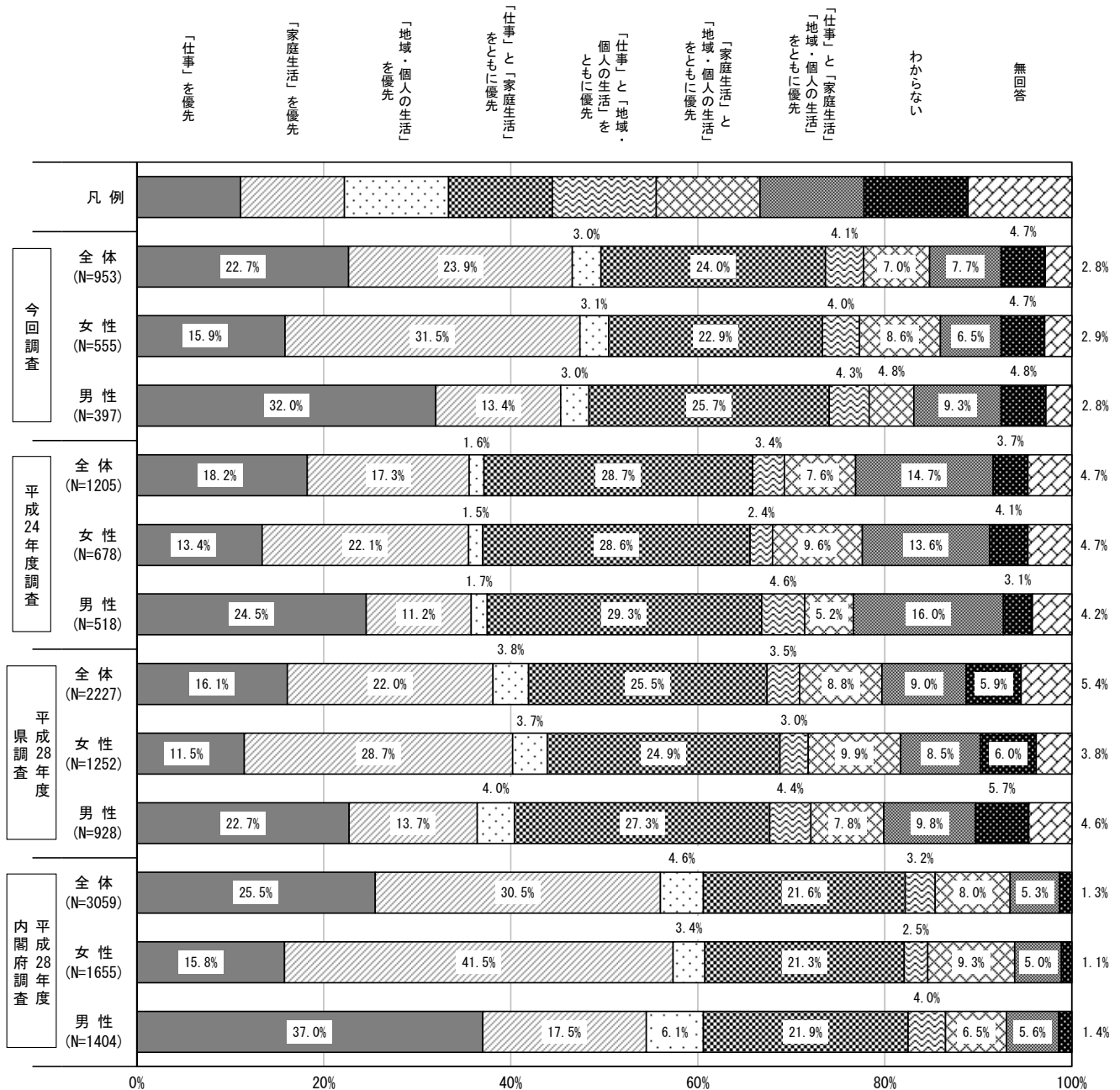
内閣府（全国）の調査結果と比較すると、現実において「家庭生活」を優先している」割合が本市はやや低くなっている。（図表 2-19～2-20）

職業との関連をみると、雇用者、自営業従事者のいずれも希望としては「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい」という割合が高い状況だが、現実には、正規の雇用者（男女とも）や非正規の雇用者のうち男性、自営業従事者のうち男性は「仕事」を優先している」割合が高くなっている。（図表 2-21、2-22）

図表 2-19 生活の中での仕事、家庭生活等の優先度【希望】（比較：前回、県、国）



図表 2-20 生活の中での仕事、家庭生活等の優先度【現実】（比較：前回、県、国）



図表 2-21 生活の中での仕事、家庭生活等の優先度【希望】

上段：度数 下段：構成比(%)		サンプル数	「仕事」を優先したい	「家庭生活」を優先したい	「地域・個人の生活」を優先したい	「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい	「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したい	「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい	「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい	わからない	無回答
全 体		953 100.0%	64 6.7%	200 21.0%	26 2.7%	308 32.3%	31 3.3%	102 10.7%	150 15.7%	51 5.4%	21 2.2%
性・年代別	女性	555 100.0%	16 2.9%	139 25.0%	13 2.3%	171 30.8%	16 2.9%	69 12.4%	88 15.9%	33 5.9%	10 1.8%
		20～29歳	52 100.0%	1 1.9%	16 30.8%	1 1.9%	19 36.5%	1 1.9%	3 5.8%	8 15.4%	2 3.8%
	30～39歳		81 100.0%	2 2.5%	28 34.6%	1 1.2%	29 35.8%	4 4.9%	1 1.2%	7 8.6%	6 7.4%
		40～49歳	89 100.0%	1 1.1%	18 20.2%	1 1.1%	43 48.3%	1 1.1%	4 4.5%	16 18.0%	4 4.5%
	50～59歳		109 100.0%	4 3.7%	30 27.5%	0 0.0%	38 34.9%	6 5.5%	8 7.3%	22 20.2%	1 0.9%
		60～69歳	131 100.0%	6 4.6%	24 18.3%	7 5.3%	32 24.4%	2 1.5%	31 23.7%	20 15.3%	6 4.6%
	70歳以上		93 100.0%	2 2.2%	23 24.7%	3 3.2%	10 10.8%	2 2.2%	22 23.7%	15 16.1%	14 15.1%
		男性	397 100.0%	48 12.1%	61 15.4%	13 3.3%	136 34.3%	15 3.8%	33 8.3%	62 15.6%	18 4.5%
	20～29歳		36 100.0%	5 13.9%	5 13.9%	2 5.6%	11 30.6%	3 8.3%	2 5.6%	3 8.3%	2 5.6%
		30～39歳	57 100.0%	6 10.5%	7 12.3%	1 1.8%	27 47.4%	0 0.0%	5 8.8%	8 14.0%	0 0.0%
	40～49歳		57 100.0%	4 7.0%	10 17.5%	2 3.5%	28 49.1%	0 0.0%	1 1.8%	10 17.5%	2 3.5%
		50～59歳	76 100.0%	13 17.1%	6 7.9%	3 3.9%	24 31.6%	7 9.2%	3 3.9%	18 23.7%	2 2.6%
	60～69歳		100 100.0%	13 13.0%	17 17.0%	4 4.0%	31 31.0%	2 2.0%	11 11.0%	15 15.0%	6 6.0%
		70歳以上	71 100.0%	7 9.9%	16 22.5%	1 1.4%	15 21.1%	3 4.2%	11 15.5%	8 11.3%	6 8.5%
職業・性別	雇用者 （正規職員等）		331 100.0%	33 10.0%	39 11.8%	9 2.7%	148 44.7%	14 4.2%	14 4.2%	57 17.2%	8 2.4%
		うち男性の回答	199 100.0%	27 13.6%	21 10.6%	5 2.5%	84 42.2%	9 4.5%	12 6.0%	34 17.1%	2 1.0%
	うち女性の回答		132 100.0%	6 4.5%	18 13.6%	4 3.0%	64 48.5%	5 3.8%	2 1.5%	23 17.4%	6 4.5%
		雇用者 （非正規職員等）	173 100.0%	7 4.0%	44 25.4%	1 0.6%	73 42.2%	6 3.5%	9 5.2%	28 16.2%	2 1.2%
	うち男性の回答		31 100.0%	2 6.5%	6 19.4%	1 3.2%	14 45.2%	0 0.0%	1 3.2%	6 19.4%	0 0.0%
		うち女性の回答	141 100.0%	5 3.5%	38 27.0%	0 0.0%	58 41.1%	6 4.3%	8 5.7%	22 15.6%	2 1.4%
	自営業主 家族従事者		118 100.0%	17 14.4%	17 14.4%	2 1.7%	46 39.0%	3 2.5%	6 5.1%	23 19.5%	3 2.5%
		うち男性の回答	64 100.0%	14 21.9%	8 12.5%	0 0.0%	22 34.4%	2 3.1%	2 3.1%	14 21.9%	2 3.1%
	うち女性の回答		54 100.0%	3 5.6%	9 16.7%	2 3.7%	24 44.4%	1 1.9%	4 7.4%	9 16.7%	1 1.9%

. % : 各属性で最も高い割合

図表 2-22 生活の中での仕事、家庭生活等の優先度【現実】

上段：度数 下段：構成比(%)		サンプル数	「仕事」を優先している	「家庭生活」を優先している	「地域・個人の生活」を優先している	「仕事」と「家庭生活」をともに優先している	「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している	「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している	「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している	わからない	無回答
全 体		953 100.0%	216 22.7%	228 23.9%	29 3.0%	229 24.0%	39 4.1%	67 7.0%	73 7.7%	45 4.7%	27 2.8%
性・年代別	女性	555 100.0%	88 15.9%	175 31.5%	17 3.1%	127 22.9%	22 4.0%	48 8.6%	36 6.5%	26 4.7%	16 2.9%
	20～29歳	52 100.0%	19 36.5%	14 26.9%	0 0.0%	11 21.2%	1 1.9%	2 3.8%	2 3.8%	2 3.8%	1 1.9%
	30～39歳	81 100.0%	10 12.3%	32 39.5%	1 1.2%	23 28.4%	2 2.5%	1 1.2%	3 3.7%	6 7.4%	3 3.7%
	40～49歳	89 100.0%	23 25.8%	21 23.6%	0 0.0%	27 30.3%	2 2.2%	5 5.6%	9 10.1%	0 0.0%	2 2.2%
	50～59歳	109 100.0%	20 18.3%	35 32.1%	2 1.8%	30 27.5%	5 4.6%	5 4.6%	7 6.4%	3 2.8%	2 1.8%
	60～69歳	131 100.0%	13 9.9%	42 32.1%	8 6.1%	26 19.8%	7 5.3%	14 10.7%	14 10.7%	2 1.5%	5 3.8%
	70歳以上	93 100.0%	3 3.2%	31 33.3%	6 6.5%	10 10.8%	5 5.4%	21 22.6%	1 1.1%	13 14.0%	3 3.2%
	男性	397 100.0%	127 32.0%	53 13.4%	12 3.0%	102 25.7%	17 4.3%	19 4.8%	37 9.3%	19 4.8%	11 2.8%
	20～29歳	36 100.0%	12 33.3%	2 5.6%	3 8.3%	11 30.6%	1 2.8%	0 0.0%	3 8.3%	2 5.6%	2 5.6%
	30～39歳	57 100.0%	23 40.4%	3 5.3%	1 1.8%	20 35.1%	1 1.8%	0 0.0%	3 5.3%	3 5.3%	3 5.3%
	40～49歳	57 100.0%	33 57.9%	5 8.8%	0 0.0%	11 19.3%	1 1.8%	0 0.0%	4 7.0%	3 5.3%	0 0.0%
	50～59歳	76 100.0%	26 34.2%	5 6.6%	2 2.6%	22 28.9%	8 10.5%	1 1.3%	10 13.2%	2 2.6%	0 0.0%
	60～69歳	100 100.0%	26 26.0%	16 16.0%	5 5.0%	27 27.0%	5 5.0%	7 7.0%	8 8.0%	5 5.0%	1 1.0%
	70歳以上	71 100.0%	7 9.9%	22 31.0%	1 1.4%	11 15.5%	1 1.4%	11 15.5%	9 12.7%	4 5.6%	5 7.0%
職業・性別	雇用者 （正規職員等）	331 100.0%	139 42.0%	26 7.9%	3 0.9%	102 30.8%	14 4.2%	2 0.6%	26 7.9%	11 3.3%	8 2.4%
	うち男性の回答	199 100.0%	88 44.2%	10 5.0%	2 1.0%	60 30.2%	9 4.5%	1 0.5%	18 9.0%	7 3.5%	4 2.0%
	うち女性の回答	132 100.0%	51 38.6%	16 12.1%	1 0.8%	42 31.8%	5 3.8%	1 0.8%	8 6.1%	4 3.0%	4 3.0%
	雇用者 （非正規職員等）	173 100.0%	36 20.8%	34 19.7%	1 0.6%	67 38.7%	11 6.4%	2 1.2%	14 8.1%	3 1.7%	5 2.9%
	うち男性の回答	31 100.0%	10 32.3%	3 9.7%	1 3.2%	10 32.3%	1 3.2%	1 3.2%	4 12.9%	0 0.0%	1 3.2%
	うち女性の回答	141 100.0%	25 17.7%	31 22.0%	0 0.0%	57 40.4%	10 7.1%	1 0.7%	10 7.1%	3 2.1%	4 2.8%
	自営業主 家族従事者	118 100.0%	32 27.1%	19 16.1%	1 0.8%	35 29.7%	8 6.8%	4 3.4%	16 13.6%	2 1.7%	1 0.8%
	うち男性の回答	64 100.0%	25 39.1%	6 9.4%	1 1.6%	16 25.0%	4 6.3%	0 0.0%	10 15.6%	2 3.1%	0 0.0%
	うち女性の回答	54 100.0%	7 13.0%	13 24.1%	0 0.0%	19 35.2%	4 7.4%	4 7.4%	6 11.1%	0 0.0%	1 1.9%

. % : 各属性で最も高い割合

(6) 男女が家事、子育て、介護等に、より積極的に参加していくために必要なこと

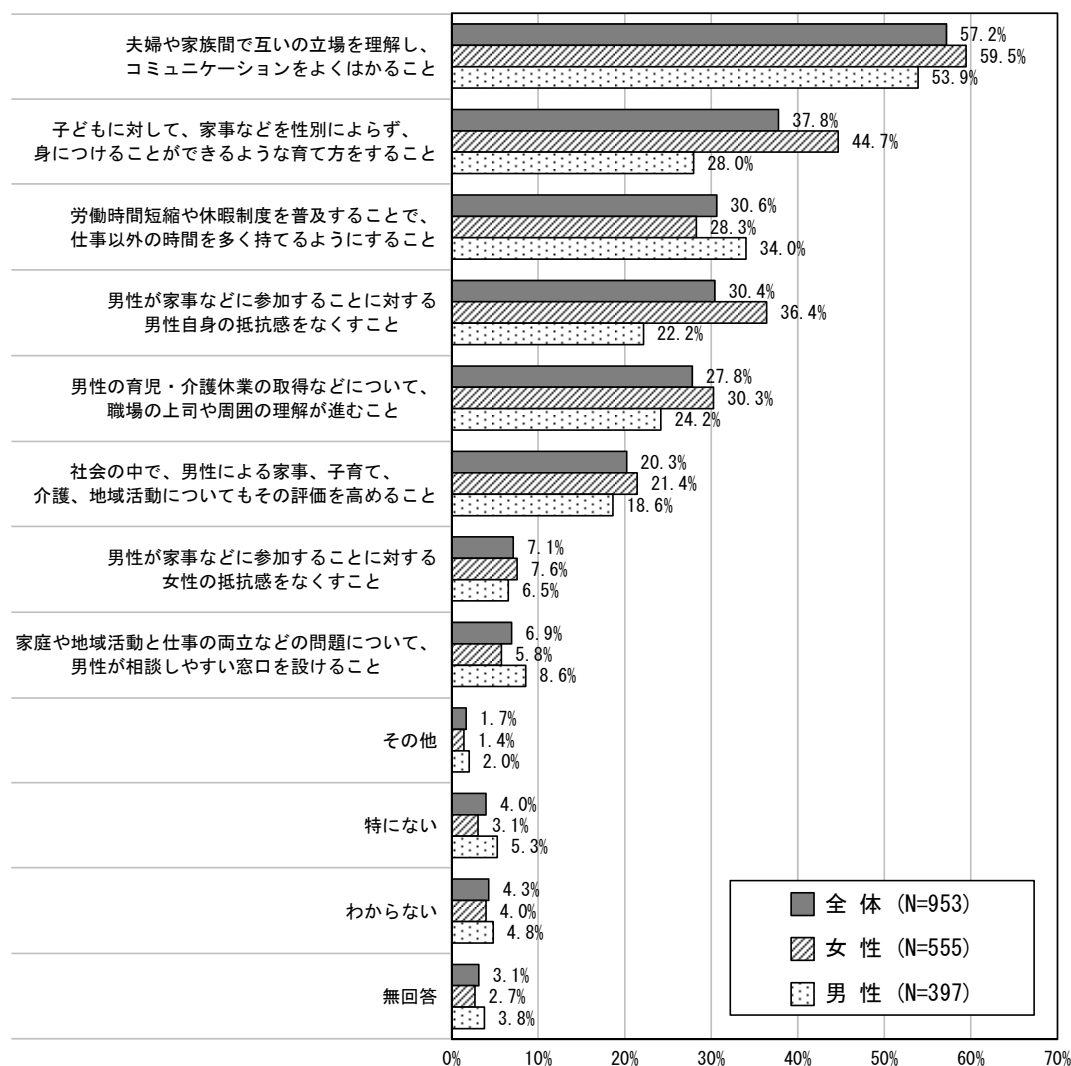
問 10 あなたは、今後、男女がともに家事、子育て、介護、地域活動に、より積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。（3つ以内で選択）

◆「夫婦や家族間で互いの立場を理解し、 コミュニケーションをよくはかること」が必要という割合が高い◆

男女がともに家事、子育て、介護、地域活動に、より積極的に参加していくために必要なことについては、「夫婦や家族間で互いの立場を理解し、コミュニケーションをよくはかること」（57.2%）と回答した人の割合が最も高く、次いで「子どもに対して、家事などを性別によらず、身につけることができるような育て方をすること」（37.8%）、「労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間を多く持てるようにすること」（30.6%）、「男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」（30.4%）の順となっている。

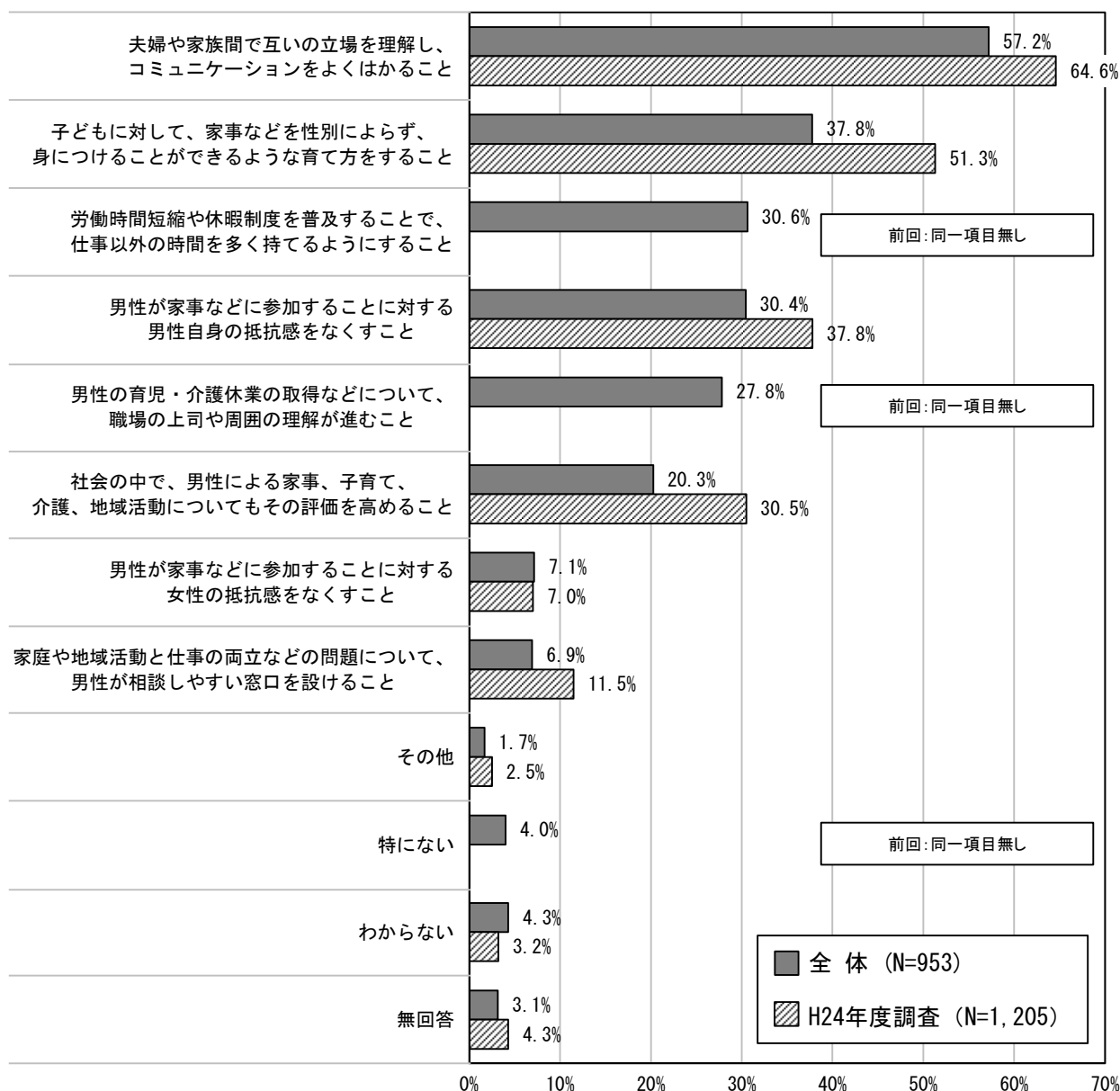
性別でみると、女性は、「子どもに対して、家事などを性別によらず、身につけることができるような育て方をすること」、「男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」などが必要という割合が男性よりも高く、男性は、「労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間を多く持てるようにすること」が必要という割合が女性より高くなっている。（図表 2-23）

図表 2-23 男女が家事、子育て等に、より積極的に参加していくために必要なこと（全体・性別）



※「その他」意見については、101 ページに記載

図表 2-24 男女が家事、子育て等に、より積極的に参加していくために必要なこと（比較：前回）



※前回の調査と今回の調査の回答項目は一部異なる。

図表 2-25 男女が家事、子育て等に、より積極的に参加していくために必要なこと
(全体、性・年代別)

	サンプル数	男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと	男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと	夫婦や家族間で互いの立場を理解し、コミュニケーションをよくはかること	社会の中で、男性による家事、子育て、介護、地域活動についてもその評価を高めること	子どもに対して、家事などを性別によらず、身につけることができるような育て方をすること	労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間を多く持てるようにすること	男性の育児・介護休業の取得などについて、職場の上司や周囲の理解が進むこと	家庭や地域活動と仕事の両立などの問題について、男性が相談しやすい窓口を設けること	その他	特にない	わからない	無回答
上段：度数 下段：構成比(%)													
全 体	953 －	290 30.4%	68 7.1%	545 57.2%	193 20.3%	360 37.8%	292 30.6%	265 27.8%	66 6.9%	16 1.7%	38 4.0%	41 4.3%	30 3.1%
女性	555 －	202 36.4%	42 7.6%	330 59.5%	119 21.4%	248 44.7%	157 28.3%	168 30.3%	32 5.8%	8 1.4%	17 3.1%	22 4.0%	15 2.7%
	20～29歳	52 －	25 48.1%	5 9.6%	25 48.1%	8 15.4%	23 44.2%	20 38.5%	20 38.5%	1 1.9%	1 1.9%	1 1.9%	0 0.0%
	30～39歳	81 －	31 38.3%	6 7.4%	44 54.3%	17 21.0%	32 39.5%	33 40.7%	32 39.5%	2 2.5%	4 4.9%	0 0.0%	2 2.5%
	40～49歳	89 －	28 31.5%	2 2.2%	51 57.3%	25 28.1%	50 56.2%	30 33.7%	30 33.7%	3 3.4%	1 1.1%	2 2.2%	1 1.1%
	50～59歳	109 －	41 37.6%	7 6.4%	78 71.6%	27 24.8%	47 43.1%	28 25.7%	31 28.4%	7 6.4%	0 0.0%	1 0.9%	4 3.7%
	60～69歳	131 －	49 37.4%	11 8.4%	83 63.4%	29 22.1%	62 47.3%	28 21.4%	37 28.2%	8 6.1%	2 1.5%	2 1.5%	5 3.8%
	70歳以上	93 －	28 30.1%	11 11.8%	49 52.7%	13 14.0%	34 36.6%	18 19.4%	18 19.4%	11 11.8%	0 0.0%	11 11.8%	9 9.7%
	男性	397 －	88 22.2%	26 6.5%	214 53.9%	74 18.6%	111 28.0%	135 34.0%	96 24.2%	34 8.6%	8 2.0%	21 5.3%	19 4.8%
	20～29歳	36 －	3 8.3%	1 2.8%	17 47.2%	6 16.7%	9 25.0%	18 50.0%	12 33.3%	3 8.3%	1 2.8%	3 8.3%	1 2.8%
30～39歳	57 －	13 22.8%	6 10.5%	23 40.4%	11 19.3%	14 24.6%	21 36.8%	13 22.8%	4 7.0%	1 1.8%	4 7.0%	3 5.3%	
40～49歳	57 －	10 17.5%	3 5.3%	25 43.9%	12 21.1%	15 26.3%	28 49.1%	18 31.6%	6 10.5%	1 1.8%	3 5.3%	4 7.0%	
50～59歳	76 －	17 22.4%	4 5.3%	44 57.9%	18 23.7%	20 26.3%	27 35.5%	21 27.6%	8 10.5%	2 2.6%	1 1.3%	3 3.9%	
60～69歳	100 －	25 25.0%	6 6.0%	56 56.0%	17 17.0%	31 31.0%	31 31.0%	21 21.0%	6 6.0%	2 2.0%	7 7.0%	3 3.0%	
70歳以上	71 －	20 28.2%	6 8.5%	49 69.0%	10 14.1%	22 31.0%	10 14.1%	11 15.5%	7 9.9%	1 1.4%	3 4.2%	5 7.0%	

. % : 各属性で最も高い割合

(7) 家庭における高齢者介護を主に女性が担っていることについて

問 11 現在、家庭における高齢者介護は多くの場合女性が担っていますが、これについてどう思いますか。(1つ選択)

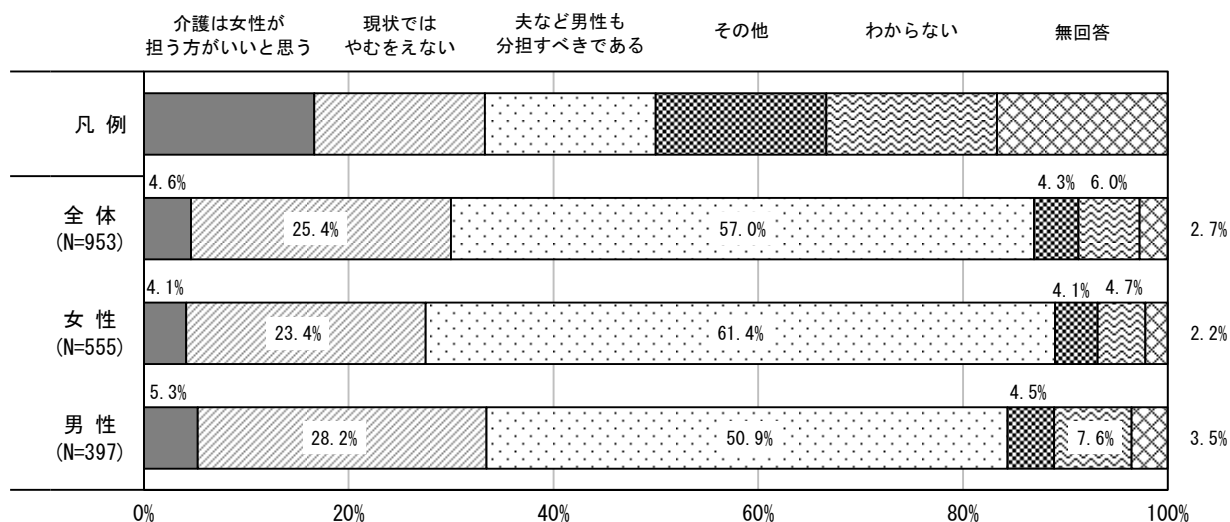
◆男女を問わず、「夫など男性も分担すべきである」という割合が高い◆

家庭における高齢者介護については、「夫など男性も分担すべきである」(57.0%)と回答した人の割合が高く、次いで「現状ではやむをえない」(25.4%)の順であるが、その差は約31ポイントあり、家庭内で互いに協力し合うことが必要であると男女ともに感じていることが伺える(特に女性は「男性も分担すべき」という割合が6割以上)。

一方、「介護は女性が担う方がいいと思う」は4.6%と低い割合となっている。(図表 2-26)

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」(問6)という考え方に反対する人は賛成する人に比べ、「男性も分担すべき」という割合が高く(66.7%で3人中2人の割合)、「介護は女性が担う方がいい」、「現状ではやむをえない」という回答割合は低くなっている。(図表 2-27)

図表 2-26 家庭における高齢者介護を主に女性が担っていることについて(全体・性別)



※「その他」意見については 101 ページに記載

図表 2-27 家庭における高齢者介護を主に女性が担っていることについて

		サ ン プ ル 数	介護は女性が担う方が いいと思う	現状ではやむをえない	夫など男性も分担すべきである	その他	わからない	無回答
上段：度数 下段：構成比(%)								
全 体		953	44	242	543	41	57	26
		100.0%	4.6%	25.4%	57.0%	4.3%	6.0%	2.7%
性・年代別	女性	555	23	130	341	23	26	12
		100.0%	4.1%	23.4%	61.4%	4.1%	4.7%	2.2%
	20～29歳	52	1	15	31	2	3	0
		100.0%	1.9%	28.8%	59.6%	3.8%	5.8%	0.0%
	30～39歳	81	2	15	52	5	4	3
		100.0%	2.5%	18.5%	64.2%	6.2%	4.9%	3.7%
	40～49歳	89	1	16	65	2	4	1
		100.0%	1.1%	18.0%	73.0%	2.2%	4.5%	1.1%
	50～59歳	109	0	30	69	6	3	1
		100.0%	0.0%	27.5%	63.3%	5.5%	2.8%	0.9%
	60～69歳	131	5	35	77	5	4	5
		100.0%	3.8%	26.7%	58.8%	3.8%	3.1%	3.8%
	70歳以上	93	14	19	47	3	8	2
		100.0%	15.1%	20.4%	50.5%	3.2%	8.6%	2.2%
性・年代別	男性	397	21	112	202	18	30	14
		100.0%	5.3%	28.2%	50.9%	4.5%	7.6%	3.5%
	20～29歳	36	1	7	21	0	5	2
		100.0%	2.8%	19.4%	58.3%	0.0%	13.9%	5.6%
	30～39歳	57	0	19	25	4	5	4
		100.0%	0.0%	33.3%	43.9%	7.0%	8.8%	7.0%
	40～49歳	57	2	20	25	3	6	1
		100.0%	3.5%	35.1%	43.9%	5.3%	10.5%	1.8%
	50～59歳	76	3	24	37	7	5	0
		100.0%	3.9%	31.6%	48.7%	9.2%	6.6%	0.0%
	60～69歳	100	8	24	60	3	3	2
		100.0%	8.0%	24.0%	60.0%	3.0%	3.0%	2.0%
	70歳以上	71	7	18	34	1	6	5
		100.0%	9.9%	25.4%	47.9%	1.4%	8.5%	7.0%
夫は仕事、妻は家庭の考え方・性別別	考え方に賛成	331	26	111	165	10	12	7
		100.0%	7.9%	33.5%	49.8%	3.0%	3.6%	2.1%
	うち男性の回答	152	11	55	71	5	6	4
		100.0%	7.2%	36.2%	46.7%	3.3%	3.9%	2.6%
	うち女性の回答	179	15	56	94	5	6	3
		100.0%	8.4%	31.3%	52.5%	2.8%	3.4%	1.7%
	考え方に反対	450	14	95	300	20	17	4
		100.0%	3.1%	21.1%	66.7%	4.4%	3.8%	0.9%
夫は仕事、妻は家庭の考え方・性別別	うち男性の回答	173	8	42	105	8	8	2
		100.0%	4.6%	24.3%	60.7%	4.6%	4.6%	1.2%
	うち女性の回答	276	6	53	195	12	8	2
		100.0%	2.2%	19.2%	70.7%	4.3%	2.9%	0.7%

. % : 各属性で最も高い割合

(8) 高齢者介護について今後必要な対策

問 12 団塊世代の高齢化などに伴い、要介護者が今後ますます増えていくことが予想されますが、高齢者介護について今後どのような対策が必要だと思いますか。（3つ以内で選択）

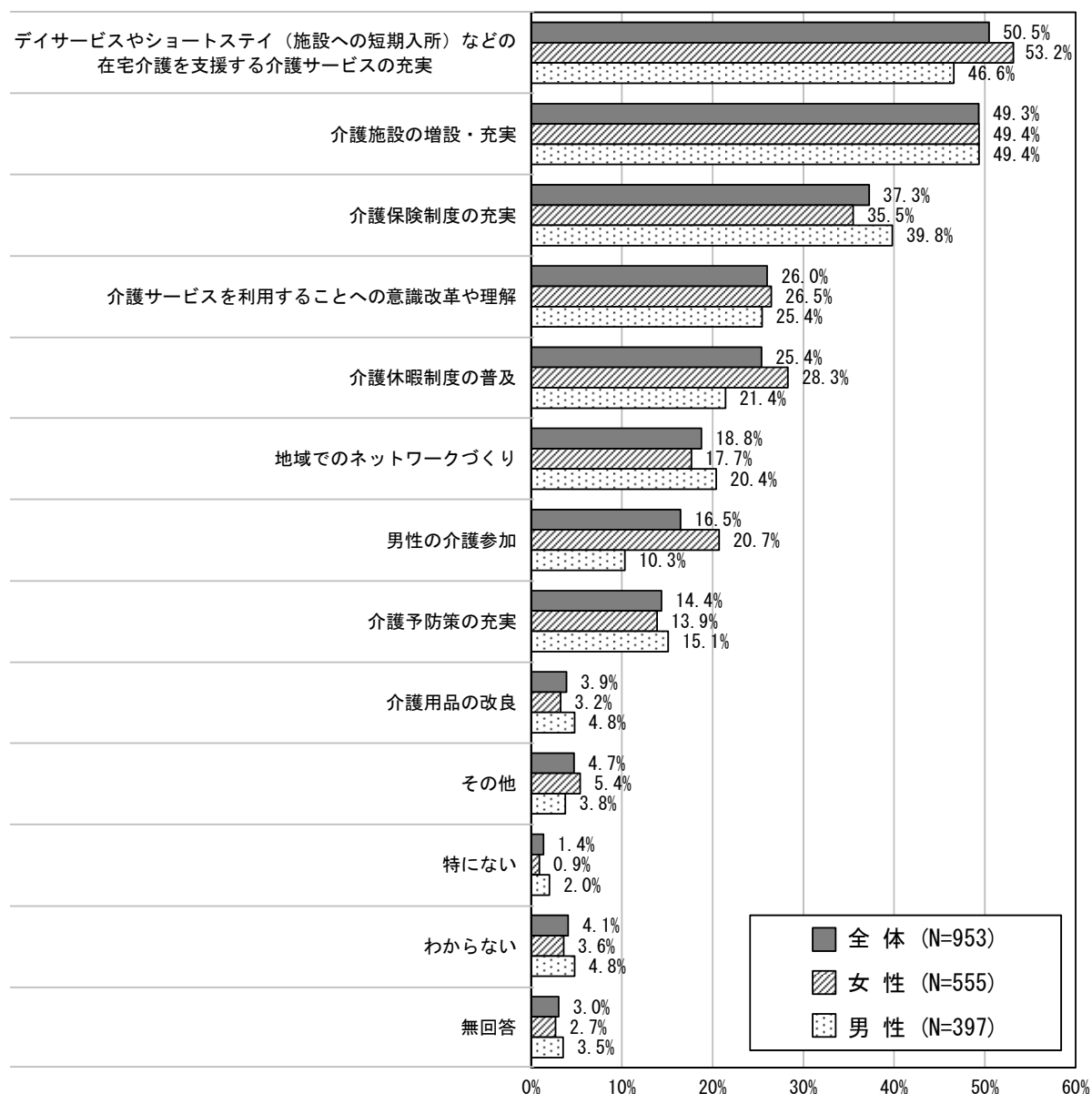
◆在宅介護支援サービスの充実や介護施設の充実等が必要という割合が高い◆

高齢者介護について今後必要な対策については、「在宅介護を支援する介護サービスの充実」（50.5%）、「介護施設の増設・充実」（49.3%）と回答した人の割合が高く、次いで「介護保険制度の充実」（37.3%）、「介護サービスを利用することへの意識改革や理解」（26.0%）の順となっている。

性別でみると、女性は男性に比べ、「男性の介護参加」や「介護休暇制度の普及」などが必要という割合が高くなっている。（図表 2-28）

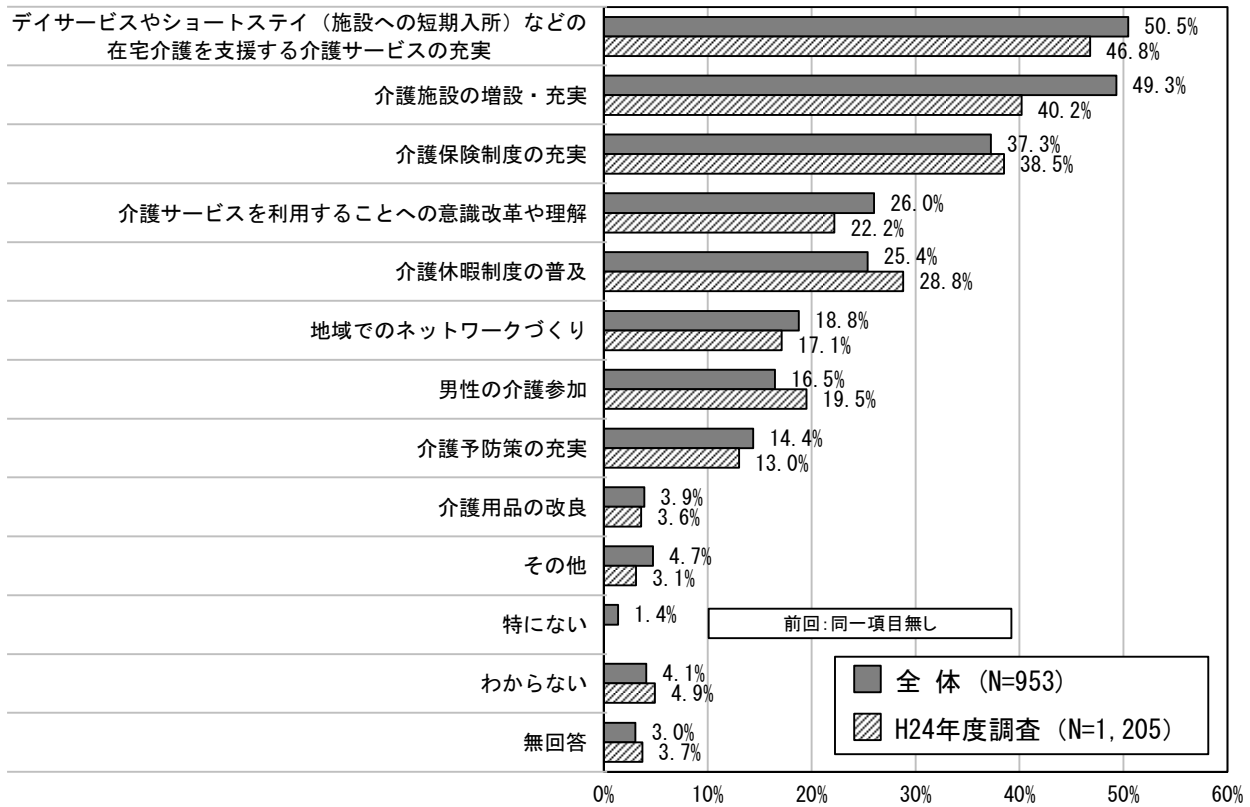
前回の調査結果と比較すると、高齢化の進展等を踏まえ、「介護施設の増設・充実」が必要という割合が9.1ポイント高くなっている。（図表 2-29）

図表 2-28 高齢者介護について今後必要な対策（全体・性別）



※「その他」意見については、101 ページに記載

図表 2-29 高齢者介護について今後必要な対策（比較：前回）



図表 2-30 高齢者介護について今後必要な対策（全体、性・年代別）

	サンプル数	介護施設の増設・充実	男性の介護参加	介護休暇制度の普及	介護サービスを利用することへの意識改革や理解	介護サービスの充実	介護保険制度の充実	介護用品の改良	地域でのネットワークづくり	介護予防策の充実	その他	特にない	わからない	無回答	
上段：度数 下段：構成比(%)															
全 体	953 -	470 49.3%	157 16.5%	242 25.4%	248 26.0%	481 50.5%	355 37.3%	37 3.9%	179 18.8%	137 14.4%	45 4.7%	13 1.4%	39 4.1%	29 3.0%	
女性	555 -	274 49.4%	115 20.7%	157 28.3%	147 26.5%	295 53.2%	197 35.5%	18 3.2%	98 17.7%	77 13.9%	30 5.4%	5 0.9%	20 3.6%	15 2.7%	
	20～29歳	52 -	25 48.1%	18 34.6%	17 32.7%	11 21.2%	26 50.0%	16 30.8%	5 9.6%	12 23.1%	6 11.5%	5 9.6%	0 0.0%	1 1.9%	0 0.0%
	30～39歳	81 -	35 43.2%	11 13.6%	25 30.9%	22 27.2%	40 49.4%	37 45.7%	1 1.2%	17 21.0%	10 12.3%	7 8.6%	0 0.0%	4 4.9%	4 4.9%
	40～49歳	89 -	35 39.3%	18 20.2%	34 38.2%	21 23.6%	44 49.4%	40 44.9%	2 2.2%	16 18.0%	17 19.1%	7 7.9%	1 1.1%	0 0.0%	2 2.2%
	50～59歳	109 -	55 50.5%	30 27.5%	40 36.7%	23 21.1%	61 56.0%	40 36.7%	0 0.0%	20 18.3%	13 11.9%	4 3.7%	0 0.0%	5 4.6%	0 0.0%
	60～69歳	131 -	72 55.0%	21 16.0%	28 21.4%	42 32.1%	72 55.0%	41 31.3%	6 4.6%	26 19.8%	17 13.0%	6 4.6%	2 1.5%	3 2.3%	4 3.1%
	70歳以上	93 -	52 55.9%	17 18.3%	13 14.0%	28 30.1%	52 55.9%	23 24.7%	4 4.3%	7 7.5%	14 15.1%	1 1.1%	2 2.2%	7 7.5%	5 5.4%
	男性	397 -	196 49.4%	41 10.3%	85 21.4%	101 25.4%	185 46.6%	158 39.8%	19 4.8%	81 20.4%	60 15.1%	15 3.8%	8 2.0%	19 4.8%	14 3.5%
	20～29歳	36 -	9 25.0%	2 5.6%	12 33.3%	8 22.2%	17 47.2%	12 33.3%	4 11.1%	9 25.0%	3 8.3%	1 2.8%	1 2.8%	2 5.6%	2 5.6%
	30～39歳	57 -	24 42.1%	5 8.8%	17 29.8%	16 28.1%	20 35.1%	23 40.4%	2 3.5%	13 22.8%	8 14.0%	4 7.0%	1 1.8%	4 7.0%	3 5.3%
40～49歳	57 -	31 54.4%	6 10.5%	20 35.1%	14 24.6%	24 42.1%	20 35.1%	4 7.0%	7 12.3%	6 10.5%	4 7.0%	0 0.0%	3 5.3%	0 0.0%	
50～59歳	76 -	32 42.1%	5 6.6%	18 23.7%	18 23.7%	40 52.6%	33 43.4%	4 5.3%	19 25.0%	11 14.5%	2 2.6%	1 1.3%	5 6.6%	2 2.6%	
60～69歳	100 -	52 52.0%	15 15.0%	13 13.0%	32 32.0%	44 44.0%	45 45.0%	2 2.0%	20 20.0%	20 20.0%	2 2.0%	4 4.0%	1 1.0%	3 3.0%	
70歳以上	71 -	48 67.6%	8 11.3%	5 7.0%	13 18.3%	40 56.3%	25 35.2%	3 4.2%	13 18.3%	12 16.9%	2 2.8%	1 1.4%	4 5.6%	4 5.6%	

. % : 各属性で最も高い割合

3 就労について

(1) 女性が職業をもつことについての意識

問 13 一般的に女性が職業をもつことについて、あなたはどのように思われますか。（1つ選択）

◆「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」という割合が高い◆

女性が職業をもつことについての意識では、「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」（39.2%。以下「就業継続」という。）と回答した人の割合が最も高く、次いで「子どもができたらか職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」（34.7%。以下「育児後、再就職」という。）の順となっている。

（図表 3-1）

前回の調査結果では、「育児後、再就職」が「就業継続」より 8.1 ポイント高かったが、今回逆転し、「就業継続」の割合が 4.5 ポイント高くなっている。（図表 3-2）

内閣府調査や県の調査結果でも同様に「就業継続」の割合が最も高く、特に内閣府（全国）の調査では、その割合は過半数を占めている。（図表 3-2）

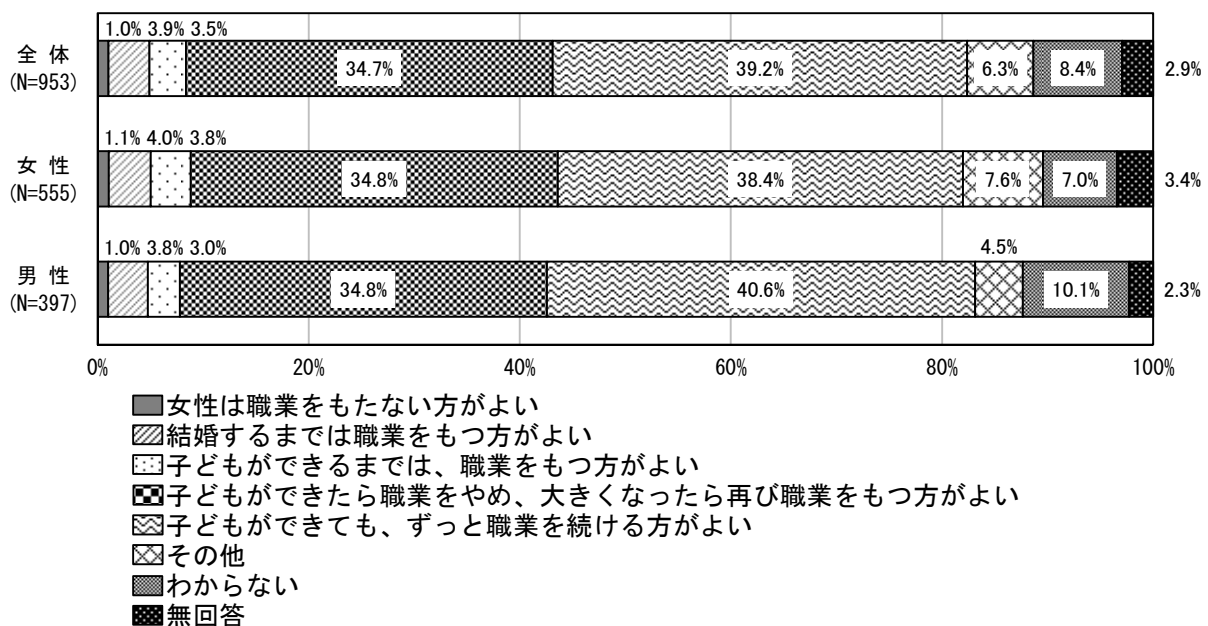
（県の調査結果においても、本市と同様に前回（平成 23 年度）調査までは「育児後、再就職」の割合の方が高かったが、平成 28 年度の調査で逆転している。）

夫婦の就労状況との関連をみると、共働き世帯は男女ともに「就業継続」を望む割合が最も高いが、片働き世帯は、男性は「育児後、再就職」という割合が高く、女性は「就業継続」という割合が若干ではあるが高い。（図表 3-3）

子どもの有無との関連（独身者も含む。）をみると、子どもがいる人（＝子育ての経験がある人）は、子どもがいない人に比べ「育児後、再就職」という回答割合が高くなっている。（図表 3-3）

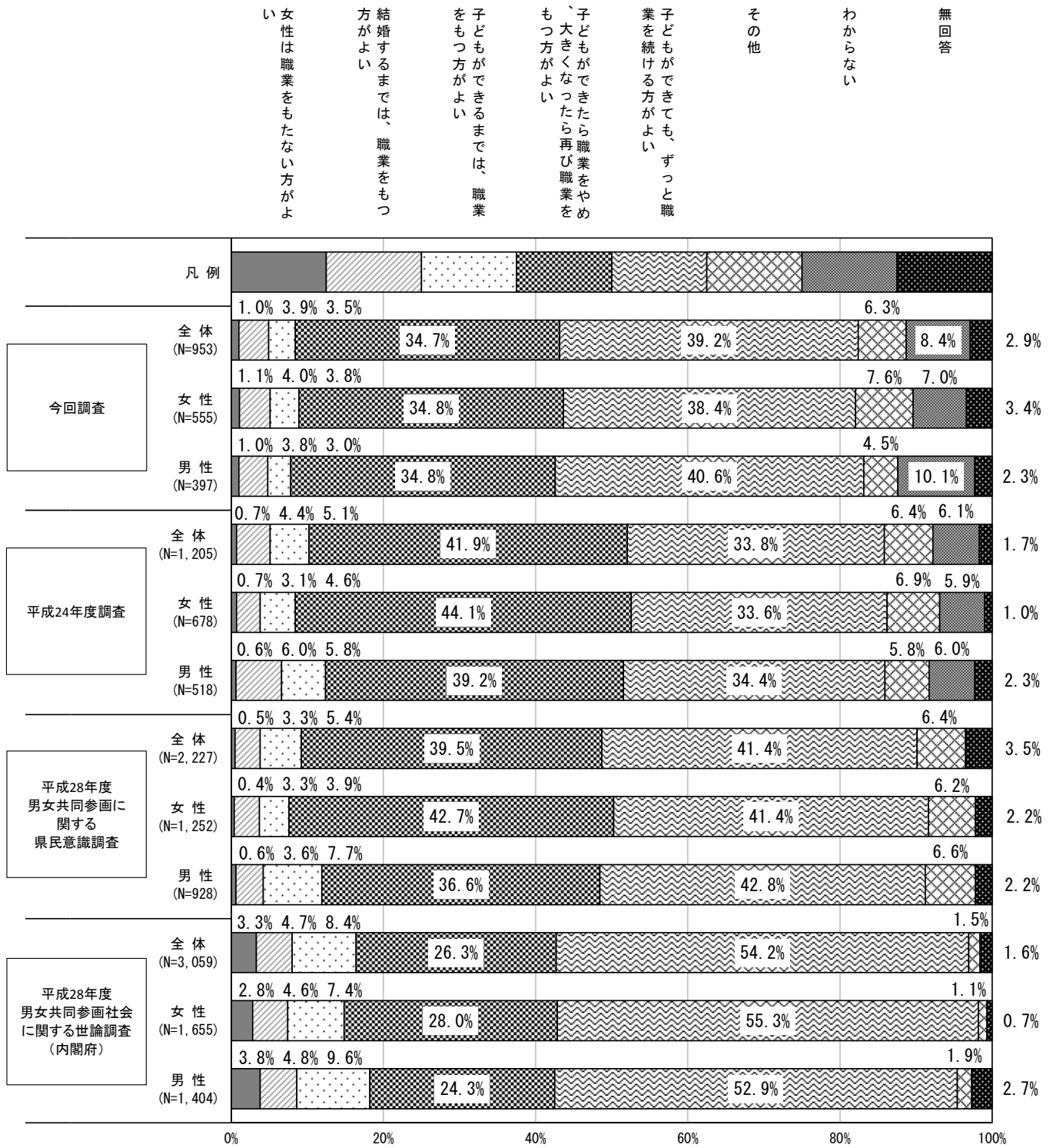
「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」（問 6）という考え方により「育児後、再就職」か「就業継続」かの意識は異なり、上記の考え方に反対する人は「就業継続」という回答割合が高く、賛成する人は「育児後、再就職」という回答割合が高い。（図表 3-3）

図表 3-1 女性が職業をもつことについての意識（全体・性別）



※「その他」意見については、101 ページに記載

図表 3-2 女性が職業をもつことについての意識（比較：前回、県、国）



図表 3-3 女性が職業をもつことについての意識

上段：度数 下段：構成比(%)		サ ン プ ル 数	女 性 は 職 業 を も た な い 方 が よ い	結 婚 す る ま で は 職 業 を も つ 方 が よ い	子 ど も が で き る ま で は 、 職 業 を も つ 方 が よ い	子 ど も が で き た ら 再 び 職 業 を も つ 方 が よ い	子 ど も が で き て も 、 ず っ と 職 業 を 続 け る 方 が よ い	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
全 体		953	10	37	33	331	374	60	80	28
		100.0%	1.0%	3.9%	3.5%	34.7%	39.2%	6.3%	8.4%	2.9%
性・年代別	女性	555	6	22	21	193	213	42	39	19
		100.0%	1.1%	4.0%	3.8%	34.8%	38.4%	7.6%	7.0%	3.4%
	20～29歳	52	1	2	2	21	19	3	4	0
		100.0%	1.9%	3.8%	3.8%	40.4%	36.5%	5.8%	7.7%	0.0%
	30～39歳	81	1	1	5	18	37	14	4	1
		100.0%	1.2%	1.2%	6.2%	22.2%	45.7%	17.3%	4.9%	1.2%
	40～49歳	89	2	0	0	31	40	8	5	3
		100.0%	2.2%	0.0%	0.0%	34.8%	44.9%	9.0%	5.6%	3.4%
	50～59歳	109	0	5	3	35	49	9	6	2
		100.0%	0.0%	4.6%	2.8%	32.1%	45.0%	8.3%	5.5%	1.8%
	60～69歳	131	0	7	4	51	48	6	9	6
		100.0%	0.0%	5.3%	3.1%	38.9%	36.6%	4.6%	6.9%	4.6%
	70歳以上	93	2	7	7	37	20	2	11	7
		100.0%	2.2%	7.5%	7.5%	39.8%	21.5%	2.2%	11.8%	7.5%
	男性	397	4	15	12	138	161	18	40	9
		100.0%	1.0%	3.8%	3.0%	34.8%	40.6%	4.5%	10.1%	2.3%
	20～29歳	36	0	2	2	13	15	2	2	0
		100.0%	0.0%	5.6%	5.6%	36.1%	41.7%	5.6%	5.6%	0.0%
	30～39歳	57	0	1	2	14	28	4	7	1
		100.0%	0.0%	1.8%	3.5%	24.6%	49.1%	7.0%	12.3%	1.8%
	40～49歳	57	0	1	2	14	30	3	7	0
		100.0%	0.0%	1.8%	3.5%	24.6%	52.6%	5.3%	12.3%	0.0%
	50～59歳	76	0	1	1	28	34	7	5	0
		100.0%	0.0%	1.3%	1.3%	36.8%	44.7%	9.2%	6.6%	0.0%
	60～69歳	100	4	4	3	33	42	1	10	3
		100.0%	4.0%	4.0%	3.0%	33.0%	42.0%	1.0%	10.0%	3.0%
	70歳以上	71	0	6	2	36	12	1	9	5
		100.0%	0.0%	8.5%	2.8%	50.7%	16.9%	1.4%	12.7%	7.0%
夫婦の就労状況・性別	夫婦の職業の有無 (共働き世帯)	355	3	4	8	116	172	27	20	5
		100.0%	0.8%	1.1%	2.3%	32.7%	48.5%	7.6%	5.6%	1.4%
	うち男性の回答	149	1	0	4	50	77	7	10	0
		100.0%	0.7%	0.0%	2.7%	33.6%	51.7%	4.7%	6.7%	0.0%
	うち女性の回答	206	2	4	4	66	95	20	10	5
		100.0%	1.0%	1.9%	1.9%	32.0%	46.1%	9.7%	4.9%	2.4%
夫婦の職業の有無 (片働き世帯)	夫婦の職業の有無 (片働き世帯)	189	2	9	8	71	64	13	19	3
		100.0%	1.1%	4.8%	4.2%	37.6%	33.9%	6.9%	10.1%	1.6%
	うち男性の回答	84	2	3	2	32	24	5	16	0
		100.0%	2.4%	3.6%	2.4%	38.1%	28.6%	6.0%	19.0%	0.0%
	うち女性の回答	105	0	6	6	39	40	8	3	3
		100.0%	0.0%	5.7%	5.7%	37.1%	38.1%	7.6%	2.9%	2.9%
子どもの有無・性別	子どもがいる	729	5	27	25	269	283	46	53	21
		100.0%	0.7%	3.7%	3.4%	36.9%	38.8%	6.3%	7.3%	2.9%
	うち男性の回答	293	3	10	8	112	118	10	25	7
		100.0%	1.0%	3.4%	2.7%	38.2%	40.3%	3.4%	8.5%	2.4%
	うち女性の回答	436	2	17	17	157	165	36	28	14
		100.0%	0.5%	3.9%	3.9%	36.0%	37.8%	8.3%	6.4%	3.2%
子どもがいない	子どもがいない	216	5	10	7	61	88	13	26	6
		100.0%	2.3%	4.6%	3.2%	28.2%	40.7%	6.0%	12.0%	2.8%
	うち男性の回答	100	1	5	4	25	41	7	15	2
		100.0%	1.0%	5.0%	4.0%	25.0%	41.0%	7.0%	15.0%	2.0%
	うち女性の回答	116	4	5	3	36	47	6	11	4
		100.0%	3.4%	4.3%	2.6%	31.0%	40.5%	5.2%	9.5%	3.4%
夫は仕事、妻は家庭の 考え方に賛成	考え方に賛成	331	4	30	15	157	72	15	29	9
		100.0%	1.2%	9.1%	4.5%	47.4%	21.8%	4.5%	8.8%	2.7%
	うち男性の回答	152	2	11	5	74	37	4	17	2
		100.0%	1.3%	7.2%	3.3%	48.7%	24.3%	2.6%	11.2%	1.3%
	うち女性の回答	179	2	19	10	83	35	11	12	7
		100.0%	1.1%	10.6%	5.6%	46.4%	19.6%	6.1%	6.7%	3.9%
夫は仕事、妻は家庭の 考え方に反対	考え方に反対	450	5	2	14	120	257	32	15	5
		100.0%	1.1%	0.4%	3.1%	26.7%	57.1%	7.1%	3.3%	1.1%
	うち男性の回答	173	2	1	6	43	104	9	5	3
		100.0%	1.2%	0.6%	3.5%	24.9%	60.1%	5.2%	2.9%	1.7%
	うち女性の回答	276	3	1	8	77	153	23	9	2
		100.0%	1.1%	0.4%	2.9%	27.9%	55.4%	8.3%	3.3%	0.7%

. % : 各属性で最も高い割合

(2) 職場における性別による処遇等のちがい

問 14 【現在、会社等に勤務している方におたずねします。】
あなたの職場では、性別によって次のような処遇や対応に差がありますか。（複数回答）

◆半数の人が処遇や対応に差があると感じている◆

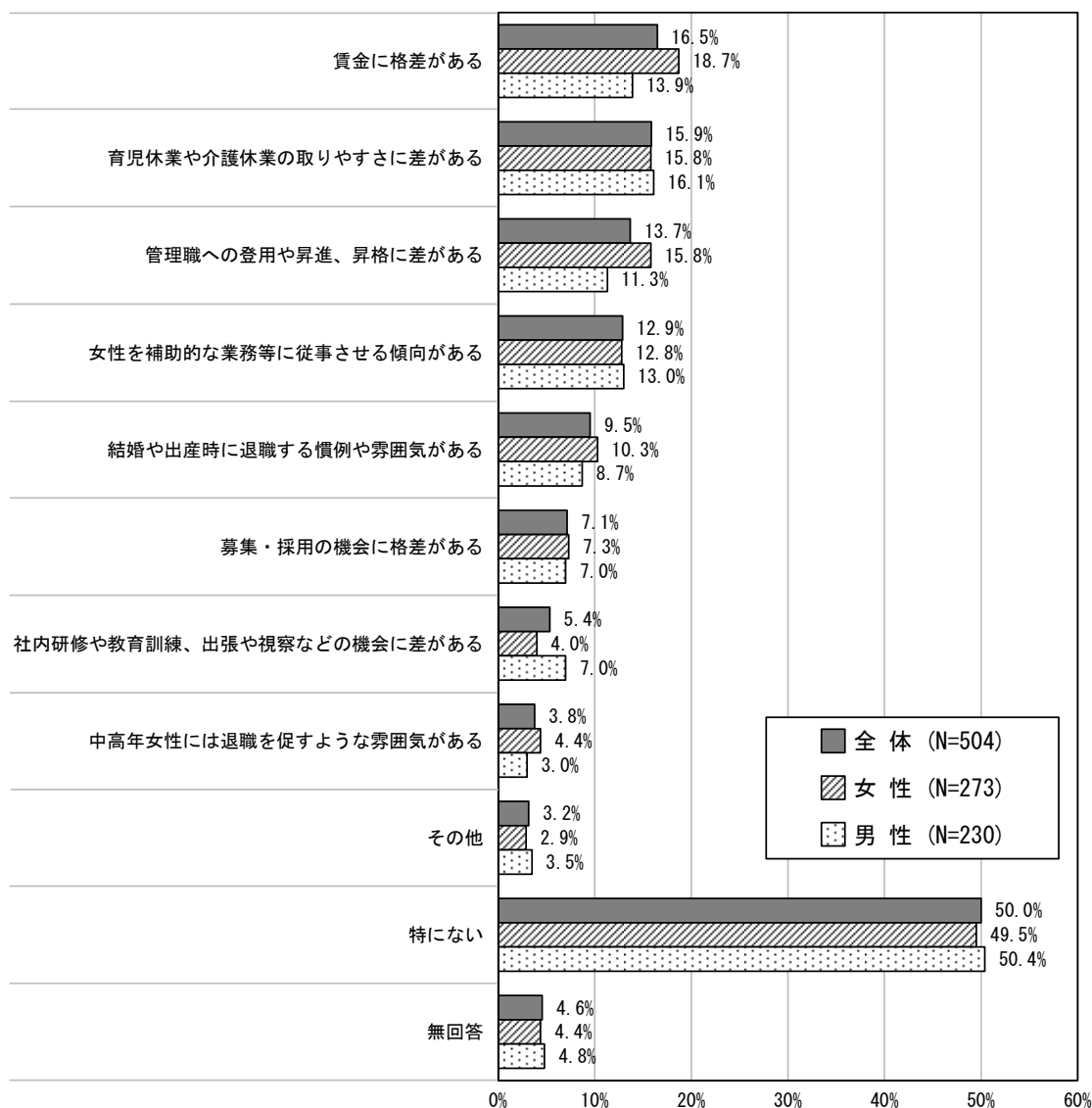
職場において性別による処遇や対応に差があるかについては、半数の人が処遇や対応に差があると感じており、「賃金に格差がある」（16.5%）、「育児休業や介護休業の取りやすさに差がある」（15.9%）、「管理職への登用や昇進、昇格に差がある」（13.7%）、「女性を補助的な業務等に従事させる傾向がある」（12.9%）の順となっている。

性別でみると、女性は賃金や管理職への登用・昇進等に差があると感じている割合が男性よりも高く、男性は研修や出張等の機会に男女差があると感じている割合が女性よりも高くなっている。（図表 3-4）

前回の調査結果と比較すると、ほとんどの項目で、性別による処遇や対応に差があると感じる人の割合が少しずつではあるが減ってきている。（図表 3-5）

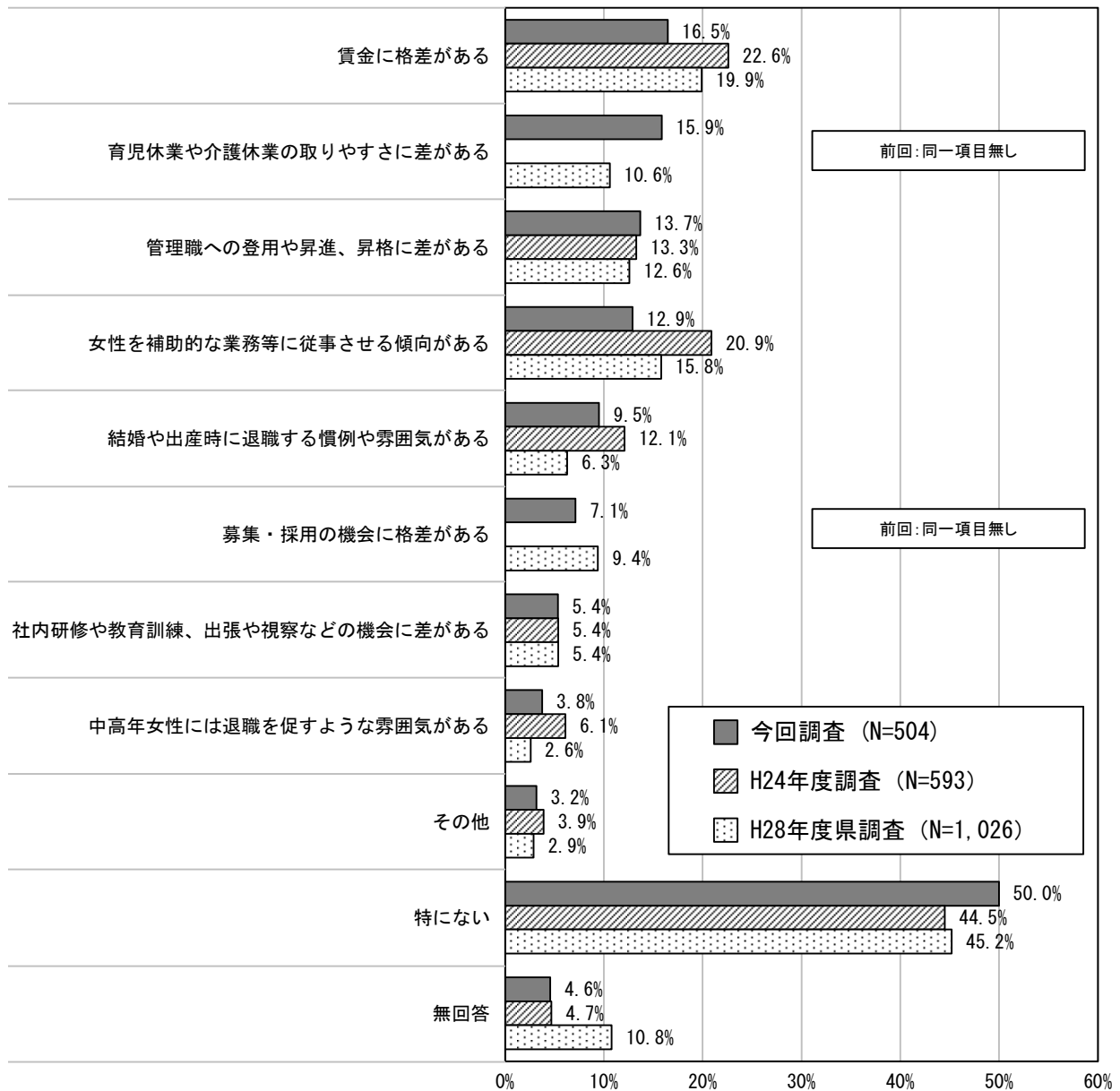
県の調査結果と比較すると、本市は「育児休業や介護休業の取りやすさに差がある」や「結婚や出産時に退職する慣例や雰囲気がある」がやや高い傾向にある。（図表 3-5）

図表 3-4 職場における性別による処遇等のちがい（全体・性別）



※「その他」意見については、101 ページに記載

図表 3-5 職場における性別による処遇等のちがい（比較：前回・県）



図表 3-6 職場における性別による処遇等のちがい（全体、性・年代別）

	サンプル数	賃金に格差がある	女性を補助的な業務等に從事させる傾向がある	管理職への登用や昇進、昇格に差がある	募集・採用の機会に格差がある	結婚や出産時に退職する慣例や雰囲気がある	中高年女性には退職を促すような雰囲気がある	社内研修や教育訓練、出張や視察などの機会に差がある	育児休業や介護休業の取りやすさに差がある	その他	特にない	無回答
上段：度数 下段：構成比(%)												
全 体	504	83	65	69	36	48	19	27	80	16	252	23
	-	16.5%	12.9%	13.7%	7.1%	9.5%	3.8%	5.4%	15.9%	3.2%	50.0%	4.6%
女 性	273	51	35	43	20	28	12	11	43	8	135	12
	-	18.7%	12.8%	15.8%	7.3%	10.3%	4.4%	4.0%	15.8%	2.9%	49.5%	4.4%
20～29歳	38	8	8	9	5	8	2	6	11	1	12	0
	-	21.1%	21.1%	23.7%	13.2%	21.1%	5.3%	15.8%	28.9%	2.6%	31.6%	0.0%
30～39歳	59	13	10	13	6	7	2	2	15	3	23	0
	-	22.0%	16.9%	22.0%	10.2%	11.9%	3.4%	3.4%	25.4%	5.1%	39.0%	0.0%
40～49歳	68	11	9	9	4	5	5	2	6	2	40	2
	-	16.2%	13.2%	13.2%	5.9%	7.4%	7.4%	2.9%	8.8%	2.9%	58.8%	2.9%
50～59歳	64	16	6	8	1	5	3	1	7	1	36	2
	-	25.0%	9.4%	12.5%	1.6%	7.8%	4.7%	1.6%	10.9%	1.6%	56.3%	3.1%
60～69歳	41	3	2	4	3	3	0	0	4	1	22	8
	-	7.3%	4.9%	9.8%	7.3%	7.3%	0.0%	0.0%	9.8%	2.4%	53.7%	19.5%
70歳以上	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0
	-	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%
男 性	230	32	30	26	16	20	7	16	37	8	116	11
	-	13.9%	13.0%	11.3%	7.0%	8.7%	3.0%	7.0%	16.1%	3.5%	50.4%	4.8%
20～29歳	26	4	5	3	3	2	1	2	5	2	11	0
	-	15.4%	19.2%	11.5%	11.5%	7.7%	3.8%	7.7%	19.2%	7.7%	42.3%	0.0%
30～39歳	51	3	6	4	4	2	1	4	13	2	28	3
	-	5.9%	11.8%	7.8%	7.8%	3.9%	2.0%	7.8%	25.5%	3.9%	54.9%	5.9%
40～49歳	50	6	7	8	4	5	0	2	9	0	29	0
	-	12.0%	14.0%	16.0%	8.0%	10.0%	0.0%	4.0%	18.0%	0.0%	58.0%	0.0%
50～59歳	57	8	7	9	3	9	5	5	8	3	24	3
	-	14.0%	12.3%	15.8%	5.3%	15.8%	8.8%	8.8%	14.0%	5.3%	42.1%	5.3%
60～69歳	38	11	5	2	2	2	0	3	2	1	19	2
	-	28.9%	13.2%	5.3%	5.3%	5.3%	0.0%	7.9%	5.3%	2.6%	50.0%	5.3%
70歳以上	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	3
	-	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	62.5%	37.5%

. % : 各属性で最も高い割合

(3) 「ワーク・ライフ・バランス」の実現度

問 15 【会社等に勤務している方や自営業に従事している方におたずねします。】

「仕事（ワーク）」と家庭生活や趣味、地域活動など仕事以外の「生活（ライフ）」について、自ら希望する形で調和を図って取り組むことができる状態を「ワーク・ライフ・バランス」と言いますが、あなたは、現在「ワーク・ライフ・バランス」がうまく実現できていると思いますか。（1つ選択）

◆ワーク・ライフ・バランスが実現できていると感じている人が約4割◆

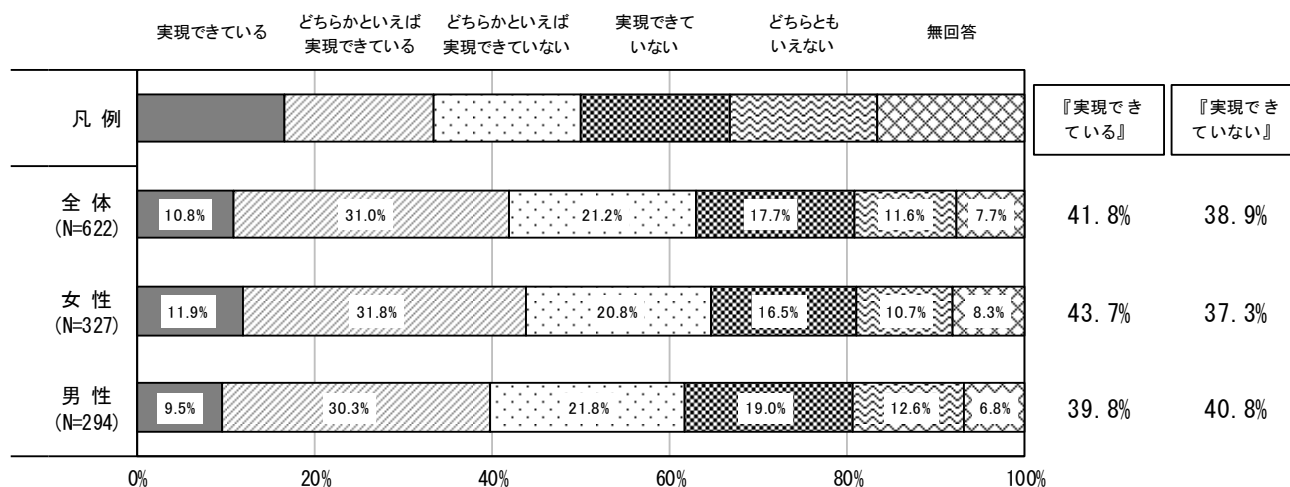
現在「ワーク・ライフ・バランス」（仕事と生活の調和）が実現できているかについては、実現できていると感じている人（「実現できている」と「どちらかといえば実現できている」の合計）が41.8%、実現できていないと感じている人（「実現できていない」と「どちらかといえば実現できていない」の合計）が38.9%となっており、ワーク・ライフ・バランスが実現できていると感じている人の割合が若干高くなっている。

「性別」でみると、男性は、実現できていないと感じている人の割合の方が若干高くなっている。

（図表 3-7）

職業との関連をみると、ワーク・ライフ・バランスが実現できていると感じている人の割合が最も高いのは非正規の雇用者（46.8%）で、低いのは自営業従事者（34.7%）となっている。ただ、自営業従事者は家庭生活との区別が難しいこともあってか、「どちらともいえない」及び「無回答」の合計が30.5%と高くなっている。（図表 3-8）

図表 3-7 「ワーク・ライフ・バランス」の実現度（全体・性別）



図表 3-8 「ワーク・ライフ・バランス」の実現度

上段：度数 下段：構成比(%)		サンプル数	実現できている	どちらかといえば実現できている	どちらかといえば実現できていない	実現できていない	どちらともいえない	無回答
全 体		622	67	193	132	110	72	48
		100.0%	10.8%	31.0%	21.2%	17.7%	11.6%	7.7%
性・年代別	女性	327	39	104	68	54	35	27
		100.0%	11.9%	31.8%	20.8%	16.5%	10.7%	8.3%
	20～29歳	39	3	15	12	3	6	0
		100.0%	7.7%	38.5%	30.8%	7.7%	15.4%	0.0%
	30～39歳	63	5	22	11	15	7	3
		100.0%	7.9%	34.9%	17.5%	23.8%	11.1%	4.8%
	40～49歳	70	7	16	23	15	8	1
		100.0%	10.0%	22.9%	32.9%	21.4%	11.4%	1.4%
	50～59歳	77	10	29	13	13	8	4
		100.0%	13.0%	37.7%	16.9%	16.9%	10.4%	5.2%
	60～69歳	65	14	20	8	6	5	12
		100.0%	21.5%	30.8%	12.3%	9.2%	7.7%	18.5%
	70歳以上	13	0	2	1	2	1	7
		100.0%	0.0%	15.4%	7.7%	15.4%	7.7%	53.8%
	男性	294	28	89	64	56	37	20
		100.0%	9.5%	30.3%	21.8%	19.0%	12.6%	6.8%
	20～29歳	27	5	12	3	5	2	0
		100.0%	18.5%	44.4%	11.1%	18.5%	7.4%	0.0%
	30～39歳	57	7	13	13	11	9	4
		100.0%	12.3%	22.8%	22.8%	19.3%	15.8%	7.0%
	40～49歳	55	5	16	13	14	6	1
		100.0%	9.1%	29.1%	23.6%	25.5%	10.9%	1.8%
	50～59歳	70	5	22	17	15	6	5
		100.0%	7.1%	31.4%	24.3%	21.4%	8.6%	7.1%
	60～69歳	64	4	22	16	9	9	4
		100.0%	6.3%	34.4%	25.0%	14.1%	14.1%	6.3%
	70歳以上	21	2	4	2	2	5	6
		100.0%	9.5%	19.0%	9.5%	9.5%	23.8%	28.6%
職業・性別	雇用者 (正規職員等)	331	38	100	85	64	35	9
		100.0%	11.5%	30.2%	25.7%	19.3%	10.6%	2.7%
	うち男性の回答	199	23	60	48	39	24	5
		100.0%	11.6%	30.2%	24.1%	19.6%	12.1%	2.5%
	うち女性の回答	132	15	40	37	25	11	4
		100.0%	11.4%	30.3%	28.0%	18.9%	8.3%	3.0%
	雇用者 (非正規職員等)	173	18	63	26	26	21	19
		100.0%	10.4%	36.4%	15.0%	15.0%	12.1%	11.0%
	うち男性の回答	31	1	11	5	5	3	6
		100.0%	3.2%	35.5%	16.1%	16.1%	9.7%	19.4%
	うち女性の回答	141	17	52	21	21	18	12
		100.0%	12.1%	36.9%	14.9%	14.9%	12.8%	8.5%
	自営業主 家族従事者	118	11	30	21	20	16	20
		100.0%	9.3%	25.4%	17.8%	16.9%	13.6%	16.9%
	うち男性の回答	64	4	18	11	12	10	9
		100.0%	6.3%	28.1%	17.2%	18.8%	15.6%	14.1%
	うち女性の回答	54	7	12	10	8	6	11
		100.0%	13.0%	22.2%	18.5%	14.8%	11.1%	20.4%

. % : 各属性で最も高い割合

(4) 女性が離職せず仕事を続けるために必要なこと

問 16 【全員におたずねします。】

あなたは、女性が育児や介護などで離職することなく仕事を続けていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。（複数回答）

◆「保育施設など子供を預けられる環境の整備や

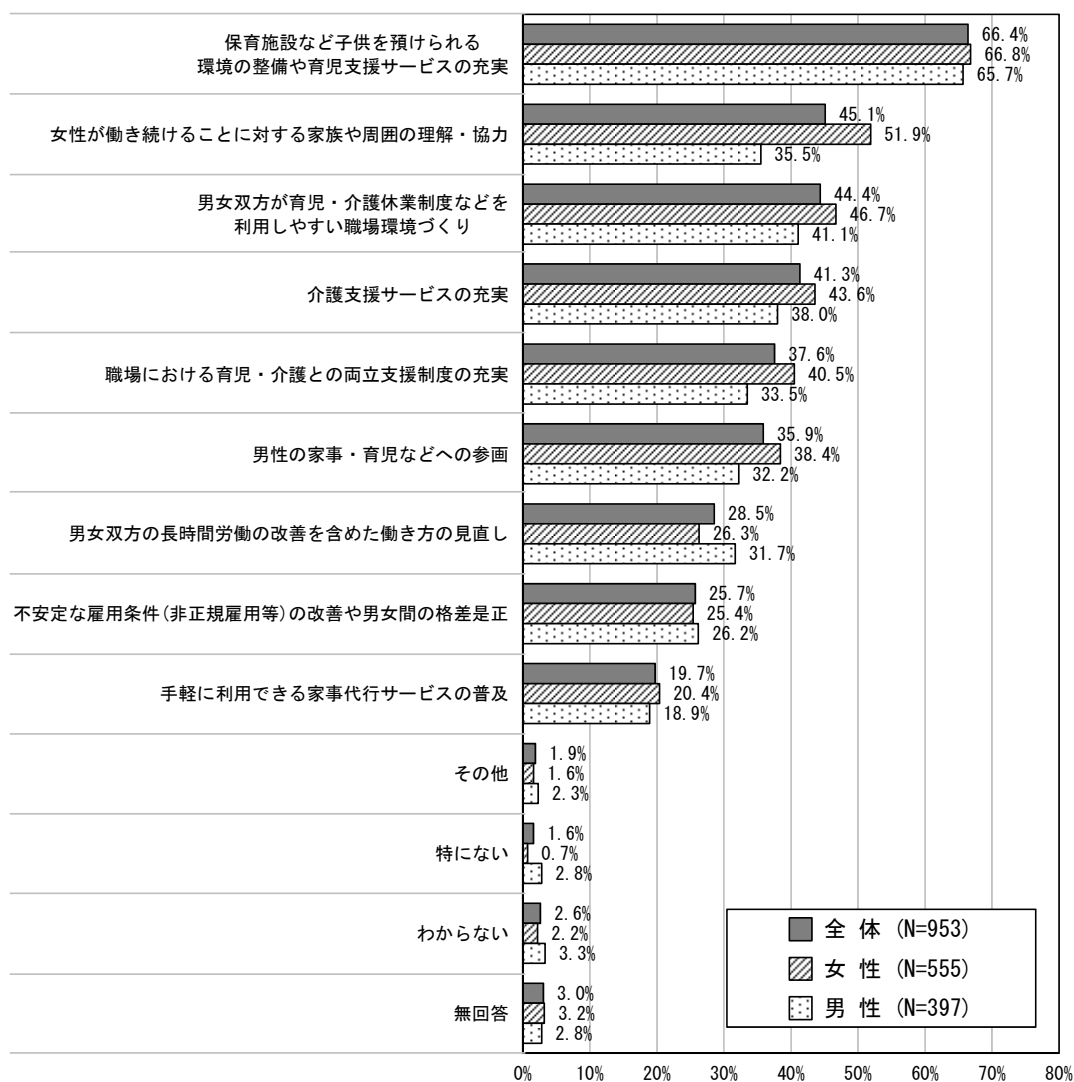
育児支援サービスの充実」が必要という割合が高い◆

女性が育児や介護などで離職することなく仕事を続けていくためには、どのようなことが必要かについては、「保育施設など子供を預けられる環境の整備や育児支援サービスの充実」（66.4%）と回答した人の割合が最も高く、次いで「女性が働き続けることに対する家族や周囲の理解・協力」（45.1%）、「男女双方が育児・介護休業制度などを利用しやすい職場環境づくり」（44.4%）、「介護支援サービスの充実」（41.3%）の順となっている。

性別でみると、女性は「女性が働き続けることに対する家族や周囲の理解・協力」が必要という割合が男性に比べ高く、男性は「男女双方の長時間労働の改善を含めた働き方の見直し」が必要という回答割合が女性に比べて高くなっている。（図表 3-9）

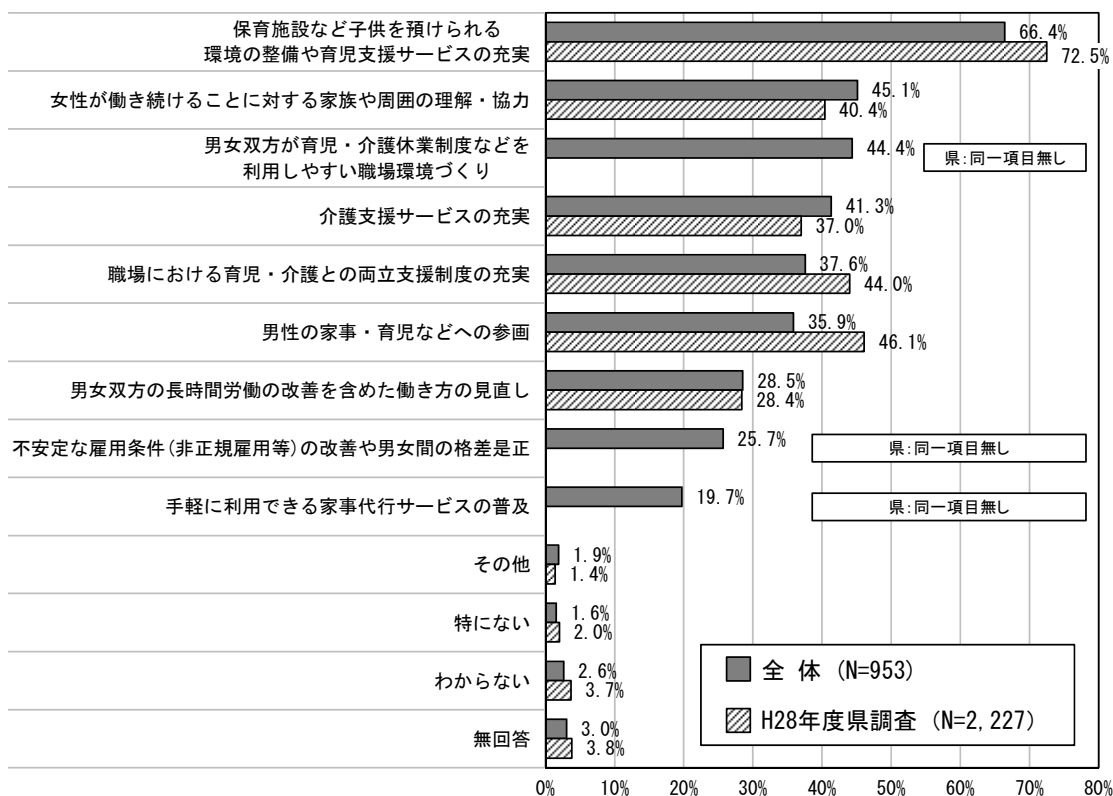
※県の調査結果（次ページ掲載）については本市と回答項目が一部異なることから、今回の調査結果との比較分析は行っていない。

図表 3-9 女性が離職せず仕事を続けるために必要なこと（全体・性別）



※「その他」意見については、102 ページに記載

図表 3-10 女性が離職せず仕事を続けるために必要なこと（比較：県）



図表 3-11 女性が離職せず仕事を続けるために必要なこと（全体、性・年代別）

	サンプル数	実 境の 整備 や育 児支 援サ ービ スの 充 実	保 育施 設な ど子 供を 預け られ る環 境の 充 実	介 護支 援サ ービ スの 充 実	手 軽に 利用 でき る家 事代 行サ ービ ス の 普 及	男 性 の 家 事・ 育 児 など への 参 画	女 性 が 働 き 続 け る こ とに 対 する 家 族 や 周 圍 の 理 解・ 協 力	男 女 双 方 の 長 時 間 労 働 の 改 善 を 含 め た 働 き 方 の 見 直 し	不 安 定 な 雇 用 条 件 (非 正 規 雇 用 等) の 改 善 や 男 女 間 の 格 差 是 正	職 場 に お け る 育 児・ 介 護 と の 両 立 支 援 制 度 の 充 実	男 女 双 方 が 育 児・ 介 護 休 業 制 度 な どを 利 用 し や す い 職 場 環 境 づ く り	そ の 他	特 に な い	わ か ら な い	無 回 答	
上段：度数 下段：構成比(%)																
全 体	953 -	633 66.4%	394 41.3%	188 19.7%	342 35.9%	430 45.1%	272 28.5%	245 25.7%	358 37.6%	423 44.4%	18 1.9%	15 1.6%	25 2.6%	29 3.0%		
女性	555 -	371 66.8%	242 43.6%	113 20.4%	213 38.4%	288 51.9%	146 26.3%	141 25.4%	225 40.5%	259 46.7%	9 1.6%	4 0.7%	12 2.2%	18 3.2%		
20～29歳	52 -	41 78.8%	15 28.8%	9 17.3%	25 48.1%	25 48.1%	22 42.3%	17 32.7%	21 40.4%	24 46.2%	2 3.8%	1 1.9%	1 1.9%	0 0.0%		
30～39歳	81 -	59 72.8%	28 34.6%	15 18.5%	41 50.6%	36 44.4%	23 28.4%	21 25.9%	44 54.3%	48 59.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.2%		
40～49歳	89 -	59 66.3%	42 47.2%	15 16.9%	41 46.1%	50 56.2%	26 29.2%	30 33.7%	42 47.2%	41 46.1%	2 2.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 1.1%		
50～59歳	109 -	75 68.8%	58 53.2%	25 22.9%	41 37.6%	57 52.3%	19 17.4%	20 18.3%	43 39.4%	54 49.5%	2 1.8%	1 0.9%	1 0.9%	3 2.8%		
60～69歳	131 -	88 67.2%	63 48.1%	28 21.4%	43 32.8%	76 58.0%	34 26.0%	37 28.2%	50 38.2%	62 47.3%	2 1.5%	0 0.0%	2 1.5%	5 3.8%		
70歳以上	93 -	49 52.7%	36 38.7%	21 22.6%	22 23.7%	44 47.3%	22 23.7%	16 17.2%	25 26.9%	30 32.3%	1 1.1%	2 2.2%	8 8.6%	8 8.6%		
男性	397 -	261 65.7%	151 38.0%	75 18.9%	128 32.2%	141 35.5%	126 31.7%	104 26.2%	133 33.5%	163 41.1%	9 2.3%	11 2.8%	13 3.3%	11 2.8%		
20～29歳	36 -	20 55.6%	13 36.1%	3 8.3%	16 44.4%	11 30.6%	16 44.4%	5 13.9%	14 38.9%	17 47.2%	1 2.8%	1 2.8%	1 2.8%	0 0.0%		
30～39歳	57 -	42 73.7%	21 36.8%	7 12.3%	20 35.1%	19 33.3%	15 26.3%	13 22.8%	19 33.3%	21 36.8%	4 7.0%	1 1.8%	1 1.8%	1 1.8%		
40～49歳	57 -	34 59.6%	18 31.6%	11 19.3%	23 40.4%	21 36.8%	22 38.6%	18 31.6%	17 29.8%	29 50.9%	2 3.5%	0 0.0%	3 5.3%	0 0.0%		
50～59歳	76 -	45 59.2%	30 39.5%	22 28.9%	21 27.6%	27 35.5%	27 35.5%	20 26.3%	21 27.6%	26 34.2%	1 1.3%	2 2.6%	3 3.9%	1 1.3%		
60～69歳	100 -	72 72.0%	39 39.0%	16 16.0%	27 27.0%	40 40.0%	27 27.0%	29 29.0%	42 42.0%	40 40.0%	1 1.0%	5 5.0%	2 2.0%	0 0.0%		
70歳以上	71 -	48 67.6%	30 42.3%	16 22.5%	21 29.6%	23 32.4%	19 26.8%	19 26.8%	20 28.2%	30 42.3%	0 0.0%	2 2.8%	3 4.2%	9 12.7%		

. % : 各属性で最も高い割合

4 男女の人権について

(1) 配偶者等から暴力や嫌がらせを受けた経験

問 17 【これまでに結婚したことがある方に、おたずねします。】

あなたはこれまでに、あなたの配偶者から次のようなことをされたことがありますか（ここでの「配偶者」には、婚姻届を出していない事実婚や別居中の夫婦、元配偶者も含みます。）
次の（暴力の種類別の）それぞれについて、「何度もあった」・「1、2度あった」・「ない」から1つずつお選びください。

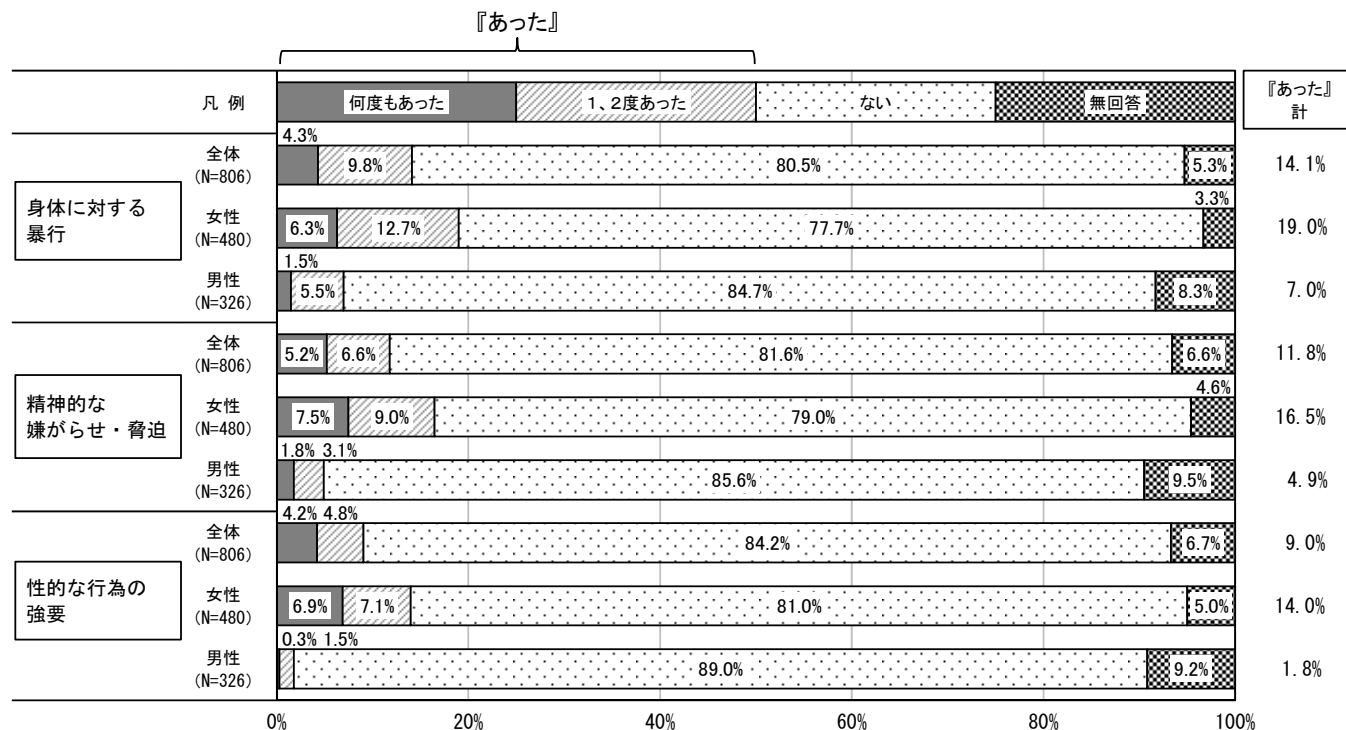
◆配偶者等から暴力や嫌がらせを受けた経験のある人は、女性の5人に1人◆

これまでに配偶者や元配偶者等から暴力や嫌がらせを受けたことがあるかについては、身体的暴力（身体に対する暴行）については女性の約5人に1人（19.0%。「何度もあった」と「1、2度あった」の合計）、精神的暴力（精神的な嫌がらせ・脅迫）については女性の約6人に1人（16.5%）、性的暴力（性的な行為の強要）については女性の約7人に1人（14.0%）が、経験があると回答している。また、男性においても少なからず被害を受けていることが見受けられる（それぞれ7.0%、4.9%、1.8%）。（図表 4-1）

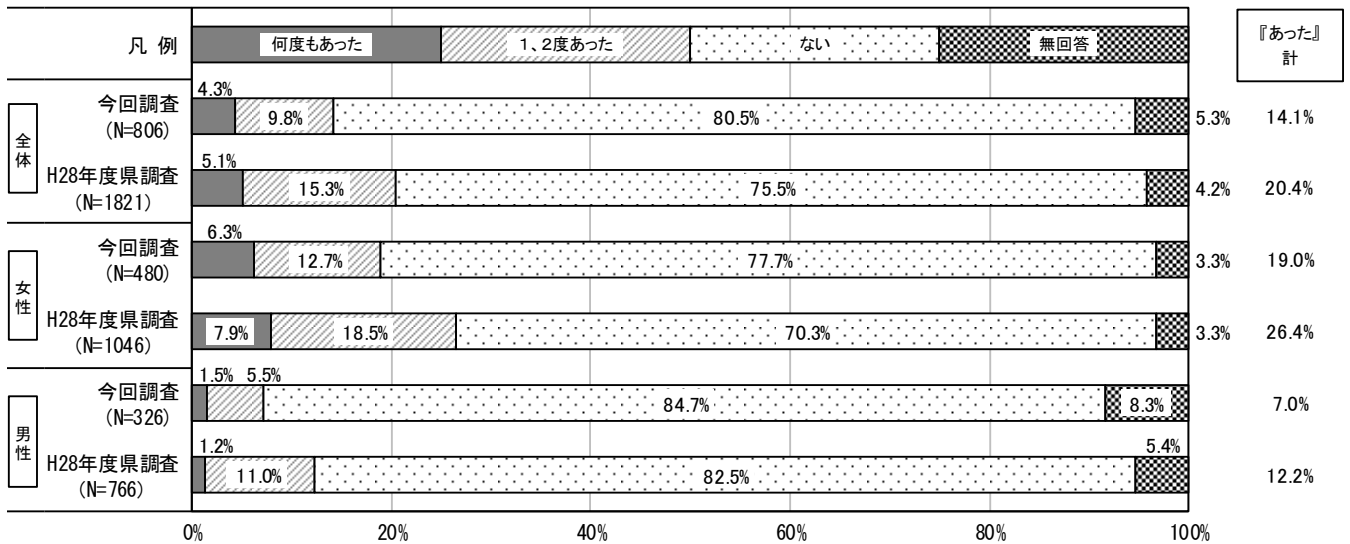
県の調査結果と比較すると、いずれの暴力等についても、本市は被害経験のある人の割合はやや低い状況である。（図表 4-2～4-4）

暴力等を受けた経験と鹿屋市配偶者暴力相談支援センターとの関連をみると、被害経験のない人に比べ、被害を受けた人は相談支援センターの認知度が若干高いものの、全体としては「知らない」という人の方が多い状況である。（図表 4-6）

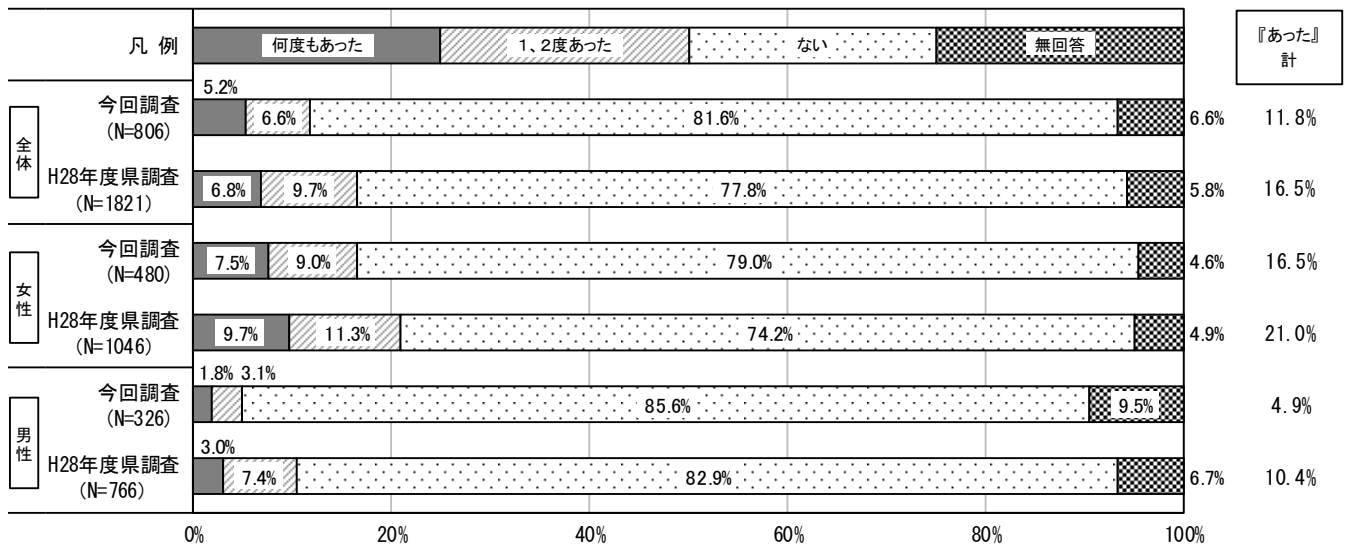
図表 4-1 配偶者等から暴力や嫌がらせを受けた経験（DVの種類別、全体・性別）



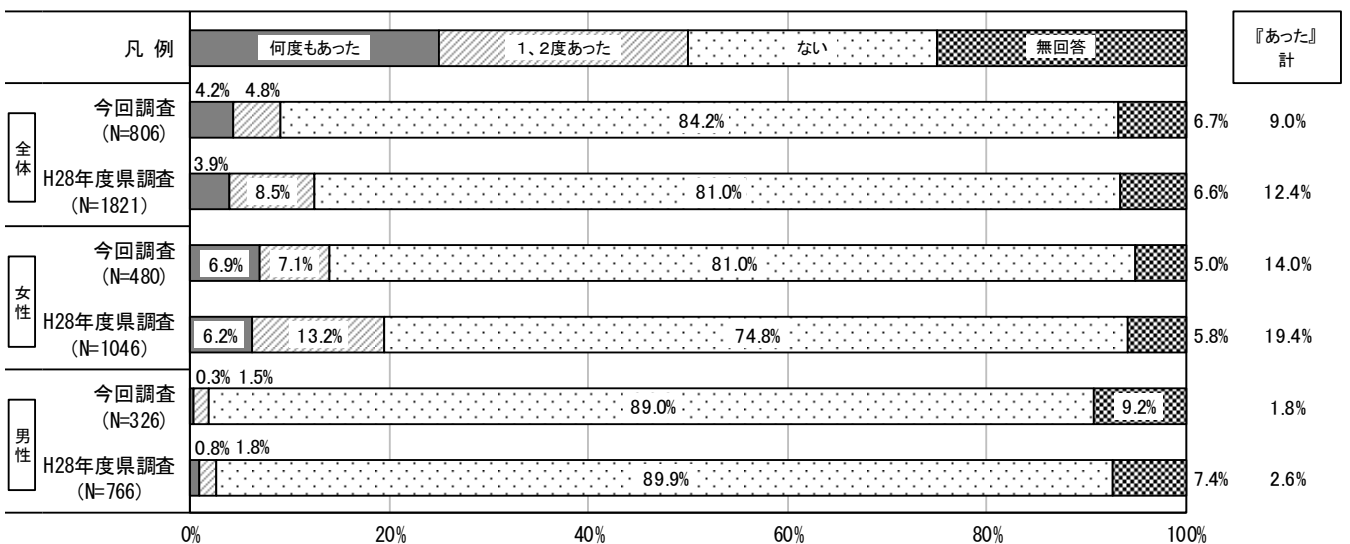
図表 4-2 配偶者等から暴力や嫌がらせを受けた経験【身体に対する暴行】（比較：県）



図表 4-3 配偶者等から暴力や嫌がらせを受けた経験【精神的な嫌がらせ・脅迫】（比較：県）



図表 4-4 配偶者等から暴力や嫌がらせを受けた経験【性的な行為の強要】（比較：県）



図表 4-5 配偶者等から暴力や嫌がらせを受けた経験（全体、性・年代別）

		サンプル数	身体に対する暴行 なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行を受けた				精神的な嫌がらせ・脅迫 人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせを受けた、あるいは、あなたもしくはあなたの家族に危害を加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた				性的な行為の強要 いやがっているのに性的な行為を強要された			
			何度もあった	1、2度あった	ない	無回答	何度もあった	1、2度あった	ない	無回答	何度もあった	1、2度あった	ない	無回答
上段：度数 下段：構成比(%)														
全 体		806	35	79	649	43	42	53	658	53	34	39	679	54
		100.0%	4.3%	9.8%	80.5%	5.3%	5.2%	6.6%	81.6%	6.6%	4.2%	4.8%	84.2%	6.7%
性・年代別	女 性	480	30	61	373	16	36	43	379	22	33	34	389	24
		100.0%	6.3%	12.7%	77.7%	3.3%	7.5%	9.0%	79.0%	4.6%	6.9%	7.1%	81.0%	5.0%
	20～29歳	25	0	3	22	0	1	1	23	0	0	0	25	0
		100.0%	0.0%	12.0%	88.0%	0.0%	4.0%	4.0%	92.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	30～39歳	68	3	9	53	3	5	9	51	3	5	3	57	3
		100.0%	4.4%	13.2%	77.9%	4.4%	7.4%	13.2%	75.0%	4.4%	7.4%	4.4%	83.8%	4.4%
	40～49歳	80	5	9	66	0	7	11	62	0	5	4	71	0
		100.0%	6.3%	11.3%	82.5%	0.0%	8.8%	13.8%	77.5%	0.0%	6.3%	5.0%	88.8%	0.0%
	50～59歳	102	5	13	82	2	8	9	83	2	7	9	84	2
		100.0%	4.9%	12.7%	80.4%	2.0%	7.8%	8.8%	81.4%	2.0%	6.9%	8.8%	82.4%	2.0%
	60～69歳	119	10	19	86	4	11	10	93	5	10	15	88	6
		100.0%	8.4%	16.0%	72.3%	3.4%	9.2%	8.4%	78.2%	4.2%	8.4%	12.6%	73.9%	5.0%
	70歳以上	86	7	8	64	7	4	3	67	12	6	3	64	13
		100.0%	8.1%	9.3%	74.4%	8.1%	4.7%	3.5%	77.9%	14.0%	7.0%	3.5%	74.4%	15.1%
	男 性	326	5	18	276	27	6	10	279	31	1	5	290	30
		100.0%	1.5%	5.5%	84.7%	8.3%	1.8%	3.1%	85.6%	9.5%	0.3%	1.5%	89.0%	9.2%
	20～29歳	11	0	0	11	0	0	0	11	0	0	0	11	0
		100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	30～39歳	44	1	4	36	3	1	2	38	3	0	0	41	3
		100.0%	2.3%	9.1%	81.8%	6.8%	2.3%	4.5%	86.4%	6.8%	0.0%	0.0%	93.2%	6.8%
	40～49歳	50	0	2	46	2	2	1	45	2	0	0	48	2
		100.0%	0.0%	4.0%	92.0%	4.0%	4.0%	2.0%	90.0%	4.0%	0.0%	0.0%	96.0%	4.0%
	50～59歳	65	3	3	56	3	2	0	60	3	1	2	59	3
		100.0%	4.6%	4.6%	86.2%	4.6%	3.1%	0.0%	92.3%	4.6%	1.5%	3.1%	90.8%	4.6%
	60～69歳	88	1	4	77	6	1	4	77	6	0	2	80	6
		100.0%	1.1%	4.5%	87.5%	6.8%	1.1%	4.5%	87.5%	6.8%	0.0%	2.3%	90.9%	6.8%
	70歳以上	68	0	5	50	13	0	3	48	17	0	1	51	16
		100.0%	0.0%	7.4%	73.5%	19.1%	0.0%	4.4%	70.6%	25.0%	0.0%	1.5%	75.0%	23.5%

. % : 各属性で最も高い割合

図表 4-6 「配偶者等から暴力や嫌がらせを受けた経験」
×「鹿屋市配偶者暴力相談支援センターの認知度」(クロス集計)

上段：度数 下段：構成比(%)		鹿屋市配偶者暴力相談支援センターの認知度											
		身体に対する暴行				精神的な嫌がらせ・脅迫				性的な行為の強要			
		知っている	聞いたことがある	知らない	無回答	知っている	聞いたことがある	知らない	無回答	知っている	聞いたことがある	知らない	無回答
全 体 (N=806)		92 11.4%	192 23.8%	474 58.8%	48 6.0%	92 11.4%	192 23.8%	474 58.8%	48 6.0%	92 11.4%	192 23.8%	474 58.8%	48 6.0%
配偶者等から暴力や嫌がらせを受けた経験	何度もあった	9 25.7%	10 28.6%	15 42.9%	1 2.9%	10 23.8%	10 23.8%	21 50.0%	1 2.4%	7 20.6%	6 17.6%	20 58.8%	1 2.9%
	うち男性の回答	1 20.0%	1 20.0%	3 60.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	5 83.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%
	うち女性の回答	8 26.7%	9 30.0%	12 40.0%	1 3.3%	10 27.8%	9 25.0%	16 44.4%	1 2.8%	7 21.2%	6 18.2%	19 57.6%	1 3.0%
	1、2度あった	10 12.7%	19 24.1%	44 55.7%	6 7.6%	5 9.4%	16 30.2%	29 54.7%	3 5.7%	7 17.9%	13 33.3%	17 43.6%	2 5.1%
	うち男性の回答	2 11.1%	3 16.7%	11 61.1%	2 11.1%	1 10.0%	1 10.0%	7 70.0%	1 10.0%	1 20.0%	2 40.0%	2 40.0%	0 0.0%
	うち女性の回答	8 13.1%	16 26.2%	33 54.1%	4 6.6%	4 9.3%	15 34.9%	22 51.2%	2 4.7%	6 17.6%	11 32.4%	15 44.1%	2 5.9%
	ない	70 10.8%	154 23.7%	398 61.3%	27 4.2%	75 11.4%	153 23.3%	407 61.9%	23 3.5%	76 11.2%	160 23.6%	419 61.7%	24 3.5%
	うち男性の回答	38 13.8%	58 21.0%	173 62.7%	7 2.5%	40 14.3%	59 21.1%	175 62.7%	5 1.8%	40 13.8%	59 20.3%	183 63.1%	8 2.8%
	うち女性の回答	32 8.6%	96 25.7%	225 60.3%	20 5.4%	35 9.2%	94 24.8%	232 61.2%	18 4.7%	36 9.3%	101 26.0%	236 60.7%	16 4.1%

(2) 10 歳代、20 歳代に交際相手から暴力等を受けた経験

問 18 【交際相手からの暴力の被害経験が、10 歳代から 20 歳代に多くみられることから、次のことについて全員におたずねします。】

あなたは、10 歳代又は 20 歳代に、あなたの恋人や元恋人などの交際相手から、次のようなことをされたことがありますか。次の（暴力の種類別の）それぞれについて、「10 歳代にあった」・「20 歳代にあった」・「10・20 歳代ともあった」・「ない」 から 1 つずつお選びください。

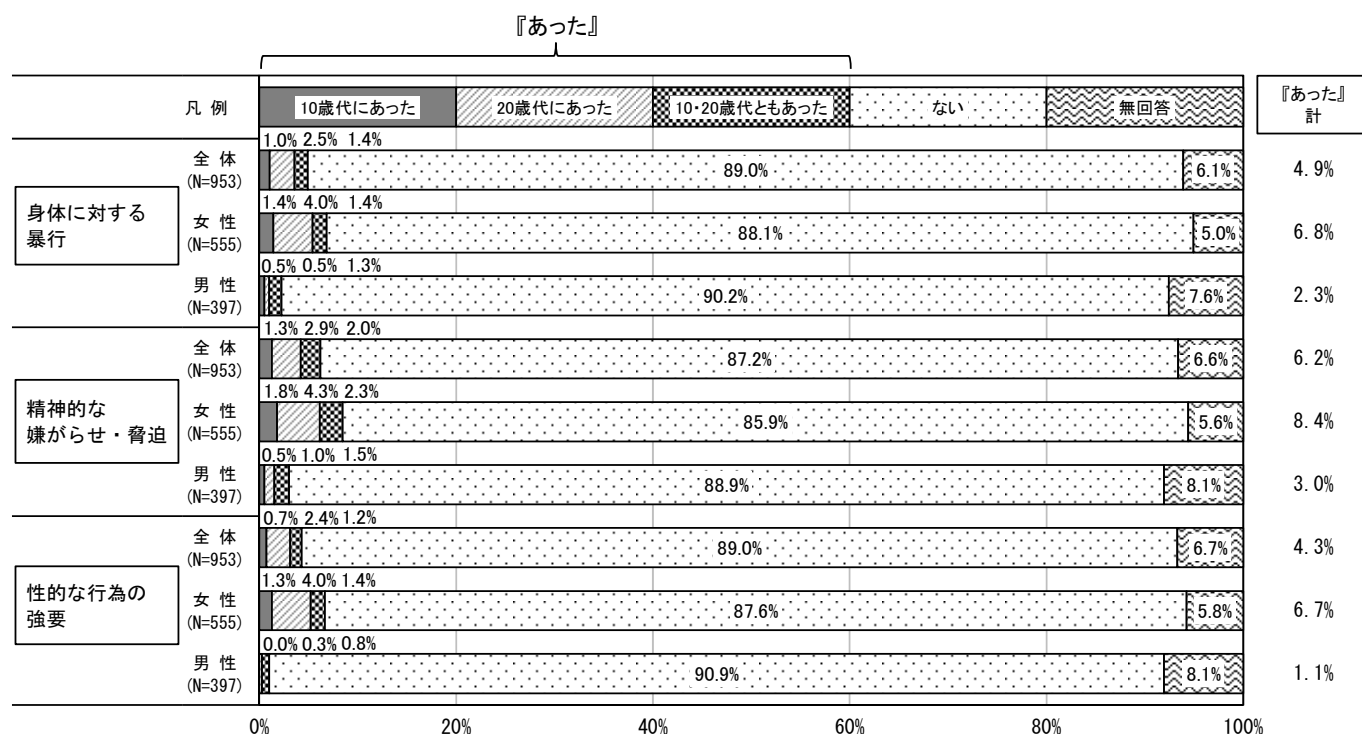
◆男女とも「精神的な嫌がらせ・脅迫」の被害経験割合が高い◆

10 歳代、20 歳代に交際相手から暴力や嫌がらせを受けたことがあるかについては、精神的暴力（精神的な嫌がらせ・脅迫）については女性の約 12 人に 1 人（8.4%）、身体的暴力（身体に対する暴行）及び性的暴力（性的な行為の強要）については女性の 14～15 人に 1 人（それぞれ 6.8%、6.7%）が経験があると回答している。男性についても、「精神的な嫌がらせ・脅迫」の被害経験のある人の割合が他の暴力より若干高くなっている。（図表 4-7）

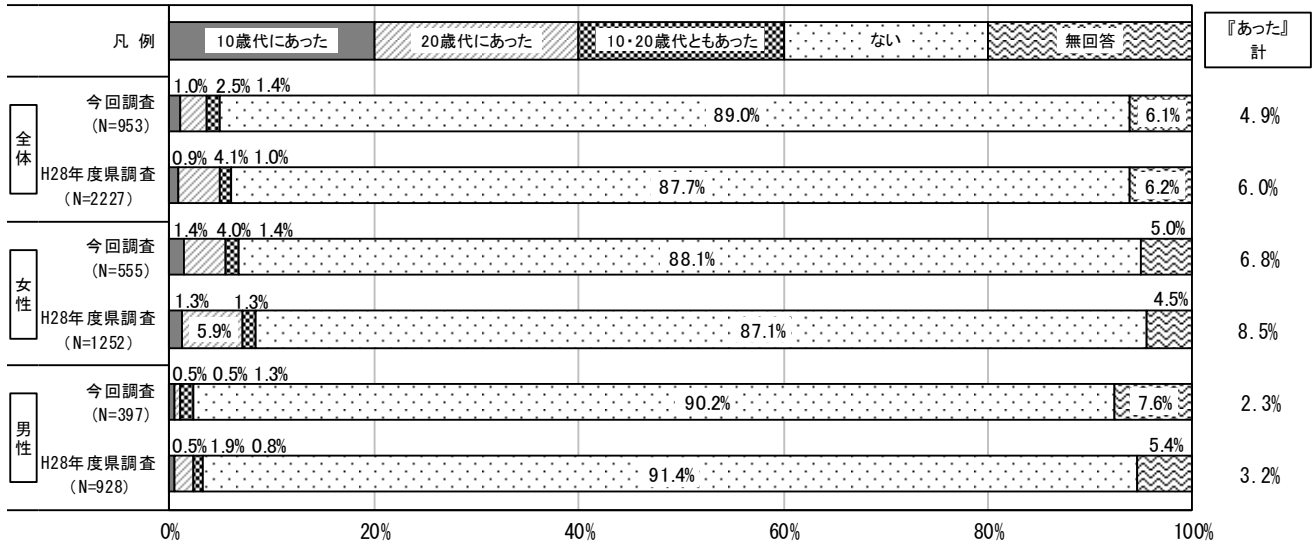
県の調査結果と比較すると、いずれの暴力等についても、本市は被害経験のある人の割合はやや低い状況である。（図表 4-8～4-10）

暴力等の被害経験の有無と婚姻状況との関係について大きな特徴は見られないが、10 歳代に身体又は精神的な暴力の被害経験のある人の婚姻状況は、その他の人に比べてやや低い状況にある。（図表 4-12）

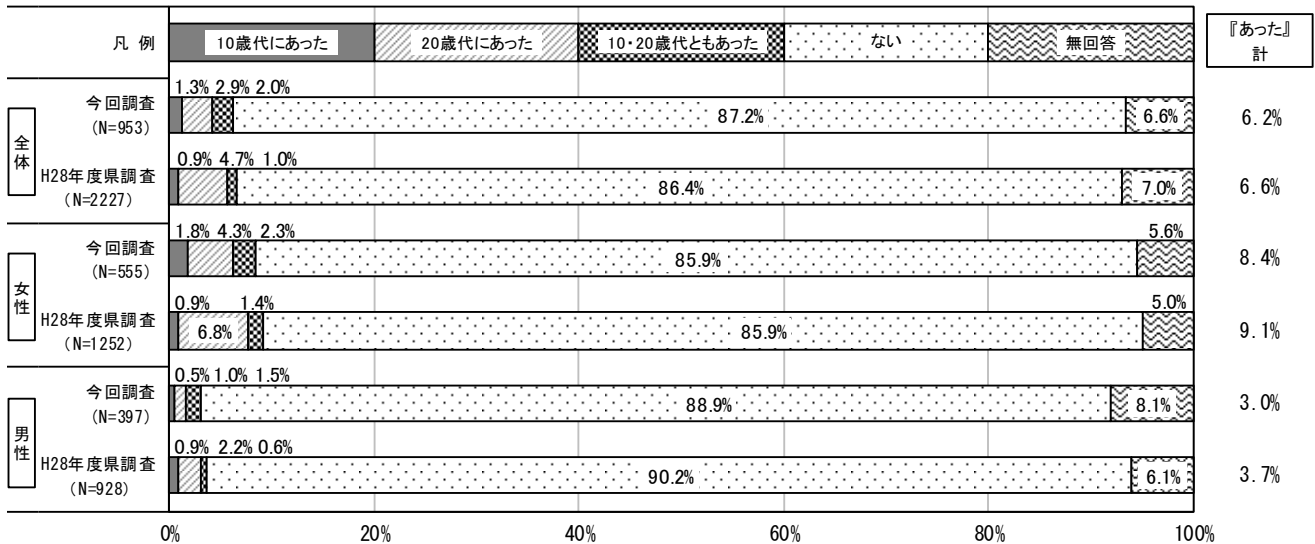
図表 4-7 10 歳代、20 歳代に交際相手から暴力等を受けた経験（DVの種類別、全体・性別）



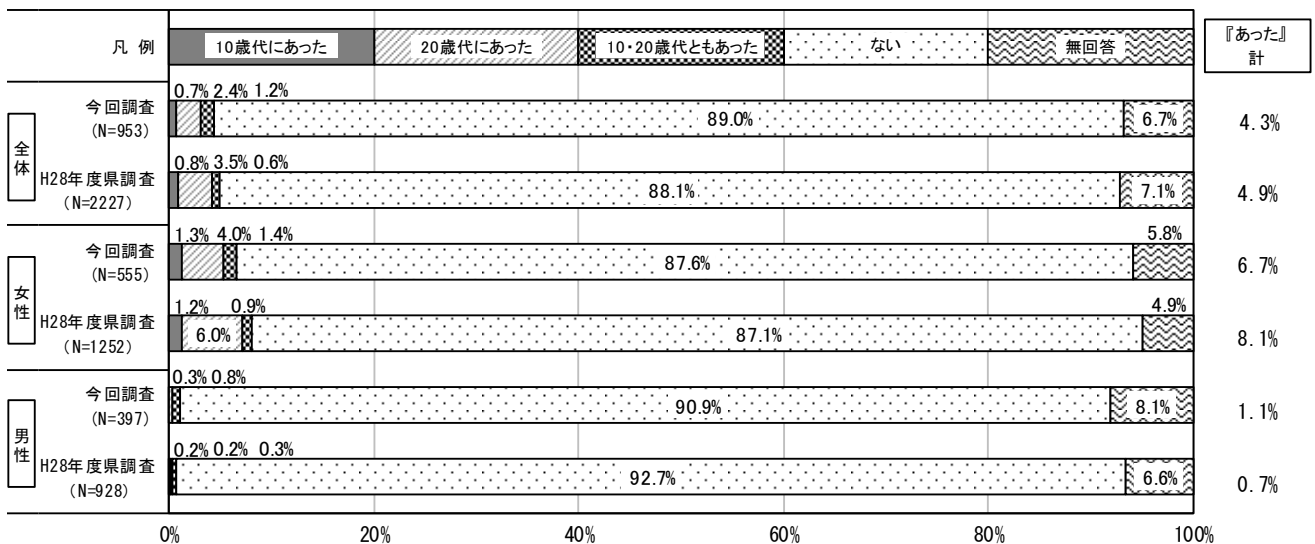
図表 4-8 10歳代、20歳代に交際相手から暴力等を受けた経験
【身体に対する暴行】（比較：県）



図表 4-9 10歳代、20歳代に交際相手から暴力等を受けた経験
【精神的な嫌がらせ・脅迫】（比較：県）



図表 4-10 10歳代、20歳代に交際相手から暴力等を受けた経験
【性的な行為の強要】（比較：県）



図表 4-11 10 歳代、20 歳代に交際相手から暴力等を受けた経験（全体、性・年代別）

性・年代別		サンプル数	身体に対する暴行 なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行を受けた					精神的な嫌がらせ・脅迫 人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせを受けた、あるいは、あなたもしくはあなたの家族に危害を加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた					性的な行為の強要 いやがっているのに性的な行為を強要された				
			10 歳代にあった	20 歳代にあった	10・20 歳代ともあった	ない	無回答	10 歳代にあった	20 歳代にあった	10・20 歳代ともあった	ない	無回答	10 歳代にあった	20 歳代にあった	10・20 歳代ともあった	ない	無回答
			上段：度数 下段：構成比(%)														
全 体		953	10	24	13	848	58	12	28	19	831	63	7	23	11	848	64
		100.0%	1.0%	2.5%	1.4%	89.0%	6.1%	1.3%	2.9%	2.0%	87.2%	6.6%	0.7%	2.4%	1.2%	89.0%	6.7%
性・年代別	女 性	555	8	22	8	489	28	10	24	13	477	31	7	22	8	486	32
		100.0%	1.4%	4.0%	1.4%	88.1%	5.0%	1.8%	4.3%	2.3%	85.9%	5.6%	1.3%	4.0%	1.4%	87.6%	5.8%
	20歳代	52	4	3	2	42	1	4	2	4	42	0	3	0	1	48	0
		100.0%	7.7%	5.8%	3.8%	80.8%	1.9%	7.7%	3.8%	7.7%	80.8%	0.0%	5.8%	0.0%	1.9%	92.3%	0.0%
	30歳代	81	2	4	3	70	2	6	5	3	65	2	3	3	4	68	3
		100.0%	2.5%	4.9%	3.7%	86.4%	2.5%	7.4%	6.2%	3.7%	80.2%	2.5%	3.7%	3.7%	4.9%	84.0%	3.7%
	40歳代	89	1	3	1	84	0	0	5	1	83	0	1	6	0	82	0
		100.0%	1.1%	3.4%	1.1%	94.4%	0.0%	0.0%	5.6%	1.1%	93.3%	0.0%	1.1%	6.7%	0.0%	92.1%	0.0%
	50歳代	109	0	4	2	100	3	0	6	2	98	3	0	8	2	96	3
		100.0%	0.0%	3.7%	1.8%	91.7%	2.8%	0.0%	5.5%	1.8%	89.9%	2.8%	0.0%	7.3%	1.8%	88.1%	2.8%
	60歳代	131	0	4	0	118	9	0	3	2	116	10	0	4	1	116	10
		100.0%	0.0%	3.1%	0.0%	90.1%	6.9%	0.0%	2.3%	1.5%	88.5%	7.6%	0.0%	3.1%	0.8%	88.5%	7.6%
	70歳以上	93	1	4	0	75	13	0	3	1	73	16	0	1	0	76	16
		100.0%	1.1%	4.3%	0.0%	80.6%	14.0%	0.0%	3.2%	1.1%	78.5%	17.2%	0.0%	1.1%	0.0%	81.7%	17.2%
	男 性	397	2	2	5	358	30	2	4	6	353	32	0	1	3	361	32
		100.0%	0.5%	0.5%	1.3%	90.2%	7.6%	0.5%	1.0%	1.5%	88.9%	8.1%	0.0%	0.3%	0.8%	90.9%	8.1%
	20歳代	36	1	0	0	35	0	0	0	0	36	0	0	0	0	36	0
		100.0%	2.8%	0.0%	0.0%	97.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	30歳代	57	1	1	2	51	2	0	1	3	51	2	0	0	1	54	2
		100.0%	1.8%	1.8%	3.5%	89.5%	3.5%	0.0%	1.8%	5.3%	89.5%	3.5%	0.0%	0.0%	1.8%	94.7%	3.5%
	40歳代	57	0	0	1	56	0	1	0	1	55	0	0	0	0	57	0
		100.0%	0.0%	0.0%	1.8%	98.2%	0.0%	1.8%	0.0%	1.8%	96.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	50歳代	76	0	0	2	73	1	0	1	1	72	2	0	1	0	73	2
		100.0%	0.0%	0.0%	2.6%	96.1%	1.3%	0.0%	1.3%	1.3%	94.7%	2.6%	0.0%	1.3%	0.0%	96.1%	2.6%
	60歳代	100	0	0	0	91	9	0	0	1	90	9	0	0	1	90	9
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	91.0%	9.0%	0.0%	0.0%	1.0%	90.0%	9.0%	0.0%	0.0%	1.0%	90.0%	9.0%
	70歳以上	71	0	1	0	52	18	1	2	0	49	19	0	0	1	51	19
		100.0%	0.0%	1.4%	0.0%	73.2%	25.4%	1.4%	2.8%	0.0%	69.0%	26.8%	0.0%	0.0%	1.4%	71.8%	26.8%

. % : 各属性で最も高い割合

図表 4-12 「10 歳代、20 歳代に交際相手から暴力等を受けた経験」
×「婚姻状況」(クロス集計)

上段：度数 下段：構成比(%)		婚姻状況								
		身体に対する暴行			精神的な嫌がらせ・脅迫			性的な行為の強要		
		(結婚している したことがある)	結婚していない	無回答	(結婚している したことがある)	結婚していない	無回答	(結婚している したことがある)	結婚していない	無回答
全 体 (N=953)		806 84.6%	142 14.9%	5 0.5%	806 84.6%	142 14.9%	5 0.5%	806 84.6%	142 14.9%	5 0.5%
10 歳代・ 20 歳代に DV を受けた経験	10歳代にあった	7 70.0%	3 30.0%	0 0.0%	9 75.0%	3 25.0%	0 0.0%	7 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	うち男性の回答	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	うち女性の回答	6 75.0%	2 25.0%	0 0.0%	8 80.0%	2 20.0%	0 0.0%	7 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	20歳代にあった	22 91.7%	2 8.3%	0 0.0%	26 92.9%	2 7.1%	0 0.0%	22 95.7%	1 4.3%	0 0.0%
	うち男性の回答	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	うち女性の回答	20 90.9%	2 9.1%	0 0.0%	22 91.7%	2 8.3%	0 0.0%	21 95.5%	1 4.5%	0 0.0%
	10・20歳代にあった	11 84.6%	2 15.4%	0 0.0%	13 68.4%	6 31.6%	0 0.0%	9 81.8%	2 18.2%	0 0.0%
	うち男性の回答	4 80.0%	1 20.0%	0 0.0%	5 83.3%	1 16.7%	0 0.0%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%
	うち女性の回答	7 87.5%	1 12.5%	0 0.0%	8 61.5%	5 38.5%	0 0.0%	7 87.5%	1 12.5%	0 0.0%
	ない	718 84.7%	126 14.9%	4 0.5%	706 85.0%	122 14.7%	3 0.4%	716 84.4%	129 15.2%	3 0.4%
	うち男性の回答	294 82.1%	62 17.3%	2 0.6%	290 82.2%	62 17.6%	1 0.3%	297 82.3%	63 17.5%	1 0.3%
	うち女性の回答	424 86.7%	64 13.1%	1 0.2%	416 87.2%	60 12.6%	1 0.2%	419 86.2%	66 13.6%	1 0.2%

. % : 各属性で最も高い割合

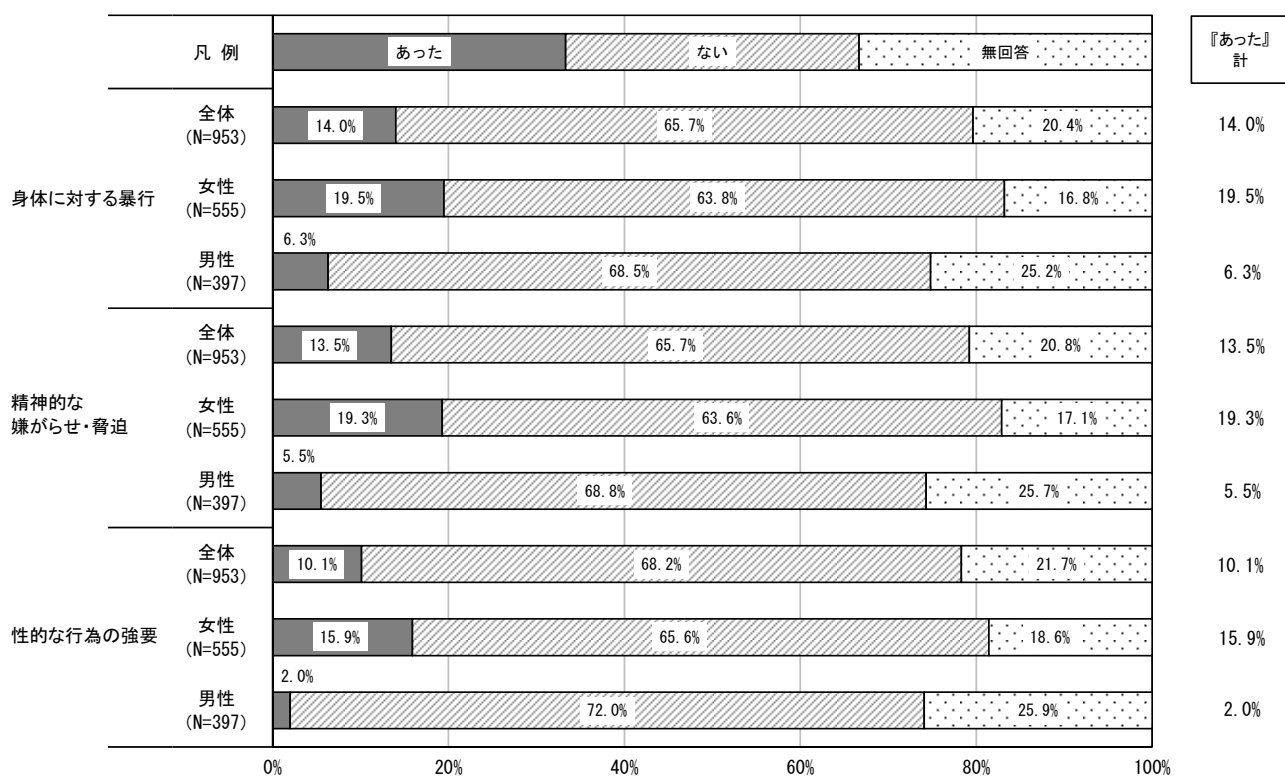
図表 4-13 「10 歳代、20 歳代に交際相手から暴力等を受けた経験」
×「鹿屋市配偶者暴力相談支援センターの認知度」(クロス集計)

上段：度数 下段：構成比(%)		鹿屋市配偶者暴力相談支援センターの認知度											
		身体に対する暴行				精神的な嫌がらせ・脅迫				性的な行為の強要			
		知っている	聞いたことがある	知らない	無回答	知っている	聞いたことがある	知らない	無回答	知っている	聞いたことがある	知らない	無回答
全 体 (N=953)		106 11.1%	222 23.3%	572 60.0%	53 5.6%	106 11.1%	222 23.3%	572 60.0%	53 5.6%	106 11.1%	222 23.3%	572 60.0%	53 5.6%
10 歳代・ 20 歳代に DV を受けた経験	10歳代にあった	0 0.0%	1 10.0%	9 90.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 33.3%	8 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	6 85.7%	0 0.0%
	うち男性の回答	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	うち女性の回答	0 0.0%	1 12.5%	7 87.5%	0 0.0%	0 0.0%	3 30.0%	7 70.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 14.3%	6 85.7%	0 0.0%
	20歳代にあった	4 16.7%	6 25.0%	14 58.3%	0 0.0%	4 14.3%	10 35.7%	14 50.0%	0 0.0%	4 17.4%	8 34.8%	11 47.8%	0 0.0%
	うち男性の回答	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	うち女性の回答	4 18.2%	6 27.3%	12 54.5%	0 0.0%	3 12.5%	10 41.7%	11 45.8%	0 0.0%	4 18.2%	7 31.8%	11 50.0%	0 0.0%
	10・20歳代にあった	3 23.1%	3 23.1%	6 46.2%	1 7.7%	7 36.8%	3 15.8%	9 47.4%	0 0.0%	4 36.4%	3 27.3%	3 27.3%	1 9.1%
	うち男性の回答	1 20.0%	1 20.0%	2 40.0%	1 20.0%	2 33.3%	1 16.7%	3 50.0%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%
	うち女性の回答	2 25.0%	2 25.0%	4 50.0%	0 0.0%	5 38.5%	2 15.4%	6 46.2%	0 0.0%	3 37.5%	2 25.0%	3 37.5%	0 0.0%
	ない	96 11.3%	199 23.5%	523 61.7%	30 3.5%	92 11.1%	191 23.0%	520 62.6%	28 3.4%	93 11.0%	196 23.1%	530 62.5%	29 3.4%
	うち男性の回答	45 12.6%	70 19.6%	235 65.6%	8 2.2%	43 12.2%	69 19.5%	233 66.0%	8 2.3%	44 12.2%	69 19.1%	240 66.5%	8 2.2%
	うち女性の回答	51 10.4%	129 26.4%	287 58.7%	22 4.5%	49 10.3%	122 25.6%	286 60.0%	20 4.2%	49 10.1%	127 26.1%	289 59.5%	21 4.3%

. % : 各属性で最も高い割合

配偶者（元配偶者含む。）や 10 歳代・20 歳代における交際相手からの暴力や嫌がらせの被害経験について見てみると、身体的暴力及び精神的暴力については女性の約 5 人に 1 人（それぞれ 19.5%、19.3%）、性的暴力については女性の約 6 人に 1 人（15.9%）が経験があると回答している。

図表 4-14 [参考]交際相手又は配偶者に暴力や嫌がらせを受けた経験（全体・性別）



※上記のグラフは、「身体に対する暴行」「精神的な嫌がらせ・脅迫」「性的な行為の強要」のそれぞれについて、10 歳代・20 歳代に交際相手からDVを受けたことがある、あるいは配偶者等からDVを受けたことがある人について、DVの被害経験ありとして、重複カウントせず集計したものである。

(3) 暴力や嫌がらせ等についての相談状況

問 19 【問 17 又は問 18 で 1 つでも行為を受けたことがあった方におたずねします。それ以外の方は問 21 にお進みください。】

暴力や嫌がらせ等を受けたとき、あなたはどこか（誰か）に相談されましたか。（複数回答）

◆「どこ（だれ）にも相談しなかった」が最も多い◆

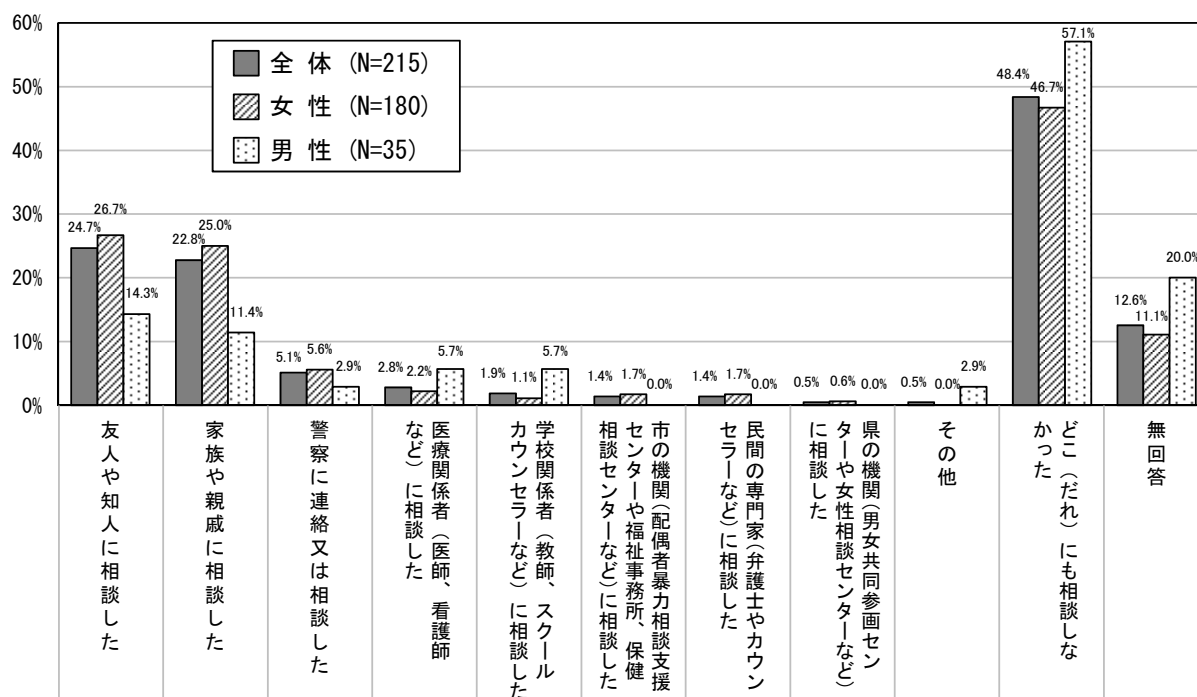
暴力や嫌がらせ等の被害にあった際の相談状況や相談先については、「どこ（だれ）にも相談しなかった」（48.4%）が半数近くに上り、次いで「友人・知人に相談した」（24.7%）、「家族や親戚に相談した」（22.8%）、「警察に連絡又は相談した」（5.1%）の順となっている。

性別でみると、男性は「どこ（だれ）にも相談しなかった」人の割合が女性よりも高く、身近な人（友人・知人や家族等）への相談割合なども低くなっている。（図表 4-15）

前回の調査結果と比較すると、男女ともにどこか（だれか）に相談した人の割合が高くなっており、ひとりで悩まず相談する人が増えてきている。（図表 4-16）

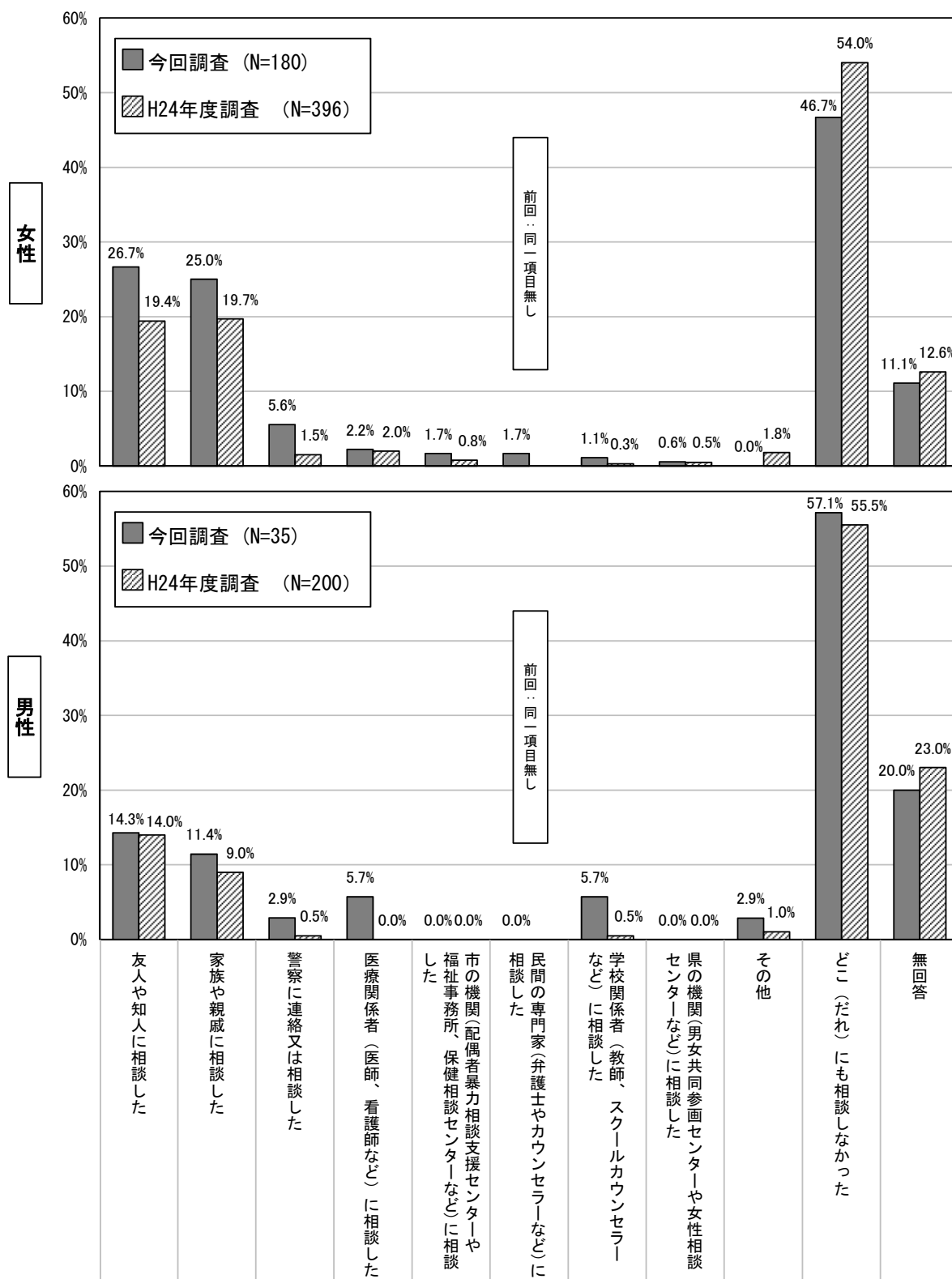
暴力の態様別の相談状況についてみると、「どこ（だれ）にも相談しなかった」人の割合が最も大きいのは、性的暴力の被害を受けた人である。また、配偶者（元配偶者含む。）からの暴力については、家族や親戚への相談割合が最も高く、10 歳代・20 歳代における交際相手からの暴力については、友人・知人への相談割合が最も高い（4 割以上）。（図表 4-18、4-19）

図表 4-15 暴力や嫌がらせ等についての相談状況（全体・性別）



※「その他」意見については、102 ページに記載

図表 4-16 暴力や嫌がらせ等についての相談状況（比較：前回）



図表 4-17 暴力や嫌がらせ等についての相談状況（全体、性・年代別）

	サンプル数	警察に連絡又は相談した	家族や親戚に相談した	友人や知人に相談した	市の機関（配偶者暴力相談支援センターや福祉事務所、保健相談センターなどに相談した	県の機関（男女共同参画センターや女性相談センターなどに相談した	学校関係者（教師、スクールカウンセラーなど）に相談した	医療関係者（医師、看護師など）に相談した	民間の専門家（弁護士やカウンセラーなどに相談した	その他	どこ（だれ）にも相談しなかった	無回答
上段：度数 下段：構成比（%）												
全 体	215	11	49	53	3	1	4	6	3	1	104	27
	-	5.1%	22.8%	24.7%	1.4%	0.5%	1.9%	2.8%	1.4%	0.5%	48.4%	12.6%
女 性	180	10	45	48	3	1	2	4	3	0	84	20
	-	5.6%	25.0%	26.7%	1.7%	0.6%	1.1%	2.2%	1.7%	0.0%	46.7%	11.1%
20～29歳	14	1	4	8	0	1	1	0	0	0	6	0
	-	7.1%	28.6%	57.1%	0.0%	7.1%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	42.9%	0.0%
30～39歳	33	3	11	17	0	0	0	1	2	0	11	0
	-	9.1%	33.3%	51.5%	0.0%	0.0%	0.0%	3.0%	6.1%	0.0%	33.3%	0.0%
40～49歳	29	3	10	7	1	0	0	2	0	0	15	1
	-	10.3%	34.5%	24.1%	3.4%	0.0%	0.0%	6.9%	0.0%	0.0%	51.7%	3.4%
50～59歳	35	1	4	11	1	0	0	1	0	0	19	4
	-	2.9%	11.4%	31.4%	2.9%	0.0%	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%	54.3%	11.4%
60～69歳	47	2	11	5	0	0	0	0	1	0	19	12
	-	4.3%	23.4%	10.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%	0.0%	40.4%	25.5%
70歳以上	22	0	5	0	1	0	1	0	0	0	14	3
	-	0.0%	22.7%	0.0%	4.5%	0.0%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	63.6%	13.6%
男 性	35	1	4	5	0	0	2	2	0	1	20	7
	-	2.9%	11.4%	14.3%	0.0%	0.0%	5.7%	5.7%	0.0%	2.9%	57.1%	20.0%
20～29歳	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	-	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
30～39歳	7	1	2	1	0	0	1	1	0	1	4	0
	-	14.3%	28.6%	14.3%	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%	14.3%	57.1%	0.0%
40～49歳	4	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	0
	-	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	0.0%
50～59歳	7	0	1	2	0	0	0	0	0	0	5	0
	-	0.0%	14.3%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	71.4%	0.0%
60～69歳	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	2
	-	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%
70歳以上	10	0	1	1	0	0	1	1	0	0	3	5
	-	0.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	30.0%	50.0%

. % : 各属性で最も高い割合

図表 4-18 「暴力や嫌がらせ等についての相談状況」
×「配偶者等から暴力や嫌がらせを受けた経験【DVの種類別】」

上段：度数 下段：構成比(%)		サンプル数	警察に連絡又は相談した	家族や親戚に相談した	友人や知人に相談した	市の機関(配偶者暴力相談支援センターや福祉事務所、保健相談センターなどに相談した)	県の機関(男女共同参画センターや女性相談センターなどに相談した)	学校関係者(教師、スクールカウンセラーなどに相談した)	医療関係者(医師、看護師などに相談した)	民間の専門家(弁護士やカウンセラーなどに相談した)	その他	どこ(だれ)にも相談しなかった	無回答
DVを受けた経験	身体に対する暴力	114	7	32	24	3	1	0	4	3	1	51	17
		-	6.1%	28.1%	21.1%	2.6%	0.9%	0.0%	3.5%	2.6%	0.9%	44.7%	14.9%
	うち男性のDV被害経験者	23	0	1	2	0	0	0	0	0	1	15	5
		-	0.0%	4.3%	8.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.3%	65.2%	21.7%
	うち女性のDV被害経験者	91	7	31	22	3	1	0	4	3	0	36	12
		-	7.7%	34.1%	24.2%	3.3%	1.1%	0.0%	4.4%	3.3%	0.0%	39.6%	13.2%
	精神的な嫌がらせ・脅迫	95	6	31	28	2	1	0	4	2	0	42	8
		-	6.3%	32.6%	29.5%	2.1%	1.1%	0.0%	4.2%	2.1%	0.0%	44.2%	8.4%
	うち男性のDV被害経験者	16	0	0	1	0	0	0	0	0	0	13	2
		-	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	81.3%	12.5%
	うち女性のDV被害経験者	79	6	31	27	2	1	0	4	2	0	29	6
		-	7.6%	39.2%	34.2%	2.5%	1.3%	0.0%	5.1%	2.5%	0.0%	36.7%	7.6%
	性的な行為の強要	73	5	16	17	2	0	0	3	3	0	41	9
		-	6.8%	21.9%	23.3%	2.7%	0.0%	0.0%	4.1%	4.1%	0.0%	56.2%	12.3%
	うち男性のDV被害経験者	6	0	0	1	0	0	0	0	0	0	5	1
		-	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	83.3%	16.7%
	うち女性のDV被害経験者	67	5	16	16	2	0	0	3	3	0	36	8
		-	7.5%	23.9%	23.9%	3.0%	0.0%	0.0%	4.5%	4.5%	0.0%	53.7%	11.9%

. % : 各属性で最も高い割合

図表 4-19 「暴力や嫌がらせ等についての相談状況」
×「10歳代、20歳代に交際相手から暴力等を受けた経験【DVの種類別】」

上段：度数 下段：構成比(%)		サンプル数	警察に連絡又は相談した	家族や親戚に相談した	友人や知人に相談した	市の機関(配偶者暴力相談支援センターや福祉事務所、保健相談センターなどに相談した)	県の機関(男女共同参画センターや女性相談センターなどに相談した)	学校関係者(教師、スクールカウンセラーなどに相談した)	医療関係者(医師、看護師などに相談した)	民間の専門家(弁護士やカウンセラーなどに相談した)	その他	どこ(だれ)にも相談しなかった	無回答
DVを受けた経験	身体に対する暴力	47	2	12	21	0	1	1	2	1	1	20	0
		-	4.3%	25.5%	44.7%	0.0%	2.1%	2.1%	4.3%	2.1%	2.1%	42.6%	0.0%
	うち男性のDV被害経験者	9	1	1	3	0	0	1	1	0	1	6	0
		-	11.1%	11.1%	33.3%	0.0%	0.0%	11.1%	11.1%	0.0%	11.1%	66.7%	0.0%
	うち女性のDV被害経験者	38	1	11	18	0	1	0	1	1	0	14	0
		-	2.6%	28.9%	47.4%	0.0%	2.6%	0.0%	2.6%	2.6%	0.0%	36.8%	0.0%
	精神的な嫌がらせ・脅迫	59	3	18	28	0	1	3	2	0	0	19	3
		-	5.1%	30.5%	47.5%	0.0%	1.7%	5.1%	3.4%	0.0%	0.0%	32.2%	5.1%
	うち男性のDV被害経験者	12	1	3	3	0	0	1	1	0	0	6	1
		-	8.3%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	8.3%	8.3%	0.0%	0.0%	50.0%	8.3%
	うち女性のDV被害経験者	47	2	15	25	0	1	2	1	0	0	13	2
		-	4.3%	31.9%	53.2%	0.0%	2.1%	4.3%	2.1%	0.0%	0.0%	27.7%	4.3%
	性的な行為の強要	41	1	11	17	0	0	2	3	0	0	20	1
		-	2.4%	26.8%	41.5%	0.0%	0.0%	4.9%	7.3%	0.0%	0.0%	48.8%	2.4%
	うち男性のDV被害経験者	4	1	1	3	0	0	2	2	0	0	2	0
		-	25.0%	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
	うち女性のDV被害経験者	37	0	10	14	0	0	0	1	0	0	18	1
		-	0.0%	27.0%	37.8%	0.0%	0.0%	0.0%	2.7%	0.0%	0.0%	48.6%	2.7%

. % : 各属性で最も高い割合

(4) 配偶者等からの暴力等（DV）を相談しなかった理由

問 20 【問 19 で「どこ（だれ）にも相談しなかった」と答えた方におたずねします。
どこ（だれ）にも相談しなかったのは、なぜですか。（複数回答）

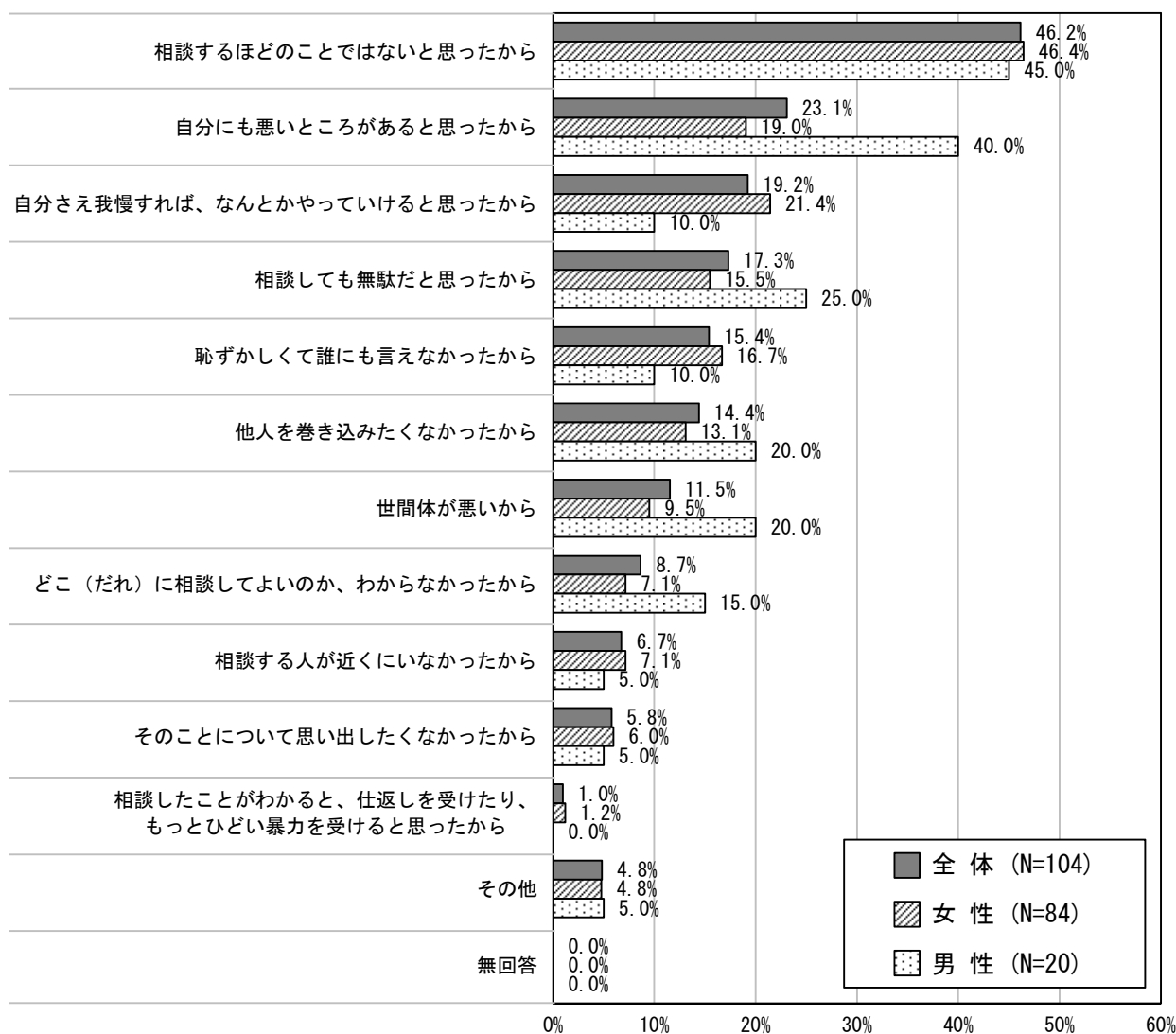
◆「相談するほどのことではないと思ったから」という割合が高い◆

暴力や嫌がらせ等の被害にあった際に、どこ（だれ）にも相談しなかった理由については、「相談するほどのことではないと思ったから」（46.2%）と回答した人の割合が最も高く、次いで「自分にも悪いところがあると思ったから」（23.1%）、「自分さえ我慢すれば、なんとかやっていけると思ったから」（19.2%）、「相談しても無駄だと思ったから」（17.3%）の順となっている。

性別でみると、女性は「自分さえ我慢すれば、なんとかやっていけると思った」、「恥ずかしくて誰にも言えなかった」という割合が男性に比べて高く、男性は「自分にも悪いところがあると思った」、「世間体が悪い」、「相談しても無駄だと思った」などの割合が女性に比べて高くなっている。（図表 4-20）

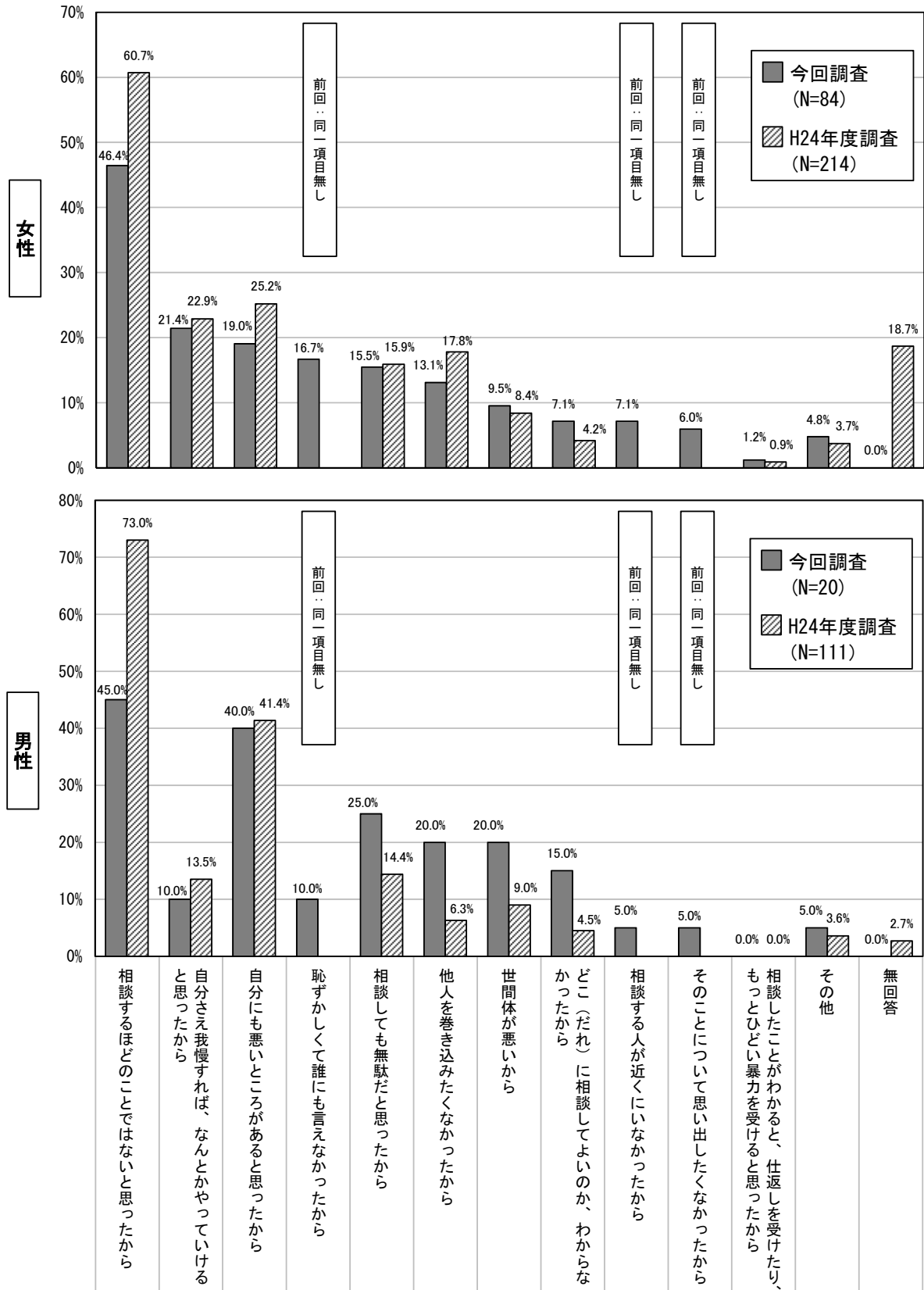
前回の調査結果と比較すると、「相談するほどのことではないと思ったから」と回答した人の割合は男女ともに大きく減少している。（図表 4-21）

図表 4-20 DVを相談しなかった理由（全体・性別）



※「その他」意見については、102 ページに記載

図表 4-21 DVを相談しなかった理由（比較：前回）



図表 4-22 DVを相談しなかった理由（全体、性・年代別）

	サンプル数	どこ（だれ）に相談してよいのか、わからなかったから	相談する人が近くにいなかったから	相談しても無駄だと思ったから	相談したことがわかると、仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けると思ったから	自分さえ我慢すれば、なんとかやっていけると思ったから	自分にも悪いところがあると思ったから	他人を巻き込みたくなかったから	恥ずかしくて誰にも言えなかったから	そのことについて思い出しにくかったから	世間体が悪いから	相談するほどのことではないと思ったから	その他	無回答
上段：度数 下段：構成比(%)														
全 体	104 -	9 8.7%	7 6.7%	18 17.3%	1 1.0%	20 19.2%	24 23.1%	15 14.4%	16 15.4%	6 5.8%	12 11.5%	48 46.2%	5 4.8%	0 0.0%
女性	84 -	6 7.1%	6 7.1%	13 15.5%	1 1.2%	18 21.4%	16 19.0%	11 13.1%	14 16.7%	5 6.0%	8 9.5%	39 46.4%	4 4.8%	0 0.0%
20～29歳	6 -	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%	3 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%
30～39歳	11 -	1 9.1%	0 0.0%	2 18.2%	1 9.1%	2 18.2%	2 18.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 9.1%	0 0.0%	4 36.4%	0 0.0%	0 0.0%
40～49歳	15 -	1 6.7%	0 0.0%	2 13.3%	0 0.0%	3 20.0%	4 26.7%	3 20.0%	3 20.0%	0 0.0%	3 20.0%	8 53.3%	0 0.0%	0 0.0%
50～59歳	19 -	3 15.8%	2 10.5%	3 15.8%	0 0.0%	6 31.6%	2 10.5%	3 15.8%	4 21.1%	2 10.5%	2 10.5%	8 42.1%	0 0.0%	0 0.0%
60～69歳	19 -	0 0.0%	2 10.5%	4 21.1%	0 0.0%	4 21.1%	1 5.3%	3 15.8%	4 21.1%	0 0.0%	1 5.3%	10 52.6%	2 10.5%	0 0.0%
70歳以上	14 -	1 7.1%	2 14.3%	1 7.1%	0 0.0%	2 14.3%	4 28.6%	2 14.3%	3 21.4%	2 14.3%	2 14.3%	8 57.1%	1 7.1%	0 0.0%
男性	20 -	3 15.0%	1 5.0%	5 25.0%	0 0.0%	2 10.0%	8 40.0%	4 20.0%	2 10.0%	1 5.0%	4 20.0%	9 45.0%	1 5.0%	0 0.0%
20～29歳	1 -	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
30～39歳	4 -	1 25.0%	0 0.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%
40～49歳	3 -	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
50～59歳	5 -	1 20.0%	0 0.0%	2 40.0%	0 0.0%	1 20.0%	3 60.0%	2 40.0%	1 20.0%	1 20.0%	2 40.0%	2 40.0%	0 0.0%	0 0.0%
60～69歳	4 -	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	2 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
70歳以上	3 -	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%

. % : 各属性で最も高い割合

(5) 男女間における暴力をなくすために必要なこと

問 21 男女間における暴力をなくすためには、どのようなことが必要だと思いますか。(複数回答)

◆身近な相談窓口を増やすことや子どもに対する人権教育を行うことが 必要という割合が高い◆

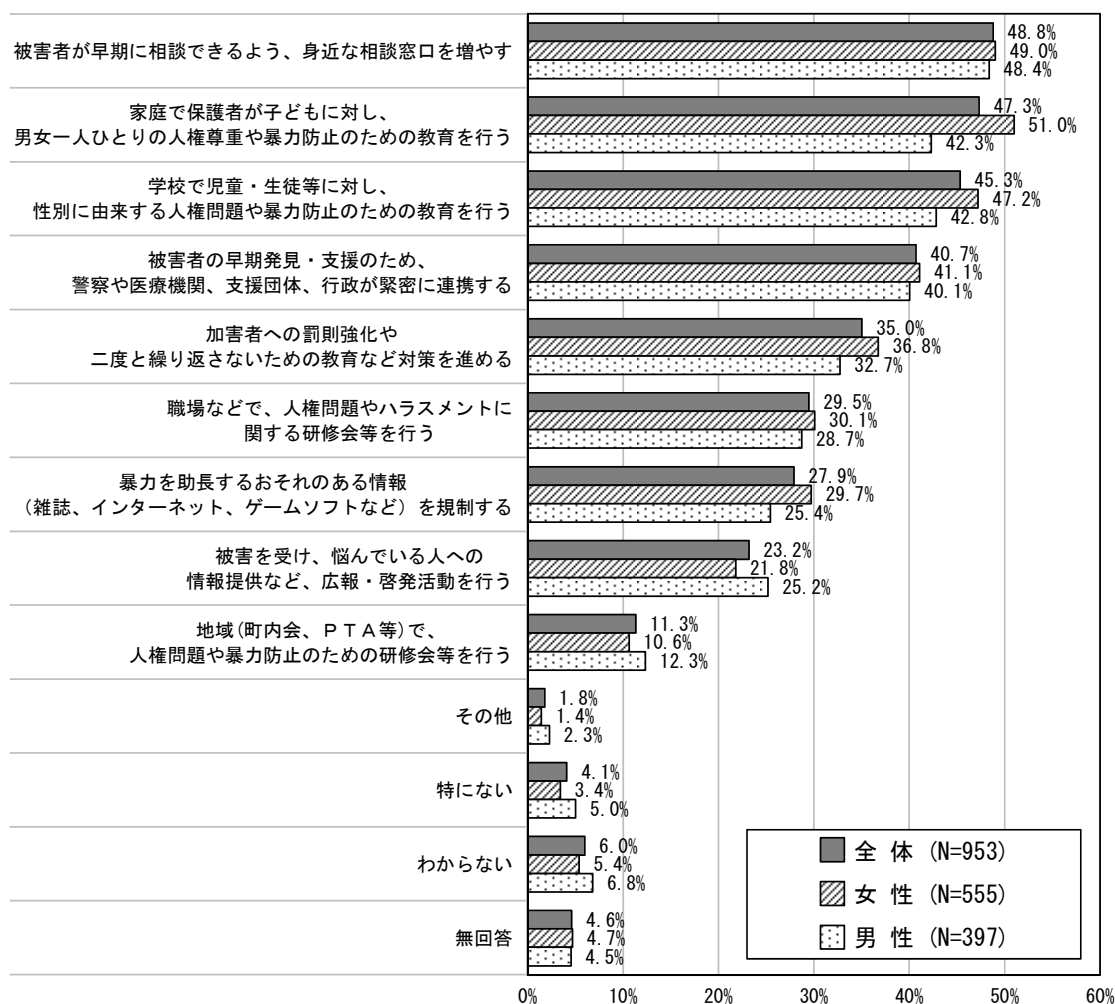
男女間における暴力をなくすためにどのようなことが必要かについては、「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす」(48.8%)と回答した人の割合が最も高く、次いで「家庭で保護者が子どもに対し、男女一人ひとりの人権尊重や暴力防止のための教育を行う」(47.3%)、「学校で児童・生徒等に対し、性別に由来する人権問題や暴力防止のための教育を行う」(45.3%)、「被害者の早期発見・支援のため、警察や医療機関、支援団体、行政が緊密に連携する」(40.7%)の順となっている。

性別でみると、女性は男性に比べ、家庭・学校での人権問題や暴力防止のための教育、加害者への罰則強化や教育が必要という割合が高くなっている。(図表 4-23)

前回の調査結果と比較すると、今回もほぼ前回と同様の傾向(順位)となっている(今回、新設の回答項目があるため、回答割合の比較は困難)。(図表 4-24)

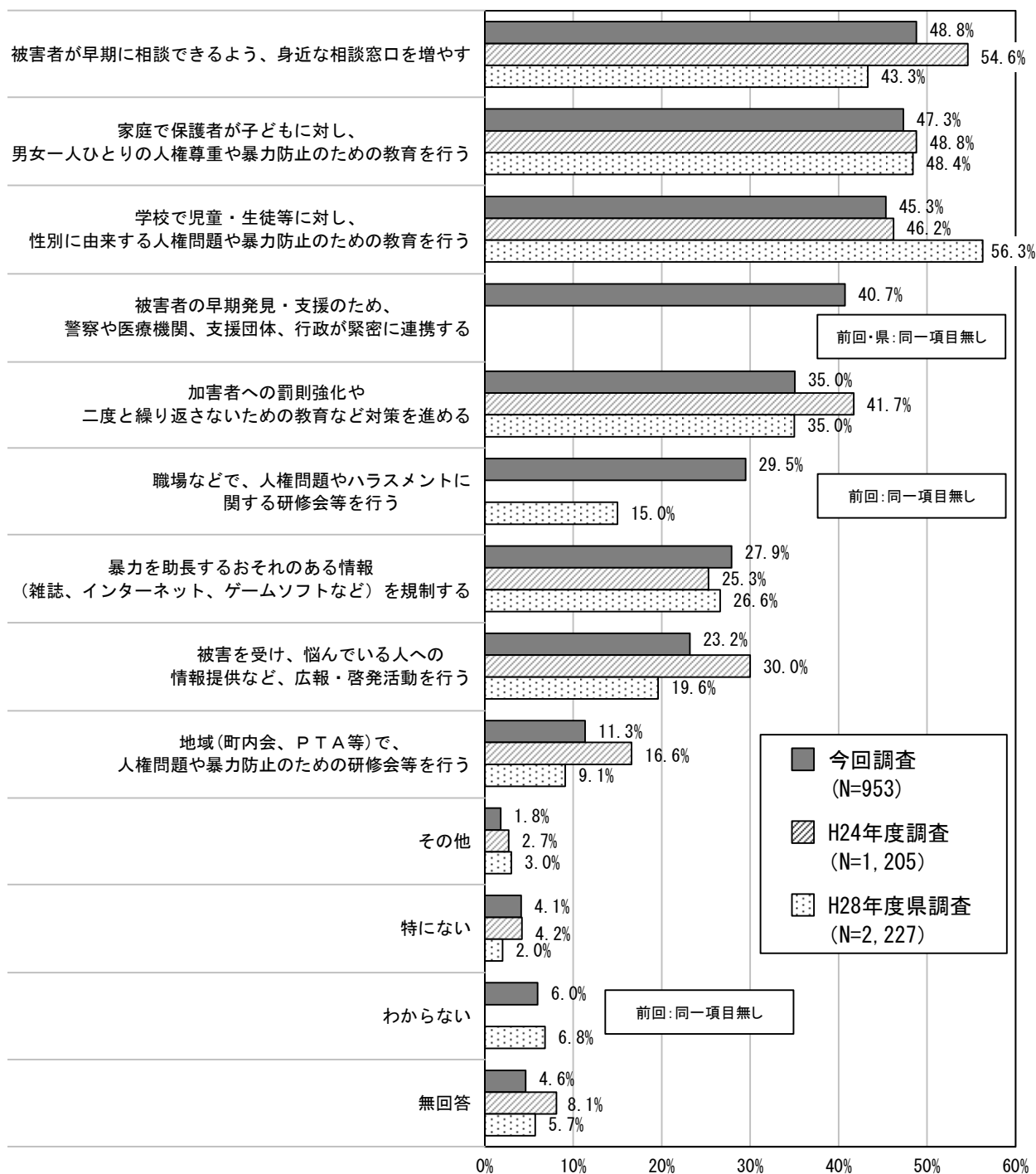
県の調査結果と比較すると、本市は、「職場などで、人権問題やハラスメントに関する研修会等を行う」ことが必要という回答割合が 14.5 ポイント高くなっており、「学校で児童・生徒等に対し、性別に由来する人権問題や暴力防止のための教育を行う」が 11 ポイント低くなっている。(図表 4-24)

図表 4-23 男女間における暴力をなくすために必要なこと(全体・性別)



※「その他」意見については、102 ページに記載

図表 4-24 男女間における暴力をなくすために必要なこと（比較：前回・県）



図表 4-25 男女間における暴力をなくすために必要なこと（全体、性・年代別）

	サンプル数	暴力を助長するおそれのある情報（雑誌、インターネット、ゲームソフトなど）を規制する	加害者への罰則強化や二度と繰り返さないための教育など対策を進める	被害者の早期発見・支援のため、警察や医療機関、支援団体、行政が緊密に連携する	被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす	被害を受け、悩んでいる人への情報提供など、広報・啓発活動を行う	地域（町内会、PTA等）で、人権問題や暴力防止のための研修会等を行う	職場などで、人権問題やハラスメントに関する研修会等を行う	学校で児童・生徒等に対し、性別に由来する人権問題や暴力防止のための教育を行う	家庭で保護者が子どもに対し、男女一人ひとりの人権尊重や暴力防止のための教育を行う	その他	特にない	わからない	無回答
上段：度数 下段：構成比(%)														
全 体	953	451 47.3%	432 45.3%	281 29.5%	108 11.3%	221 23.2%	465 48.8%	388 40.7%	334 35.0%	266 27.9%	17 1.8%	39 4.1%	57 6.0%	44 4.6%
女性	555	283 51.0%	262 47.2%	167 30.1%	59 10.6%	121 21.8%	272 49.0%	228 41.1%	204 36.8%	165 29.7%	8 1.4%	19 3.4%	30 5.4%	26 4.7%
20～29歳	52	24 46.2%	21 40.4%	10 19.2%	3 5.8%	16 30.8%	26 50.0%	23 44.2%	22 42.3%	11 21.2%	3 5.8%	0 0.0%	3 5.8%	0 0.0%
30～39歳	81	42 51.9%	41 50.6%	25 30.9%	8 9.9%	19 23.5%	36 44.4%	37 45.7%	34 42.0%	17 21.0%	3 3.7%	4 4.9%	5 6.2%	1 1.2%
40～49歳	89	43 48.3%	47 52.8%	31 34.8%	8 9.0%	20 22.5%	50 56.2%	43 48.3%	39 43.8%	32 36.0%	2 2.2%	1 1.1%	2 2.2%	2 2.2%
50～59歳	109	59 54.1%	51 46.8%	33 30.3%	12 11.0%	27 24.8%	54 49.5%	44 40.4%	39 35.8%	38 34.9%	0 0.0%	1 0.9%	7 6.4%	3 2.8%
60～69歳	131	80 61.1%	69 52.7%	47 35.9%	17 13.0%	36 27.5%	71 54.2%	56 42.7%	48 36.6%	46 35.1%	0 0.0%	4 3.1%	5 3.8%	2 1.5%
70歳以上	93	35 37.6%	33 35.5%	21 22.6%	11 11.8%	3 3.2%	35 37.6%	25 26.9%	22 23.7%	21 22.6%	0 0.0%	9 9.7%	8 8.6%	18 19.4%
男性	397	168 42.3%	170 42.8%	114 28.7%	49 12.3%	100 25.2%	192 48.4%	159 40.1%	130 32.7%	101 25.4%	9 2.3%	20 5.0%	27 6.8%	18 4.5%
20～29歳	36	9 25.0%	13 36.1%	7 19.4%	3 8.3%	9 25.0%	15 41.7%	15 41.7%	12 33.3%	6 16.7%	1 2.8%	5 13.9%	2 5.6%	1 2.8%
30～39歳	57	19 33.3%	20 35.1%	12 21.1%	8 14.0%	13 22.8%	27 47.4%	24 42.1%	22 38.6%	6 10.5%	2 3.5%	1 1.8%	3 5.3%	2 3.5%
40～49歳	57	27 47.4%	25 43.9%	20 35.1%	9 15.8%	20 35.1%	32 56.1%	25 43.9%	22 38.6%	13 22.8%	2 3.5%	1 1.8%	6 10.5%	0 0.0%
50～59歳	76	41 53.9%	35 46.1%	23 30.3%	9 11.8%	19 25.0%	37 48.7%	32 42.1%	24 31.6%	21 27.6%	2 2.6%	1 1.3%	4 5.3%	1 1.3%
60～69歳	100	46 46.0%	44 44.0%	38 38.0%	9 9.0%	24 24.0%	50 50.0%	39 39.0%	29 29.0%	28 28.0%	2 2.0%	6 6.0%	4 4.0%	2 2.0%
70歳以上	71	26 36.6%	33 46.5%	14 19.7%	11 15.5%	15 21.1%	31 43.7%	24 33.8%	21 29.6%	27 38.0%	0 0.0%	6 8.5%	8 11.3%	12 16.9%

. % : 各属性で最も高い割合

(6) メディアにおける性・暴力表現についての意識

問 22 テレビ、新聞、雑誌、インターネット等のメディアにおける性・暴力表現について、あなたはどのように思いますか。(複数回答)

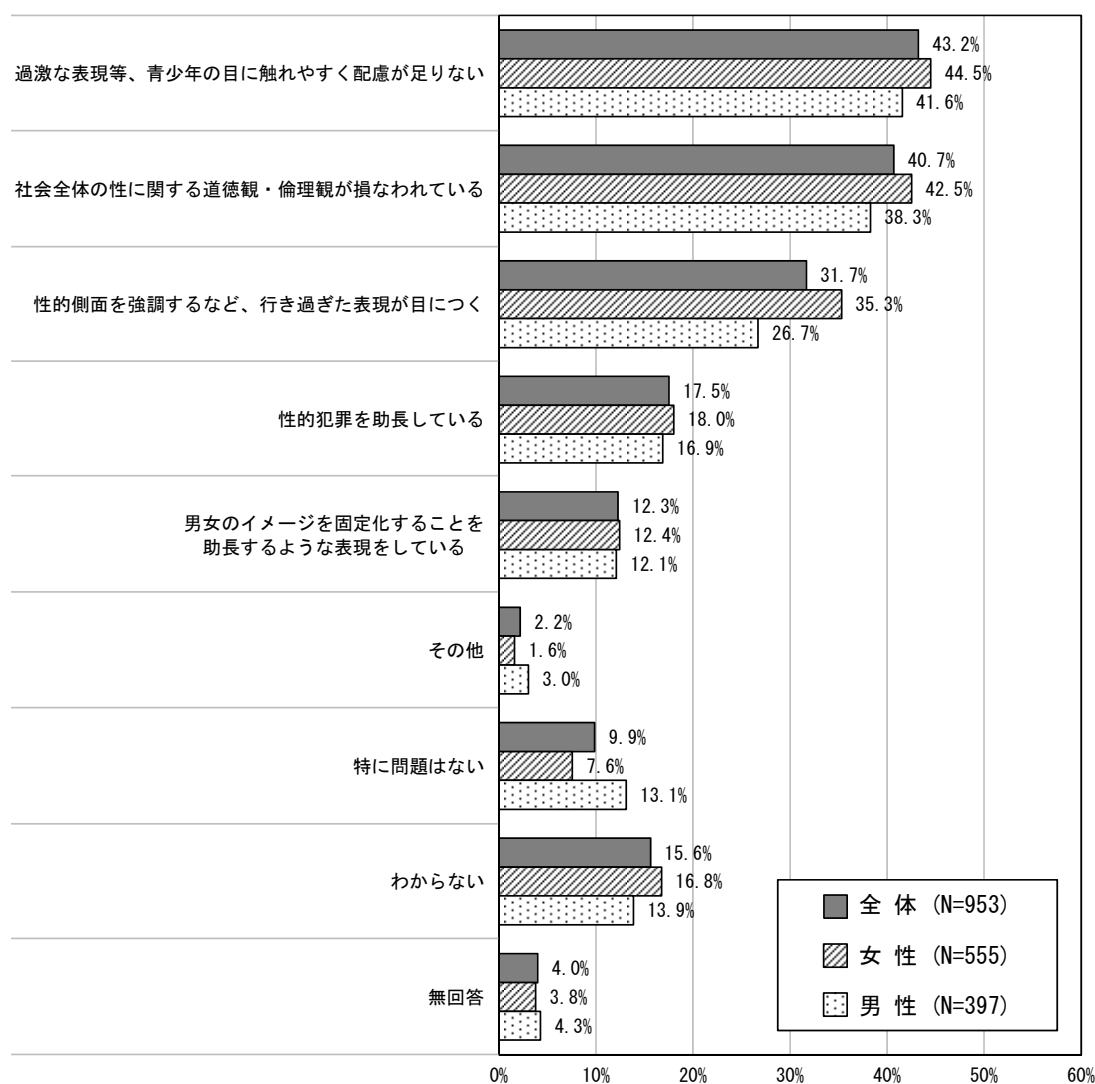
◆過激な表現等、青少年の目に触れやすく配慮が足りないと感じている人が多い◆

メディアにおける性・暴力表現をどう思うかについては、「過激な表現等、青少年の目に触れやすく配慮が足りない」(43.2%)と回答した人の割合が最も高く、次いで「社会全体の性に関する道德観・倫理観が損なわれている」(40.7%)、「性的側面を強調するなど、行き過ぎた表現が目につく」(31.7%)の順となっている。

性別でみると、女性は「性的側面を強調するなど、行き過ぎた表現が目につく」の回答割合が男性に比べ高く、男性は「特に問題はない」の回答割合が女性に比べ高くなっており、意識の違いが見られた。また、年代別でみると、40歳代以下では「過激な表現等、青少年の目に触れやすく配慮が足りない」という回答割合が高いが、50歳代以上では「社会全体の性に関する道德観・倫理観が損なわれている」の回答割合が高くなっている。(図表 4-26、4-28)

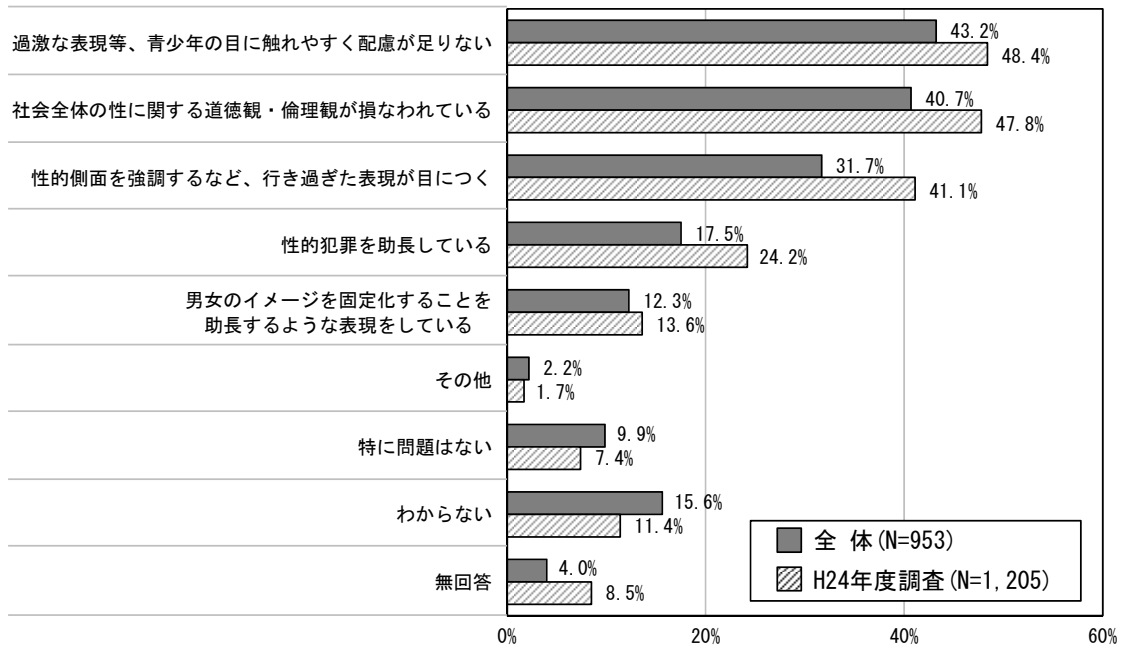
前回の調査結果と比較すると、「性的側面を強調するなど、行き過ぎた表現が目につく」が9.4ポイント、「社会全体の性に関する道德観・倫理観が損なわれている」が7.1ポイント、「性的犯罪を助長している」が6.7ポイント減少するなど、いずれの回答項目も比率が低下してきている。(図表 4-27)

図表 4-26 メディアにおける性・暴力表現についての意識 (全体・性別)



※「その他」意見については、102 ページに記載

図表 4-27 メディアにおける性・暴力表現についての意識（比較：前回）



図表 4-28 メディアにおける性・暴力表現についての意識（全体、性・年代別）

	サンプル数	性的側面を強調するなど、行き過ぎた表現が目につく	社会全体の性に関する道徳観・倫理観が損なわれている	性的犯罪を助長している	過激な表現等、青少年の目に触れやすく配慮が足りない	男女のイメージを固定化することを助長するような表現をしている	その他	特に問題はない	わからない	無回答
上段：度数 下段：構成比(%)										
全体	953	302	388	167	412	117	21	94	149	38
	-	31.7%	40.7%	17.5%	43.2%	12.3%	2.2%	9.9%	15.6%	4.0%
女性	555	196	236	100	247	69	9	42	93	21
	-	35.3%	42.5%	18.0%	44.5%	12.4%	1.6%	7.6%	16.8%	3.8%
20～29歳	52	11	13	8	17	8	1	6	11	2
	-	21.2%	25.0%	15.4%	32.7%	15.4%	1.9%	11.5%	21.2%	3.8%
30～39歳	81	14	16	11	23	10	4	13	23	0
	-	17.3%	19.8%	13.6%	28.4%	12.3%	4.9%	16.0%	28.4%	0.0%
40～49歳	89	32	31	14	46	11	1	5	14	1
	-	36.0%	34.8%	15.7%	51.7%	12.4%	1.1%	5.6%	15.7%	1.1%
50～59歳	109	49	55	23	53	13	0	6	18	3
	-	45.0%	50.5%	21.1%	48.6%	11.9%	0.0%	5.5%	16.5%	2.8%
60～69歳	131	55	80	30	70	21	3	5	14	3
	-	42.0%	61.1%	22.9%	53.4%	16.0%	2.3%	3.8%	10.7%	2.3%
70歳以上	93	35	41	14	38	6	0	7	13	12
	-	37.6%	44.1%	15.1%	40.9%	6.5%	0.0%	7.5%	14.0%	12.9%
男性	397	106	152	67	165	48	12	52	55	17
	-	26.7%	38.3%	16.9%	41.6%	12.1%	3.0%	13.1%	13.9%	4.3%
20～29歳	36	10	10	8	15	2	2	10	4	0
	-	27.8%	27.8%	22.2%	41.7%	5.6%	5.6%	27.8%	11.1%	0.0%
30～39歳	57	9	14	7	14	4	5	17	8	1
	-	15.8%	24.6%	12.3%	24.6%	7.0%	8.8%	29.8%	14.0%	1.8%
40～49歳	57	10	17	5	26	6	2	5	14	0
	-	17.5%	29.8%	8.8%	45.6%	10.5%	3.5%	8.8%	24.6%	0.0%
50～59歳	76	23	38	16	36	10	2	5	9	2
	-	30.3%	50.0%	21.1%	47.4%	13.2%	2.6%	6.6%	11.8%	2.6%
60～69歳	100	30	46	22	43	16	1	10	11	1
	-	30.0%	46.0%	22.0%	43.0%	16.0%	1.0%	10.0%	11.0%	1.0%
70歳以上	71	24	27	9	31	10	0	5	9	13
	-	33.8%	38.0%	12.7%	43.7%	14.1%	0.0%	7.0%	12.7%	18.3%

. % : 各属性で最も高い割合

5 女性の政策参画について

(1) 各分野における方針・施策を決める際の女性の意見の反映度

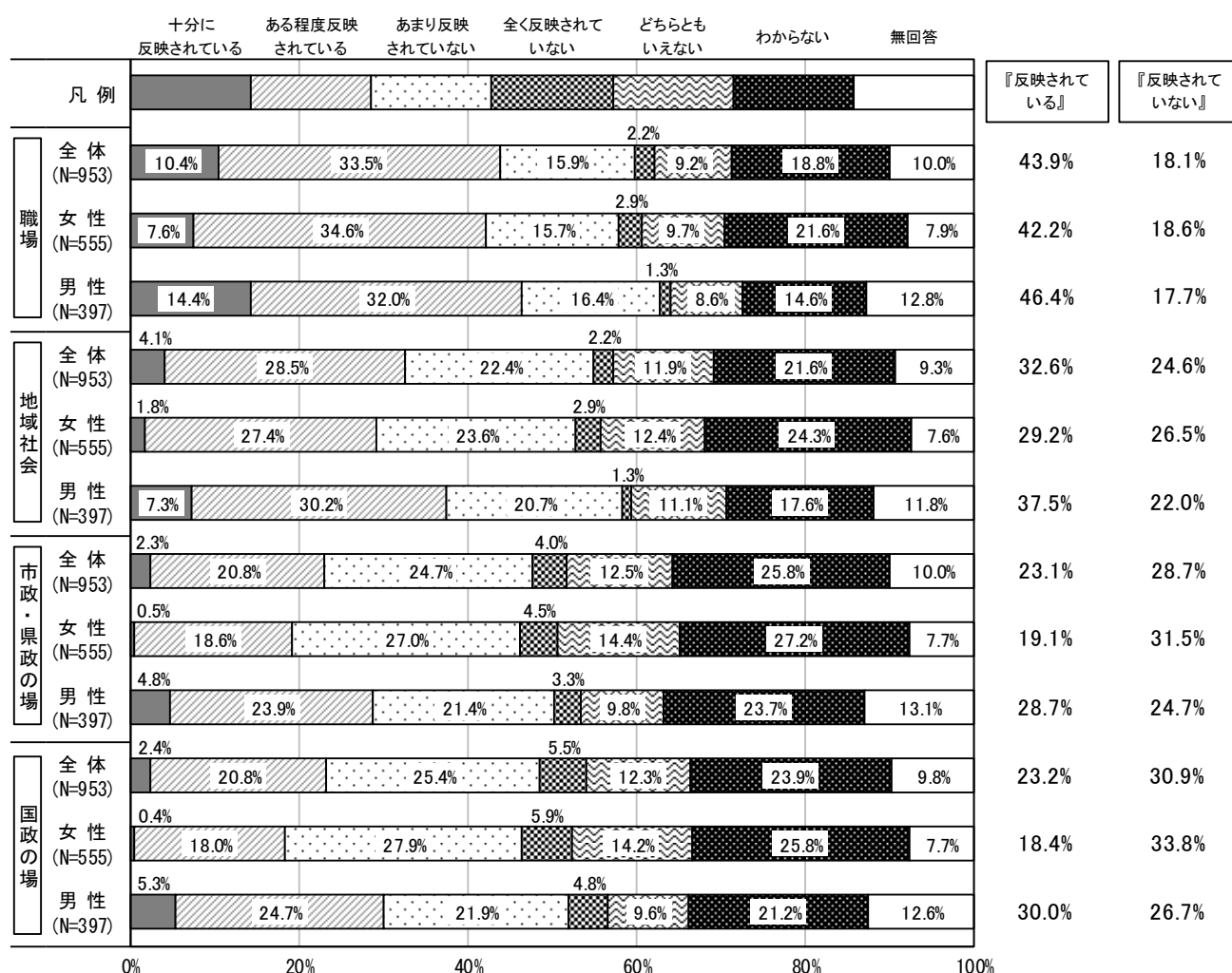
問 23 次の各分野でその方針や施策を決めるとき、女性の意見はどの程度反映されていると思いますか。次の「職場」「地域社会」「市政・県政の場」「国政の場」のそれぞれについて、1つずつお選びください。

◆職場や地域社会では反映度が高い、国政や市政・県政の場では低いと感じている◆

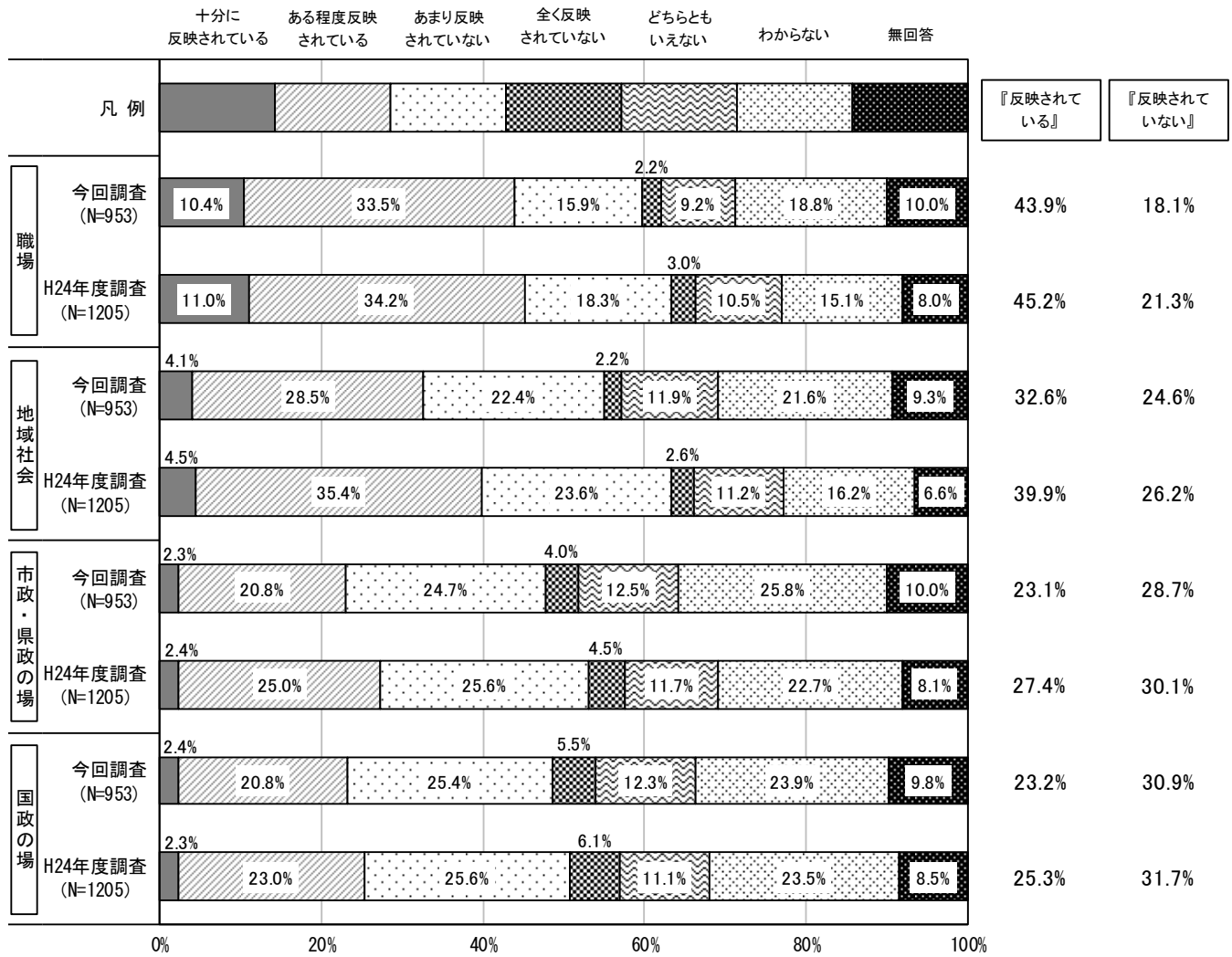
各分野における方針や施策決定に女性の意見がどの程度反映されているかについては、「職場」や「地域社会」では反映されていると感じている人の割合（「十分に反映されている」と「ある程度反映されている」の合計。それぞれ43.9%、32.6%）が高く、「国政の場」や「市政・県政の場」では反映されていないと感じている人の割合（「全く反映されていない」と「あまり反映されていない」の合計。それぞれ30.9%、28.7%）がやや高くなっている。（図表 5-1）

ただ、いずれの分野も「どちらともいえない」や「わからない」といった回答割合が高く（特に20歳代及び30歳代）、前回の調査結果と同様の傾向となっている。（図表 5-2）

図表 5-1 各分野における方針・施策を決める際の女性の意見の反映度（全体・性別）



図表 5-2 各分野における方針・施策を決める際の女性の意見の反映度（比較：前回）



図表 5-3 各分野における方針・施策を決める際の女性の意見の反映度（全体、性・年代別）

上段：度数 下段：構成比(%)	サンプル数	「職場」における女性意見の反映							「地域社会」における女性意見の反映						
		十分に反映されている	ある程度反映されている	あまり反映されていない	全く反映されていない	どちらともいえない	わからない	無回答	十分に反映されている	ある程度反映されている	あまり反映されていない	全く反映されていない	どちらともいえない	わからない	無回答
全 体	953	99	319	152	21	88	179	95	39	272	213	21	113	206	89
	100.0%	10.4%	33.5%	15.9%	2.2%	9.2%	18.8%	10.0%	4.1%	28.5%	22.4%	2.2%	11.9%	21.6%	9.3%
女性	555	42	192	87	16	54	120	44	10	152	131	16	69	135	42
	100.0%	7.6%	34.6%	15.7%	2.9%	9.7%	21.6%	7.9%	1.8%	27.4%	23.6%	2.9%	12.4%	24.3%	7.6%
20～29歳	52	7	24	8	4	0	9	0	1	12	13	1	6	19	0
	100.0%	13.5%	46.2%	15.4%	7.7%	0.0%	17.3%	0.0%	1.9%	23.1%	25.0%	1.9%	11.5%	36.5%	0.0%
30～39歳	81	11	32	11	3	9	14	1	0	23	18	2	11	26	1
	100.0%	13.6%	39.5%	13.6%	3.7%	11.1%	17.3%	1.2%	0.0%	28.4%	22.2%	2.5%	13.6%	32.1%	1.2%
40～49歳	89	8	38	11	3	17	12	0	2	31	21	5	13	17	0
	100.0%	9.0%	42.7%	12.4%	3.4%	19.1%	13.5%	0.0%	2.2%	34.8%	23.6%	5.6%	14.6%	19.1%	0.0%
50～59歳	109	10	39	20	2	10	21	7	5	27	29	3	13	24	8
	100.0%	9.2%	35.8%	18.3%	1.8%	9.2%	19.3%	6.4%	4.6%	24.8%	26.6%	2.8%	11.9%	22.0%	7.3%
60～69歳	131	5	40	29	2	10	32	13	0	36	35	3	15	30	12
	100.0%	3.8%	30.5%	22.1%	1.5%	7.6%	24.4%	9.9%	0.0%	27.5%	26.7%	2.3%	11.5%	22.9%	9.2%
70歳以上	93	1	19	8	2	8	32	23	2	23	15	2	11	19	21
	100.0%	1.1%	20.4%	8.6%	2.2%	8.6%	34.4%	24.7%	2.2%	24.7%	16.1%	2.2%	11.8%	20.4%	22.6%
男性	397	57	127	65	5	34	58	51	29	120	82	5	44	70	47
	100.0%	14.4%	32.0%	16.4%	1.3%	8.6%	14.6%	12.8%	7.3%	30.2%	20.7%	1.3%	11.1%	17.6%	11.8%
20～29歳	36	5	10	10	0	3	7	1	2	8	10	0	3	12	1
	100.0%	13.9%	27.8%	27.8%	0.0%	8.3%	19.4%	2.8%	5.6%	22.2%	27.8%	0.0%	8.3%	33.3%	2.8%
30～39歳	57	19	21	1	1	3	8	4	7	21	5	0	7	13	4
	100.0%	33.3%	36.8%	1.8%	1.8%	5.3%	14.0%	7.0%	12.3%	36.8%	8.8%	0.0%	12.3%	22.8%	7.0%
40～49歳	57	12	23	6	0	6	8	2	6	20	13	0	7	10	1
	100.0%	21.1%	40.4%	10.5%	0.0%	10.5%	14.0%	3.5%	10.5%	35.1%	22.8%	0.0%	12.3%	17.5%	1.8%
50～59歳	76	11	29	14	2	6	9	5	4	26	17	2	9	12	6
	100.0%	14.5%	38.2%	18.4%	2.6%	7.9%	11.8%	6.6%	5.3%	34.2%	22.4%	2.6%	11.8%	15.8%	7.9%
60～69歳	100	9	29	22	2	11	9	18	7	31	25	3	12	8	14
	100.0%	9.0%	29.0%	22.0%	2.0%	11.0%	9.0%	18.0%	7.0%	31.0%	25.0%	3.0%	12.0%	8.0%	14.0%
70歳以上	71	1	15	12	0	5	17	21	3	14	12	0	6	15	21
	100.0%	1.4%	21.1%	16.9%	0.0%	7.0%	23.9%	29.6%	4.2%	19.7%	16.9%	0.0%	8.5%	21.1%	29.6%

上段：度数 下段：構成比(%)	サンプル数	「市政・県政の場」における女性意見の反映							「国政の場」における女性意見の反映						
		十分に反映されている	ある程度反映されている	あまり反映されていない	全く反映されていない	どちらともいえない	わからない	無回答	十分に反映されている	ある程度反映されている	あまり反映されていない	全く反映されていない	どちらともいえない	わからない	無回答
全 体	953	22	198	235	38	119	246	95	23	198	242	52	117	228	93
	100.0%	2.3%	20.8%	24.7%	4.0%	12.5%	25.8%	10.0%	2.4%	20.8%	25.4%	5.5%	12.3%	23.9%	9.8%
女性	555	3	103	150	25	80	151	43	2	100	155	33	79	143	43
	100.0%	0.5%	18.6%	27.0%	4.5%	14.4%	27.2%	7.7%	0.4%	18.0%	27.9%	5.9%	14.2%	25.8%	7.7%
20～29歳	52	0	12	12	2	6	20	0	1	9	18	2	6	16	0
	100.0%	0.0%	23.1%	23.1%	3.8%	11.5%	38.5%	0.0%	1.9%	17.3%	34.6%	3.8%	11.5%	30.8%	0.0%
30～39歳	81	1	12	21	5	14	27	1	0	12	20	9	14	25	1
	100.0%	1.2%	14.8%	25.9%	6.2%	17.3%	33.3%	1.2%	0.0%	14.8%	24.7%	11.1%	17.3%	30.9%	1.2%
40～49歳	89	0	15	32	7	19	16	0	0	16	31	7	17	18	0
	100.0%	0.0%	16.9%	36.0%	7.9%	21.3%	18.0%	0.0%	0.0%	18.0%	34.8%	7.9%	19.1%	20.2%	0.0%
50～59歳	109	2	18	34	5	16	26	8	1	17	36	7	15	25	8
	100.0%	1.8%	16.5%	31.2%	4.6%	14.7%	23.9%	7.3%	0.9%	15.6%	33.0%	6.4%	13.8%	22.9%	7.3%
60～69歳	131	0	30	36	5	11	37	12	0	28	35	6	13	37	12
	100.0%	0.0%	22.9%	27.5%	3.8%	8.4%	28.2%	9.2%	0.0%	21.4%	26.7%	4.6%	9.9%	28.2%	9.2%
70歳以上	93	0	16	15	1	14	25	22	0	18	15	2	14	22	22
	100.0%	0.0%	17.2%	16.1%	1.1%	15.1%	26.9%	23.7%	0.0%	19.4%	16.1%	2.2%	15.1%	23.7%	23.7%
男性	397	19	95	85	13	39	94	52	21	98	87	19	38	84	50
	100.0%	4.8%	23.9%	21.4%	3.3%	9.8%	23.7%	13.1%	5.3%	24.7%	21.9%	4.8%	9.6%	21.2%	12.6%
20～29歳	36	3	7	9	1	3	12	1	2	10	8	1	2	12	1
	100.0%	8.3%	19.4%	25.0%	2.8%	8.3%	33.3%	2.8%	5.6%	27.8%	22.2%	2.8%	5.6%	33.3%	2.8%
30～39歳	57	2	15	6	1	6	23	4	4	15	6	3	7	18	4
	100.0%	3.5%	26.3%	10.5%	1.8%	10.5%	40.4%	7.0%	7.0%	26.3%	10.5%	5.3%	12.3%	31.6%	7.0%
40～49歳	57	6	20	11	0	5	14	1	6	20	14	0	5	11	1
	100.0%	10.5%	35.1%	19.3%	0.0%	8.8%	24.6%	1.8%	10.5%	35.1%	24.6%	0.0%	8.8%	19.3%	1.8%
50～59歳	76	3	16	23	5	10	13	6	3	17	22	5	9	14	6
	100.0%	3.9%	21.1%	30.3%	6.6%	13.2%	17.1%	7.9%	3.9%	22.4%	28.9%	6.6%	11.8%	18.4%	7.9%
60～69歳	100	4	26	24	5	11	14	16	5	22	24	9	11	14	15
	100.0%	4.0%	26.0%	24.0%	5.0%	11.0%	14.0%	16.0%	5.0%	22.0%	24.0%	9.0%	11.0%	14.0%	15.0%
70歳以上	71	1	11	12	1	4	18	24	1	14	13	1	4	15	23
	100.0%	1.4%	15.5%	16.9%	1.4%	5.6%	25.4%	33.8%	1.4%	19.7%	18.3%	1.4%	5.6%	21.1%	32.4%

. % : 各属性で最も高い割合

(2) 政策・方針決定の場に女性が少ない理由

問 24 女性の社会参画は進みつつありますが、まちづくりなどの政策や方針を決定する場に女性の参画は少ない状況にあります。政策・方針決定の場に女性が少ない理由は、何だと思いませんか。
(複数回答)

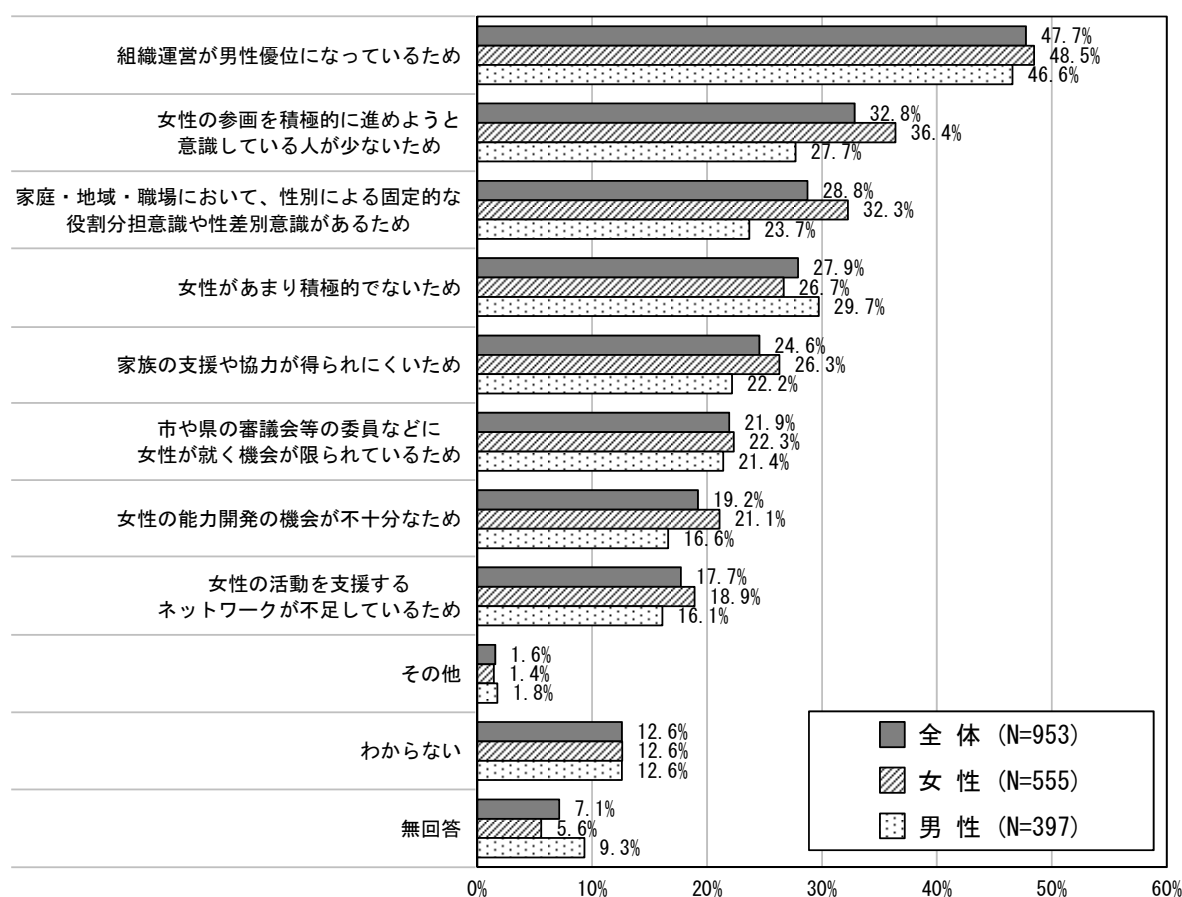
◆「組織運営が男性優位になっているため」が最も高い割合◆

政策・方針決定の場に女性が少ない理由については、「組織運営が男性優位になっているため」と回答した人の割合が概ね5割（47.7%）と、最も高くなっている。次いで「女性の参画を積極的に進めようと意識している人が少ないため」（32.8%）、「家庭・地域・職場において、性別による固定的な役割分担意識や性差別意識があるため」（28.8%）の順となっている。

性別で見ると、女性は「女性の参画を積極的に進めようと意識している人が少ない」、「性別による固定的な役割分担意識や性差別意識がある」、「女性の能力開発の機会が不十分」などの回答割合が男性より高くなっている。（図表 5-4）

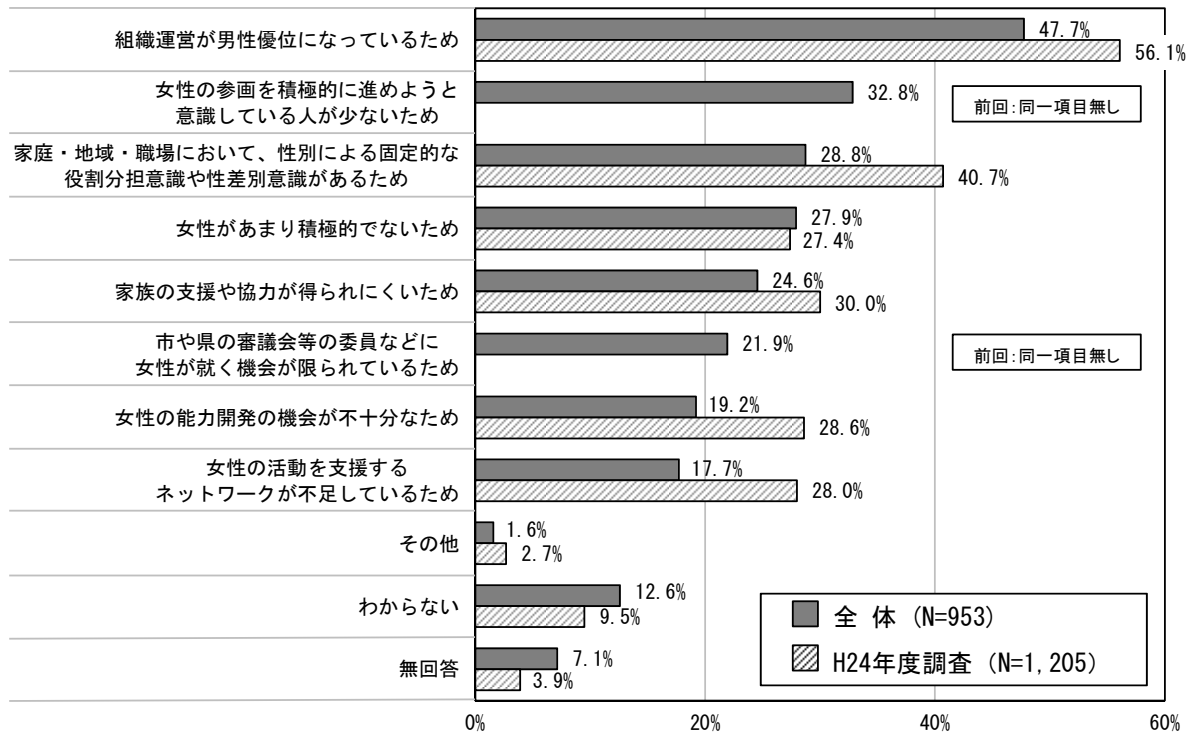
前回の調査結果と比較すると、今回もほぼ前回と同様の傾向（順位）となっている（今回、新設の回答項目があるため、回答割合の比較は困難）。（図表 5-5）

図表 5-4 政策・方針決定の場に女性が少ない理由（全体・性別）



※「その他」意見については、102 ページに記載

図表 5-5 政策・方針決定の場に女性が少ない理由（比較：前回）



図表 5-6 政策・方針決定の場に女性が少ない理由（全体、性・年代別）

	サンプル数	家庭・地域・職場において、性別による固定的な役割分担意識や性差別意識があるため	組織運営が男性優位になっているため	市や県の審議会等の委員などに女性が就く機会が限られているため	女性の能力開発の機会が不十分なため	女性の活動を支援するネットワークが不足しているため	女性があまり積極的でないため	女性の参画を積極的に進めようと意識している人が少ないため	家族の支援や協力が得られにくい	その他	わからない	無回答
上段：度数 下段：構成比(%)												
全 体	953	274 28.8%	455 47.7%	209 21.9%	183 19.2%	169 17.7%	266 27.9%	313 32.8%	234 24.6%	15 1.6%	120 12.6%	68 7.1%
女性	555	179 32.3%	269 48.5%	124 22.3%	117 21.1%	105 18.9%	148 26.7%	202 36.4%	146 26.3%	8 1.4%	70 12.6%	31 5.6%
20～29歳	52	18 34.6%	23 44.2%	6 11.5%	12 23.1%	9 17.3%	14 26.9%	12 23.1%	16 30.8%	0 0.0%	9 17.3%	0 0.0%
30～39歳	81	29 35.8%	38 46.9%	15 18.5%	9 11.1%	13 16.0%	14 17.3%	28 34.6%	24 29.6%	7 8.6%	10 12.3%	1 1.2%
40～49歳	89	35 39.3%	52 58.4%	24 27.0%	25 28.1%	20 22.5%	23 25.8%	39 43.8%	29 32.6%	0 0.0%	7 7.9%	2 2.2%
50～59歳	109	38 34.9%	64 58.7%	23 21.1%	17 15.6%	22 20.2%	30 27.5%	32 29.4%	39 35.8%	1 0.9%	10 9.2%	4 3.7%
60～69歳	131	37 28.2%	64 48.9%	32 24.4%	39 29.8%	28 21.4%	43 32.8%	62 47.3%	20 15.3%	0 0.0%	16 12.2%	7 5.3%
70歳以上	93	22 23.7%	28 30.1%	24 25.8%	15 16.1%	13 14.0%	24 25.8%	29 31.2%	18 19.4%	0 0.0%	18 19.4%	17 18.3%
男性	397	94 23.7%	185 46.6%	85 21.4%	66 16.6%	64 16.1%	118 29.7%	110 27.7%	88 22.2%	7 1.8%	50 12.6%	37 9.3%
20～29歳	36	10 27.8%	18 50.0%	6 16.7%	8 22.2%	6 16.7%	8 22.2%	7 19.4%	3 8.3%	1 2.8%	8 22.2%	0 0.0%
30～39歳	57	5 8.8%	23 40.4%	10 17.5%	7 12.3%	7 12.3%	14 24.6%	12 21.1%	10 17.5%	2 3.5%	12 21.1%	5 8.8%
40～49歳	57	11 19.3%	25 43.9%	13 22.8%	10 17.5%	9 15.8%	24 42.1%	16 28.1%	16 28.1%	1 1.8%	7 12.3%	1 1.8%
50～59歳	76	22 28.9%	42 55.3%	19 25.0%	14 18.4%	12 15.8%	21 27.6%	22 28.9%	19 25.0%	1 1.3%	9 11.8%	6 7.9%
60～69歳	100	26 26.0%	50 50.0%	23 23.0%	14 14.0%	19 19.0%	31 31.0%	33 33.0%	29 29.0%	0 0.0%	7 7.0%	11 11.0%
70歳以上	71	20 28.2%	27 38.0%	14 19.7%	13 18.3%	11 15.5%	20 28.2%	20 28.2%	11 15.5%	2 2.8%	7 9.9%	14 19.7%

. % : 各属性で最も高い割合

(3) 女性が地域活動のリーダーになるために必要なこと

問 25 あなたは、女性が地域活動のリーダーになるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(複数回答)

◆女性が地域活動のリーダーになることに対して抵抗感をなくすことが必要という割合が高い◆

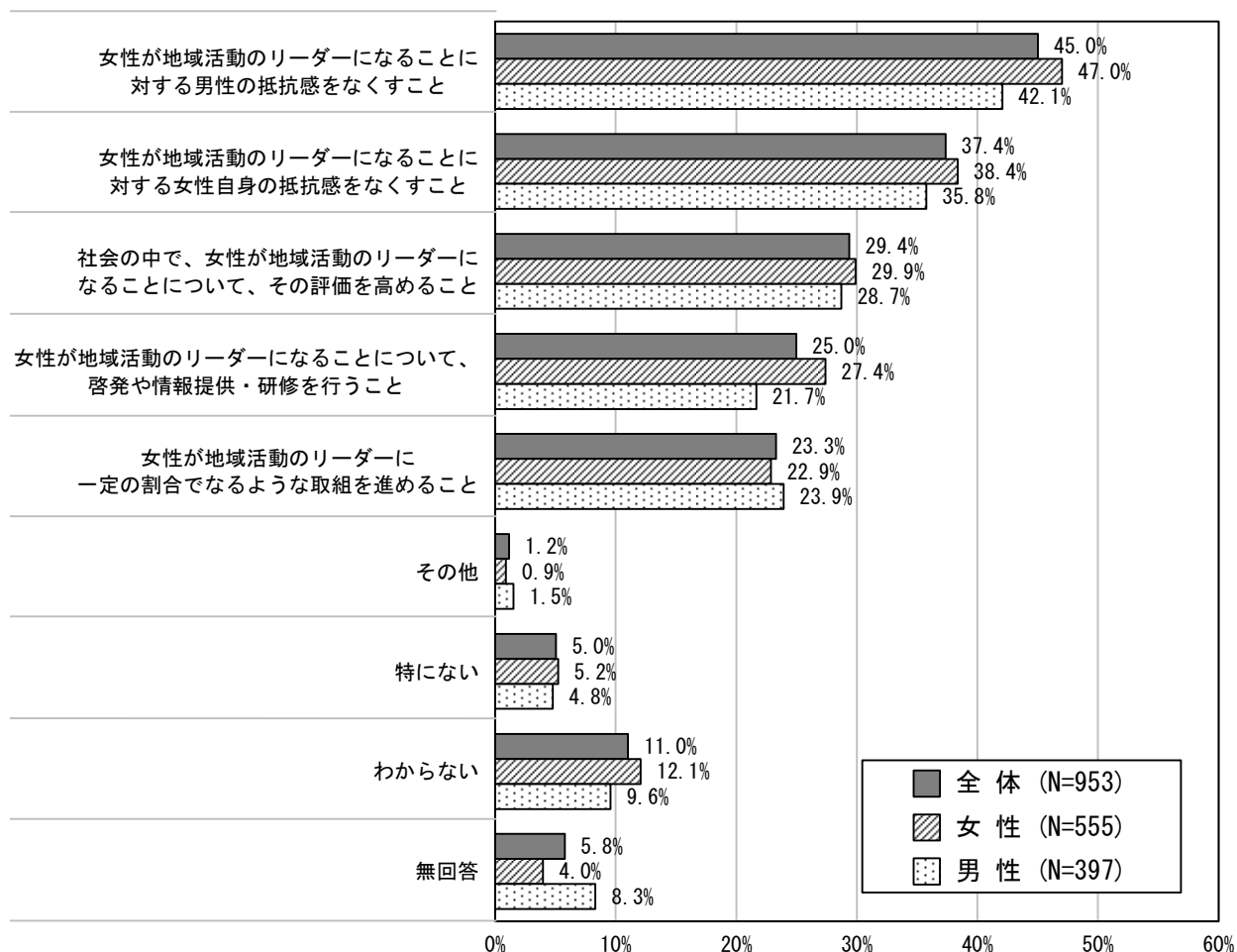
女性が地域活動のリーダーになるために必要なことについては、「女性が地域活動のリーダーになること」に対する「男性の抵抗感をなくすこと」(45.0%)及び「女性自身の抵抗感をなくすこと」(37.4%)と回答した人の割合が高く、次いで「社会の中で、女性が地域活動のリーダーになることについて、その評価を高めること」(29.4%)の順となっている。

性別による回答結果の大きな差は見られず、ほぼ同じ傾向であった。(図表 5-7)

内閣府(全国)の調査結果では、それぞれの比率が本市よりさらに高く、「女性が地域活動のリーダーになることに対する男性の抵抗感をなくすこと」は5割以上の方が、また「社会の中で、女性が地域活動のリーダーになることについて、その評価を高めること」については約4割の人が必要と回答している。

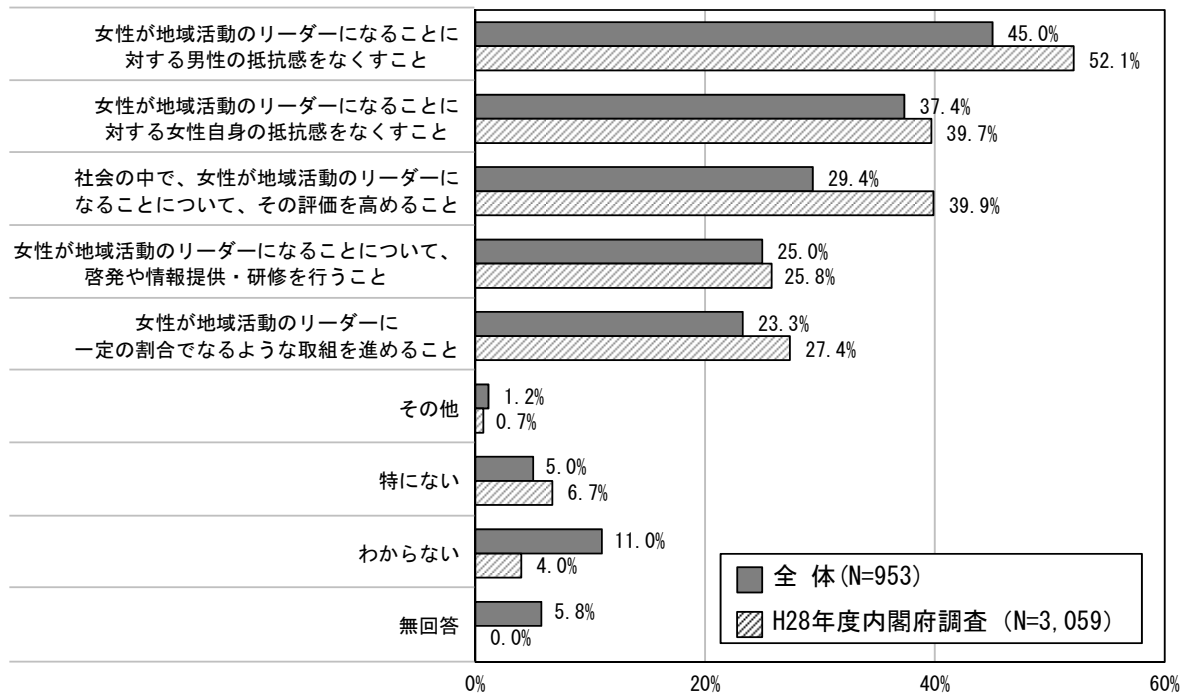
(図表 5-8)

図表 5-7 女性が地域活動のリーダーになるために必要なこと(全体・性別)



※「その他」意見については、102 ページに記載

図表 5-8 女性が地域活動のリーダーになるために必要なこと（比較：国）



図表 5-9 女性が地域活動のリーダーになるために必要なこと（全体、性・年代別）

	サンプル数	女性が地域活動のリーダーになることに対する女性自身の抵抗感をなくすこと	女性が地域活動のリーダーになることに対する男性の抵抗感をなくすこと	社会の中で、女性が地域活動のリーダーになることについて、その評価を高めること	女性が地域活動のリーダーになることについて、啓発や情報提供・研修を行うこと	女性が地域活動のリーダーになる一定の割合でなるような取組を進めること	その他	特にない	わからない	無回答
上段：度数 下段：構成比(%)										
全 体	953	356	429	280	238	222	11	48	105	55
	-	37.4%	45.0%	29.4%	25.0%	23.3%	1.2%	5.0%	11.0%	5.8%
女性	555	213	261	166	152	127	5	29	67	22
	-	38.4%	47.0%	29.9%	27.4%	22.9%	0.9%	5.2%	12.1%	4.0%
20～29歳	52	18	32	15	12	6	1	3	7	0
	-	34.6%	61.5%	28.8%	23.1%	11.5%	1.9%	5.8%	13.5%	0.0%
30～39歳	81	37	42	19	17	15	2	4	11	2
	-	45.7%	51.9%	23.5%	21.0%	18.5%	2.5%	4.9%	13.6%	2.5%
40～49歳	89	35	46	34	16	28	0	7	9	1
	-	39.3%	51.7%	38.2%	18.0%	31.5%	0.0%	7.9%	10.1%	1.1%
50～59歳	109	37	56	30	31	18	0	5	12	4
	-	33.9%	51.4%	27.5%	28.4%	16.5%	0.0%	4.6%	11.0%	3.7%
60～69歳	131	52	56	45	47	34	1	4	14	4
	-	39.7%	42.7%	34.4%	35.9%	26.0%	0.8%	3.1%	10.7%	3.1%
70歳以上	93	34	29	23	29	26	1	6	14	11
	-	36.6%	31.2%	24.7%	31.2%	28.0%	1.1%	6.5%	15.1%	11.8%
男性	397	142	167	114	86	95	6	19	38	33
	-	35.8%	42.1%	28.7%	21.7%	23.9%	1.5%	4.8%	9.6%	8.3%
20～29歳	36	15	17	6	6	5	1	3	4	0
	-	41.7%	47.2%	16.7%	16.7%	13.9%	2.8%	8.3%	11.1%	0.0%
30～39歳	57	23	26	13	6	8	4	2	5	3
	-	40.4%	45.6%	22.8%	10.5%	14.0%	7.0%	3.5%	8.8%	5.3%
40～49歳	57	25	23	20	13	13	1	3	7	1
	-	43.9%	40.4%	35.1%	22.8%	22.8%	1.8%	5.3%	12.3%	1.8%
50～59歳	76	29	34	22	16	21	0	3	9	7
	-	38.2%	44.7%	28.9%	21.1%	27.6%	0.0%	3.9%	11.8%	9.2%
60～69歳	100	31	47	35	27	28	0	6	5	6
	-	31.0%	47.0%	35.0%	27.0%	28.0%	0.0%	6.0%	5.0%	6.0%
70歳以上	71	19	20	18	18	20	0	2	8	16
	-	26.8%	28.2%	25.4%	25.4%	28.2%	0.0%	2.8%	11.3%	22.5%

. % : 各属性で最も高い割合

6 男女共同参画に関する施策について

(1) 「男女共同参画社会」を実現するために行政が力を入れていくべきこと

問 26 「男女共同参画社会」を実現するために、今後、行政はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(3つ以内で選択)

◆子どもの頃からの学習機会の充実や

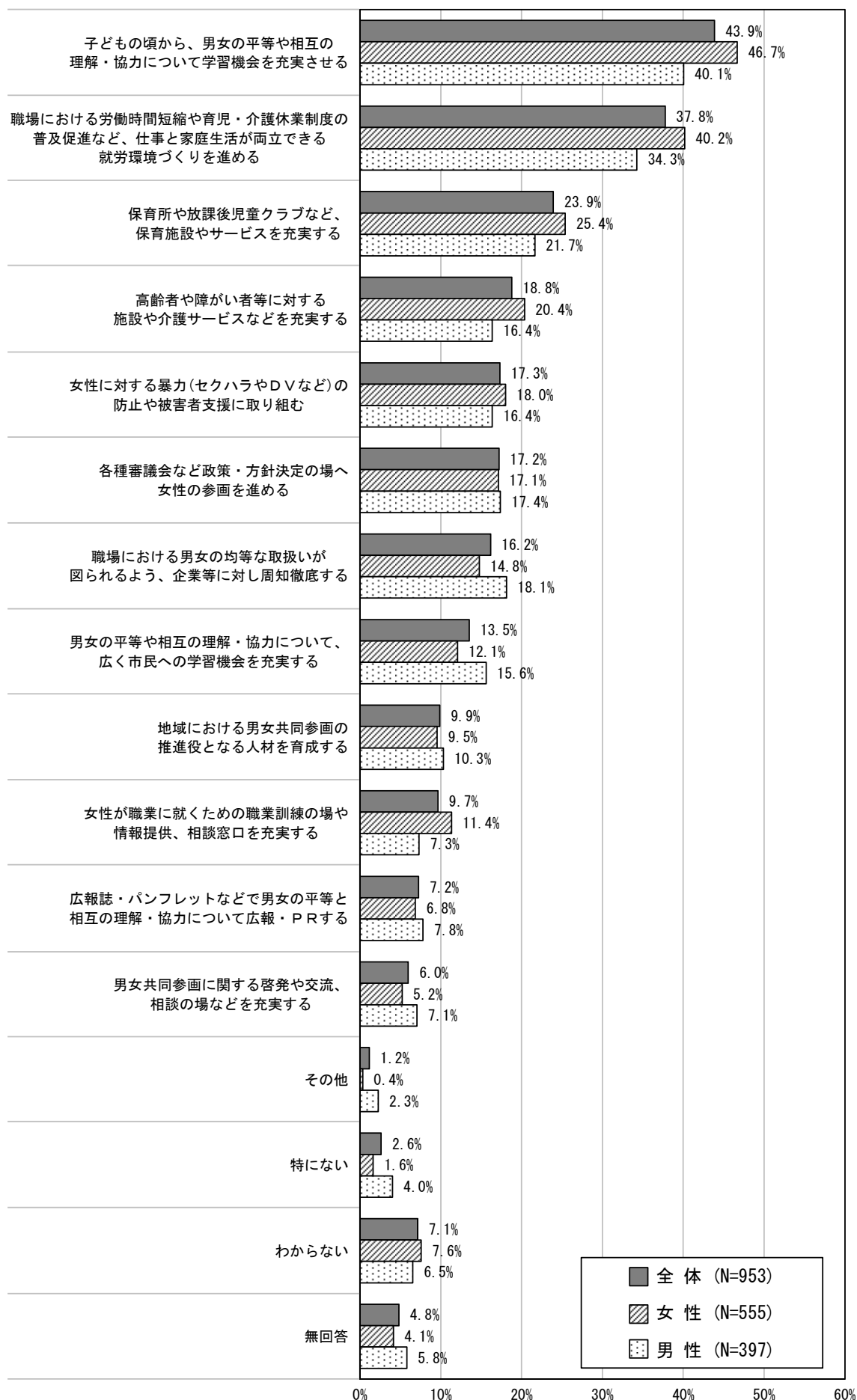
仕事と家庭生活が両立できる環境づくりが必要という割合が高い◆

「男女共同参画社会」実現のために行政が力を入れるべきことについては、「子どもの頃から、男女の平等や相互の理解・協力について学習機会を充実させる」(43.9%)と回答した人の割合が最も高く、次いで「職場における…仕事と家庭生活が両立できる就労環境づくりを進める」(37.8%)、「保育所や放課後児童クラブなど、保育施設やサービスを充実する」(23.9%)、「高齢者や障がい者等に対する施設や介護サービスなどを充実する」(18.8%)、「女性に対する暴力の防止や被害者支援に取り組む」(17.3%)の順となっている。

性別による回答結果の大きな差は見られず、ほぼ同じ傾向であった。(図表 6-1)

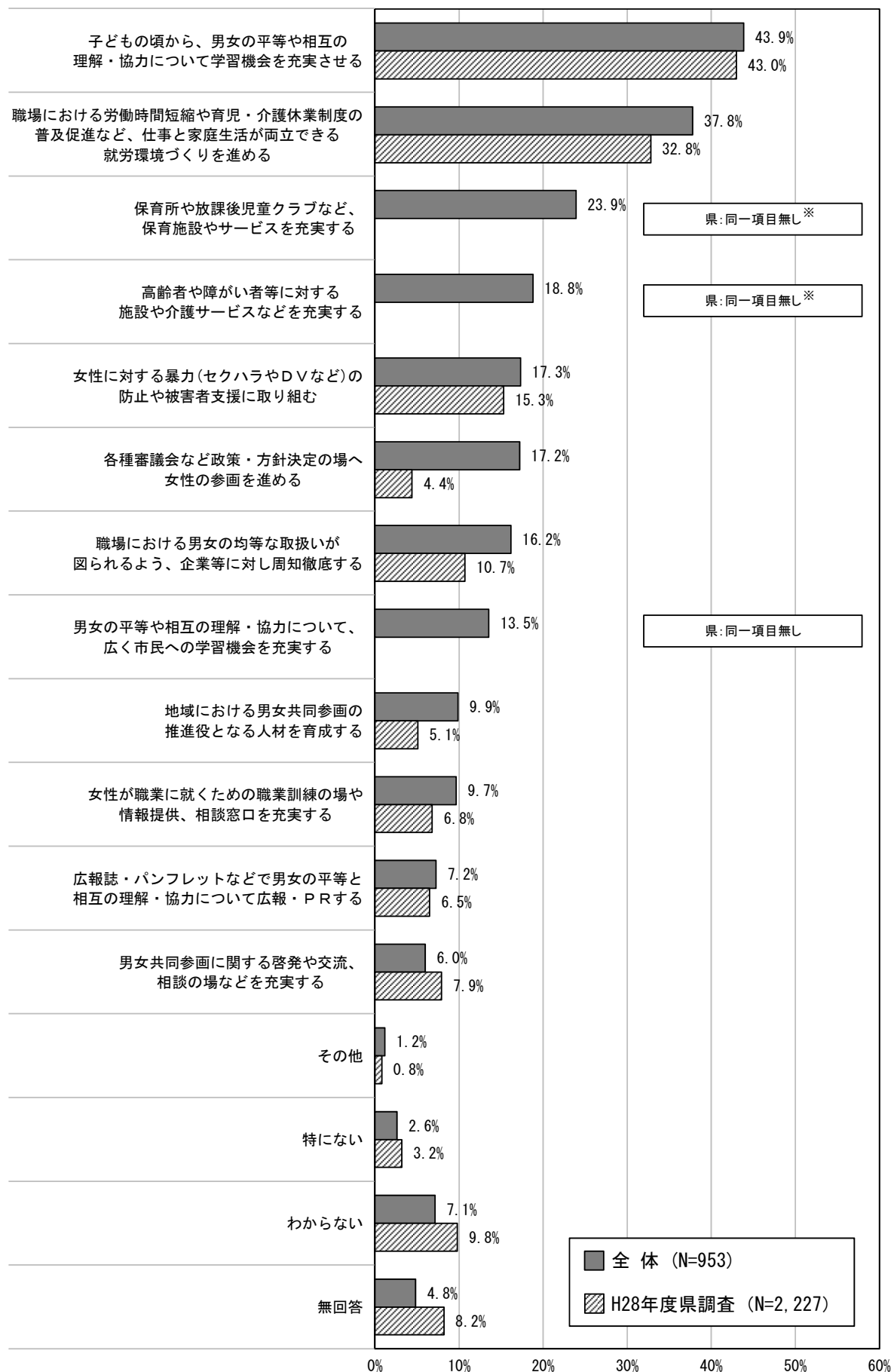
県の調査結果と比較すると、「各種審議会など政策・方針決定の場へ女性の参画を進める」(本市 17.2%、県 4.4%)や「職場における男女の均等な取扱いが図られるよう、企業等に対し周知徹底する」(本市 16.2%、県 10.7%)が必要という割合が本市は高くなっている。(図表 6-2)

図表 6-1 「男女共同参画社会」を実現するために行政が力を入れていくべきこと（全体・性別）



※「その他」意見については、102 ページに記載

図表 6-2 「男女共同参画社会」を実現するために行政が力を入れていくべきこと（比較：県）



※県の調査では、「保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実させる」という回答項目があり、「32.1%」の結果となっている。

図表 6-3 「男女共同参画社会」を実現するために行政が力を入れていくべきこと（全体、性・年代別）

		サンプル数	上段：度数 下段：構成比(%)							
全 体		953	418 43.9%	129 13.5%	69 7.2%	165 17.3%	164 17.2%	360 37.8%	154 16.2%	228 23.9%
女性		555	259 46.7%	67 12.1%	38 6.8%	100 18.0%	95 17.1%	223 40.2%	82 14.8%	141 25.4%
20～29歳		52	28 53.8%	4 7.7%	1 1.9%	12 23.1%	3 5.8%	25 48.1%	8 15.4%	21 40.4%
30～39歳		81	37 45.7%	8 9.9%	4 4.9%	12 14.8%	11 13.6%	46 56.8%	16 19.8%	31 38.3%
40～49歳		89	42 47.2%	12 13.5%	7 7.9%	15 16.9%	15 16.9%	44 49.4%	13 14.6%	15 16.9%
50～59歳		109	55 50.5%	12 11.0%	11 10.1%	22 20.2%	15 13.8%	33 30.3%	24 22.0%	31 28.4%
60～69歳		131	65 49.6%	20 15.3%	8 6.1%	25 19.1%	28 21.4%	54 41.2%	13 9.9%	31 23.7%
70歳以上		93	32 34.4%	11 11.8%	7 7.5%	14 15.1%	23 24.7%	21 22.6%	8 8.6%	12 12.9%
男性		397	159 40.1%	62 15.6%	31 7.8%	65 16.4%	69 17.4%	136 34.3%	72 18.1%	86 21.7%
20～29歳		36	21 58.3%	2 5.6%	2 5.6%	6 16.7%	5 13.9%	6 16.7%	8 22.2%	12 33.3%
30～39歳		57	18 31.6%	6 10.5%	5 8.8%	11 19.3%	7 12.3%	18 31.6%	7 12.3%	19 33.3%
40～49歳		57	23 40.4%	11 19.3%	4 7.0%	10 17.5%	8 14.0%	24 42.1%	14 24.6%	16 28.1%
50～59歳		76	29 38.2%	14 18.4%	6 7.9%	7 9.2%	18 23.7%	26 34.2%	16 21.1%	17 22.4%
60～69歳		100	40 40.0%	17 17.0%	9 9.0%	21 21.0%	19 19.0%	43 43.0%	15 15.0%	18 18.0%
70歳以上		71	28 39.4%	12 16.9%	5 7.0%	10 14.1%	12 16.9%	19 26.8%	12 16.9%	4 5.6%

		サンプル数	上段：度数 下段：構成比(%)							
全 体		953	179 18.8%	57 6.0%	94 9.9%	92 9.7%	11 1.2%	25 2.6%	68 7.1%	46 4.8%
女性		555	113 20.4%	29 5.2%	53 9.5%	63 11.4%	2 0.4%	9 1.6%	42 7.6%	23 4.1%
20～29歳		52	6 11.5%	1 1.9%	5 9.6%	3 5.8%	0 0.0%	0 0.0%	5 9.6%	0 0.0%
30～39歳		81	13 16.0%	6 7.4%	6 7.4%	9 11.1%	1 1.2%	1 1.2%	5 6.2%	1 1.2%
40～49歳		89	20 22.5%	5 5.6%	8 9.0%	12 13.5%	0 0.0%	1 1.1%	6 6.7%	2 2.2%
50～59歳		109	24 22.0%	3 2.8%	9 8.3%	13 11.9%	1 0.9%	2 1.8%	5 4.6%	5 4.6%
60～69歳		131	28 21.4%	6 4.6%	16 12.2%	17 13.0%	0 0.0%	1 0.8%	11 8.4%	3 2.3%
70歳以上		93	22 23.7%	8 8.6%	9 9.7%	9 9.7%	0 0.0%	4 4.3%	10 10.8%	12 12.9%
男性		397	65 16.4%	28 7.1%	41 10.3%	29 7.3%	9 2.3%	16 4.0%	26 6.5%	23 5.8%
20～29歳		36	6 16.7%	1 2.8%	3 8.3%	7 19.4%	0 0.0%	1 2.8%	3 8.3%	0 0.0%
30～39歳		57	8 14.0%	4 7.0%	4 7.0%	4 7.0%	4 7.0%	4 7.0%	3 5.3%	2 3.5%
40～49歳		57	7 12.3%	6 10.5%	7 12.3%	2 3.5%	2 3.5%	0 0.0%	3 5.3%	2 3.5%
50～59歳		76	15 19.7%	8 10.5%	10 13.2%	9 11.8%	2 2.6%	3 3.9%	3 3.9%	3 3.9%
60～69歳		100	15 15.0%	5 5.0%	9 9.0%	2 2.0%	0 0.0%	6 6.0%	7 7.0%	3 3.0%
70歳以上		71	14 19.7%	4 5.6%	8 11.3%	5 7.0%	1 1.4%	2 2.8%	7 9.9%	13 18.3%

. % : 各属性で最も高い割合

(2) 男女共同参画に関連の深い用語等の認知度

問 27 男女共同参画に関連の深い次の用語等について知っていますか。次の各用語のそれぞれについて、「知っている」「聞いたことがある」「知らない」から1つずつお選びください。

◆DVやその関連の用語等については、よく知られている◆

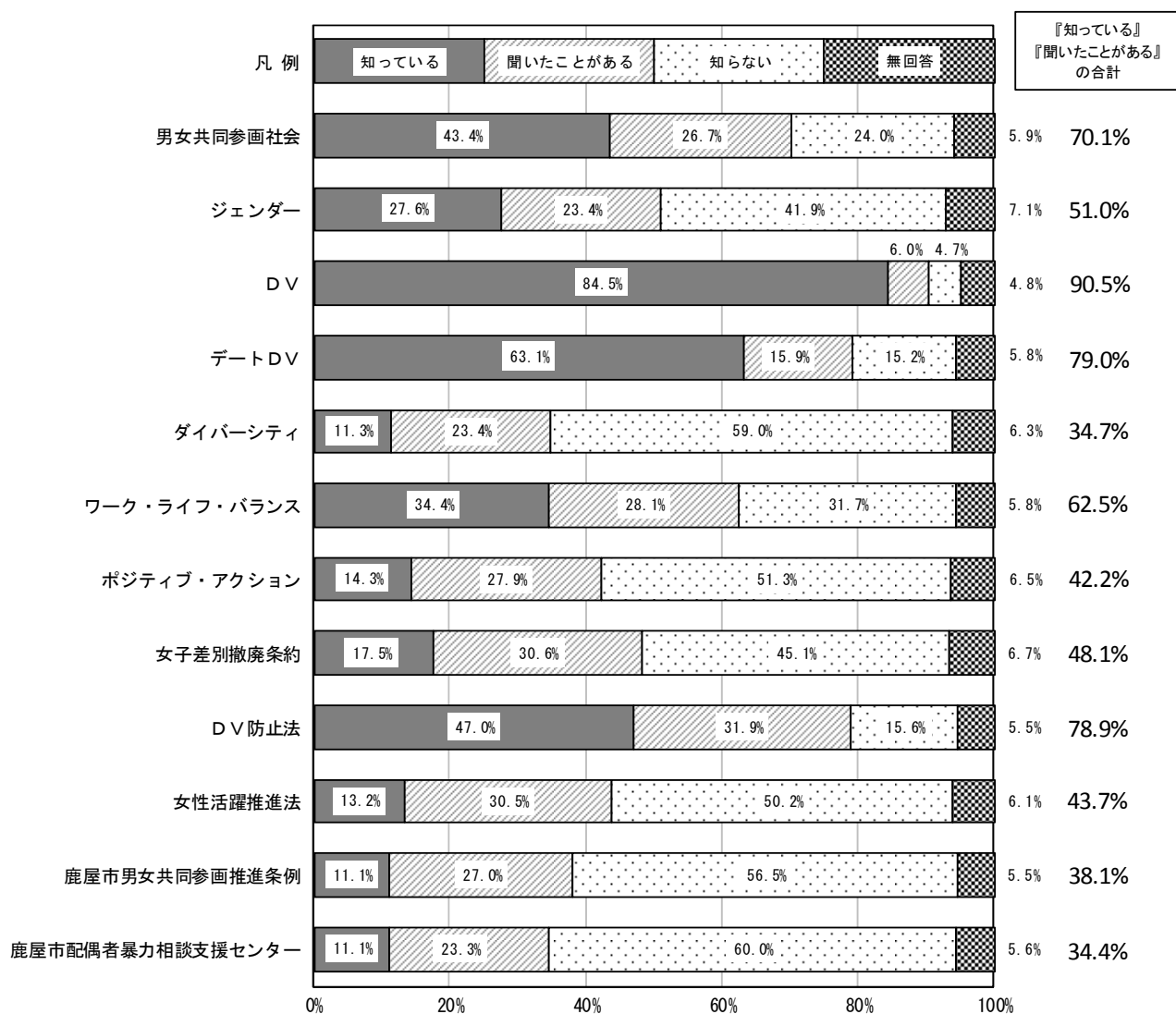
男女共同参画に関連の深い用語等の認知度について、「知っている」又は「聞いたことがある」用語等としては、「DV」(90.5%)が最も高く、次いで「デートDV」(79.0%)、「DV防止法」(78.9%)、「男女共同参画社会」(70.1%)の順となっている。

一方、「ダイバーシティ」「ポジティブ・アクション」「女性活躍推進法」「鹿屋市男女共同参画推進条例」「鹿屋市配偶者暴力相談支援センター」については、半数以上の人々が「知らない」と回答しており、今後より一層の周知・広報に努めていく必要がある。(図表 6-4)

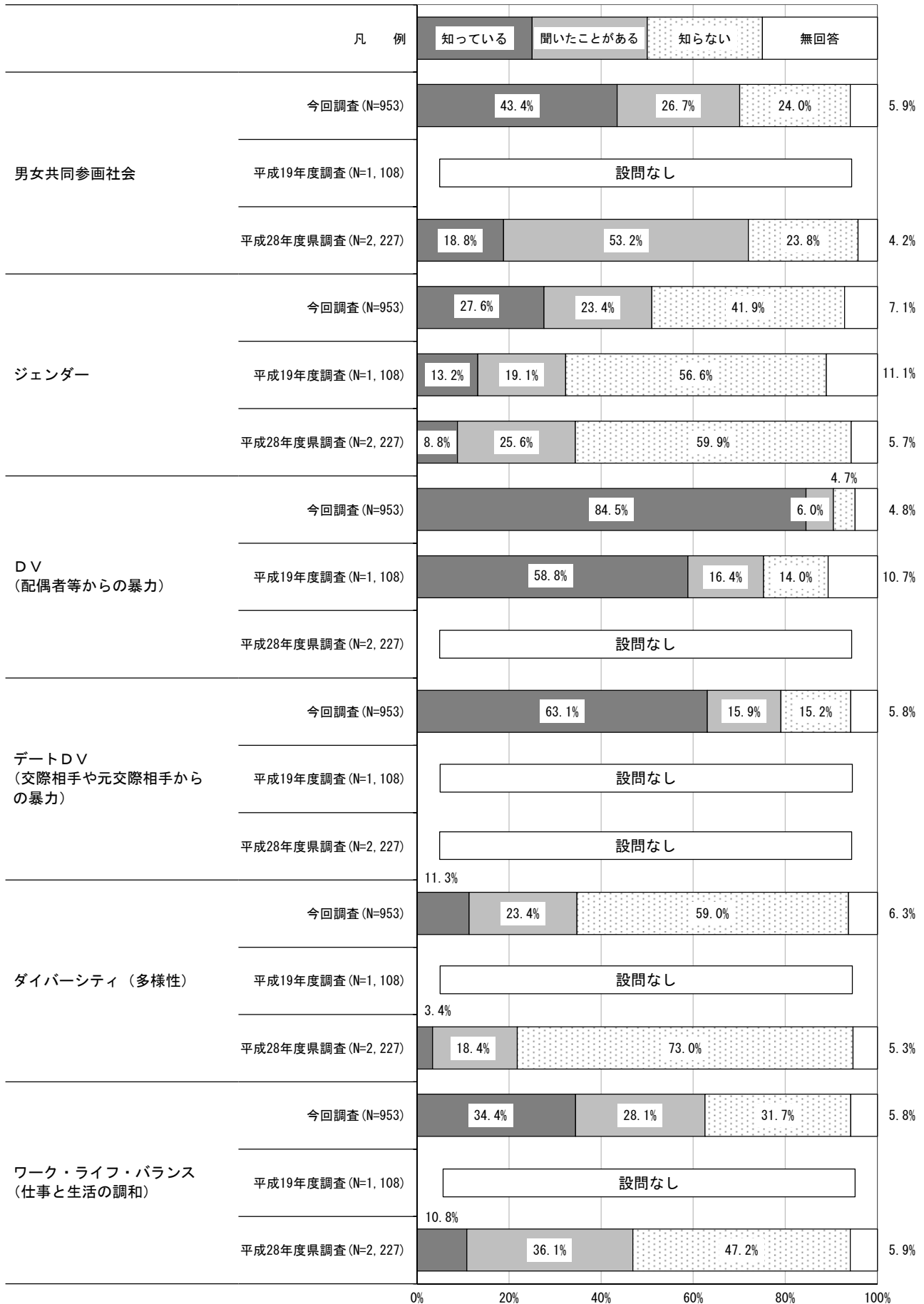
H19 年度調査結果と比較すると、「ジェンダー」、「DV」などを「知っている」又は「聞いたことがある」人の割合はそれぞれ高くなっている。(図表 6-5)

県の調査結果と比較すると、関連用語(「ワーク・ライフ・バランス」、「ジェンダー」等)についての認知度は、本市は比較的に高い状況である。(図表 6-5)

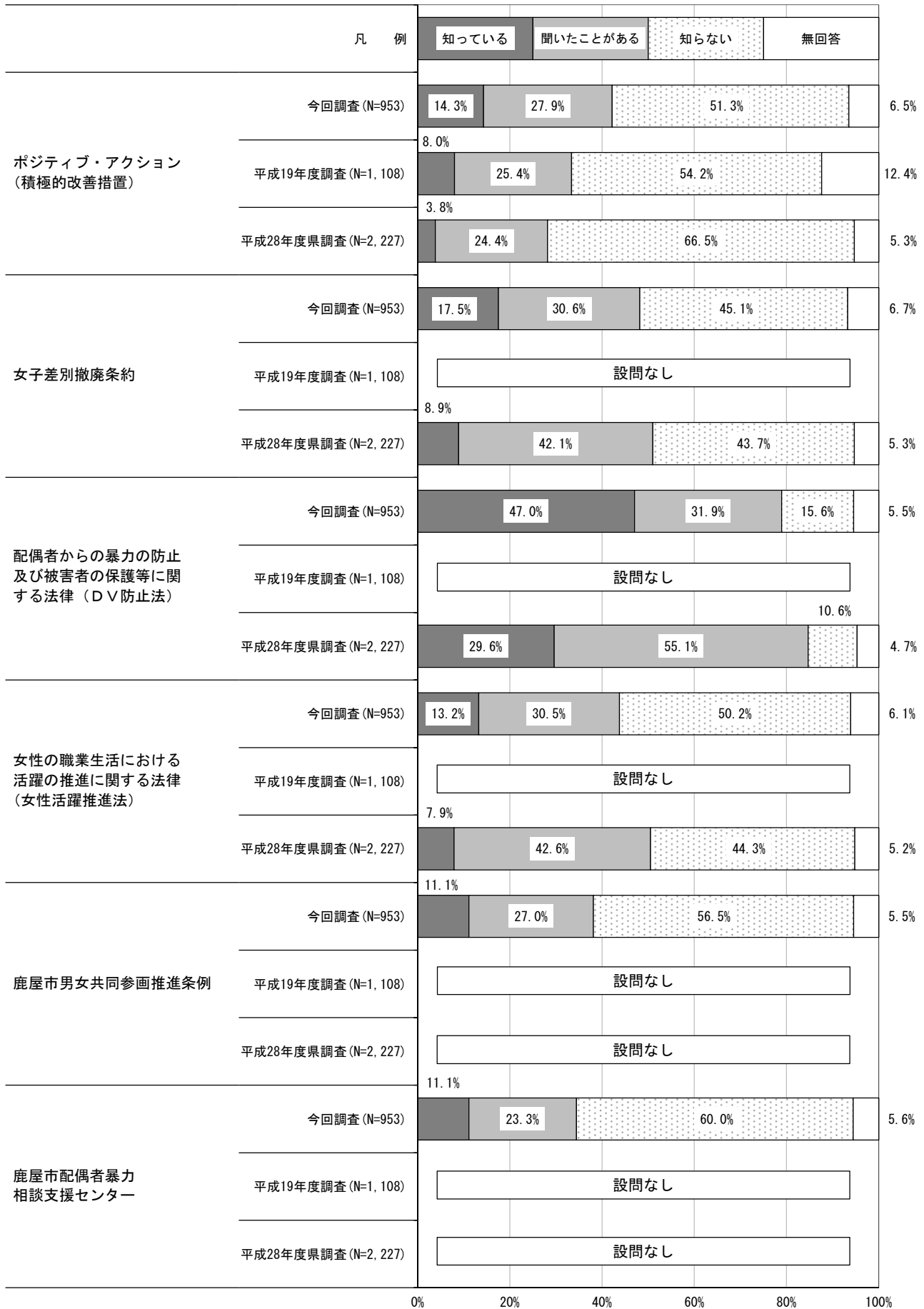
図表 6-4 男女共同参画に関連の深い用語等の認知度 (N=953)



図表 6-5 男女共同参画に関連の深い用語等の認知度（比較：前回、県）



図表 6-5 男女共同参画に関連の深い用語等の認知度（比較：前回、県）



図表 6-6 男女共同参画に関連の深い用語等の認知度（全体、性・年代別）

上段：度数 下段：構成比(%)	サンプル数	男女共同参画社会				ジェンダー				DV (配偶者等からの暴力)			
		知っている	聞いたことがある	知らない	無回答	知っている	聞いたことがある	知らない	無回答	知っている	聞いたことがある	知らない	無回答
全 体	953	414	254	229	56	263	223	399	68	805	57	45	46
	100.0%	43.4%	26.7%	24.0%	5.9%	27.6%	23.4%	41.9%	7.1%	84.5%	6.0%	4.7%	4.8%
性・年代別	女 性	555	228	161	132	34	148	136	230	41	478	26	26
		100.0%	41.1%	29.0%	23.8%	6.1%	26.7%	24.5%	41.4%	7.4%	86.1%	4.7%	4.7%
	20歳代	52	33	12	7	0	24	12	16	0	52	0	0
		100.0%	63.5%	23.1%	13.5%	0.0%	46.2%	23.1%	30.8%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	30歳代	81	26	32	21	2	35	22	23	1	77	3	0
		100.0%	32.1%	39.5%	25.9%	2.5%	43.2%	27.2%	28.4%	1.2%	95.1%	3.7%	0.0%
	40歳代	89	32	30	26	1	33	23	30	3	85	3	0
		100.0%	36.0%	33.7%	29.2%	1.1%	37.1%	25.8%	33.7%	3.4%	95.5%	3.4%	0.0%
	50歳代	109	49	31	21	8	27	25	50	7	100	2	3
		100.0%	45.0%	28.4%	19.3%	7.3%	24.8%	22.9%	45.9%	6.4%	91.7%	1.8%	2.8%
	60歳代	131	52	38	37	4	22	34	69	6	115	5	8
		100.0%	39.7%	29.0%	28.2%	3.1%	16.8%	26.0%	52.7%	4.6%	87.8%	3.8%	6.1%
	70歳以上	93	36	18	20	19	7	20	42	24	49	13	15
		100.0%	38.7%	19.4%	21.5%	20.4%	7.5%	21.5%	45.2%	25.8%	52.7%	14.0%	16.1%
	男 性	397	186	92	97	22	115	87	168	27	326	31	19
		100.0%	46.9%	23.2%	24.4%	5.5%	29.0%	21.9%	42.3%	6.8%	82.1%	7.8%	4.8%
	20歳代	36	22	8	6	0	17	7	12	0	34	2	0
		100.0%	61.1%	22.2%	16.7%	0.0%	47.2%	19.4%	33.3%	0.0%	94.4%	5.6%	0.0%
	30歳代	57	19	15	22	1	17	11	28	1	51	4	1
		100.0%	33.3%	26.3%	38.6%	1.8%	29.8%	19.3%	49.1%	1.8%	89.5%	7.0%	1.8%
	40歳代	57	32	6	19	0	28	8	20	1	54	0	3
		100.0%	56.1%	10.5%	33.3%	0.0%	49.1%	14.0%	35.1%	1.8%	94.7%	0.0%	5.3%
	50歳代	76	39	16	16	5	26	18	27	5	67	4	1
		100.0%	51.3%	21.1%	21.1%	6.6%	34.2%	23.7%	35.5%	6.6%	88.2%	5.3%	1.3%
	60歳代	100	49	30	19	2	21	30	45	4	83	9	7
		100.0%	49.0%	30.0%	19.0%	2.0%	21.0%	30.0%	45.0%	4.0%	83.0%	9.0%	7.0%
	70歳以上	71	25	17	15	14	6	13	36	16	37	12	7
		100.0%	35.2%	23.9%	21.1%	19.7%	8.5%	18.3%	50.7%	22.5%	52.1%	16.9%	9.9%
性・年代別	全 体	953	601	152	145	55	108	223	562	60	328	268	302
		100.0%	63.1%	15.9%	15.2%	5.8%	11.3%	23.4%	59.0%	6.3%	34.4%	28.1%	31.7%
	女 性	555	368	82	75	30	50	113	357	35	177	157	188
		100.0%	66.3%	14.8%	13.5%	5.4%	9.0%	20.4%	64.3%	6.3%	31.9%	28.3%	33.9%
	20歳代	52	44	2	6	0	0	19	32	1	19	15	18
		100.0%	84.6%	3.8%	11.5%	0.0%	0.0%	36.5%	61.5%	1.9%	36.5%	28.8%	34.6%
	30歳代	81	60	11	9	1	7	18	55	1	31	18	31
		100.0%	74.1%	13.6%	11.1%	1.2%	8.6%	22.2%	67.9%	1.2%	38.3%	22.2%	38.3%
	40歳代	89	67	11	9	2	14	19	53	3	32	31	24
		100.0%	75.3%	12.4%	10.1%	2.2%	15.7%	21.3%	59.6%	3.4%	36.0%	34.8%	27.0%
	50歳代	109	81	14	9	5	12	21	71	5	36	33	34
		100.0%	74.3%	12.8%	8.3%	4.6%	11.0%	19.3%	65.1%	4.6%	33.0%	30.3%	31.2%
	60歳代	131	84	27	16	4	9	18	98	6	36	37	52
		100.0%	64.1%	20.6%	12.2%	3.1%	6.9%	13.7%	74.8%	4.6%	27.5%	28.2%	39.7%
	70歳以上	93	32	17	26	18	8	18	48	19	23	23	29
		100.0%	34.4%	18.3%	28.0%	19.4%	8.6%	19.4%	51.6%	20.4%	24.7%	24.7%	31.2%
	男 性	397	232	70	70	25	58	110	204	25	151	111	113
		100.0%	58.4%	17.6%	17.6%	6.3%	14.6%	27.7%	51.4%	6.3%	38.0%	28.0%	28.5%
	20歳代	36	28	5	3	0	8	13	15	0	16	11	9
		100.0%	77.8%	13.9%	8.3%	0.0%	22.2%	36.1%	41.7%	0.0%	44.4%	30.6%	25.0%
	30歳代	57	29	12	14	2	9	14	33	1	25	18	13
		100.0%	50.9%	21.1%	24.6%	3.5%	15.8%	24.6%	57.9%	1.8%	43.9%	31.6%	22.8%
	40歳代	57	46	2	9	0	12	22	23	0	32	10	15
		100.0%	80.7%	3.5%	15.8%	0.0%	21.1%	38.6%	40.4%	0.0%	56.1%	17.5%	26.3%
	50歳代	76	44	19	9	4	13	23	35	5	30	25	17
		100.0%	57.9%	25.0%	11.8%	5.3%	17.1%	30.3%	46.1%	6.6%	39.5%	32.9%	22.4%
	60歳代	100	64	17	16	3	14	28	55	3	39	27	33
		100.0%	64.0%	17.0%	16.0%	3.0%	14.0%	28.0%	55.0%	3.0%	39.0%	27.0%	33.0%
	70歳以上	71	21	15	19	16	2	10	43	16	9	20	26
		100.0%	29.6%	21.1%	26.8%	22.5%	2.8%	14.1%	60.6%	22.5%	12.7%	28.2%	36.6%

. % : 各属性で最も高い割合

図表 6-6 男女共同参画に関連の深い用語等の認知度（全体、性・年代別）

上段：度数 下段：構成比(%)	サンプル数	ポジティブ・アクション (積極的改善措置)				女子差別撤廃条約				配偶者からの暴力の防止 及び被害者の保護等に 関する法律（DV防止法）			
		知っている	聞いたことがある	知らない	無回答	知っている	聞いたことがある	知らない	無回答	知っている	聞いたことがある	知らない	無回答
全 体	953	136	266	489	62	167	292	430	64	448	304	149	52
	100.0%	14.3%	27.9%	51.3%	6.5%	17.5%	30.6%	45.1%	6.7%	47.0%	31.9%	15.6%	5.5%
性・年代別	女 性	555	72	144	301	38	97	167	252	39	271	167	87
		100.0%	13.0%	25.9%	54.2%	6.8%	17.5%	30.1%	45.4%	7.0%	48.8%	30.1%	15.7%
	20歳代	52	5	11	35	1	16	16	20	0	19	21	12
		100.0%	9.6%	21.2%	67.3%	1.9%	30.8%	30.8%	38.5%	0.0%	36.5%	40.4%	23.1%
	30歳代	81	7	17	56	1	17	21	42	1	41	26	13
		100.0%	8.6%	21.0%	69.1%	1.2%	21.0%	25.9%	51.9%	1.2%	50.6%	32.1%	16.0%
	40歳代	89	13	25	48	3	17	32	37	3	49	31	8
		100.0%	14.6%	28.1%	53.9%	3.4%	19.1%	36.0%	41.6%	3.4%	55.1%	34.8%	9.0%
	50歳代	109	18	33	53	5	12	30	62	5	54	38	12
		100.0%	16.5%	30.3%	48.6%	4.6%	11.0%	27.5%	56.9%	4.6%	49.5%	34.9%	11.0%
	60歳代	131	17	42	65	7	21	42	59	9	68	35	23
		100.0%	13.0%	32.1%	49.6%	5.3%	16.0%	32.1%	45.0%	6.9%	51.9%	26.7%	17.6%
	70歳以上	93	12	16	44	21	14	26	32	21	40	16	19
		100.0%	12.9%	17.2%	47.3%	22.6%	15.1%	28.0%	34.4%	22.6%	43.0%	17.2%	20.4%
	男 性	397	64	122	187	24	70	125	177	25	177	137	61
		100.0%	16.1%	30.7%	47.1%	6.0%	17.6%	31.5%	44.6%	6.3%	44.6%	34.5%	15.4%
	20歳代	36	9	9	18	0	7	14	15	0	8	20	7
		100.0%	25.0%	25.0%	50.0%	0.0%	19.4%	38.9%	41.7%	0.0%	22.2%	55.6%	19.4%
	30歳代	57	8	20	28	1	11	16	29	1	20	25	11
		100.0%	14.0%	35.1%	49.1%	1.8%	19.3%	28.1%	50.9%	1.8%	35.1%	43.9%	19.3%
	40歳代	57	7	17	33	0	12	18	27	0	30	20	7
		100.0%	12.3%	29.8%	57.9%	0.0%	21.1%	31.6%	47.4%	0.0%	52.6%	35.1%	12.3%
	50歳代	76	18	27	27	4	14	24	34	4	42	18	12
		100.0%	23.7%	35.5%	35.5%	5.3%	18.4%	31.6%	44.7%	5.3%	55.3%	23.7%	15.8%
	60歳代	100	17	33	46	4	15	38	44	3	60	28	11
		100.0%	17.0%	33.0%	46.0%	4.0%	15.0%	38.0%	44.0%	3.0%	60.0%	28.0%	11.0%
	70歳以上	71	5	16	35	15	11	15	28	17	17	26	13
		100.0%	7.0%	22.5%	49.3%	21.1%	15.5%	21.1%	39.4%	23.9%	23.9%	36.6%	18.3%

上段：度数 下段：構成比(%)	サンプル数	女性の職業生活における活躍の推進に関する法律 (女性活躍推進法)				鹿屋市男女共同参画推進条例				鹿屋市配偶者暴力相談支援センター			
		知っている	聞いたことがある	知らない	無回答	知っている	聞いたことがある	知らない	無回答	知っている	聞いたことがある	知らない	無回答
全 体	953	126	291	478	58	106	257	538	52	106	222	572	53
	100.0%	13.2%	30.5%	50.2%	6.1%	11.1%	27.0%	56.5%	5.5%	11.1%	23.3%	60.0%	5.6%
性・年代別	女 性	555	59	171	291	34	46	162	316	31	59	143	320
		100.0%	10.6%	30.8%	52.4%	6.1%	8.3%	29.2%	56.9%	5.6%	10.6%	25.8%	57.7%
	20歳代	52	5	20	27	0	4	11	37	0	2	11	39
		100.0%	9.6%	38.5%	51.9%	0.0%	7.7%	21.2%	71.2%	0.0%	3.8%	21.2%	75.0%
	30歳代	81	9	21	50	1	4	13	63	1	7	13	60
		100.0%	11.1%	25.9%	61.7%	1.2%	4.9%	16.0%	77.8%	1.2%	8.6%	16.0%	74.1%
	40歳代	89	16	26	46	1	7	26	54	2	11	25	50
		100.0%	18.0%	29.2%	51.7%	1.1%	7.9%	29.2%	60.7%	2.2%	12.4%	28.1%	56.2%
	50歳代	109	9	42	53	5	8	44	52	5	10	33	60
		100.0%	8.3%	38.5%	48.6%	4.6%	7.3%	40.4%	47.7%	4.6%	9.2%	30.3%	55.0%
	60歳代	131	8	44	69	10	12	43	71	5	16	40	69
		100.0%	6.1%	33.6%	52.7%	7.6%	9.2%	32.8%	54.2%	3.8%	12.2%	30.5%	52.7%
	70歳以上	93	12	18	46	17	11	25	39	18	13	21	42
		100.0%	12.9%	19.4%	49.5%	18.3%	11.8%	26.9%	41.9%	19.4%	14.0%	22.6%	45.2%
	男 性	397	67	120	186	24	60	95	221	21	47	79	251
		100.0%	16.9%	30.2%	46.9%	6.0%	15.1%	23.9%	55.7%	5.3%	11.8%	19.9%	63.2%
	20歳代	36	4	12	20	0	2	7	27	0	1	4	31
		100.0%	11.1%	33.3%	55.6%	0.0%	5.6%	19.4%	75.0%	0.0%	2.8%	11.1%	86.1%
	30歳代	57	7	21	28	1	6	13	37	1	8	7	41
		100.0%	12.3%	36.8%	49.1%	1.8%	10.5%	22.8%	64.9%	1.8%	14.0%	12.3%	71.9%
	40歳代	57	14	18	25	0	11	17	29	0	8	11	38
		100.0%	24.6%	31.6%	43.9%	0.0%	19.3%	29.8%	50.9%	0.0%	14.0%	19.3%	66.7%
	50歳代	76	15	25	32	4	14	19	39	4	12	16	44
		100.0%	19.7%	32.9%	42.1%	5.3%	18.4%	25.0%	51.3%	5.3%	15.8%	21.1%	57.9%
	60歳代	100	20	28	50	2	22	22	55	1	14	22	63
		100.0%	20.0%	28.0%	50.0%	2.0%	22.0%	22.0%	55.0%	1.0%	14.0%	22.0%	63.0%
	70歳以上	71	7	16	31	17	5	17	34	15	4	19	34
		100.0%	9.9%	22.5%	43.7%	23.9%	7.0%	23.9%	47.9%	21.1%	5.6%	26.8%	47.9%

. % : 各属性で最も高い割合

(3) 自由意見

問 28 男女共同参画社会の実現に向けて、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

寄せられた意見の件数は93件であり、以下に主な意見・要望を掲載した。

また、その内容は「男女共同参画に対する意識について」(13件)、「男女共同参画社会の形成について」(11件)、「男女共同参画に関する教育について」(9件)、「男女共同参画に向けた啓発活動について」(5件)、「子育てと就業について」(15件)、「子育てについて」(2件)、「男女共同参画に向けた行政の取組について」(21件)、「家庭生活について」(5件)、「その他」(12件)となっている。

■ 男女共同参画に対する意識について

- 田舎ほど、男尊女卑の考えが強いように思います。考え方を变えるのはなかなか難しいかもしれませんが、男性にない女性の素晴らしさ、女性にない男性の強さをお互い理解しようとする姿勢が大切だと思います。(20～29歳、女性)
- 意識がどう、差別がどうの前に、女性は家庭があろうとなかろうと男性より遥かに多忙である。政治や地域の何事に参加している暇はないと勝手ながら考えます。女性への支援というよりは男性側の意識改革が必要。(30～39歳、男性)
- 年配の方は、家事は女の仕事でそれさえしていれば良いと考えている方もまだいらっしゃるの、広く男女が対等でお互いが人権を尊重し合える社会だと知って欲しい。(30～39歳、女性)
- 基本的に男女は平等ではない。物の考え方、肉体的に違う。(50～59歳、男性)
- 男女平等などありえない。性差はあるもの。男と女は生理的に異なり、女は出産できるが男はできない。そもそも男女共同参画という言葉が意味不明、理解できない。女性が云々という質問が差別しているようなもの。男女平等は本当に日本を幸せにするのか？夫婦別姓など論外。夫の名字を名乗りたくなければ、結婚するな。(50～59歳、男性)
- 自己の考え方を家庭と社会の中の立場で切り替えられることが必要。他人は自分と同じでないことの認識を持って接すること、頼るのではなく一緒に考え取り組む姿勢の持ち方、社会人としての人格と品格にプライドを持って参加すること。
長い職場生活で思ったことだが、威張る方ほど自分のプライドが持てていないし、古い親の口まねで言葉を発し、時代に遅れている女性が多い。これを直せたら女性も大丈夫かと？(個人の見方でしょうか？女性の考え方の遅れを感じています。)(60～69歳、女性)
- 育児や介護で男女が平等でないために、その負担が女性に多くのしかかっている。そのためにも、男性にも意識の改革が必要だと思う。男性とか女性というより、本来「人間」としてどう考えるか生きるかにかかっていると思う。「人」としてどう生きるかは男女とは関係ないと思う。(60～69歳、女性)
- 女性も男性も日常的に相手ばかり責めて、自分の反省することの欠如により相互理解も得られないのではないかと感じております。(70歳以上、女性)

■ 男女共同参画社会の形成について

- ニュースなどで、DVやデートDVの被害は女性だけではなく、男性へも増加していると聞く。女性被害だけでなく、全市民平等に対応できる鹿屋市になればより住みやすい街になると思う。(20～29歳、女性)
- 男女共同参画推進条例が制定されても、会社での実現はまだ先のことではないでしょうか。すべての会社・地域・家庭内でも浸透する日が来れば良いと思います。(30～39歳、女性)
- 鹿児島はまだまだ年配者、地域のしほりも強い、今後何年何十年とかかかっていくと考える。自分たちの子供たちが地域へまた帰って来やすいように、住みやすい地域になっていくことを願っている。(40～49歳、女性)

- まさに今が団塊世代の私達です。昔の風習も根強く、自分で何でもこなしてきました。時代も変わり、これからの女性にはいきいきとした毎日を過ごしてもらいたいものです。（60～69歳、女性）
- 男だから、女だから…で、だれも苦しまず、悩まず、暮らせる世の中になってほしい。（70歳以上、女性）
- 人口減少時代、限界集落の急増、人手不足、女性の長寿化などを考えると女性の存在は大。女性の力は絶対必要。社会は成立しない。（70歳以上、男性）

■ 男女共同参画に関する教育について

- 男女問わず、互いに尊敬し合える人間の教育等を強化しなければ、どんな社会も実現しない。（20～29歳、男性）
- 固定概念が強い地方では、なかなか浸透しづらいと思います。個人個人の意識を変えるのはむずかしいので、小さい頃からの教育や啓蒙活動を地道にしていくしかないと思います。（30～39歳、女性）
- 法律や施設を作ることよりも男女関係なく各個人が仕事、家庭、地域活動のそれぞれが重要だと意識するようになることが重要だと思う。それができれば自ずと育児や介護支援、休暇の取得等のシステムが整っていくと思う。現在の社会は体裁だけ取り繕っているように見えてならない。時間はかかると思うが次世代を担う子供達への教育が大切だと思う。（50～59歳、男性）
- 私共の考えが古いかもしれませんが、若い方を見ると、男性より女性の意見が強く感じられる。身体的・精神的にも本質的な部分に欠ける気がします。現場・環境は以前に比べ、ずいぶん働きやすく、家庭においても男性の協力があるように思えますが、男女平等の意味をはき違えている方も多々いらっしゃいます。人間性、平等の意味を小さいうちに教育するべきかと！（60～69歳、女性）

■ 男女共同参画に向けた啓発活動について

- 知らない用語もあったが、同封されていた「用語解説」にて詳しく知ることができた。これを機に男女共同参画の取組などに目を向けなくては…と思った。おそらく、あまり意識せずに過ごしている人も多いと思うので、用語などを広く知らせるなどまず興味を持ってもらう取組から始めたらよいと思う。（中高生へのデートDVの冊子やビデオでの指導など若い世代への教育は効果が高いと思う。）（40～49歳、女性）
- 男女共同参画社会の実現は、地道に各地域及び会社など忙しいでしょうが、こまめに市民全員が知り理解できるよう教えていくことが必要ではないでしょうか。（60～69歳、女性）

■ 子育てと就業について

- 大中小企業が併設する保育園を造る。造る企業に対して、県や市からなにかしら支援があるような制度があるといい。働く所に保育園があると就職もしやすくなるし、近いので安心、待機児童も減る。（20～29歳、女性）
- 働きたいです。子供を保育園に入れさせてください。（20～29歳、女性）
- 保育施設をより良くするためには、働いている側（保育施設職員）への待遇を良くしなければ働く人が少なくなる一方だと思う。時間や仕事量、人の命を背負う職として見合っていない。（20～29歳、女性）
- 女性が子供を出産しても仕事ができる環境づくりを少しでも考えてほしい。保育園を増やしたり、安心して子育てできる環境を作れば、たくさんの女性が子育てに積極的になり少子化対策にもつながると思います。（20～29歳、女性）
- 私の周りの友人は結婚、出産、育児をしている人が多いのですが、働きたくても保育所がなかったり、仕事がなかったりしています。子どもが生まれる前は働いていても、辞めて、再就職、再就職の繰り返しです。女性がもっと働きやすい職場づくりが必要だと思います。一番思うのは、妊娠している女性に対しての配慮が足りなかったり、辞めるというのが自然な流れになっているのが改

善されれば良いと感じます。そもそも一人ひとりの意識、昔からの考えが根付いてるため、考え方から変えていかないと、地域に広がらないと思います。女性に優しいサービス、子育てに優しいサービスをもっと充実して欲しいです。（20～29歳、女性）

- 女性の社会進出も大事ですが、家庭で人間の基礎となる幼児期に我が子を自分で育てることはもっと大事だと思います。長年保育園に勤めていましたが、やはりお母さんが育てるのが一番だと思います。育休が明け、もどれる職場がある社会になったらいいと思います。待機児童問題…世の中は子供を早く預けて早く働くのがいいことみたいな流れになっていますが、おかしいと思います。（50～59歳、女性）

■ 子育てについて

- 産婦人科が少ない。子供を産める場所が少ないと、お産難民や待ち時間のストレスなどで大変だと姉の出産の時に感じ、自分たちが出産するころは大丈夫だろうかと不安です。姉はつわりがひどく退職しました。妊婦に対するケアなどで、出産後またその会社で働くかなど変わってくると思います。私自身、前の会社で子育てをしながら働くというのはあきらめて退職しました。（20～29歳、女性）
- “女性が子供を生み、まずは母乳を与える”、この仕組みが変わらない限り、子供の身体的成長、心の成長に母親は深く係るべきであると思っております。学校から帰って来た時の「ただいまー！」の声のトーンで学校での出来事の小さな変化にも気付いてあげることができる母親でいてもらいたいものです。男女共同参画の推進にあまり関係のないことのように思われますが、日本の或いは世界の未来を作っていくのは子供達です。子育ては何よりも崇高な職業だとも言えると思います。女性の社会進出云々は子供達が一人立ちした後のことではないのでしょうか？（60～69歳、女性）

■ 男女共同参画に向けた行政の取組について

- 女性も男性と同じように働ける環境をつくってください。女性が家事・育児で、男性が働くのではなく、女性も男性も平等になる社会を望んでいます。鹿屋市男女共同参画推進条例、期待しています。（20～29歳、女性）
- 男女共同参画社会の実現に向けて、対策の検討をお願いします。現在、女性の晩婚化も問題としてある社会環境です。女性の社会的な立場や経済面での高収入による自立により、また、男性の経済面での不安などが要因となり結婚に向かえない社会環境等の問題もあると聞いていますので、いろんな視点から対策等の検討をよろしくお願いします。（30～39歳、男性）
- 女性・男性・パート・正社員・独身・子持ち e t c 固定的な役割意識、習慣、思想が根強い。呼びかけて促してもこのレベルの現状なので、無理にでもいいから制度を作って、頭より身体から慣らしていく方がいいと思う。
妊娠するとクビになる、子供の体調不良で帰れない（嫌な事をされる、言われる）等々現状は最悪。助けて欲しい。（30～39歳、女性）
- 女性の意見を取り入れた市政をお願いします。それで“鹿屋”が有名になるくらいに…。（40～49歳、女性）
- 行政の中で女性が少ないことも、地域の活性や活動に制限がかかりやすいのではないのでしょうか。（50～59歳、女性）
- 高齢者になりますと、いかに社会に迷惑をかけまいとする気持ちが強くなります。しかし、できるだけ健康な間はいろんなことに参加して、意識を高める、努力のために高齢者がその様に活躍できる場所等を充実して欲しい。（70歳以上、女性）

■ 家庭生活について

- パートの賃金が安すぎて、ある程度年を経て離婚した人は生活できないのが現実。払うのは多く（税金）など見直して欲しい。現在、時給720円で月8～9万で生活が苦しい。生活保護より少ないのは非常におかしい、納得できない！（40～49歳、女性）
- 子どもは、“親の背中を見て育つ”と思います。やはり乳幼児期からの環境で心を豊かにしてやることで大人になった時のDVとか予防できるのではと思います。今いろんな場所で活動されている“子ども食堂”などとてもいい取り組みではないかと思います。（50～59歳、女性）
- 専業主婦もゆっくりしている訳でなく、日々家族のことを思い動いています。たまには、そんな日々でも一日でも家族が専業主婦のことを思い、動いてくれるとうれしいです。やる事は家事もたくさんあります。お金をもらわない仕事です。あと、家でイヤなことがあった時、気軽に泊まる所や場所がほしいです。実家とか遠方から嫁いできた人は逃げ場がありませんから。（50～59歳、女性）
- 親の介護、子育て全部を一人（女）でしてきたので、今さら思うが男性がもっと協力してくれればよかったかなあと思う。もう介護される身であるので、子に負担を強いられない気持ちもあり、複雑です。（60～69歳、女性）

(4) 各設問における「その他」意見の主なもの

問3 今後女性がもっと増える方がよいと思う職業や役職（12件）

- ・どのような場合においても、女性が増えることを望む。
- ・医師
- ・小売店の長

問4 男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために重要だと思うこと（18件）

- ・家族の理解と協力
- ・性やジェンダーで区別するのではなく、男女どちらも真に自立できる学を身につけること。
- ・法制度は十分だが、職場環境が十分ではないと思う。子育てに対するケア（意識・対応）が全く協力的でない。
- ・子供手当、母子手当など、男性の独身者より子供がいる女性の方が優遇されている。男は税金を払うばかりでもらうことはない。女性はたくさんのチャンスがある。良い会社であれば育児休暇もあるので、特に何かをしないといけないということはないと思う。

問7 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に「賛成」又は「どちらかといえば賛成」の理由（11件）

- ・夫に収入があるなら役割分担した方が家庭がまとまると思う。共働きでも結局、家事負担は女性が大きくなるから。
- ・お互いが納得すれば主婦でも主夫でもよい。
- ・妻が育児その他で家のことをしっかりやってくれ家の事が万全だと、男は安心して職責を果たすことができ、家族の幸せを守ることができる。妻に感謝して働ける。子供にはやっぱり「母の愛情」が一番。父も子に愛情を注ぐが、男児も女児も母を慕う。

問8 地域における活動等への参加状況（6件）

〔選択肢以外のその他活動〕

- ・町内の奉仕作業（草刈りなど）
- ・青パト隊員

〔特に何も活動に参加していない理由〕

(1) 時間の確保が困難、仕事や学業との両立が困難（54件）

- ・活動したいが時間がない。
- ・家事、親の介護に時間をとられている。
- ・学業が忙しいから。

(2) 本人の健康状態の関係（23件）

- ・体調が良くない、病気がちのため
- ・体が不自由なため

(3) 高齢のため（12件）

(4) 人間関係（11件）

- ・他人とあまりかかわりを持ちたくない。
- ・外部からの移住者なので参入しにくい。

(5) 町内会未加入のため（5件）

(6) 子育てとの両立が困難（4件）

- ・子供がまだ小さく、手がかかる。

(7) 関心がない、興味がない（15件）

- ・地域における活動にあまり関心（興味）がない。
- ・町内会などは面倒くさい。
- ・自分の時間を大切にしたい

(8) 活動を知らない（8件）

- ・どんな活動があるのか分からない、知らないため

(9) その他（機会がないなど）（21件）

- ・参加するきっかけがない。
- ・3年ごとに転勤があり、地元に慣れるのに時間がかかるため
- ・特にグループには属さず、スポーツをしている。

問10 男女がともに家事、子育て、介護、地域活動に、より積極的に参加していくために必要なこと（14件）

- ・子どもを預けられる施設の充実
- ・男性自身が「手伝う」という考えをなくし、「当然」と思っずすること。
- ・地域活動は男性世帯主でなくても行えることの周囲の理解
- ・家庭・職場・地域の三者連携

問11 家庭における高齢者介護を主に女性が担っていることについての意見（41件）

- ・当事者（介護する方、される方）同士が納得する形が一番良い。
- ・家庭ごとにルールがあると思う。男性・女性と決めず、都合の良い方法で行なえばよい。
- ・在宅介護は家族全員で行い、あらゆる介護サービスを利用しないと家庭崩壊に繋がる。自治体も在宅介護の現状を把握すべきである。
- ・分担すべきと思うが母親だとやりにくい部分がある（男性の意見）。
- ・私の周りでは介護を男性もしているので、女性だけが担っているとは思わない。

問12 高齢者介護について今後必要な対策（47件）

- ・介護職は重労働、低賃金、人手不足の為、働く側の制度を改善して欲しい。
- ・介護サービス利用料を安くする。
- ・介護のプロの方と身近に相談できると心強くなると思う。
- ・施設（デイサービス等）での機能を公民館等で行える様な仕組み（住み慣れた家から離れずに参加）
- ・老々介護ができる制度の確立
- ・在宅で介護されている方に対する支援、メリットをふやす（例：年金の少ない方に対して家族が援助している場合は減税するなど）。

問13 女性が職業を持つことについての意識（62件）

- ・本人の状況や希望に合わせてでよい。
- ・結婚しても、子供ができて、夫婦の話し合いだと思う。
- ・子どもを産んでも次に必ず仕事ができる環境があれば続けるほうがよい。しかし、再就職や産休・育休が難しい。
- ・できれば、子供が大きくなってから職業をもつ方がよいが、生活ができないため現在働いている。
- ・生活のため、女性も働かなくてはならないということもあると思う。子育て中は、子供の病気とかいろいろなことが起きた時に、母親あるいは父親が子供のそばにいてくれる環境が必要だと思う。

問14 職場における性別による処遇や対応のちがいが（19件）

- ・男性だけに福利厚生があり、また、内容がとても良い（家賃・退職金・配偶者手当など）。
- ・育児休業とまでは言わないが、子供の運動会など土日の行事すら休みづらい雰囲気がある。
- ・意見を求められて答えると、全否定される（女性の意見）。
- ・パート勤務、10日程度なので…満足です。

問16 女性が育児や介護などで離職することなく仕事を続けていくために必要なこと（16件）

- ・どのような雇用形態であっても有給が書類上だけでなく、実際にとれるようになること。
- ・小さい子供はすぐ病気になり休みがちのため、企業は敬遠しがちなので、雇い主の理解と（休暇取得に）対応できる体制が必要
- ・地域による、子供や高齢者へ気軽に手をさしのべることができるネットワークづくり
- ・サービスがあると言っても、その利用料などが所得により違いがある。利用したくても高いと、それを考え利用できない。差別的な社会となっていることをもっと知ってほしい。

問19 配偶者等から暴力等（DV）を受けた際の相談先（3件）

- ・両家の親

問20 DV被害について、どこ（だれ）にも相談しなかった理由（5件）

- ・暴力を受けているという認識がなかった。
- ・夫婦だから

問21 男女間における暴力をなくすために必要なこと（17件）

- ・根本的には、幼少期から愛情をたっぷり注いであげることが大切
- ・市民一人一人が自分の問題であるという意識を持つこと。
- ・相談窓口の連絡先が身近になるよう、周知を徹底する。
- ・他人が気付いてくれないとムリだと思う。

問22 メディアにおける性・暴力表現についての意識（20件）

- ・事件が起こると、被害者の人権を無視する過剰な報道がされる。
- ・テレビ・インターネット等、現代では避けて通れないと思う。制限をしても、完全にその様なデータを削除することはとても難しい。保育園・幼稚園・小学校から「暴力はダメ」という教育が必要だと思う。
- ・マスコミの目的が売り上げになっており、性問題が商品として扱われている部分が多い。
- ・昔のテレビの方が過激だったと思う。逆にいろいろと汚いものを隠そうとするから、変なことになっている気がする。

問24 政策・方針決定の場に女性の参画が少ない理由（13件）

- ・家庭における役割・負担が大きく、余裕がない。
- ・家庭や子育てで忙しいから。
- ・田舎は特に会社でのリーダー的役割などの経験が少なく、前に出ていこうとする女性が少ないと感じる。女性ならではの变な連帯感がある。

問25 女性が地域活動のリーダーになるために必要なこと（10件）

- ・小さい頃から表に出て、自分を表現することの機会を増やす。
- ・男だろうが女だろうが、周りが納得できる資質がある人間がリーダーシップを取れば良い。
- ・男性の家事・育児参加（休日に男性が家にいられるような環境）

問26 「男女共同参画社会」を実現するために、行政が力を入れていくべきこと（3件）

- ・人権教育の充実
- ・国民全体の意識改革が必要

資 料

(調査票等)

男女共同参画に関する市民意識調査

～調査ご協力をお願い～

日頃から、鹿屋市政にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

鹿屋市では、男女が対等なパートナーとして、お互いにその人権を尊重し合い、性別にかかわらずその個性と能力を十分に発揮することができ、かつ誰もが安心して暮らすことができる男女共同参画社会の実現をめざして、「かのや男女共同参画プラン」等に基づき諸施策に取り組んでいます。

このような中、今回、市民の皆様の男女平等や人権についての意識、家庭生活や職場における実情などを把握し、次期プラン策定のための基礎資料とするなど、今後の男女共同参画に関する施策に活かしていくことを目的として、市民意識調査を実施することといたしました。

この調査は、市内にお住まいの20歳以上の方の中から無作為に選ばせていただいた2,000人の方にご協力をお願いしております。調査は、無記名でご回答いただくものであり、その結果は全て統計的に処理しますので、個人が特定されるようなことはありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようお願いいたします。

平成29年6月

鹿屋市長 中西 茂

ご記入にあたってのお願い

- 調査票は、封筒のあて名のご本人がご回答くださるようお願いいたします。
(ご本人が記入できない場合は、ご家族の方の代筆でも構いません。)
- 回答については、調査票のあてはまる項目の番号に直接○印をつけてください。
- 調査の結果はすべて統計的に処理し、個人が特定されるような形で、結果を公表することはありませんので、率直なお考え等をご記入ください。
- ご記入後、お手数ですが調査票を三つ折にして、同封の返信用封筒(切手不要)にて、平成29年7月10日(月)までにご返送(投函)くださいますようお願いいたします。

※この調査票の内容についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

鹿屋市役所 市民課 男女共同参画推進室

TEL : 0994 - 31 - 1114 (市民課直通)

0994 - 43 - 2111 (内線 3171)

FAX : 0994 - 31 - 1170

あなたやあなたのご家族について、おたずねします。
回答については、調査票のあてはまる項目に直接○印をつけてください。

F 1 あなたの性別をおたずねします。

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

F 2 あなたの年齢を教えてください。(平成29年4月1日現在の満年齢)

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 20～29歳 | 2. 30～39歳 | 3. 40～49歳 |
| 4. 50～59歳 | 5. 60～69歳 | 6. 70歳以上 |

F 3 あなたは、現在結婚されていますか。

- | |
|------------------------------------|
| 1. 結婚している（届け出をしていない事実婚や別居中の場合を含む。） |
| 2. 結婚していたが、死別した |
| 3. 結婚していたが、離別した |
| 4. 結婚していない(未婚) |

F 4 あなたには、お子さんがいらっしゃいますか。

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

F 5 あなたの職業は次のどれにあたりますか。(○は1つ)

雇用者	{	1. 正規の職員・従業員、会社役員など 2. 非正規の職員・従業員(臨時職員・契約社員 パート・アルバイトなど)
自営業主	{	3. 農林漁業 4. 商工サービス業 5. その他の自営業
家族従事者	{	6. 農林漁業 7. 商工サービス業 8. その他の家族従事者 9. 主婦・主夫 10. 学生 11. その他(無職等)

【現在、結婚している方におたずねします。】

F 6 ご夫婦の職業の有無についておたずねします。(○は1つ。前問F 5で「1」～「8」に該当するような方は職業があるものとしてご回答ください。)

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. どちらとも職業がある | 2. 自分のみ職業がある |
| 3. 配偶者のみ職業がある | 4. どちらも職業がない |

★男女平等意識についておたずねします★

問1 あなたは、次のような分野で男女の地位が平等になっていると思いますか。次の①～⑥のそれぞれについて、右欄の中から1つずつお選びください。

	男性の方が 優遇されて いる	女性の方が 優遇されて いる	平等で ある	わからない
① 家庭の中で	1	2	3	4
② 職場の中で	1	2	3	4
③ 学校（学校教育）の中で	1	2	3	4
④ 地域社会の中で	1	2	3	4
⑤ 法律や制度上で	1	2	3	4
⑥ 社会通念、慣習・しきたりなどで	1	2	3	4

問2 では、あなたは社会全体で見た場合には、男女の地位は平等になっていると思いますか。(○は1つ)

- | |
|-------------------------|
| 1. 男性の方が非常に優遇されている |
| 2. どちらかといえば男性の方が優遇されている |
| 3. 平等である |
| 4. どちらかといえば女性の方が優遇されている |
| 5. 女性の方が非常に優遇されている |
| 6. わからない |

問3 次にあげる職業や役職において、今後女性がもっと増える方がよいと思うのはどれですか。(○はいくつでも)

1. 都道府県や市町村の首長
2. 国会議員、県議会議員、市町村議会議員など
3. 国家公務員・地方公務員の管理職
4. 裁判官、検察官、弁護士
5. 大学教授
6. 教育機関(小中学校、高校、大学等)の長
7. 企業の管理職
8. 企業経営者
9. 団体(農協、漁協など)の役員
10. 農業委員
11. 町内会長、自治会長など
12. その他(具体的に：)
13. 特にない
14. わからない

問4 あなたは、今後、男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために、何が最も重要だと思いますか。(○は1つだけ)

1. 法令や制度の上での見直しを行い、女性に対する差別的取扱いにつながるものを改めること
2. 女性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念、慣習・しきたりを改めること
3. 女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど、積極的に資質や能力の向上を図ること
4. 女性の就業や社会参加を支援する施設・サービスの充実を図ること
5. 行政や企業などの重要な役職に一定の割合で女性を登用する制度を採用・充実すること
6. その他(具体的に：)
7. わからない

★家庭生活についておたずねします★

【現在結婚している方、結婚してはいないがパートナーと暮らしている方におたずねします。それ以外の方は、問6へお進みください。】

問5 あなたの家庭では、次のようなことを主に誰が行っていますか。次の①～⑩のそれぞれについて、右欄の中から1つずつお選びください。（⑤、⑥、⑦については現在該当しなくても、過去に経験があれば、それをもとにお答えください。該当しない場合は、「6」をお選びください。）

	主に夫	主に妻	夫婦で 分担	家族で 分担	その他の人	該当しない
① 食事の準備	1	2	3	4	5	6
② 食事の片付け	1	2	3	4	5	6
③ 掃除	1	2	3	4	5	6
④ 洗濯	1	2	3	4	5	6
⑤ 育児	1	2	3	4	5	6
⑥ 家族の介護	1	2	3	4	5	6
⑦ 学校行事やPTA等 への参加	1	2	3	4	5	6
⑧ 町内会など地域活 動への参加	1	2	3	4	5	6
⑨ 高額商品や不動産 購入等を決める	1	2	3	4	5	6
⑩ 世帯の収入を得る	1	2	3	4	5	6

問6 あなたは、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方についてどう思いますか。（○は1つ）

1. 賛成
2. どちらかといえば賛成
3. どちらかといえば反対
4. 反対
5. わからない

問7 問6で「賛成」「どちらかといえば賛成」と答えた方におたずねします。
それはなぜですか。(〇はいくつでも)

1. 社会全体にそういった風潮があり、伝統的な家族のあり方だと思うから
2. 自分の親の世代もそのような役割分担をしていたから
3. 夫が外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから
4. 妻が家庭を守った方が、子供の成長などにとって良いと思うから
5. 家事・育児・介護と両立しながら、妻が働き続けることはたいへんだと思うから
6. その他（具体的に： _____）
7. わからない

問8 あなたは、現在、次のような地域における活動に参加していますか。
(〇はいくつでも)

1. 町内会や自治会などの地区を単位とした団体活動
2. 婦人(女性)会、高齢者クラブ、青年団などの団体活動
3. 子ども会、PTA、スポーツ少年団などの子どもの活動に関わる団体活動
4. 消費者運動、環境保護運動などの住民活動
5. 民生委員・児童委員、スポーツ推進委員などの公的な委員活動
6. 子育て支援や高齢者介護、障害者福祉などを目的としたグループ活動
7. NPO法人などの非営利団体活動
8. 特定の団体やグループに属さず、個人として地域に貢献する活動
9. スポーツや趣味、文化振興などに関わるサークル活動
10. その他(具体的に： _____)
11. 特に何もしていない(理由： _____)

問9 生活の中での「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」（地域活動・学習・趣味・付き合い等）の優先度について、おたずねします。

(1) あなたの希望に最も近いものを、次の中からお選びください。(○は1つ)

1. 「仕事」を優先したい
2. 「家庭生活」を優先したい
3. 「地域・個人の生活」を優先したい
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい
5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
8. わからない

(2) それでは、あなたの現実・現状に最も近いものを次の中からお選びください。
(○は1つ)

1. 「仕事」を優先している
2. 「家庭生活」を優先している
3. 「地域・個人の生活」を優先している
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先している
5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
8. わからない

問10 あなたは、今後、男女がともに家事、子育て、介護、地域活動に、より積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○は3つまで)

1. 男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと
2. 男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと
3. 夫婦や家族間で互いの立場を理解し、コミュニケーションをよくはかること
4. 社会の中で、男性による家事、子育て、介護、地域活動についてもその評価を高めること
5. 子どもに対して、家事などを性別によらず、身につけることができるような育て方をすること
6. 労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間を多く持てるようにすること
7. 男性の育児・介護休業の取得などについて、職場の上司や周囲の理解が進むこと
8. 家庭や地域活動と仕事の両立などの問題について、男性が相談しやすい窓口を設けること
9. その他(具体的に：)
10. 特にない
11. わからない

問11 現在、家庭における高齢者介護は多くの場合女性が担っていますが、これについてどう思いますか。(○は1つ)

1. 介護は女性が担う方がいいと思う
2. 現状ではやむをえない
3. 夫など男性も分担すべきである
4. その他(具体的に：)
5. わからない

問12 団塊世代の高齢化などに伴い、要介護者が今後益々増えていくことが予想されますが、高齢者介護について今後どのような対策が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

1. 介護施設の増設・充実
2. 男性の介護参加
3. 介護休暇制度の普及
4. 介護サービスを利用することへの意識改革や理解
5. デイサービスやショートステイ（施設への短期入所）などの在宅介護を支援する介護サービスの充実
6. 介護保険制度の充実
7. 介護用品の改良
8. 地域でのネットワークづくり
9. 介護予防策の充実
10. その他（具体的に： ）
11. 特にない
12. わからない

★就労についておたずねします★

問13 一般的に女性が職業をもつことについて、あなたはどのように思われますか。
(○は1つ)

1. 女性は職業をもたない方がよい
2. 結婚するまでは職業をもつ方がよい
3. 子どもができるまでは、職業をもつ方がよい
4. 子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい
5. 子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい
6. その他（具体的に： _____）
7. わからない

【現在、会社等に勤務している方におたずねします。】

問14 あなたの職場では、性別によって次のような処遇や対応に差がありますか。
(○はいくつでも)

1. 賃金に格差がある
2. 女性を補助的な業務等に従事させる傾向がある
3. 管理職への登用や昇進、昇格に差がある
4. 募集・採用の機会に格差がある
5. 結婚や出産時に退職する慣例や雰囲気がある
6. 中高年女性には退職を促すような雰囲気がある
7. 社内研修や教育訓練、出張や視察などの機会に差がある
8. 育児休業や介護休業の取りやすさに差がある
9. その他（具体的に： _____）
10. 特にない

【会社等に勤務している方や自営業に従事している方におたずねします。】

問15 「仕事(ワーク)」と家庭生活や趣味、地域活動など仕事以外の「生活(ライフ)」について、自ら希望する形で調和を図って取り組むことができる状態を「ワーク・ライフ・バランス」と言いますが、あなたは、現在「ワーク・ライフ・バランス」がうまく実現できていると思いますか。(○は1つ)

1. 実現できている
2. どちらかといえば実現できている
3. どちらかといえば実現できていない
4. 実現できていない
5. どちらともいえない

【全員におたずねします。】

問16 あなたは、女性が育児や介護などで離職することなく仕事を続けていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも)

1. 保育施設など子供を預けられる環境の整備や育児支援サービスの充実
2. 介護支援サービスの充実
3. 手軽に利用できる家事代行サービスの普及
4. 男性の家事・育児などへの参画
5. 女性が働き続けることに対する家族や周囲の理解・協力
6. 男女双方の長時間労働の改善を含めた働き方の見直し
7. 不安定な雇用条件(非正規雇用等)の改善や男女間の格差是正
8. 職場における育児・介護との両立支援制度の充実
9. 男女双方が育児・介護休業制度などを利用しやすい職場環境づくり
10. その他(具体的に:)
11. 特にない
12. わからない

★男女の人権について、おたずねします★

【これまでに結婚したことのある方に、おたずねします。】

問17 あなたはこれまでに、あなたの配偶者から次のようなことをされたことがありますか(ここでの「配偶者」には、婚姻届を出していない事実婚や別居中の夫婦、元配偶者も含みます。)。次の①～③のそれぞれについて、右欄の中から1つずつお選びください。

	何度もあった	1、2度あった	ない
① なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行を受けた	1	2	3
② 人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせを受けた、あるいは、あなたもしくはあなたの家族に危害を加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた	1	2	3
③ いやがっているのに性的な行為を強要された	1	2	3

【全員におたずねします。】

交際相手からの暴力の被害経験が、10歳代から20歳代に多くみられることから、次のことについてお聞きします。

問18 あなたは、10歳代又は20歳代に、あなたの恋人や元恋人などの交際相手から、次のようなことをされたことがありますか。次の①～③のそれぞれについて、右欄の中から1つずつお選びください。

	10歳代にあった	20歳代にあった	10・20歳代ともあった	ない
① なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行を受けた	1	2	3	4
② 人格を否定するような暴言や交友関係を細かく監視するなどの精神的な嫌がらせを受けた、あるいは、あなたもしくはあなたの家族に危害を加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた	1	2	3	4
③ いやがっているのに性的な行為を強要された	1	2	3	4

【問17又は問18で1つでも行為を受けたことがあった方におたずねします。それ以外の方は、問21にお進みください。】

問19 そのようなとき、あなたはどこか（誰か）に相談されましたか。
(○はいくつでも)

1. 警察に連絡又は相談した
2. 家族や親戚に相談した
3. 友人や知人に相談した
4. 市の機関(配偶者暴力相談支援センターや福祉事務所、保健相談センターなど)に相談した
5. 県の機関(男女共同参画センターや女性相談センターなど)に相談した
6. 学校関係者(教師、スクールカウンセラーなど)に相談した
7. 医療関係者(医師、看護師など)に相談した
8. 民間の専門家(弁護士やカウンセラーなど)に相談した
9. その他(具体的に：)
10. どこ(だれ)にも相談しなかった

【問19で「10. どこ(だれ)にも相談しなかった」と答えた方におたずねします。】

問20 どこ(だれ)にも相談しなかったのは、なぜですか。(○はいくつでも)

1. どこ(だれ)に相談してよいのか、わからなかったから
2. 相談する人が近くにいなかったから
3. 相談しても無駄だと思ったから
4. 相談したことがわかると、仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けると思ったから
5. 自分さえ我慢すれば、なんとかやっていけると思ったから
6. 自分にも悪いところがあると思ったから
7. 他人を巻き込みたくなかったから
8. 恥ずかしくて誰にも言えなかったから
9. そのことについて思い出したくなかったから
10. 世間体が悪いから
11. 相談するほどのことではないと思ったから
12. その他(具体的に：)

問21 男女間における暴力をなくすためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(〇はいくつでも)

1. 家庭で保護者が子どもに対し、男女一人ひとりの人権尊重や暴力防止のための教育を行う
2. 学校で児童・生徒等に対し、性別に由来する人権問題や暴力防止のための教育を行う
3. 職場などで、人権問題やハラスメントに関する研修会等を行う
4. 地域(町内会、PTA等)で、人権問題や暴力防止のための研修会等を行う
5. 被害を受け、悩んでいる人への情報提供など、広報・啓発活動を行う
6. 被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす
7. 被害者の早期発見・支援のため、警察や医療機関、支援団体、行政が緊密に連携する
8. 加害者への罰則強化や二度と繰り返さないための教育など対策を進める
9. 暴力を助長するおそれのある情報(雑誌、インターネット、ゲームソフトなど)を規制する
10. その他(具体的に：)
11. 特にない
12. わからない

問22 テレビ、新聞、雑誌、インターネット等のメディアにおける性・暴力表現について、あなたはどのように思いますか。(〇はいくつでも)

1. 性的側面を強調するなど、行き過ぎた表現が目につく
2. 社会全体の性に関する道徳観・倫理観が損なわれている
3. 性的犯罪を助長している
4. 過激な表現等、青少年の目に触れやすく配慮が足りない
5. 男女のイメージを固定化することを助長するような表現をしている
6. その他(具体的に：)
7. 特に問題はない
8. わからない

★女性の政策参画についておたずねします★

問23 次の各分野でその方針や施策を決めるとき、女性の意見はどの程度反映されている
 と思いますか。次の①～④のそれぞれについて、右欄の中から1つずつお選びくだ
 さい。

	十分に 反映され ている	ある程度 反映され ている	あまり 反映され ていない	全く反映 されてい ない	どちらとも いえない	わからない
① 職場で	1	2	3	4	5	6
② 地域社会で	1	2	3	4	5	6
③ 市政・県政の場で	1	2	3	4	5	6
④ 国政の場で	1	2	3	4	5	6

問24 女性の社会参画は進みつつありますが、まちづくりなどの政策や方針を決定する場に女性の参画は少ない状況にあります。政策・方針決定の場に女性が少ない理由は、何だと思いませんか。(〇はいくつでも)

1. 家庭・地域・職場において、性別による固定的な役割分担意識や性差別意識があるため
2. 組織運営が男性優位になっているため
3. 市や県の審議会等の委員などに女性が就く機会が限られているため
4. 女性の能力開発の機会が不十分なため
5. 女性の活動を支援するネットワークが不足しているため
6. 女性があまり積極的でないため
7. 女性の参画を積極的に進めよう意識している人が少ないため
8. 家族の支援や協力が得られにくい
9. その他（具体的に： ）
10. わからない

問25 あなたは、女性が地域活動のリーダーになるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 女性が地域活動のリーダーになることに対する女性自身の抵抗感をなくすこと
2. 女性が地域活動のリーダーになることに対する男性の抵抗感をなくすこと
3. 社会の中で、女性が地域活動のリーダーになることについて、その評価を高めること
4. 女性が地域活動のリーダーになることについて、啓発や情報提供・研修を行うこと
5. 女性が地域活動のリーダーに一定の割合でなるような取組を進めること
6. その他(具体的に:)
7. 特にない
8. わからない

★男女共同参画に関する施策などについておたずねします★

問26 「男女共同参画社会」を実現するために、今後、行政はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(〇は3つまで)

※男女共同参画社会

女性も男性も全ての個人が、互いにその人権を尊重し、喜びも責任も分かち合いつつ、性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮できる社会

1. 子どもの頃から、男女の平等や相互の理解・協力について学習機会を充実させる
2. 男女の平等や相互の理解・協力について、広く市民への学習機会を充実する
3. 広報誌・パンフレットなどで男女の平等と相互の理解・協力について広報・PRする
4. 女性に対する暴力(セクハラやDVなど)の防止や被害者支援に取り組む
5. 各種審議会など政策・方針決定の場へ女性の参画を進める
6. 職場における労働時間短縮や育児・介護休業制度の普及促進など、仕事と家庭生活が両立できる就労環境づくりを進める
7. 職場における男女の均等な取扱いが図られるよう、企業等に対し周知徹底する
8. 保育所や放課後児童クラブなど、保育施設やサービスを充実する
9. 高齢者や障がい者等に対する施設や介護サービスなどを充実する
10. 男女共同参画に関する啓発や交流、相談の場などを充実する
11. 地域における男女共同参画の推進役となる人材を育成する
12. 女性が職業に就くための職業訓練の場や情報提供、相談窓口を充実する
13. その他(具体的に:)
14. 特にない
15. わからない

問27 男女共同参画に関連の深い次の用語等について知っていますか。次の①～⑫のそれぞれについて、右欄の中から1つずつお選びください。

	知って いる	聞いたこと がある	知らない
① 男女共同参画社会	1	2	3
② ジェンダー(社会的・文化的に形成された性別)	1	2	3
③ DV(配偶者等からの暴力)	1	2	3
④ デートDV(交際相手や元交際相手からの暴力)	1	2	3
⑤ ダイバーシティ(多様性)	1	2	3
⑥ ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)	1	2	3
⑦ ポジティブ・アクション(積極的改善措置)	1	2	3
⑧ 女子差別撤廃条約	1	2	3
⑨ 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律(DV防止法)	1	2	3
⑩ 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)	1	2	3
⑪ 鹿屋市男女共同参画推進条例	1	2	3
⑫ 鹿屋市配偶者暴力相談支援センター	1	2	3

※最後に、男女共同参画社会の実現に向けて、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

ご協力いただきましてありがとうございました。

この調査票を三つ折にして同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、
7月10日(月)までに郵便ポストに投函していただきますようお願いいたします。

○用語解説○

用 語	内 容
ジェンダー（社会的・文化的に形成された性別）	生物学的性別（SEX）でなく、「社会的・文化的に形成された性別（性別に基づいて社会的に作り上げられた「男性像」「女性像」）のことです。
D V（配偶者等からの暴力）	ドメスティック・バイオレンスの略。配偶者や元配偶者などからふるわれる暴力（身体的・精神的・性的・経済的暴力）をいいます。
デートD V（交際相手や元交際相手からの暴力）	主に若い世代の男女間で、交際相手や元交際相手から受ける暴力のことをいい、通常のD Vに加え、相手を自分の思いどおりに支配しようとする態度、行動なども見られます。
ダイバーシティ（多様性）	性別や国籍、年齢などに関わりなく、多様な個性が力を発揮し、共存できる社会のことをダイバーシティ社会といいます。
ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）	誰もが仕事、家庭生活、地域活動、個人の自己啓発などの様々な活動を、人生の段階に応じて自分の希望するバランスで実現できる状態のことをいいます。
ポジティブ・アクション（積極的改善措置）	様々な分野において、活動に参画する機会の男女間の格差を解消するため、必要な範囲内において、男女のいずれか一方に対し、活動に参画する機会を積極的に提供するものです。例として、審議会等委員への女性の登用のための目標の設定などがあります。
女子差別撤廃条約	昭和 54 年（1979 年）に国連総会で採択され、日本では昭和 60 年（1985 年）に締結した条約です。女子に対するあらゆる差別を撤廃することを基本理念とし、具体的には、「女子に対する差別」を定義し、政治的及び公的活動、教育、雇用、保健、家族関係等あらゆる分野での男女の平等を規定しています。
配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（D V防止法）	配偶者からの暴力についての通報、相談、保護、自立支援等の体制を整備し、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護を図ることを目的とする法律です。被害者が男性の場合や、同居の恋人からの暴力もこの法律の対象となります。
女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）	平成 27 年に成立。働く場面で活躍したいという希望を持つすべての女性が、その個性と能力を十分に発揮できる社会を実現するために、女性の活躍推進に向けた数値目標を盛り込んだ行動計画の策定・公表や、女性の職業選択に資する情報の公表が事業主（国や地方公共団体、民間企業等※）に義務付けられました。 ※常時雇用する労働者が 300 人以下の民間企業等は努力義務
鹿屋市男女共同参画推進条例	男女共同参画社会の実現に向けて、市民、事業者、行政が一体となった取組をより一層推進するため平成 28 年 4 月に制定されました。男女共同参画を推進するために、男女の人権の尊重や社会における制度又は慣行が性別に関わりなく自由に活動ができるよう配慮することなど 6 つの基本理念が掲げられています。
鹿屋市配偶者暴力相談支援センター	配偶者暴力防止法に基づき、被害者支援のための拠点として、配偶者からの暴力の相談に応じ、被害者の一時保護や自立支援のための情報提供、その他の援助などの機能を果たす機関です。平成 27 年 4 月に設置されました。